MITSUBISHI

GRAPHIC OPERATION TERMINAL
GOT

GRAPHIC OPERATION TERMINAL

GOT1000

GT16本体取扱説明書(基本ユーティリティ編)

● 安全上のご注意 ●

（ご使用前に必ずお読みください）

本製品のご使用に際しては，本マニュアルおよび本マニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に，安全に対して十分に注意を払って，正しい取扱いをしていただくようお願いいたします。
本マニュアルで示す注意事項は，本製品に関するもののみについて記載したものです。
この●安全上のご注意●では，安全注意事項のランクを「警告」,「注意」として区分してあります。

⚠警告	**取扱いを誤った場合に，危険な状況が起こりえて，死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。**
⚠注意	**取扱いを誤った場合に，危険な状況が起こりえて，中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害だけの発生が想定される場合。**

なお，⚠注意に記載した事項でも，状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

本マニュアルは必要なときに読めるよう大切に保管すると共に，必ず最終ユーザまでお届けいただくようお願いいたします。

【設計上の注意事項】

⚠警告

● GOT，通信ユニット，ケーブルの故障によっては出力が ON し続けたり，OFF し続けたりすることがあります。
タッチパネルの故障によっては，タッチスイッチなどの入力オブジェクトが誤動作することがあります。
重大な事故につながるような出力信号については，外部で監視する回路を設けてください。
誤出力，誤動作により事故の恐れがあります。

● GOT でモニタ実行時，通信異常（ケーブル抜けも含む）が発生すると GOT とシーケンサ CPU の通信が中断され GOT は動作不能となります。
バス接続時　　：シーケンサ CPU がダウンし，GOT 操作不能
バス接続時以外：GOT 動作不能
GOT を使用するシステム構成時は GOT の通信異常時を想定して，システムに対する重大な動作を行うスイッチについては GOT 以外の装置により行うシステムを構成してください。
誤出力，誤動作により事故の恐れがあります。

● GOT は，重大な事故の原因となるような警告装置として，使用しないでください。
重要な警告を表示したり，警報を出力するような装置は，独立して冗長性があるハードウェアまたは，機械的なインタロックにより構成してください。
誤出力，誤動作により事故の恐れがあります。

● GOT のバックライトが切れた場合，タッチスイッチの誤操作により，事故につながる恐れがあります。
GOT のバックライトが切れると，POWER LED が点滅し (緑 / オレンジ)，表示部が暗くなりますが，タッチスイッチの入力は有効なままになっています。
この場合，操作者がスクリーンセーブ状態と間違えて，スクリーンセーブを解除しようと表示部をタッチした場合，タッチスイッチが動作する恐れがあります。
バックライトが切れた場合は，GOT で下記現象が発生します。
・GT1655-V 使用時：POWER LED が点滅し (緑 / オレンジ）モニタ画面が消える。
・GT1655-V 以外使用時：POWER LED が点滅し (緑 / オレンジ) モニタ画面が薄く表示される。

● GT16 の表示部はアナログ抵抗膜方式です。
表示部を同時に 2 点以上押した場合，押した点の中心付近にスイッチがあると，そのスイッチが動作することがあります。
表示部を同時に 2 点以上押さないでください。
同時に 2 点以上押した場合，誤出力，誤動作により事故の恐れがあります。

【設計上の注意事項】

⚠警告

● GOT でモニタしている接続機器（シーケンサなど）のプログラムやパラメータなどを変更したときは，同時に GOT のリセットもしくは電源断をしてください。
誤出力，誤動作により事故の恐れがあります。

⚠注意

● 制御線や通信ケーブルは，主回路や動力線などと束線したり，近接したりしないでください。
100mm 以上を目安として離してください。
ノイズにより，誤動作の原因になります。

● GOT の表示部をペンやドライバなど，先の尖ったもので押さないでください。
破損，故障の原因になります。

● GOT を Ethernet に接続して使用する場合，システム構成によって使用できる IP アドレスに制約があります。
・ Ethernet ネットワークに複数台の GOT を接続する場合：
GOT および接続機器に対して，IP アドレス (192.168.0.18) を設定しないでください。
・ Ethernet ネットワークに GOT を 1 台接続する場合：
GOT 以外の接続機器に対して，IP アドレス (192.168.0.18) を指定しないでください。
上記のシステム構成で IP アドレス (192.168.0.18) を設定すると，GOT 起動時に IP アドレスの重複が発生し，IP アドレス (192.168.0.18) を設定している機器の通信に悪影響を与える場合があります。
IP アドレス重複時の動作は機器，システムに依存します。

● 接続機器，およびネットワーク機器は，GOT と接続する前に電源を ON して通信可能な状態にしてください。
接続機器，通信経路が通信可能な状態になっていない場合，GOT で通信エラーが発生する場合があります。

【取付け上の注意事項】

⚠警告

● GOT を盤に取付け，取外す場合は，必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。
全相遮断しないと，ユニットの故障や誤動作の原因になります。

● 通信ユニット，プリンタユニット，オプション機能ボードを GOT に着脱する場合は，必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。
全相遮断しないと，ユニットの故障や誤動作の原因になります。

● オプション機能ボードを取り付ける際は静電気による破壊を防ぐためアースバンドなどを着用してください。

⚠注意

● GOT は，本体取扱説明書に記載の一般仕様の環境で使用してください。
一般仕様の範囲以外の環境で使用すると，感電，火災，誤動作，製品の損傷あるいは劣化の原因になります。

● GOT を盤に取付け時，取付けネジの締付けは，規定トルク範囲で行ってください。
取付けネジの締付けがゆるいと，落下，短絡，誤動作の原因になります。
取付けネジを締めすぎると，ネジやユニットの破損による落下，短絡，誤動作の原因になります。

● GOT に通信ユニット，プリンタユニットを装着するときは，GOT の拡張インタフェースに装着し，取付けネジを規定トルク範囲で締め付けてください。
取付けネジの締付けがゆるいと，落下，故障，誤動作の原因になります。
取付けネジを締めすぎると，ネジやユニットの破損による落下，故障，誤動作の原因になります。

● GOT にオプション機能ボードを装着するときは，オプション機能ボードのコネクタへ確実に装着し，取付けネジを規定トルク範囲で締め付けてください。
取付けネジの締付けがゆるいと，接触不良により誤動作の原因になります。
取付けネジを締めすぎると，ネジやユニットの破損による誤動作の原因になります。

【取付け上の注意事項】

⚠注意

● GOT に，CF カードを装着するときは，GOT の CF カードインタフェースに挿入し，CF カードイジェクトボタンが浮き上がるまで押し込んでください。
正しく挿入されていないと接触不良により，誤動作の原因になります。

● CF カードを GOT に着脱する場合は，CF カードアクセススイッチを OFF 状態にしてから行ってください。
OFF 状態にしないと，CF カード内のデータが壊れる原因になります。

● CF カードを取り出す場合は，CF カードが飛び出す場合がありますので，手で支えて取り出してください。
手で支えて取り出さないと，落下による CF カードの破損，故障の原因になります。

● GOT に，USB メモリを装着する場合は，GOT の USB インタフェースに挿入し，USB メモリを確実に差し込んでください。
正しく挿入されていないと接触不良により，誤動作の原因になります。

● USB メモリを取り外す場合は，GOT のユーティリティ画面で USB メモリの取り外しを行い，正常終了通知ダイアログボックスが表示された後，手で支えて取り外してください。
手で支えて取り外さないと，落下による USB メモリの破損，故障の原因になります。

● USB 耐環境カバーを閉じる場合は，保護構造を確保のため，△マークの箇所をしっかり押し込んで GOT に固定してください。

● 保護フィルムをはがしてお使いください。
貼り付けたままご使用になりますと，はがれなくなる恐れがあります。

● 直射日光の当たる場所や，高温，粉塵，湿気もしくは振動の多いところで使用および保管しないでください。

● GOT を，油，薬品のある環境で使用する場合は，耐油カバーを使用ください。
耐油カバーを使用しないと，油，薬品の進入による，故障，誤動作の原因になります。

【配線上の注意事項】

⚠警告

● 配線作業は，必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。
全相遮断しないと，感電，製品の損傷，誤動作の恐れがあります。

⚠注意

● GOT 電源部の FG 端子，LG 端子および保護接地端子は，GOT 専用の D 種接地（第三種接地）以上で必ず接地を行ってください。
感電，誤動作の恐れがあります。

● 空き端子ネジは必ずトルク 0.5 ～ 0.8N・m で締め付けてご使用ください。
圧着端子と短絡する原因になります。

● 圧着端子は適合圧着端子を使用し，規定のトルクで締め付けてください。
先開形圧着端子を使用すると，端子ネジがゆるんだ場合に脱落し，故障の原因になります。

● GOT 電源部への配線は，製品の定格電圧および端子配列を確認した上で正しく行ってください。
定格と異なった電源を接続したり，誤配線をすると，火災，故障の原因になります。

● GOT 電源部の端子ネジの締付けは，規定トルク範囲で行ってください。
端子ネジの締付けがゆるいと短絡，誤動作の原因になります。
端子ネジを締めすぎると，ネジやユニットの破損による短絡，誤動作の原因になります。

● ユニット内に，切粉や配線クズなどの異物が入らないように注意してください。
火災，故障，誤動作の原因になります。

【配線上の注意事項】

⚠注意

● ユニットは，配線時にユニット内へ配線クズなどの異物が混入するのを防止するため，ユニット上部に混入防止ラベルを貼り付けています。
配線作業中は，本ラベルをはがさないでください。
システム運転時は , 放熱のために本ラベルを必ずはがしてください。

● 通信ケーブルは，接続するユニットのコネクタに装着し，取付けネジおよび端子ネジを規定トルク範囲で締め付けてください。
取付けネジおよび端子ネジの締付けがゆるいと短絡，誤動作の原因になります。
取付けネジおよび端子ネジを締めすぎると，ネジやユニットの破損による短絡，誤動作の原因になります。

● QnA/ACPU/ モーションコントローラ（A シリーズ）用バス接続ケーブルは，接続するユニットのコネクタに " カチッ " と音がするまで挿入し，装着してください。
装着後に，浮き上がりがないかチェックしてください。
接続不良により，誤動作の原因になります。

【テスト操作時の注意事項】

⚠警告

● ユーザ作成モニタ画面のテスト操作（ビットデバイスの ON/OFF ，ワードデバイスの現在値変更，タイマ／カウンタの設定値・現在値変更，バッファメモリの現在値変更）の操作はマニュアルを熟読し，操作方法を十分理解した上で行ってください。
また，システムに対する重大な動作を行うデバイスに対しては絶対にテスト操作でデータ変更を行わないでください。
誤出力，誤動作により事故の原因になります。

【立上げ・保守時の注意事項】

⚠警告

● 通電中に端子に触れないでください。
感電，誤動作の原因になります。

● バッテリコネクタは正しく接続してください。
バッテリに充電，分解，加熱，火中投入，ショート，ハンダ付けなどを行わないでください。
バッテリの取扱いを誤ると，発熱，破裂，発火などにより，ケガ，火災の恐れがあります。

● 清掃や端子ネジの増し締めは，必ず電源を外部にて全相遮断してから行ってください。
全相遮断しないと，ユニットの故障や誤動作の原因になります。
ネジの締付けがゆるいと短絡，誤動作の原因になります。
ネジを締め過ぎると，ネジやユニットの破損による短絡，誤動作の原因になります。

【立上げ・保守時の注意事項】

⚠注意

● ユニットの分解，改造はしないでください。
故障，誤動作，ケガ，火災の原因になります。

● ユニットの導電部分や電子部品には直接触らないでください。
ユニットの誤動作，故障の原因になります。

● ユニットに接続するケーブルは，必ずダクトに納めるまたはクランプによる固定処理を行ってください。
ケーブルをダクトに納めなかったり，クランプによる固定処理をしていないと，ケーブルのブラツキや移動，不注意の引っ張りなどによるユニットやケーブルの破損，ケーブルの接続不良による誤動作の原因となります。

● ユニットに接続されたケーブルを取りはずすときは，ケーブル部分を手に持って引っ張らないでください。
ユニットに接続された状態でケーブルを引っ張ると，ユニットやケーブルの破損，ケーブルの接続不良による誤動作の原因となります。

● ユニットは落下させたり，強い衝撃を与えないでください。ユニット破損の原因になります。

● ユニットに装着するバッテリには，落下・衝撃を加えないでください。
落下・衝撃によりバッテリが破損し，バッテリ液の液漏れがバッテリ内部で発生する恐れがあります。
落下・衝撃を加えたバッテリは使用せずに廃棄してください。

● ユニットに触れる前には，必ず接地された金属などに触れて，人体などに帯電している静電気を放電してください。
静電気を放電しないと，ユニットの故障や誤動作の原因になります。

● バッテリは当社製 GT15-BAT または GT11-50BAT をご使用ください。
当社製 GT15-BAT または GT11-50BAT 以外のバッテリを使用すると火災や破裂の可能性があります。

● 使用済みバッテリはすぐに廃棄してください。
子供には近づけないでください。分解、及び火中への投入はしないでください。

【タッチパネルの注意事項】

⚠注意

● アナログ抵抗膜方式のタッチパネルは，通常調整する必要はありませんが，使用期間の経過とともに，オブジェクト位置とタッチした位置がずれる場合があります。オブジェクト位置とタッチした位置がずれた場合は，タッチパネル調整を実施してください。

● オブジェクト位置とタッチした位置がずれた場合，他のオブジェクトが動作し，誤出力，誤動作により想定外の動作をする恐れがあります。

【バックライト交換時の注意事項】

⚠警告

● バックライトの交換を行う場合は，必ず GOT の電源を外部にて全相遮断（GOT をバス接続時は，必ずシーケンサ CPU の電源も外部にて全相遮断）し，GOT を盤からはずしてから行ってください。
全相遮断しないと，感電の恐れがあります。盤に付けたまま行うと，落下によるけがの原因になります。

⚠注意

● バックライト交換の作業は，手袋を使用して行ってください。けがの原因になります。

● バックライトの交換は，GOT の電源を遮断してから 5 分以上経過した後に行ってください。
バックライトの熱による火傷の原因になります。

【廃棄時の注意事項】

⚠注意
● 製品を廃棄するときは，産業廃棄物として扱ってください。 バッテリを廃棄する際には各地域にて定められている法令に従い分別を行ってください。 (EU 加盟国内でのバッテリ規制についての詳細は (ハードウェア詳細編)■EU 加盟国内でのバッテリおよびバッテリ組込み機器の取扱いについてを参照してください。)

【輸送時の注意事項】

⚠注意
● リチウムを含有しているバッテリの輸送時には，輸送規制に従った取扱いが必要となります。 (規制対象機種についての詳細は，(ハードウェア詳細編) 付 .3 を参照してください。) ● ユニットは精密機器のため，輸送の間，本マニュアルに記載の一般仕様の値を超える衝撃を避けてください。 ユニットの故障の原因になることがあります。 輸送後，ユニットの動作確認を行ってください。

はじめに

このたびは，三菱グラフィックオペレーションターミナルをお買い上げいただきまことにありがとうございました。

ご使用前に本書をよくお読みいただき，グラフィックオペレーションターミナルの機能・性能を十分ご理解のうえ，正しくご使用くださるようお願い致します。

目次

3. 通信インタフェースの設定 (接続機器設定)

4. 保全機能

5. 自己診断

6.　データ管理

7.　CoreOS，BootOS，基本機能 OS のインストール

付録

マニュアルについて

GT Designer2 に関連するマニュアルには，下記のマニュアルがあります。
使用目的に応じて各マニュアルを参照してください。

マニュアル名称	同梱 / 別売	マニュアル番号 (形名コード)	標準価格
GT SoftGOT1000 操作マニュアル	CD-ROM に格納	SH-080598 (1D7M46)	￥3,000
GT Designer2 Version2 基本操作・データ転送マニュアル（GOT1000 シリーズ対応）	CD-ROM に格納	SH-080508 (1D7M13)	￥3,000
GT Designer2 Version2 画面設計マニュアル（GOT1000 シリーズ対応）1/3 GT Designer2 Version2 画面設計マニュアル（GOT1000 シリーズ対応）2/3 GT Designer2 Version2 画面設計マニュアル（GOT1000 シリーズ対応）3/3	CD-ROM に格納	SH-080509 (1D7M14)	￥7,000 (1/3 ～ 3/3 の セット価格です。)
GOT1000 シリーズ接続マニュアル（1/3） GOT1000 シリーズ接続マニュアル（2/3） GOT1000 シリーズ接続マニュアル（3/3）	CD-ROM に格納	SH-080511 (1D7M15)	￥3,000 (1/3 ～ 3/3 の セット価格です。)
GOT1000 シリーズ拡張機能・オプション機能マニュアル	CD-ROM に格納	SH-080541 (1D7M35)	￥3,000
GOT1000 シリーズゲートウェイ機能マニュアル	CD-ROM に格納	SH-080542 (1D7M36)	￥1,500
GOT1000 シリーズ MES インタフェース機能マニュアル	CD-ROM に格納	SH-080625 (1D7M53)	￥3,000

GT Works3 に関連するマニュアルには，下記のマニュアルがあります。
使用目的に応じて各マニュアルを参照してください。

■ 画面作成ソフトウェア関連マニュアル

マニュアル名称	同梱 / 別売	マニュアル番号 (形名コード)	標準価格
GT Works3 Version1 インストール手順書	製品に同梱	-	-
GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編) 1/2，2/2	CD-ROM に格納	SH-080836 (1D7M94)	￥4,000
GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編) 1/2，2/2	CD-ROM に格納	SH-080837 (1D7M95)	￥7,000
GT Simulator3 Version1 操作マニュアル GT Works3 対応	CD-ROM に格納	SH-080845 (1D7MA4)	￥3,000
GT Converter2 Version3 操作マニュアル GT Works3 対応	CD-ROM に格納	SH-080848 (1D7MA5)	￥1,500

■ 接続関連マニュアル

マニュアル名称	同梱 / 別売	マニュアル番号 (形名コード)	標準価格
GOT1000 シリーズ 接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応	CD-ROM に格納	SH-080838 (1D7M96)	￥4,000
GOT1000 シリーズ 接続マニュアル (他社機器接続編 1) GT Works3 対応	CD-ROM に格納	SH-080839 (1D7M97)	￥3,000
GOT1000 シリーズ 接続マニュアル (他社機器接続編 2) GT Works3 対応	CD-ROM に格納	SH-080840 (1D7M98)	￥3,000
GOT1000 シリーズ 接続マニュアル (マイコン ·MODBUS· 周辺機器接続編) GT Works3 対応	CD-ROM に格納	SH-080841 (1D7M99)	￥3,000

■ 拡張機能・オプション関連マニュアル

マニュアル名称	同梱 / 別売	マニュアル番号 (形名コード)	標準価格
GOT1000 シリーズ ゲートウェイ機能マニュアル GT Works3 対応	CD-ROM に格納	SH-080842 (1D7MA1)	￥1,500
GOT1000 シリーズ MES インタフェース機能マニュアル GT Works3 対応	CD-ROM に格納	SH-080843 (1D7MA2)	￥3,000
GOT1000 シリーズ 本体取扱説明書 (拡張機能 · オプション機能編) GT Works3 対応	CD-ROM に格納	SH-080849 (1D7MA6)	￥4,000

■GT SoftGOT1000 用マニュアル

マニュアル名称	同梱 / 別売	マニュアル番号 (形名コード)	標準価格
GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル GT Works3 対応	CD-ROM に格納	SH-080844 (1D7MA3)	￥3,000

■GT16 用マニュアル

マニュアル名称	同梱 / 別売	マニュアル番号 (形名コード)	標準価格
GT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編)	CD-ROM に格納	SH-080923 (1D7MD1)	￥3,000
GT16 本体取扱説明書 (基本ユーティリティ編)	CD-ROM に格納	SH-080924 (1D7MD2)	￥3,000
GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書	CD-ROM に格納	JY997D40501 JY997D40502 (09R820)	￥3,000

■ 防爆形 GT16 用マニュアル

マニュアル名称	同梱 / 別売	マニュアル番号 (形名コード)	標準価格
防爆に関する取扱説明書	製品に同梱 CD-ROM に格納	IB-0800485 (1D7MF9)	￥300
防爆形 GT16 本体取扱説明書 (ボックス編)	製品に同梱 CD-ROM に格納	IB-0800486 (1D7MG1)	￥600
防爆形 GT16 本体取扱説明書 (GOT 編)	製品に同梱 CD-ROM に格納	IB-0800487 (1D7MG2)	￥1,500

■GT15 用マニュアル

マニュアル名称	同梱 / 別売	マニュアル番号 (形名コード)	標準価格
GT15 本体取扱説明書	CD-ROM に格納	SH-080507 (1D7M12)	￥3,000

■GT14 用マニュアル

マニュアル名称	同梱 / 別売	マニュアル番号 (形名コード)	標準価格
GT14 本体取扱説明書	CD-ROM に格納	JY997D44101 (09R822)	￥2,400
GT14 ハンディ GOT 本体取扱説明書	CD-ROM に格納	JY997D49201 JY997D49202 (09R824)	￥3,000

■GT11 用マニュアル

マニュアル名称	同梱 / 別売	マニュアル番号 (形名コード)	標準価格
GT11 本体取扱説明書	CD-ROM に格納	JY997D15001 (09R814)	￥2,400
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書	CD-ROM に格納	JY997D18901 JY997D18902 (09R816)	￥3,000

■GT10 用マニュアル

マニュアル名称	同梱 / 別売	マニュアル番号 (形名コード)	標準価格
GT10 本体取扱説明書	CD-ROM に格納	JY997D24101 (09R818)	￥2,100

こんなときは

■ プロジェクトを作成する

GT Designer3 の仕様，操作方法を知りたい GT Designer3 で設定できる機能を知りたい GOT に表示する画面を作成したい 作画作業を効率化する便利な機能を知りたい	GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編) 1/2，2/2
図形，オブジェクトの詳細な設定をしたい データ収集やトリガ動作を行う機能を設定したい 周辺機器を使用する機能を設定したい	GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編) 1/2，2/2
作成したプロジェクトを，パソコン上でシミュレートしたい	GT Simulator3 Version1 操作マニュアル GT Works3 対応

■GOT と機器を接続する

GOT に接続できる三菱電機機器を知りたい 三菱電機機器と GOT を接続したい 1 台の GOT に複数の機器を接続したい (マルチチャンネル機能) GOT を経由してパソコンから接続機器と通信したい (FA トランスペアレント機能)	GOT1000 シリーズ 接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応
GOT に接続できる他社製機器を知りたい 三菱電機製以外の機器と GOT を接続したい	• GOT1000 シリーズ 接続マニュアル (他社機器接続編 1) GT Works3 対応 • GOT1000 シリーズ 接続マニュアル (他社機器接続編 2) GT Works3 対応
GOT に接続できる周辺機器を知りたい バーコードリーダなどの周辺機器と GOT を接続したい	GOT1000 シリーズ 接続マニュアル (マイコン ·MODBUS· 周辺機器接続編) GT Works3 対応
防爆形 GT16 と接続機器の接続方法を知りたい	防爆形 GT16 本体取扱説明書 (GOT 編)

■GOT にデータを転送する

GOT にデータを書き込みたい GOT からデータを読み出したい 編集中のプロジェクトと GOT のプロジェクトを照合したい	GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編) 1/2，2/2

■ その他

各 GOT のスペック (各部名称，外形寸法，使用できるオプション機器など) を知りたい GOT の設置方法を知りたい	• GT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編) • 防爆形 GT16 本体取扱説明書 (ボックス編) • 防爆形 GT16 本体取扱説明書 (GOT 編) • GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 • GT15 本体取扱説明書 • GT14 本体取扱説明書 • GT14 ハンディ GOT 本体取扱説明書 • GT11 本体取扱説明書 • GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 • GT10 本体取扱説明書
ユーティリティの操作方法を知りたい	• GT16 本体取扱説明書 (基本ユーティリティ編) • GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 • GT15 本体取扱説明書 • GT14 本体取扱説明書 • GT14 ハンディ GOT 本体取扱説明書 • GT11 本体取扱説明書 • GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 • GT10 本体取扱説明書
ゲートウェイ機能を使用したい	GOT1000 シリーズ ゲートウェイ機能マニュアル GT Works3 対応
MES インタフェース機能を使用したい	GOT1000 シリーズ MES インタフェース機能マニュアル GT Works3 対応
GOT の拡張機能，オプション機能を使用したい	GOT1000 シリーズ 本体取扱説明書 (拡張機能･オプション機能編) GT Works3 対応
パソコンを GOT として使用したい	GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル GT Works3 対応

本マニュアルで使用する略称，総称

本マニュアルの説明で使用している略称，総称を下記に示します。

■GOT

略称 / 総称			内容
GOT1000 シリーズ	GT1695	GT1695M-X	GT1695M-XTBA，GT1695M-XTBD の略称
	GT1685	GT1685M-S	GT1685M-STBA，GT1685M-STBD の略称
	GT1675	GT1675M-S	GT1675M-STBA，GT1675M-STBD の略称
		GT1675M-V	GT1675M-VTBA，GT1675M-VTBD の略称
		GT1675-VN	GT1675-VNBA，GT1675-VNBD の略称
	GT1672	GT1672-VN	GT1672-VNBA，GT1672-VNBD の略称
	GT1665	GT1665M-S	GT1665M-STBA，GT1665M-STBD の略称
		GT1665M-V	GT1665M-VTBA，GT1665M-VTBD の略称
	GT1662	GT1662-VN	GT1662-VNBA，GT1662-VNBD の略称
	GT1655	GT1655-V	GT1655-VTBD の略称
	GT16		GT1695，GT1685，GT1675，GT1672，GT1665，GT1662，GT1655，GT16 ハンディの略称
	防爆形 GT16		GT1685M-STBA-EX-N，GT1685M-STBA-EX-N-IO，GT1685M-STBA-EX-N-R2，GT1685M-STBA-EX-N-R2IO，GT1685M-STBA-EX-N-BT，GT1685M-STBA-EX-N-BTIO，GT1685M-STBA-EX-N-BTR2 の略称
	GT1595	GT1595-X	GT1595-XTBA，GT1595-XTBD の略称
	GT1585	GT1585V-S	GT1585V-STBA，GT1585V-STBD の略称
		GT1585-S	GT1585-STBA，GT1585-STBD の略称
	GT157 □	GT1575V-S	GT1575V-STBA，GT1575V-STBD の略称
		GT1575-S	GT1575-STBA，GT1575-STBD の略称
		GT1575-V	GT1575-VTBA，GT1575-VTBD の略称
		GT1575-VN	GT1575-VNBA，GT1575-VNBD の略称
		GT1572-VN	GT1572-VNBA，GT1572-VNBD の略称
	GT156 □	GT1565-V	GT1565-VTBA，GT1565-VTBD の略称
		GT1562-VN	GT1562-VNBA，GT1562-VNBD の略称
	GT155 □	GT1555-V	GT1555-VTBD の略称
		GT1555-Q	GT1555-QTBD，GT1555-QSBD の略称
		GT1550-Q	GT1550-QLBD の略称
	GT15		GT1595，GT1585，GT157 □，GT156 □，GT155 □の略称
	GT145 □	GT1455-Q	GT1455-QTBDE，GT1455-QTBD の略称
		GT1450-Q	GT1450-QLBDE，GT1450-QLBD の略称
	GT14		GT1455-Q，GT1450-Q，GT14 ハンディの略称
	GT115 □	GT1155-Q	GT1155-QTBDQ，GT1155-QSBDQ，GT1155-QTBDA，GT1155-QSBDA，GT1155-QTBD，GT1155-QSBD の略称
		GT1150-Q	GT1150-QLBDQ，GT1150-QLBDA，GT1150-QLBD の略称
	GT11		GT115 □，GT11 ハンディの略称
	GT105 □	GT1055-Q	GT1055-QSBD の略称
		GT1050-Q	GT1050-QBBD の略称
	GT104 □	GT1045-Q	GT1045-QSBD の略称
		GT1040-Q	GT1040-QBBD の略称
	GT1030		GT1030-LBD，GT1030-LBD2，GT1030-LBL，GT1030-LBDW，GT1030-LBDW2，GT1030-LBLW，GT1030-LWD，GT1030-LWD2，GT1030-LWL，GT1030-LWDW，GT1030-LWDW2，GT1030-LWLW，GT1030-HBD，GT1030-HBD2，GT1030-HBL，GT1030-HBDW，GT1030-HBDW2，GT1030-HBLW，GT1030-HWD，GT1030-HWD2，GT1030-HWL，GT1030-HWDW，GT1030-HWDW2，GT1030-HWLW の略称
	GT1020		GT1020-LBD，GT1020-LBD2，GT1020-LBL，GT1020-LBDW，GT1020-LBDW2，GT1020-LBLW，GT1020-LWD，GT1020LWD2，GT1020-LWL，GT1020-LWDW，GT1020-LWDW2，GT1020-LWLW の略称
	GT10		GT105 □，GT104 □，GT1030，GT1020 の略称

<table>
<tr><th colspan="4">略称 / 総称</th><th>内容</th></tr>
<tr><td rowspan="6">GOT1000
シリーズ</td><td rowspan="5">ハンディ
GOT</td><td>GT16
ハンディ</td><td>GT1665HS-V</td><td>GT1665HS-VTBD の略称</td></tr>
<tr><td rowspan="2">GT14
ハンディ</td><td>GT1455HS-Q</td><td>GT1455HS-QTBDE の略称</td></tr>
<tr><td>GT1450HS-Q</td><td>GT1450HS-QMBDE の略称</td></tr>
<tr><td rowspan="2">GT11
ハンディ</td><td>GT1155HS-Q</td><td>GT1155HS-QSBD の略称</td></tr>
<tr><td>GT1150HS-Q</td><td>GT1150HS-QLBD の略称</td></tr>
<tr><td colspan="3">GT SoftGOT1000</td><td>GT SoftGOT1000 の略称</td></tr>
<tr><td colspan="4">GOT900 シリーズ</td><td>GOT-A900 シリーズ，GOT-F900 シリーズの略称</td></tr>
<tr><td colspan="4">GOT800 シリーズ</td><td>GOT-800 シリーズの略称</td></tr>
</table>

■ 通信ユニット

略称 / 総称	内容
バス接続ユニット	GT15-QBUS，GT15-QBUS2，GT15-ABUS，GT15-ABUS2，GT15-75QBUSL，GT15-75QBUS2L，GT15-75ABUSL，GT15-75ABUS2L
シリアル通信ユニット	GT15-RS2-9P，GT15-RS4-9S，GT15-RS4-TE
RS-422 変換ユニット	GT15-RS2T4-9P，GT15-RS2T4-25P
Ethernet 通信ユニット	GT15-J71E71-100
MELSECNET/H 通信ユニット	GT15-J71LP23－25，GT15-J71BR13
MELSECNET/10 通信ユニット	GT15-75J71LP23-Z[*1]，GT15-75J71BR13-Z[*2]
CC-Link IE コントローラネットワーク通信ユニット	GT15-J71GP23-SX
CC-Link IE フィールドネットワーク通信ユニット	GT15-J71GF13-T2
CC-Link 通信ユニット	GT15-J61BT13，GT15-75J61BT13-Z[*3]
CC-Link インタフェースユニット	GT11HS-CCL，GT11H-CCL
拡張インタフェース変換ユニット	GT15-75IF900
シリアルマルチドロップ接続ユニット	GT01-RS4-M
コネクタ変換アダプタ	GT10-9PT5S
RS-232/485 信号変換アダプタ	GT14-RS2T4-9P

*1　A9GT-QJ71LP23+GT15-75IF900 のセット品
*2　A9GT-QJ71BR13+GT15-75IF900 のセット品
*3　A8GT-J61BT13+GT15-75IF900 のセット品

■ オプションユニット

<table>
<tr><th colspan="2">略称 / 総称</th><th>内容</th></tr>
<tr><td colspan="2">プリンタユニット</td><td>GT15-PRN</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ビデオ /RGB ユニット</td><td>ビデオ入力ユニット</td><td>GT16M-V4，GT15V-75V4</td></tr>
<tr><td>RGB 入力ユニット</td><td>GT16M-R2，GT15V-75R1</td></tr>
<tr><td>ビデオ /RGB 入力ユニット</td><td>GT16M-V4R1，GT15V-75V4R1</td></tr>
<tr><td>RGB 出力ユニット</td><td>GT16M-ROUT，GT15V-75ROUT</td></tr>
<tr><td colspan="2">マルチメディアユニット</td><td>GT16M-MMR</td></tr>
<tr><td colspan="2">CF カードユニット</td><td>GT15-CFCD</td></tr>
<tr><td colspan="2">CF カード延長ユニット[*1]</td><td>GT15-CFEX-C08SET</td></tr>
<tr><td colspan="2">外部入出力ユニット</td><td>GT15-DIO，GT15-DIOR</td></tr>
<tr><td colspan="2">音声出力ユニット</td><td>GT15-SOUT</td></tr>
</table>

*1　GT15-CFEX+GT15-CFEXIF+GT15-C08CF のセット品

■ オプション

略称 / 総称		内容	
メモリカード	CF カード	GT05-MEM-16MC，GT05-MEM-32MC，GT05-MEM-64MC，GT05-MEM-128MC，GT05-MEM-256MC，GT05-MEM-512MC，GT05-MEM-1GC，GT05-MEM-2GC，GT05-MEM-4GC，GT05-MEM-8GC，GT05-MEM-16GC	
	SD カード	L1MEM-2GBSD，L1MEM-4GBSD	
メモリカードアダプタ		GT05-MEM-ADPC	
オプション機能ボード		GT16-MESB，GT15-FNB，GT15-QFNB，GT15-QFNB16M，GT15-QFNB32M，GT15-QFNB48M，GT11-50FNB，GT15-MESB48M	
バッテリ		GT15-BAT，GT11-50BAT	
保護シート		GT16 用	GT16-90PSCB，GT16-90PSGB，GT16-90PSCW，GT16-90PSGW，GT16-80PSCB，GT16-80PSGB，GT16-80PSCW，GT16-80PSGW，GT16-70PSCB，GT16-70PSGB，GT16-70PSCW，GT16-70PSGW，GT16-60PSCB，GT16-60PSGB，GT16-60PSCW，GT16-60PSGW，GT16-50PSCB，GT16-50PSGB，GT16-50PSCW，GT16-50PSGW，GT16-90PSCB-012，GT16-80PSCB-012，GT16-70PSCB-012，GT16-60PSCB-012，GT16-50PSCB-012，GT16H-60PSC
		GT15 用	GT15-90PSCB，GT15-90PSGB，GT15-90PSCW，GT15-90PSGW，GT15-80PSCB，GT15-80PSGB，GT15-80PSCW，GT15-80PSGW，GT15-70PSCB，GT15-70PSGB，GT15-70PSCW，GT15-70PSGW，GT15-60PSCB，GT15-60PSGB，GT15-60PSCW，GT15-60PSGW，GT15-50PSCB，GT15-50PSGB，GT15-50PSCW，GT15-50PSGW
		GT14 用	GT14-50PSCB，GT14-50PSGB，GT14-50PSCW，GT14-50PSGW，GT14H-50PSC
		GT11 用	GT11-50PSCB，GT11-50PSGB，GT11-50PSCW，GT11-50PSGW，GT11H-50PSC
		GT10 用	GT10-50PSCB，GT10-50PSGB，GT10-50PSCW，GT10-50PSGW，GT10-40PSCB，GT10-40PSGB，GT10-40PSCW，GT10-40PSGW，GT10-30PSCB，GT10-30PSGB，GT10-30PSCW，GT10-30PSGW，GT10-20PSCB，GT10-20PSGB，GT10-20PSCW，GT10-20PSGW
耐油カバー		GT05-90PCO，GT05-80PCO，GT05-70PCO，GT05-60PCO，GT05-50PCO，GT16-50PCO，GT10-40PCO，GT10-30PCO，GT10-20PCO	
USB 耐環境カバー		GT16-UCOV，GT16-50UCOV，GT15-UCOV，GT14-50UCOV，GT11-50UCOV	
スタンド		GT15-90STAND，GT15-80STAND，GT15-70STAND，A9GT-50STAND，GT05-50STAND	
アタッチメント		GT15-70ATT-98，GT15-70ATT-87，GT15-60ATT-97，GT15-60ATT-96，GT15-60ATT-87，GT15-60ATT-77，GT15-50ATT-95W，GT15-50ATT-85	
バックライト		GT16-90XLTT，GT16-80SLTT，GT16-70SLTT，GT16-70VLTT，GT16-70VLTTA，GT16-70VLTN，GT16-60SLTT，GT16-60VLTT，GT16-60VLTN，GT15-90XLTT，GT15-80SLTT，GT15-70SLTT，GT15-70VLTT，GT15-70VLTN，GT15-60VLTT，GT15-60VLTN	
多色表示ボード		GT15-XHNB，GT15-VHNB	
コネクタ変換ボックス		GT11H-CNB-37S，GT16H-CNB-42S	
非常停止スイッチガードカバー		GT11H-50ESCOV，GT14H-50ESCOV，GT16H-60ESCOV	
メモリローダ		GT10-LDR	
メモリボード		GT10-50FMB	
拡張 USB 防水ケーブル		GT14-C10EXUSB-4S，GT10-C10EXUSB-5S	

■ ソフトウェア

略称 / 総称	内容
GT Works3	SW □ DNC-GTWK3-J，SW □ DNC-GTWK3-JV，SW □ DNC-GTWK3-JA の略称
GT Designer3	GOT1000 シリーズ用画面作成ソフト GT Designer3 の略称
GT Simulator3	GOT1000/GOT900 シリーズ用スクリーンシミュレータ GT Simulator3 の略称
GT SoftGOT1000	モニタリングソフト GT SoftGOT1000 の略称
GT Converter2	GOT1000/GOT900 シリーズ用データ変換ソフト GT Converter2 の略称
GT Designer2 Classic	GOT900 シリーズ用画面作成ソフト GT Designer2 Classic の略称
GT Designer2	GOT1000/GOT900 シリーズ用画面作成ソフト GT Designer2 の略称
iQ Works	iQ Platform 対応エンジニアリング環境 MELSOFT iQ Works の略称
MELSOFT Navigator	SW □ DNC-IQWK（iQ Platform 対応エンジニアリング環境 MELSOFT iQ Works）の中の統合開発環境の総称
GX Works2	SW □ DNC-GXW2-J(-JA，-JAZ) 形シーケンサエンジニアリングソフトウェアの略称
GX Simulator2	GX Works2 のシミュレーション機能の略称
GX Simulator	SW □ D5C-LLT-J(-JV) 形ラダーロジックテストツール機能ソフトウェアパッケージの略称 (SW5D5C-LLT(-V) 以降)
GX Developer	SW □ D5C-GPPW-J(-JV)/SW □ D5F-GPPW(-V) 形ソフトウェアパッケージの略称
GX LogViewer	SW □ DNN-VIEWER-J 形ソフトウェアパッケージの略称
PX Developer	SW □ D5C-FBDQ-J 形計装制御用 FBD ソフトウェアパッケージの略称
MT Works2	モーションコントローラエンジニアリング環境 MELSOFT MT Works2(SW □ DNC-MTW2-J) の略称
MT Developer	SW □ RNC-GSV 形モーションコントローラ Q シリーズ用総合立上げ支援ソフトウェアの略称
MR Configurator2	SW □ DNC-MRC2-J 形サーボセットアップソフトウェアの略称
MR Configurator	MRZJW □ -SETUP 形サーボセットアップソフトウェアの略称
FR Configurator	インバータセットアップソフトウェア (FR-SW □ -SETUP-WJ) の略称
NC Configurator	CNC パラメータ設定支援ツール NC Configurator の略称
FX Configurator-FP	FX3U-20SSC-H パラメータ設定・モニタ / テスト用ソフトウェアパッケージ (SW □ D5C-FXSSCJ) の略称
FX3U-ENET-L 設定ツール	FX3U-ENET-L 形 Ethernet ユニット設定用ソフトウェア (SW1D5-FXENETL-J) の略称
RT ToolBox2	ロボットプログラム作成用ソフトウェア (3D-11C-WINJ) の略称
MX Component	MX Component Version □ (SW □ D5C-ACT-J，SW □ D5C-ACT-JA) の略称
MX Sheet	MX Sheet Version □ (SW □ D5C-SHEET-J，SW □ D5C-SHEET-JA) の略称
QnUDVCPU・LCPU ロギング設定ツール	QnUDVCPU・LCPU ロギング設定ツール (SW1DNN-LLUTL-J) の略称

■ ライセンスキー (GT SoftGOT1000 用)

略称 / 総称	内容
ライセンスキー	GT15-SGTKEY-U，GT15-SGTKEY-P

■ その他

略称 / 総称	内容
アイエイアイ社	株式会社アイエイアイの略称
アズビル社	アズビル株式会社 (旧株式会社山武) の略称
オムロン社	オムロン株式会社の略称
キーエンス社	株式会社キーエンスの略称
光洋電子工業社	光洋電子工業株式会社の略称
シャープマニファクチャリングシステム社	シャープマニファクチャリングシステム株式会社の略称
ジェイテクト社	株式会社 ジェイテクトの略称
神港テクノス社	神港テクノス株式会社の略称
チノー社	株式会社チノーの略称
東芝社	株式会社 東芝の略称
東芝機械社	東芝機械株式会社の略称
日立産機システム社	株式会社 日立産機システムの略称
日立製作所社	株式会社 日立製作所の略称
富士電機社	富士電機株式会社の略称
パナソニック社	パナソニック株式会社の略称
パナソニックデバイス SUNX 社	パナソニックデバイス SUNX 株式会社の略称
安川電機社	株式会社安川電機の略称
横河電機社	横河電機株式会社の略称
ALLEN-BRADLEY	Allen-Bradley(Rockwell Automation, Inc) の略称
GE 社	GE Intelligent Platforms の略称
LS 産電社	LS 産電株式会社の略称
SCHNEIDER ELECTRIC 社	Schneider Electric SA の略称
SICK 社	SICK AG の略称
SIEMENS 社	Siemens AG の略称
理化工業社	理化工業株式会社の略称
平田機工社	平田機工株式会社の略称
MURATEC	Muratec(ムラテックオートメーション株式会社) の略称
シーケンサ	各社シーケンサの総称
制御機器	各社制御機器の総称
温度調節器	各社温度調節器の総称
指示調節計	各社指示調節計の総称
調節計	各社調節計の総称
パソコン CPU ユニット	株式会社コンテック製パソコン CPU ユニットの略称
GOT(サーバ)	サーバ機能を使用する GOT の略称
GOT(クライアント)	クライアント機能を使用する GOT の略称
Windows® フォント	Windows® で使用できる TrueType フォント (GT Designer3 で設定できる TrueType フォントとは異なる), OpenType フォントの略称
インテリジェント機能ユニット	ベースユニットに装着される, シーケンサ CPU, 電源ユニット, 入出力ユニット以外のユニット
MODBUS®/RTU	シリアル通信で, MODBUS® プロトコルの伝文を使用するためのプロトコルの総称
MODBUS®/TCP	TCP/IP ネットワーク上で, MODBUS® プロトコルの伝文を使用するためのプロトコルの総称

作画ソフトウェアのバージョンについて

本マニュアルでは，下記バージョンの作画ソフトウェアの機能について説明しています。
- GT Designer3 Version1.108N
- GT Designer2 Version2.113T 以降

GT Designer2，または上記より古いバージョンの GT Designer3 を使用した場合，一部の機能が対応していません。
そのため，表示される画面や設定項目などが本マニュアルと異なる場合があります。

GT Designer2 の製品のバージョンアップに伴う追加機能については，下記を参照してください。

☞ GT Designer2 Version2 画面設計マニュアル

GT Works3 の製品のバージョンアップに伴う追加機能については，下記を参照してください。

三菱電機 FA サイト

http://www.mitsubishielectric.co.jp/fa/

マニュアルの読み方

本マニュアルで使用している記号について説明します。

■ メモリチェック操作

メモリのライト / リードチェックを行います。

POINT

ドライブが表示されない場合

チェックするドライブ (メモリ) が表示されない場合は下記を参照し，装着要領やメモリ種類の確認を行ってください。

☞ (ハードウェア詳細編) 8.3.2 ■CF カード
(ハードウェア詳細編) 8.5.2 ■USB 周辺機器
4.3.7 USB デバイス状態表示

装着などに問題がない場合，メモリの故障が考えられます。
CF カード /USB メモリの交換または内蔵フラッシュメモリ (C ドライブ) の交換を実施してください。
内蔵フラッシュメモリは，最寄りの三菱電機システムサービス（株）までお問い合わせください。

内蔵フラッシュメモリ (C ドライブ) の場合を例に説明します。
標準 CF カード (A ドライブ)，拡張メモリカード (B ドライブ) のチェック時は，はじめに CF カードを装着した後，USB ドライブ (E ドライブ) のチェック時は，はじめに USB メモリを装着した後，内蔵フラッシュメモリの場合と同様のキー操作を行ってください。

1. メモリチェックの設定画面にて内蔵フラッシュメモリを選択してください。
   OK ボタンを選択するとテンキーウィンドウが表示されます。
   Cancel ボタンを選択すると初期のメニューに戻ります。

内蔵ﾌﾗｯｼｭﾒﾓﾘｴﾘｱ ﾗｲﾄ/ﾘｰﾄﾞﾁｪｯｸ
実行しますか？
O K　Cancel

2. パスワード (5 9 2 0) をタッチし，Enter キーをタッチしてください。
   Enter キーをタッチすると内蔵フラッシュメモリのライト／リードチェックが実行され，約 10 秒で終了します。

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを入力してください。

5. 自己診断　5 - 5
5.1 各種診断機能

POINT：知っておく必要のある内容を記載しています。

HINT：知っておくと便利な内容を記載しています。

関連した内容の記載箇所を表します。
(ハードウェア詳細編)：
GT16本体取扱説明書(ハードウェア詳細編)
(基本ユーティリティ編)：
GT16本体取扱説明書(基本ユーティリティ編)

操作の手順を表します。
1. から順番に行ってください。

[ ]：ソフトウェアやGOTの画面上に表示される設定項目を表します。

□：ソフトウェア,GOTのユーティリティのボタンやパソコンのキーボード

* 上記は説明のために作成したページのため , 実際のページとは異なります。

同梱部品

ご購入いただいたGOTの梱包箱を開梱後，下記製品が入っていることを確認してください。

形名	品名	個数
GT1695M-X	GOT	1
	バッテリ	1
	取付け金具	8
	GT16本体概要説明書	1
GT1685M-S GT1675M-S GT1675M-V GT1675-VN GT1672-VN GT1665M-S GT1665M-V GT1662-VN	GOT	1
	バッテリ	1
	取付け金具	4
	GT16本体概要説明書	1
GT1655-V	GOT	1
	バッテリ	1
	取付け金具	4
	GT16本体概要説明書	1

1.　ユーティリティ機能

ユーティリティは，GOT と接続機器との接続，画面表示の設定，操作方法の設定，プログラム / データ管理，自己診断などを行うための機能です。

ユーティリティ機能一覧に関しては，下記を参照してください。

☞ 1.2 ユーティリティ機能一覧

1.1　ユーティリティの実行について

ユーティリティを実行するためには，BootOS，基本機能 OS を C ドライブ (内蔵フラッシュメモリ) にインストールしてユーティリティを表示させる必要があります。

BootOS，基本機能 OS のインストール方法には，以下の 3 通りがあります。

*1　BootOS，基本機能 OS をインストールする場合は，あらかじめ GOT に基本機能 OS がインストールされている必要があります。

GT Designer3 または GT Designer2 を使用したインストールに関しては，下記を参照してください。

☞ ・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
・GT Designer2 Version □ 基本操作・データ転送マニュアル

GOT を使用したインストールに関しては，下記を参照してください。

☞ 7. CoreOS，BootOS，基本機能 OS のインストール

1.2 ユーティリティ機能一覧

ユーティリティの各画面で設定・操作できる内容は下記のとおりです。
なお，GT Designer2，または古いバージョンの GT Designer3 を使用した場合，表示される画面や設定項目などが本マニュアルと異なる場合があります。

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目			機能概要	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応	参照先
本体機能設定	GOT 本体機能設定	時間に関する設定	時計の現在時刻を表示 / 設定	○	○	2.1.1
		トランスペアレントモードの設定	FA トランスペアレント機能使用時の，通信対象のチャンネル No. の設定	○	○	2.1.2
		画面掃除	表示部を掃除するための画面を表示	○	○	2.1.3
		ビデオ・RGB の設定	ビデオ・RGB 入出力ユニットの設定を行う画面を表示	○	○	2.1.4
		マルチメディアの設定	マルチメディアの設定を行う画面を表示	△*1	○	2.1.5
		ライセンス管理	ライセンス登録，解除を行う画面を表示	×	○	2.1.6
		IP 重複時の動作設定	GOT と同じ IP アドレスの機器が，後からネットワークに参加してきた場合の，GOT の動作を設定	×	○	2.1.7
	表示に関する設定		メッセージ言語切換え	○	○	2.2
			タイトル表示時間 / スクリーンセーブ時間の設定	○	○	
			スクリーンセーブ時バックライト ON/OFF の設定	○	○	
			バッテリ低下アラーム出力 ON/OFF の設定	○	○	
			人感センサの検出感度 / 監視時間の設定	○	○	
			輝度・コントラストの調整	○	○	2.2.4
	操作に関する設定		ブザー音 / ウィンドウ移動時のブザー音の設定	○	○	2.3
			キー感度 / 反応速度の設定	○	○	
			タッチ検出モードの設定	○	○	
			セキュリティレベルの変更	○	○	2.3.4
			ユーティリティ呼び出しキーの設定	○	○	2.3.5
			タッチパネルの調整	○	○	2.3.6
			USB マウス / キーボードの設定	×	○	2.3.7
			SoftGOT-GOT リンク機能の設定	×	○	2.3.8
			VNC® サーバ機能の設定	×	○	2.3.9
	GOT メンテナンス機能	メンテナンス時期通知	バックライト / 表示部のメンテナンス通知時間の設定，タッチキー / 内蔵フラッシュメモリのメンテナンス通知回数の設定	○	○	2.4.1
		積算値リセット	メンテナンス時期通知のために積算していた時間 / 回数をリセット	○	○	2.4.2
		GOT 起動時間	GOT を起動した日時，現在時刻，現在までの運転時間の表示	○	○	2.4.3
		GOT 情報	GOT の情報の表示	×	○	2.4.4

（次のページへつづく）

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目			機能概要	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応	参照先
接続機器設定	接続機器設定	接続機器設定	通信インタフェースへのチャンネル番号設定と通信ドライバの割付	○	○	3.1
			通信パラメータの設定，シーケンスプログラム保護用キーワード設定 / 削除 / 保護状態解除（FXCPU 接続時）	○	○	3.2
		Ethernet 設定	Ethernet 設定の設定内容の表示，自局の変更	×	○	3.3
保全機能	各種モニタ 1	システムモニタ	システムモニタの起動	○	○	4.1
		回路モニタ	回路モニタの起動	○	○	
		ネットワークモニタ	ネットワークモニタの起動	○	○	
		インテリジェントユニットモニタ	インテリジェントユニットモニタの起動	○	○	
		サーボアンプモニタ	サーボアンプモニタの起動	○	○	
		モーションモニタ	モーションモニタの起動	○	○	
		CNC モニタ	CNC モニタの起動	○	○	
		FX リスト編集	FX リスト編集の起動	○	○	
		A リスト編集	A リスト編集の起動	○	○	
		SFC モニタ	SFC モニタの起動	○	○	
		ラダー編集	ラダー編集の起動	○	○	
		MELSEC-L トラブルシュート	MELSEC-L トラブルシュートの起動	×	○	
		モーション SFC モニタ	モーション SFC モニタの起動	×	○	
		ログビューア	ログビューアの起動	×	○	
	各種モニタ 2	モーションプログラム（SV43）編集	モーションプログラム（SV43）編集の起動	×	○	
		CNC 加工プログラム編集	CNC 加工プログラム編集の起動	×	○	
	保全機能設定	Q/L/QnA 回路モニタの設定	MELSEC-Q/L/QnA 回路モニタ機能用のデータ保持先設定	△ *1	○	4.2.1
		バックアップ / リストア設定	バックアップやバックアップ設定の保存先の設定，バックアップデータ最大件数の設定，バックアップ号機指定する / しないの設定	△ *1	○	4.2.2
			トリガバックアップの設定	○	○	4.2.3
	メモリ・データ管理	バックアップ / リストア機能	バックアップ / リストア機能の実行	○	○	4.3.2
		GOT データ一括取得	OS，特殊データ，プロジェクトデータを CF カード /USB メモリへコピー	○	○	4.3.3
		CNC データ入出力	CNC データ入出力の起動	○	○	4.3.4
		メモリカードフォーマット	CF カード /USB メモリのフォーマット	○	○	4.3.5
		メモリ情報	GOT のメモリ空き容量の表示	○	○	4.3.6
		USB デバイス状態表示	USB デバイスの状態表示	○	○	4.3.7

（次のページへつづく）

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目			機能概要	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応	参照先
保全機能	メモリ・データ管理	SRAM 管理	SRAM ユーザ領域の使用状況の確認，バックアップ，リストア，初期化	×	○	4.3.8
		モーションプログラム (SV43) 入出力	モーションプログラム (SV43) 入出力の起動	×	○	4.3.9
自己診断	各種診断機能	システムアラーム	システムアラームの表示	○	○	5.1.2
		メモリチェック	CF カード /USB メモリ，内蔵フラッシュメモリのライト / リードチェック	○	○	5.1.3
		描画チェック	描画のチェック	○	○	5.1.4
		フォントチェック	フォントのチェック	○	○	5.1.5
		タッチパネルチェック	タッチパネルのチェック	○	○	5.1.6
		I/O チェック	RS-232 インタフェースの入出力チェック	○	○	5.1.7
		ネットワーク状態表示	ネットワークユニットの状態表示	△[*1]	○	5.1.8
		Ethernet 状態チェック	Ethernet の接続状態チェック	×	○	5.1.9
	一括自己診断機能		各種診断を一括診断，診断結果を CF カード / USB メモリへコピー	△[*1]	○	5.2
データ管理	各種データ管理	アラーム情報	アラームログファイルの削除 / コピー	○	○	6.2.1
			アラームログファイルの G1A → CSV/TXT 変換	○	○	
			アラームログファイルのグラフ表示	○	○	
		拡張レシピ情報	拡張レシピファイルの G1P → CSV/TXT 変換，拡張レシピファイルの削除 / コピー / 移動 / 新規作成，拡張レシピフォルダの削除 / 移動 / 名称変更 / 新規作成，拡張レシピレコード一覧によるレコード値の書込み / 読出し / 照合，デバイス値の削除	△[*1]	○	6.2.2
		ロギング情報	ロギングファイルの G1L → CSV/TXT 変換	○	○	6.2.3
			ロギングファイルの削除 / コピー / 移動 / 名称変更，ロギングフォルダの削除 / 新規作成	○	○	
		操作ログ情報	操作ログファイルの G1O → CSV/TXT 変換	○	○	6.2.4
			操作ログファイルの削除 / コピー / 移動 / 名称変更，操作ログフォルダの削除 / 新規作成	○	○	
		ハードコピー情報	ハードコピーファイルの削除 / コピー / 名称変更	○	○	6.2.5
		特殊データ情報	特殊データファイルの削除 / チェック，特殊データフォルダの削除，CF カード /USB メモリの特殊データを，C ドライブ (内蔵フラッシュメモリ) にダウンロード	○	○	6.2.6

(次のページへつづく)

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目			機能概要	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応	参照先
データ管理	OS・プロジェクト情報	オペレータ情報管理	オペレータ情報の追加 / 編集 / 削除 / インポート / エクスポート，パスワードの変更，自動ログアウト時間，パスワード有効期限，外部認証用 ID の設定	○	○	6.2.7
		指紋認証情報	指紋認証情報の追加 / 削除	○	○	6.2.8
		OS 情報	OS のインストール / アップロード / プロパティ表示 / データチェック	○	○	6.3.1
		プロジェクト情報	プロジェクトファイルのダウンロード / アップロード / 削除 / コピー / プロパティ表示 / データチェック	○	○	6.3.2

*1　下記の機能には対応していません。

項目	非対応の機能
マルチメディアの設定	長時間録画保存設定
Q/L/QnA 回路モニタの設定	コメント表示設定 , 複数回路データ保存設定
バックアップ / リストア設定	号機指定を有効にする
ネットワーク状態表示	CC-Link IE フィールドネットワーク通信ユニットのモニタ
一括自己診断機能	電源投入時刻履歴
拡張レシピ情報	CSV，TXT → G1P 変換

1.3　ユーティリティの表示

各種ユーティリティの設定画面を表示するためには，まずメインメニューを表示させる必要があります。

(1)　**メインメニュー**
ユーティリティで設定できるメニュー項目が表示されます。
各メニュー項目部をタッチすると，それぞれの設定画面，または次の項目選択画面を表示します。
本マニュアルでは，特に違いがある場合を除いて，主に GT1685M-S の仕様で説明しています。

(2)　**システムメッセージ切換えボタン**
ユーティリティ上の言語やシステムアラームの言語を切り換えるボタンです。
[Language] ボタンをタッチすると Select Language 画面が表示されます。

1. 表示する言語のボタンをタッチしてください。
2. [OK] ボタンをタッチすると GOT は再起動し，ユーティリティ上の言語が，選択した言語に切り換わります。
[Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，メインメニューに戻ります。

POINT

GOT 起動時に言語が選択されていない場合，または選択されている言語と GOT にインストールされているフォントに不整合が生じた場合

下記画面が表示されます。

表示させたい言語のボタンをタッチすると，GOT が再起動し，選択した言語に切り換わります。

Select Language.
日本語
English
中文(简体)
中文(繁體)
한국어
Deutsch

HINT

(1) **選択できる言語**

システムメッセージ切換えボタンは，選択できる言語のみ表示されます。
選択できる言語は，GOT にインストールされているフォントにより異なります。
選択できる言語とフォントの関係については，下記を参照してください。

☞ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編) 2.5 設定できる文字の仕様
GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル 2.3 設定できる文字の仕様

(2) **デバイスを使用したシステム言語切り換え**

GT Designer3 で設定したシステム言語切り換えデバイスを使用して，システム言語を切換えできます。
システム言語切り換えデバイスの設定方法は，下記を参照してください。

☞ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編) 4.3 言語切り換えデバイスを設定する (GOT 環境設定 : 言語切り換え)

1.3.1 メインメニューの表示操作

メインメニューは，下記 3 通りの操作で表示できます。
(いずれも GT Designer3，GT Designer2 から基本機能 OS を GOT の内蔵フラッシュメモリへインストール後に行ってください。)

(1) **プロジェクトデータ未ダウンロード時**

GOT の電源を ON すると，タイトル表示後，自動的にメインメニューが表示されます。

GOTの電源ON → メインメニュー

(2) ユーティリティ呼び出しキータッチ時

ユーザ作成画面を表示中，ユーティリティ呼び出しキーをタッチするとメインメニューが表示されます。
工場出荷時のユーティリティ呼び出しキーの位置は GOT の画面左上隅です。

ユーティリティ呼び出しキー
左上隅1点タッチ

メインメニュー

ユーティリティ呼び出しキーは，GOT のユーティリティ，GT Designer3 または GT Designer2 により設定できます。
ユーティリティ呼び出しキーの設定方法は，下記を参照してください。

・2.3.5 ユーティリティ呼び出しキーの設定
・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
4.9 GOT の表示や動作を設定する (GOT 環境設定 :GOT セットアップ)
・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル
3.8 GOT の表示や動作を設定する (GOT セットアップ)

POINT

(1) 2 点以上の同時押し禁止

GOT の画面を 2 点以上同時にタッチしないでください。同時にタッチすると，タッチした部分以外が反応する場合があります。

(2) ユーティリティ呼び出しキーを 1 点に設定した場合

ユーティリティ呼び出しキーの設定画面で [押下時間] を 0 秒以外に設定した場合，[押下時間] 以上タッチパネルを押し続けたあとに，タッチパネルから指を離してください。
ユーティリティ呼び出しキーの設定については，下記を参照してください。

2.3.5 ユーティリティ呼び出しキーの設定

(3) 拡張機能スイッチ (ユーティリティ) タッチ時

ユーザ作成画面を表示中，拡張機能スイッチ (ユーティリティ) をタッチすると，メインメニューが表示されます。
拡張機能スイッチ (ユーティリティ) は，GT Designer3，GT Designer2 によりユーザ作成画面中に表示するタッチスイッチとして設定できます。

メインメニュー

拡張機能スイッチ
(ユーティリティ)

拡張機能スイッチの設定に関する詳細は，下記を参照してください。

GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編) 2.7 拡張機能スイッチの設定
GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル 6.2.5 拡張機能スイッチの設定項目

HINT

ユーティリティの表示をパスワードでロックする

GT Designer3，GT Designer2 で GOT にパスワード設定した場合，ユーティリティのメインメニューを表示しようとすると，パスワード入力が表示されます。
(GT Designer3 のパスワード設定は，共通の設定メニューの中に，GT Designer2 のパスワード設定は，共通設定メニューの中にあります。)

パスワードが不一致の場合は，エラーメッセージを表示します。

〔OK〕ボタンをタッチするとモニタ画面に戻ります。

(1)　パスワードの入力操作

1. 〔0〕～〔9〕，〔A〕～〔F〕キーをタッチして，パスワードを入力してください。
2. パスワード入力後，〔Enter〕キーをタッチして，パスワードを確定してください。
3. 入力した文字を修正するときは，〔Del〕キーをタッチして修正する文字を削除して，新しい文字を再入力してください。

(2)　パスワード入力を中断する操作

〔×〕ボタンをタッチすると，モニタ画面に戻ります。

パスワード設定に関する詳細は，下記を参照してください。

☞ · GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
· GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル

1.3.2　ユーティリティの基本構成

ユーティリティの基本構成は以下のとおりです。

タイトル表示　閉じる/元へ戻るボタン　スクロールボタン　画面

(1)　**タイトル表示**

タイトル表示部にはその画面のタイトル名が表示されます。
画面は複数階層で構成されているため，その階層も含めたタイトル表示を行います。

本体機能設定:操作に関する設定　タイトル表示

本体機能設定:操作に関する設定:ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ呼び出しｷｰ　タイトル表示

(2)　**閉じる / 元へ戻るボタン**

階層の途中の画面が表示されているときに，画面右上隅にある［×］(閉じる / 元へ戻る) ボタンをタッチすると，１つ前の階層の画面へ戻ります。
モニタ画面から直接表示されたときに，このボタンをタッチすると画面を閉じ，モニタ画面へ戻ります。

(3)　**スクロールボタン**

画面 1 枚に収まりきらない内容をもつ画面には右，または下にスクロールボタンがあります。
▲/▼/◀/▶キーで 1 行あるいは 1 列分スクロールします。
⏫/⏬/⏪/⏩キーで 1 画面分スクロールします。

1.3.3　設定変更の基本操作

■ 設定値の変更

閉じる/元へ戻るボタン

設定項目

選択ボタン

例 :[操作に関する設定]画面

(1)　設定項目，選択ボタン

選択ボタンをタッチすることで，設定を変更できます。
設定項目により，設定方法は異なります。
設定方法には，下記のような種類があります。

(a) 設定値を切り換える

タッチすると，あり ⇄ なし のように，設定値を切換えできます。

(b) キーボードで設定値を入力する

タッチすると，GOT の画面上にキーボードが表示されます。
キーボードの操作方法は，下記を参照してください。

☞ ■ キーボードの操作

(c) 別の設定画面に移行する

タッチすると，別の設定画面に移行します。

各設定項目の設定方法は，各設定画面の設定操作を参照してください。

(2)　[OK] ボタン，[Cancel] ボタン，[×](閉じる / 元へ戻る) ボタン

変更した設定の反映や，破棄を行います。

- [OK] ボタン
  タッチすると，変更した設定が反映され，前の画面に戻ります。
  設定項目によっては，GOT が再起動します。
- [Cancel] ボタン
  タッチすると，設定内容が破棄され，前の画面に戻ります。
- [×](閉じる / 元へ戻る) ボタン
  タッチすると，下記のダイアログボックスが表示されます。(変更した設定がない場合は表示されません)
  ダイアログボックスのメッセージに従って操作してください。

設定が変更されています。
変更内容を破棄してよろしいですか?

O K　Cancel

■ キーボードの操作

1. 変更する数値をタッチしてください。

2. 数値入力用のキーボードが表示され，同時にカーソルが表示されます。
キーボードはタッチされた数値の位置により表示される位置が変化します。
(数値入力の際，邪魔にならない位置に表示されます)。

カーソル

キーボード

3. キーボードにより数値を入力してください
   - [0] ～ [9] キー : 数値を入力します。
   - [Enter] キー : 数値の入力を完了し，キーボードを閉じます。
   - [Cancel] キー : 数値の入力を中断し，キーボードを閉じます。
   - ◀/▶キー : カーソルを左右に移動します。(入力可能な項目が左右にある場合のみ移動できます。)
   - [Del] キー : 1 文字取り消します。
   - [*] キーおよび記載のないキーは機能しません。

4. [Enter] キーをタッチすると入力を完了し，キーボードを閉じます。

2.　表示と操作の設定(本体機能設定)

GOT ユーティリティ画面から表示に関する設定画面や操作に関する設定画面を表示できます。
表示に関する設定画面や操作に関する設定画面では下記の設定ができます。

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応	参照先
時間に関する設定	時計管理，時計表示，本体内蔵バッテリ電圧状態	○	○	2.1.1
トランスペアレントモードの設定	チャンネル No.	○	○	2.1.2
画面掃除	表示部掃除	○	○	2.1.3
ビデオ・RGB の設定	ビデオ接続機器，ビデオ表示，RGB 表示	○	○	2.1.4
マルチメディアの設定	マルチメディア接続機器，ビデオ表示，長時間録画保存設定	△*1	○	2.1.5
ライセンス管理	ライセンスの登録 / 解除	×	○	2.1.6
IP 重複時の動作設定	GOT と同じ IP アドレスの機器が，後からネットワークに参加してきた場合の，GOT の動作	×	○	2.1.7
表示に関する設定	メッセージ表示，タイトル表示時間，スクリーンセーブ時間，スクリーンセーブバックライト，バッテリ低下アラーム出力，人感センサ検出感度，人感センサ監視時間	○	○	2.2.1
	輝度・コントラストの調整	○	○	2.2.4
操作に関する設定	ブザー音，ウィンドウ移動時ブザー音，キー感度，キー反応速度，タッチ検出モード	○	○	2.3.1
	セキュリティ設定	○	○	2.3.4
	ユーティリティ呼び出キー	○	○	2.3.5
	タッチパネル調整	○	○	2.3.6
	USB マウス / キーボード設定	×	○	2.3.7
	SoftGOT-GOT リンク機能設定	×	○	2.3.8
	VNC® サーバ機能設定	×	○	2.3.9
GOT メンテナンス機能	メンテナンス時期通知	○	○	2.4.1
	積算値リセット	○	○	2.4.2
	GOT 起動時間	○	○	2.4.3
	GOT 情報	×	○	2.4.4

*1　下記の機能には対応していません。
- 長時間録画保存設定

2.1　GOT 本体機能設定

2.1.1　時間に関する設定

■ 時間に関する設定機能

時間に関する設定と GOT 内蔵バッテリの状態表示ができます。

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

機能	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応	参照先
時計管理	GOT の時計データと GOT と接続した接続機器の時計データとで，時刻を合わせる方法を設定します。	○	○	(1) 時計管理
時計表示	GOT の時計データの表示および設定を行います。	○	○	(2) 時計表示
本体内蔵バッテリ電圧状態	本体内蔵バッテリの電圧状態が表示されます。	○	○	(3) 本体内蔵バッテリ電圧状態

POINT

時刻の変更について

時間の表示と設定で時刻を変更した場合，時刻合わせ，時刻通知に関係なく，変更した時刻をシーケンサに書き込みます。
そのため，時刻合わせ使用時でも，GOT でシーケンサの時刻の変更ができます。
(この場合，GT Designer3 の [GOT セットアップ](時計設定) または GT Designer2 の [システム環境](時間設定) で，[GOT の時計データを外部機器の時計データに合わせる (時刻合わせ)] の [基準 CH No.] に設定した CH No. の接続機器に対して時計データを変更します。)
時刻合わせ，時刻通知の詳細については，下記のマニュアルを参照してください。

・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル

■ 時間に関する設定の表示操作

■ 時間に関する設定操作

(1) 時計管理

GOT の時計データと GOT と接続した接続機器の時間データとで，時刻を合わせる方法を設定します。

設定	内容
時刻合わせ	GOT の時計データを接続機器の時計データに合わせます。 GT Designer3 の環境設定または GT Designer2 のシステム環境の GOT セットアップで設定した場合と同じです。 ・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編) 4.9.2 GOT と接続機器で使用する時計データを合わせる方法 ・GT Designer2 Version □画面設計マニュアル 2.5 時計機能について
時刻通知	接続機器の時計データを GOT の時計データに合わせます。 GT Designer3 の環境設定または GT Designer2 のシステム環境の GOT セットアップで設定した場合と同じです。 ・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編) 4.9.2 GOT と接続機器で使用する時計データを合わせる方法 ・GT Designer2 Version □画面設計マニュアル 2.5 時計機能について
時刻合わせ / 時刻通知	接続機器の時計データに，GOT と他の接続機器の時計データを合わせます。 GT Designer3 の環境設定または GT Designer2 のシステム環境の GOT セットアップで設定した場合と同じです。 ・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編) 4.9.2 GOT と接続機器で使用する時計データを合わせる方法 ・GT Designer2 Version □画面設計マニュアル 2.5 時計機能について
未使用	時計データの時刻を合わせません。

本体機能設定:GOT本体機能設定:時間に関する設定
時計管理 時刻合わせ
2010/08/25 09:47:23 WED
本体内蔵バッテリ電圧状態 正常
OK Cancel
1.
2.

1. 設定項目をタッチすると設定内容が変わります

時刻合わせ → 時刻通知 → 時刻合わせ／時刻通知 → 未使用 → (時刻合わせへ戻る)

2. [OK] ボタンをタッチすると，GOT は再起動し，変更した設定で動作します。
[Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，メインメニューに戻ります。

POINT

(1) 時計機能を持たない外部機器と接続時

時計機能を持たない外部機器 (シーケンサやマイコン) と接続時，時計管理で "時刻合わせ"，または "時刻通知" の設定を行った場合，時計データの時刻を合わせません。
時計機能を持っているシーケンサの一覧は，下記を参照してください。

☞ ・使用する接続機器に対応する GOT1000 シリーズ接続マニュアル GT Works3 対応

・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル
2.5.3 時計を持っているシーケンサ CPU

(2) マルチチャンネル機能使用時の時計管理

時刻通知，時刻合わせの対象とする機器のチャンネル No. は，ユーティリティでは設定できません。
時刻通知，時刻合わせを対象とする機器は，GT Designer3，GT Designer2 で設定できます。
チャンネル設定に関しては，下記を参照してください。

☞ ・使用する接続機器に対応する GOT1000 シリーズ接続マニュアル GT Works3 対応

・GT Designer2 Version2 □画面設計マニュアル
2.5.1 GOT とシーケンサ CPU の時計データの間で時刻を合わせる

(3) 時計管理の設定とバッテリ

GOT を購入時，GOT のコネクタとバッテリのコネクタは接続していません。
時計管理で "時刻通知" や "未使用" を選択した場合，GOT とバッテリの接続時に一度時計の設定を行ってください。

(4) GT Designer3，GT Designer2 による操作の設定

時計管理の設定は，GT Designer3 の環境設定または GT Designer2 のシステム環境の GOT セットアップで行ってください。
プロジェクトデータをダウンロード後に一部の設定を変更する場合には，GOT の表示の設定にて設定を変更してください。

☞ ・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
4.9 GOT の表示や動作を設定する (GOT 環境設定 :GOT セッアップ)

・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル
3.8 GOT の表示や動作を設定する (GOT セットアップ)

(2) **時計表示**

GOT の時計データの表示と設定を行います。
時計データの設定方法を下記に示します。

1. 時計表示をタッチすると，入力用のキーボードが表示され，時計の更新が止まります。
2. 下表を参照してキーボードを操作し，時刻を入力します。
入力した時刻は手順 3 の操作で時計データに反映されるので，手順 3 の操作を行う予定時刻を入力してください。
曜日の表示は，入力された時刻に対応し，自動的に表示されます。
時計の設定有効範囲を下記に示します。
2000 年 1 月 1 日～ 2037 年 12 月 31 日

キー	内容
[0] ～ [9]	カーソルの位置に数値を入力します。
◀/▶	カーソルを移動します。
[Del]	年 , 月 , 日 , 時 , 分 , 秒の各項目を入力中に [Del] キーをタッチした場合は , カーソルを一文字分左に移動します。 入力中以外に [Del] キーをタッチした場合は , 何もしません。
[Enter]	入力された時刻を時計表示に表示したまま，キーボードを閉じます。 キーボードを閉じても時計表示の更新は再開しません。 手順 3 の操作を行うと再開します。
[Cancel]	入力された時刻を破棄し，時計表示の時刻をキーボードが表示されたときの時刻に戻して，キーボードを閉じます。 キーボードを閉じても時計表示の更新は再開しません。 手順 3 の操作を行うと再開します。

3. [OK] ボタンをタッチすると，変更した設定が反映され，メインメニューに戻ります。
[Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，メインメニューに戻ります。

(3) **本体内蔵バッテリ電圧状態**

バッテリの電圧状態が表示されます。

表示	状態
正常	正常時
低下 / なし	電圧低下発生時

バッテリ電圧低下時は速やかにバッテリを交換してください。
バッテリの交換手順は下記を参照してください。

☞（ハードウェア詳細編）8.3.2 取付け方法

2.1.2　トランスペアレントの設定 (トランスペアレントモードの設定)

■ トランスペアレントモードの設定機能

マルチチャンネル機能使用時，FA トランスペアレント機能をどのチャンネル No. の接続機器に対して実行するか指定することができます。マルチチャンネルに関しては，下記のマニュアルを参照してください。

☞ ・GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応
(20. マルチチャンネル機能)
・GT Designer2 Version □画面設計マニュアル 2.8 マルチチャンネル機能

また，FA トランスペアレント機能に関して，下記のマニュアルを参照ください。

☞ ・GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応
(21. FA トランスペアレント機能)
・GOT1000 シリーズ接続マニュアル (GT Designer2/GT Works2 対応)
53. FA トランスペアレント機能

(○：対応，△：一部非対応，×：非対応)

機能	内容	設定範囲	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
ChNo.	FA トランスペアレント機能をどのチャンネル No. の接続機器に対して実行するか設定できます。	1/2/3/4 <デフォルト：1 >	○	○

■ トランスペアレントモードの設定の表示操作

メインメニュー
(☞ 1.3 ユーティリティの表示)
「本体機能設定」をタッチ

GOT本体機能設定
「GOT本体機能設定」をタッチ

トランスペアレントモードの設定
「トランスペアレントモードの設定」をタッチ

トランスペアレントモードの設定
本体機能設定:GOT本体機能設定:ﾄﾗﾝｽﾍﾟｱﾚﾝﾄﾓｰﾄﾞの設定
ChNo.　1
ChNo.のチャンネル番号部をタッチします。
OK　Cancel

■ トランスペアレントモードの設定操作

本体機能設定:GOT本体機能設定:ﾄﾗﾝｽﾍﾟｱﾚﾝﾄﾓｰﾄﾞの設定

ChNo. 1

OK　Cancel

1. 左記のトランスペアレントの ChNo. 数字部をタッチするとキーボードが表示されます。キーボードにより数値を入力してください。

2. [OK] ボタンをタッチすると，GOT は再起動し，変更した設定で動作します。
[Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，メインメニューに戻ります。

2.1.3　表示部の掃除 (画面掃除)

ユーティリティでは，画面を布などでふき掃除をするときに画面をタッチしても影響のないようにすることができます。
掃除要領については下記を参照してください。

☞ (ハードウェア詳細編)9.3 画面掃除要領

■ 画面掃除の表示操作

メインメニュー
(☞ 1.3 ユーティリティの表示)

「本体機能設定」をタッチ

GOT本体機能設定

「GOT本体機能設定」をタッチ

画面清掃

「画面掃除」をタッチ

画面掃除

画面の①左上と②右上を順番(①→②)に押してください。

画面の左上隅と右上隅以外にタッチしても何も動作しません。

■ 画面掃除の操作

画面掃除後，表示されている画面の指示に従って，画面をタッチしてください。
タッチ後，メインメニューに戻ります。

下記の画面が表示されます。

①　画面の①左上と②右上を順番(①→②)に押してください。　②

2.1.4　ビデオ・RGB の設定

■ ビデオ接続機器設定

(1)　ビデオ接続機器設定機能

ビデオの入力信号や解像度を選択できます。

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目	内容	設定範囲	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
ビデオ接続機器設定 *1	入力信号，解像度を選択できます。	入力信号：NTSC 方式，PAL 方式 ＜工場出荷時：NTSC 方式＞ 解像度　：640×480， 720×480*2，768×576*2 ＜工場出荷時：640×480>	○	○

*1　GT1675-VN，GT1672-VN，GT1662-VN，GT1655-V は使用できません。
*2　PAL 方式のみ選択可能
　　GT1675M-V または GT1665M-V の場合，解像度は 640×480 となります。

POINT

入力信号の設定について

入力信号は，接続するビデオカメラなどの出力方式により，以下のように設定してください。
設定内容が異なると，ビデオ映像が正しく表示されない場合があります。

ビデオカメラなどの出力方式	入力信号の設定
NTSC 方式	NTSC
PAL 方式	PAL
EIA 方式	NTSC
CCIR 方式	PAL

(2) ビデオ接続機器設定の表示操作

メインメニュー
(1.3 ユーティリティの表示)
「本体機能設定」をタッチ

本体機能設定
「GOT本体機能設定」をタッチ

GOT本体機能設定
「ビデオ·RGBの設定」をタッチ

接続機器設定
(3.1 接続機器設定)
「ビデオ·RGB」をタッチ

ビデオ·RGB設定メニュー
「ビデオ接続機器設定」をタッチ

ビデオ接続機器設定

ビデオ·RGB設定:ビデオ接続機器設定
入力信号 NTSC
解像度 640x480
注意:
再起動後に、変更した設定が有効となります。
確定

設定する項目をタッチします。

(3)　ビデオ接続機器設定の設定操作

1. 設定項目をタッチすると設定内容が変わります。
　　入力信号：PAL
　　　　　　　NTSC
　　解像度　：720×480
　　　　　　　768×576
　　　　　　　640×480

2. [確定] ボタンをタッチすると設定内容が決定されます。

3. [確定] ボタンをタッチせずに [×] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

4. [ビデオ接続機器設定] で変更する項目の設定がすべて終了した後，[×] ボタンで [ビデオ接続機器設定] と [ビデオ・RGB の設定]/[接続機器設定] を閉じると，GOT が再起動し，設定内容を反映します。

■ ビデオ表示設定

(1) ビデオ表示設定機能

ビデオの設定対象およびプレビューチャンネルの選択，取込領域，および，画質の設定ができます。

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目	内容	設定範囲	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
ビデオ表示設定*1	ビデオの設定対象およびプレビューするチャンネルの選択，取込領域（水平方向，垂直方向），および，画質（色調，コントラスト，輝度，色強度）の設定ができます。 取込領域，画質は，チャンネル毎に設定できます。	チャンネル：1/2/3/4 ＜工場出荷時：1＞ 取込領域 水平方向：-100 ～ 100 ＜工場出荷時：0＞ 垂直方向：-100 ～ 100 ＜工場出荷時：0＞ 画質 色調　：-100 ～ 100 ＜工場出荷時：0＞ コントラスト：-100 ～ 100 ＜工場出荷時：0＞ 輝度　：-100 ～ 100 ＜工場出荷時：0＞ 色強度　：-100 ～ 100 ＜工場出荷時：0＞	○	○

*1　GT1675-VN，GT1672-VN，GT1662-VN，GT1655-V は使用できません。

(2) ビデオ表示設定の表示操作

(3)　ビデオ表示設定操作

1. 表示させたいビデオのチャンネル No. を選択します。
選択したチャンネル No. のビデオ映像をプレビュー表示します。

2. 取込領域，画質を変更する場合は各表示部をタッチします。
　取込領域　：手順 3 ～手順 6 参照
　画質　　　：手順 7 ～手順 10 参照

3. 指定したチャンネル No. の取込領域 (水平方向 / 垂直方向) を変更できます。

取込領域を－方向に一定量移動します

タッチした位置に取込領域を移動します

取込領域を＋方向に一定量移動します

[デフォルト] ボタンをタッチすると初期値に戻すことができます。

4. [確定] ボタンをタッチすると設定内容が決定されます。

"確定"を押下せずに画面を閉じると変更内容は破棄されます。よろしいですか？

O K　　Cancel

5. [確定] ボタンをタッチせずに [×] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

6. 項目の設定が終了した後，[×] ボタンをタッチすると，プレビューの画面手順 1 に戻ります。

7. 指定したチャンネル No. の画質 (色調 / コントラスト / 輝度 / 色強度) を変更することができます。

数値を－方向に一定量変更します
タッチした位置に数値を変更します
数値を＋方向に一定量変更します

［デフォルト］ボタンをタッチすると，初期値に戻すことができます。
[CH1 コピー] ボタンをタッチすると，選択中のチャンネル No. の画質 (色調，コントラスト，輝度，色強度) をチャンネル No.1([CH1]) の画質の設定に合わせます。

8. ［確定］ボタンをタッチすると，設定内容が決定されます。

9. ［確定］ボタンをタッチせずに［×］ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

"確定"を押下せずに画面を閉じると
変更内容は破棄されます。
よろしいですか？

O K　Cancel

10. 項目の設定が終了した後，［×］ボタンをタッチすると，プレビューの画面手順 1 に戻ります。

11. ビデオ表示設定で，変更する項目の設定がすべて終了した後，［×］ボタンで［ビデオ表示 (プレビュー)］を閉じると，［ビデオ・RGB の設定］に戻ります。

POINT

設定時の注意事項

設定値によっては，ビデオ映像が乱れたり，停止したりする場合があります。
(この場合，設定値をデフォルトにすると正常な表示に戻ります。)
本現象は，ビデオカメラなどの機器に依存します。
正常に表示できる設定値で使用してください。

■ RGB 表示設定

(1) RGB 表示設定機能

RGB のクロックフェーズ，画面位置の設定ができます。

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目	内容	設定範囲	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
RGB 表示設定 *1	RGB の設定対象およびプレビューするチャンネルの選択，RGB のクロックフェーズ *2，画面位置（水平方向，垂直方向）の設定ができます。	チャンネル：1/2 ＜工場出荷時：1> クロックフェーズ ：-100 ～ 100 ＜工場出荷時：0> 画面位置 水平方向：-100 ～ 100 ＜工場出荷時：0> 垂直方向：-100 ～ 100 ＜工場出荷時：0>	○	○

*1　GT1675-VN，GT1672-VN，GT1662-VN，GT1655-V は使用できません。
*2　画面の横方向のノイズが表示されるとき，または，文字がにじんだり輪郭がはっきりしないときに調整します。

(2) RGB 表示設定の表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）
「本体機能設定」をタッチ

本体機能設定
「GOT本体機能設定」をタッチ

GOT本体機能設定
「ビデオ·RGBの設定」をタッチ

接続機器設定
（☞ 3.1 接続機器設定）
「ビデオ·RGB」をタッチ

ビデオ·RGB設定メニュー
「RGB表示設定」をタッチ

RGB表示設定
設定する項目をタッチします。

(3)　RGB 表示設定操作

1. 表示させたい RGB のチャンネル No. を選択します。
選択したチャンネル No. の RGB 映像をプレビュー表示します。

2. クロックフェーズ，画面位置 (水平方向 / 垂直方向) を変更できます。

数値を－方向に一定量変更します
タッチした位置に数値を変更します
数値を＋方向に一定量変更します

3. ［確定］ボタンをタッチすると設定内容が決定されます。

4. ［確定］ボタンをタッチせずに［×］ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

"確定"を押下せずに画面を閉じると
変更内容は破棄されます。
よろしいですか？
OK　Cancel

5. 項目の設定が終了した後，［×］ボタンをタッチすると，［ビデオ・RGB の設定］に戻ります。

POINT

設定時の注意事項

［水平方向］，［垂直方向］の値が大きいと，RGB 表示されない場合や表示が乱れたり，停止したりする場合があります。
この場合は設定値をデフォルトにし，RGB 表示できる範囲で再度設定してください。

2.1.5　マルチメディアの設定

■ ビデオ接続機器設定

(1)　ビデオ接続機器設定機能

ビデオの入力信号や解像度を選択できます。

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目	内容	設定範囲	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
ビデオ接続機器設定 *1	入力信号，解像度を選択できます。	入力信号：NTSC 方式，PAL 方式 ＜工場出荷時：NTSC 方式＞ 解像度　：640×480[*2]，768×576[*3] ＜工場出荷時：640×480>	○	○

*1　GT1675-VN，GT1672-VN，GT1662-VN，GT1655-V は使用できません。
*2　NTSC 方式を選択すると解像度が 640 × 480 に固定されます。
*3　PAL 方式を選択すると解像度が 768 × 576 に固定されます。

POINT

入力信号の設定について

入力信号は，接続するビデオカメラなどの出力方式により，以下のように設定してください。
設定内容が異なると，ビデオ映像が正しく表示されない場合があります。

ビデオカメラなどの出力方式	入力信号の設定
NTSC 方式	NTSC
PAL 方式	PAL
EIA 方式	NTSC
CCIR 方式	PAL

(2) ビデオ接続機器設定の表示操作

メインメニュー
(1.3 ユーティリティの表示)

「本体機能設定」をタッチ

本体機能設定

「GOT本体機能設定」をタッチ

GOT本体機能設定

「マルチメディアの設定」をタッチ

接続機器設定
(3.1 接続機器設定)

「マルチメディア」をタッチ

マルチメディア設定メニュー

「ビデオ接続機器設定」をタッチ

ビデオ接続機器設定

マルチメディア設定:ビデオ接続機器設定
入力信号 NTSC
解像度 640x480
注:
再起動後に、変更した設定が有効となります。
確定

設定する項目をタッチします。

(3)　ビデオ接続機器設定の設定操作

1. 設定項目をタッチすると設定内容が変わります。
   入力信号：PAL
   　　　　　NTSC
   解像度　：768×576
   　　　　　640×480
   解像度は，NTSC を選択すると，640×480，PAL を選択すると，768×576 が自動で切替わります。
2. [確定] ボタンをタッチすると設定内容が決定されます。
3. [確定] ボタンをタッチせずに [×] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。
4. 変更する項目の設定がすべて終了した後，[×] ボタンで [ビデオ接続機器設定] を閉じます。
5. [×] ボタンで [マルチメディア設定]，または [接続機器設定] を閉じると，GOT が再起動し，設定内容を反映します。

■ 映像設定

(1) 映像設定の機能

映像設定では，取込領域，および，画質の設定ができます。

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目	内容	設定範囲	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
映像設定	ビデオの取込領域（水平方向，垂直方向），および，画質（色調，コントラスト，輝度，色強度）の設定ができます。	取込領域 水平方向：-100 ～ 100 ＜工場出荷時：0> 垂直方向　：-100 ～ 100 ＜工場出荷時：0> 画質 色調　：-100 ～ 100 ＜工場出荷時：0> コントラスト：-100 ～ 100 ＜工場出荷時：0> 輝度　：-100 ～ 100 ＜工場出荷時：0> 色強度　：-100 ～ 100 ＜工場出荷時：0>	○	○

(2) 映像設定の表示操作

メインメニュー
（1.3 ユーティリティの表示）
「本体機能設定」をタッチ
本体機能設定
「GOT本体機能設定」をタッチ
GOT本体機能設定
「マルチメディアの設定」をタッチ
接続機器設定
（3.1 接続機器設定）
「マルチメディア」をタッチ
マルチメディア設定メニュー
「映像設定」をタッチ
映像設定
設定する項目をタッチします。

(3)　映像設定の設定操作

1. 取込領域，画質を変更する場合は各表示部をタッチします。
　取込領域　：手順２～手順５参照
　画質　　　：手順６～手順９参照

2. 取込領域 (水平方向 / 垂直方向) を変更できます。

取込領域を－方向に一定量移動します
タッチした位置に取込領域を移動します
取込領域を＋方向に一定量移動します

[デフォルト] ボタンをタッチすると初期値に戻すことができます。

3. [確定] ボタンをタッチすると設定内容が決定されます。

4. [確定] ボタンをタッチせずに [×] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

"確定"を押下せずに画面を閉じると
変更内容は破棄されます。
よろしいですか？

ＯＫ　Cancel

5. 項目の設定が終了した後，[×] ボタンをタッチすると，プレビューの画面手順１に戻ります。

6. 画質 (色調 / コントラスト / 輝度 / 色強度) を変更することができます。

数値を－方向に一定量変更します

タッチした位置に数値を変更します

数値を＋方向に一定量変更します

［デフォルト］ボタンをタッチすると，初期値に戻すことができます。

［×］ボタンをタッチすると，設定内容が決定されます。

"確定"を押下せずに画面を閉じると
変更内容は破棄されます。
よろしいですか？

ＯＫ　Cancel

7. ［確定］ボタンをタッチせずに［×］ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

8. 項目の設定が終了した後，［×］ボタンをタッチすると，プレビューの画面手順 1 に戻ります。

9. ［映像設定］で，変更する項目の設定がすべて終了した後，［×］ボタンで［映像設定 (プレビュー)］を閉じると，［マルチメディア設定メニュー］に戻ります。

POINT

設定時の注意事項

設定値によっては，ビデオ映像が乱れたり，停止したりする場合があります。
(この場合，設定値をデフォルトにすると正常な表示に戻ります。)
本現象は，ビデオカメラなどの機器に依存します。
正常に表示できる設定値で使用してください。

■ 長時間録画保存設定

(1) 長時間録画保存設定の機能

長時間録画保存設定では，長時間録画時の動画ファイルの保存方法を設定できます。

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目	内容	設定範囲	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
継続録画保存	長時間録画時，前回保存した動画ファイルをすべて削除してから録画を開始するか，削除せずに録画を開始するかの設定ができます。	有効 / 無効 ＜工場出荷時：無効＞	×	○

(2) 長時間録画保存設定の表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）

「本体機能設定」をタッチ

本体機能設定

「GOT本体機能設定」をタッチ

GOT本体機能設定

「マルチメディアの設定」をタッチ

接続機器設定
（☞ 3.1 接続機器設定）

「マルチメディア」をタッチ

マルチメディア設定メニュー

「長時間録画保存設定」をタッチ

長時間録画保存設定

マルチメディア設定：長時間録画保存設定

継続録画保存 無効

有効：
以前の続きから録画保存する

無効：
以前のファイルを削除し、録画保存する

確定

長時間録画時のファイル保存方法を設定します

(3) 長時間録画保存設定の設定操作

マルチメディア設定:長時間録画保存設定
継続録画保存 無効
有効:
以前の続きから録画保存する
無効:
以前のファイルを削除し、録画保存する
確定

1. 設定項目をタッチすると設定内容が変わります。
   継続録画保存 : 有効 / 無効

2. [確定] ボタンをタッチすると設定内容が決定されます。

"確定"を押下せずに画面を閉じると
変更内容は破棄されます。
よろしいですか?
OK Cancel

3. [確定] ボタンをタッチせずに [×] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

4. 変更する項目の設定がすべて終了した後，[×] ボタンで [長時間録画保存設定] を閉じます。

5. [×] ボタンで [マルチメディア設定]，または [接続機器設定] を閉じると，設定内容を反映します。

■ バージョン管理

バージョン管理は，マルチメディアユニットのソフトウェアバージョンのバージョンアップをする場合に行います。

(1) マルチメディア設定バージョン管理の表示操作

更新プログラムの入った CF カードをマルチメディアユニットに装着することで，プログラムの更新を行うことができます。

更新プログラムは下記のいずれかより用意してください。

- GT Works3 の CD-ROM，または DVD-ROM
- GT Designer2 の CD-ROM
- 三菱電機 FA サイトからダウンロード
  http://www.mitsubishielectric.co.jp/fa/

メインメニュー
(1.3 ユーティリティの表示)
「本体機能設定」
をタッチ

本体機能設定
「GOT本体機能設定」
をタッチ

GOT本体機能設定
「マルチメディア設定」
をタッチ

接続機器設定
(3.1 接続機器設定)
「マルチメディア」
をタッチ

マルチメディア
設定メニュー
「バージョン管理」
をタッチ

バージョン管理
マルチメディア設定：バージョン管理
ユニット バージョン： 00
ユニット ソフトウェア バージョン： 01. 00. 23
ユニット ソフトウェア
更新メニュー
注： ユニットソフトウェアの更新
メディアユニットの処理を停止
ユニットソフトウェア更新メニューを
タッチするとソフトウェア更新画面に
切替わります。

(2) マルチメディア設定バージョン管理の設定操作

マルチメディア設定：バージョン管理

ユニット バージョン：　00

ユニット ソフトウェア バージョン：　01. 00. 23

ユニット ソフトウェア 更新メニュー

注：ユニットソフトウェアの更新中は、マルチメディアユニットの処理を停止します。

1. ユニットソフトウェアバージョンに表示されているバージョンを確認します。
現在マルチメディアユニットにインストールされているソフトウェアのバージョンです。
[ユニットソフトウェア更新メニュー] ボタンをタッチすると，更新プログラム転送画面が表示されます。

マルチメディア設定：ソフトウェア更新

ユニット ソフトウェア バージョン：　01. 00. 23

▼

更新 ソフトウェア バージョン：　01. 03. 05

更新

2. 更新プログラムが入った CF カードをマルチメディアユニットに装着します。
ユニットソフトウェアバージョンよりも新しい更新プログラムが格納されている場合のみ更新ソフトウェアバージョンに新しい更新プログラムのバージョンが表示されます。

3. 新しいバージョンに更新する場合は，[更新プログラム転送] ボタンをタッチします。

ソフトウェアの更新中は、マルチメディアユニットの電源を切らないでください。

マルチメディアユニットのソフトウェア
01.00.23　から　01.03.05　に
更新しますか？

OK　Cancel

4. 左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ソフトウェアの更新が更新されます。
[Cancel] ボタンをタッチすると，ソフトウェアの更新はされません。

マルチメディアユニットのソフトウェア更新中

注： 更新中は、ユニットの電源を切らないでください

5. 更新プログラムの更新中は左記のダイアログボックスが表示されます。
左記のダイアログボックス表示中は CF カードを抜いたり，GOT の電源を切らないでください。
マルチメディアユニットの CF カードアクセススイッチを OFF にしないでください。
ソフトウェアが正しく更新されません。

マルチメディア設定：ソフトウェア更新

ユニット ソフトウェア バージョンの更新が完了しました

ユニット ソフトウェア バージョン 01. 03. 05

6. 正常に更新プログラムの更新が完了すると左記のダイアログボックスが表示されます。

マルチメディア設定：ソフトウェア更新

ユニット ソフトウェア バージョンを正しく更新できませんでした。

7. 更新プログラムが正しくない場合または更新プログラムの更新に失敗した場合，左記のダイアログボックスが表示されます。
GOT の再起動を行った後，手順 1 からやり直してください。

■ ネットワーク設定

ネットワーク設定は，マルチメディアユニットの Ethernet I/F を使用してネットワーク接続をする場合に行います。

(1) ネットワーク設定の機能

ネットワーク設定では，下記の設定ができます。

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目	内容	設定範囲	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。	−	○	○
IP アドレス	IP アドレスの表示 / 設定ができます。	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255 ＜デフォルト：192.168.3.51 ＞	○	○
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのルータアドレスを表示 / 設定ができます。 ルータ経由の場合，設定が必要です。	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255 ＜デフォルト：0.0.0.0 ＞	○	○
サブネットマスク	サブネットマスクの表示 / 設定ができます。 ルータ経由の場合，設定が必要です。	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255 ＜デフォルト：255.255.255.0 ＞	○	○

(2) ネットワーク設定の表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）
「本体機能設定」をタッチ

本体機能設定
「GOT本体機能設定」をタッチ

GOT本体機能設定
「マルチメディア設定」をタッチ

接続機器設定
（☞ 3.1 接続機器設定）
「マルチメディア」をタッチ

マルチメディア設定メニュー
「ネットワーク設定」をタッチ

ネットワーク設定

マルチメディア設定：ネットワーク設定
MACアドレス 00:00:00:00:00:00
IPアドレス 192 . 168 . 3 . 51
デフォルトゲートウェイ 0 . 0 . 0
サブネットマスク 255 . 255 . 25
デフォルト 確定

設定を変更する項目をタッチします。

(3)　ネットワーク設定の設定操作

IP アドレスの設定操作を下記に示します。
デフォルトゲートウェイ，サブネットマスクの設定操作も同じです。

1. IP アドレス表示ボックスをタッチします。

2. キーボードが表示されますので，数字を入力します。

3. ［確定］ボタンをタッチすると設定内容が決定されます。
また，［デフォルト］ボタンをタッチすると初期値に戻すことができます。

4. ［確定］ボタンをタッチせずに［×］ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

5. ［ネットワーク設定］で，変更する項目の設定がすべて終了した後，［×］ボタンをタッチすると，［マルチメディア設定メニュー］に戻ります。

■ マルチメディア画面

(1) マルチメディア画面の表示操作

プロジェクト画面でマルチメディア画面を表示するマルチメディア画面スイッチを作成します。
マルチメディア画面スイッチをタッチすると，マルチメディア画面に切替わります。
マルチメディア画面では，ビデオ映像，動画再生およびファイル選択メニューの切替えができます。
マルチメディア画面を表示する拡張機能スイッチの作成手順の詳細は下記マニュアルを参照してください。

・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編)
2.7 拡張機能スイッチの設定
・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル
6.2.5 拡張機能スイッチの設定項目

POINT

動画再生位置表示機能について

動画再生画面で動画再生位置表示機能を使用する場合は，マルチメディアユニットのソフトウェアバージョン03.00.00 以上が必要です。
マルチメディアユニットのソフトウェアバージョンが古い場合は，エラーメッセージが表示されます。
マルチメディアユニットのソフトウェアバージョンアップ方法は下記を参照してください。

■ バージョン管理

(2) マルチメディア画面の設定操作

(a) ビデオ映像画面について

マルチメディアユニットに接続したビデオカメラで撮影した映像を，GOT 画面で表示できます。
ビデオカメラで撮影した映像を録画できます。

項目	名称	内容
(1)	映像表示画面	ビデオカメラで撮影した映像を表示する画面
(2)	ボタン	ビデオカメラで撮影した映像を一時停止するボタン
(3)	ボタン	ビデオカメラで撮影している映像の録画を開始するボタン
(4)	ボタン	録画を停止するボタン
(5)	ハードコピー 開始 ボタン	ハードコピーを開始するボタン
(6)	ハードコピー 中断 ボタン	ハードコピーを中断するボタン
(7)	映像切換 ボタン	動画再生画面に表示切替をするボタン
(8)	メニュー ボタン	ファイルメニュー画面に切替をするボタン
(9)	終了 ボタン	マルチメディア画面を終了し，ユーティリティ画面に戻るボタン
(10)	OK ボタン	メッセージに対して許可をするためのボタン
(11)	Cancel ボタン	メッセージに対して中断をするためのボタン
(12)	メッセージ表示画面	エラーメッセージなど表示するための画面

(b) 動画再生画面について

マルチメディアユニットに装着したCFカードに保存した動画ファイルの再生を行い，動画ファイルの表示ができます。

(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16)

項目	名称	内容
(1)	映像表示画面	ビデオカメラで撮影した映像または動画再生を表示する画面
(2)	▶ ボタン	動画再生を行う場合の再生ボタン
(3)	❚❚ ボタン	ビデオカメラで撮影した映像または動画再生を一時停止するボタン
(4)	■ ボタン	動画再生を停止するボタン
(5)	▶▶ ボタン	動画を早送り再生するボタン
(6)	❙◀ ボタン	動画ファイルの先頭まで戻り，動画再生をするボタン
(7)	❚▷ ボタン	動画をスロー再生するボタン
(8)	ハードコピー開始 ボタン	ハードコピーを開始するボタン
(9)	ハードコピー中断 ボタン	ハードコピーを中断するボタン
(10)	映像切換 ボタン	ビデオ映像画面に表示切替をするボタン
(11)	メニュー ボタン	ファイルメニュー画面に切替をするボタン
(12)	終了 ボタン	マルチメディア画面を終了し，ユーティリティ画面に戻るボタン
(13)	OK ボタン	メッセージに対して許可をするためのボタン
(14)	Cancel ボタン	メッセージに対して中断をするためのボタン
(15)	メッセージ表示画面	再生中の動画のファイル名と撮影時刻，メッセージを表示するための画面 *1
(16)	再生位置表示バー	動画の再生位置を表示

*1 撮影時刻はユニットソフトウェアバージョン 03.02.00 以降で保存したファイルのみ表示します。

(c) ファイルメニュー画面について

マルチメディアユニットに装着した CF カードの動画ファイルの検索ができます。
検索した動画ファイルを動画再生画面で表示することができます。
ファイルの表示ができます。

項目	名称	内容
(1)	ファイルメニュー表示画面	ドライブ選択で選択した CF カード内の動画ファイルを表示または動画ファイルの削除を行う画面
(2)	動画再生 ボタン	動画再生画面に表示切替をするボタン
(3)	ビデオ映像 ボタン	ビデオ映像画面に表示切替をするボタン
(4)	終了 ボタン	マルチメディア画面を終了するボタン
(5)	OK ボタン	メッセージに対して許可をするためのボタン
(6)	Cancel ボタン	メッセージに対して中断をするためのボタン
(7)	メッセージ表示画面	エラーメッセージなど表示するための画面

2.1.6 ライセンス管理

ライセンスが必要な機能を使用する場合，GOT にライセンスを登録します。
また，GOT に登録済みのライセンスを解除する場合もライセンス管理画面で行います。

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目	内容	設定範囲	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
パソコンリモート操作機能 (Ethernet)	パソコンリモート操作 (Ethernet) 機能のライセンス登録 / 削除を行います。	—	×	○
VNC サーバ機能	VNC® サーバ機能のライセンス登録 / 削除を行います。	—	×	○

■ ライセンス管理機能

パソコンリモート操作 (Ethernet) 機能，および VNC® サーバ機能のライセンス登録 / 解除が行えます。
パソコンリモート操作 (Ethernet) 機能は，GT1675-VN，GT1672-VN，GT1662-VN では使用できません。

パソコンリモート操作 (Ethernet) 機能，および VNC® サーバ機能に関する詳細は，下記を参照してください。

☞ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編)

■ ライセンス管理の表示操作

メインメニュー
(☞ 1.3 ユーティリティの表示)
「本体機能設定」をタッチ

本体機能設定
「GOT本体機能設定」をタッチ

GOT本体機能設定
「ライセンス管理」をタッチ

ライセンス管理

本体機能設定:GOT本体機能設定:ﾗｲｾﾝｽ管理
ﾊﾟｿｺﾝﾘﾓｰﾄ操作機能(Ethernet)
ﾗｲｾﾝｽ番号
登録
未登録
VNCｻｰﾊﾞ機能
ﾗｲｾﾝｽ番号
登録
未登録
『VNC』はRealVNC 社の商標です。

■ ライセンス管理の設定操作

(1) GOT にライセンス番号を登録する場合

1. ライセンス管理画面にてライセンス番号入力エリアをタッチすると画面の下にキーボードが表示されます。
2. [登録] ボタンをタッチすると，入力したライセンス番号が登録されます。
[登録] ボタンをタッチせずに [×] ボタンをタッチすると，ライセンス番号の登録は行われません。
3. ライセンス番号を登録後，[×] ボタンをタッチすると，ライセンス管理画面が閉じます。

(2) GOT のライセンス番号を登録解除する場合

1. ライセンス番号の登録解除を行う場合は，[登録解除] ボタンをタッチします。
2. [×] ボタンをタッチすると，ライセンス管理画面が閉じます。

POINT

ライセンス番号の取得方法について

ライセンス番号の取得方法は最寄りの三菱電機システムサービス株式会社，代理店または支社にご相談ください。

2.1.7　IP 重複時の動作設定

■ IP 重複時の動作設定の設定機能

GOT と同じ IP アドレスを持つ機器が，後からネットワークに参加してきた場合の，GOT の動作を設定できます。

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目	内容	設定範囲	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
GOT と同一 IP アドレスの機器が後からネットワークに参加した場合の動作	GOT と同じ IP アドレスを持つ機器が，後からネットワークに参加してきた場合の，GOT の動作を設定できます。	ネットワーク接続を維持する (推奨)/ ネットワーク接続を維持しない ＜デフォルト：ネットワーク接続を維持する (推奨)＞	×	○

POINT

(1)　IP アドレス重複時のチェックを行うために

CoreOS のバージョンは，05.10.00AG 以降を使用してください。

(2)　IP アドレス重複時のチェックが行われない場合

(a)　GOTのIPアドレスを，192.168.0.18に設定した場合，IPアドレス重複時のチェックは行われません。

(b)　GOTと接続する機器によっては，IPアドレス重複時のチェックが行われない場合があります。

(3)　GOT と同一 IP アドレスの機器が存在するネットワークに，GOT が後から参加した場合

GOT はオフライン状態となり，下記のダイアログボックスが表示されます。

IPアドレスが重複しています。通信ケーブルをはずし、
再起動後にIPアドレスを再設定してください。

The IP address is duplicated.
Remove the communication cable and specify
the IP address again after rebooting the GOT.

IP地址重复。拔掉通讯电缆，
重启后请重新设置IP地址。

IP Address : 192.168.0.181
MAC Address : 08:00:70:38:C0:60

Clear IP Address　　Reboot GOT

- GOT と同じ IP アドレスを持つ他の機器の IP アドレスを修正する場合
  GOT と同じ IP アドレスを持つ他の機器の IP アドレスを修正後，[Reboot GOT] ボタンをタッチして GOT を再起動してください。
- GOT の IP アドレスを変更する場合
  [Clear IP Address] ボタンをタッチして GOT の IP アドレスをクリアしてください。
  [Reboot GOT] ボタンをタッチして GOT を再起動した後，ユーティリティにて GOT の IP アドレスを変更してください。

■ IP 重複時の動作設定の表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）

「本体機能設定」をタッチ

本体機能設定

「GOT本体機能設定」をタッチ

GOT本体機能設定

「IP重複時の動作設定」をタッチ

IP重複時の動作設定

本体機能設定:GOT本体機能設定:IP重複時の動作設定

GOTと同一IPｱﾄﾞﾚｽの機器が後からﾈｯﾄﾜｰｸに参加した場合の動作

ﾈｯﾄﾜｰｸ接続を維持する(推奨)

OK　Cancel

■ IP 重複時の動作設定の設定操作

本体機能設定:GOT本体機能設定:IP重複時の動作設定
GOTと同一IPｱﾄﾞﾚｽの機器が後からﾈｯﾄﾜｰｸに参加した場合の動作
ネットワーク接続を維持する(推奨)
OK
Cancel

1. 設定項目をタッチすると，設定内容が変わります。
   - ネットワーク接続を維持する (推奨) :
     GOT と同じ IP アドレスを持つ機器が，後からネットワークに参加してきた場合，GOT はネットワーク接続を維持します。
     システムアラームが発生します。
   - ネットワーク接続を維持しない :
     GOT と同じ IP アドレスを持つ機器が，後からネットワークに参加してきた場合，GOT はネットワークから外れます。

2. [OK] ボタンをタッチすると，GOT は再起動し，変更した設定で動作します。
   [Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，メインメニューに戻ります。

POINT

(1) [ネットワーク接続を維持しない] を選択時の注意事項

[ネットワーク接続を維持しない] を選択した場合，GOT と同じ IP アドレスを持つ機器がネットワークに参加すると，IP アドレスが重複された GOT が，ネットワークから外れます。
このため，IP アドレスの設定ミスや，悪意あるユーザの意図的な行動により，稼働中の GOT が通信できなくなり，システムの制御に影響を与える場合があります。
[IP 重複時の動作設定] の変更は，必要性を十分検討した上で行ってください。

(2) Spanning tree protocol に対応したスイッチングハブを使用する場合の注意事項

GOT を接続するスイッチングハブのポートには，接続した機器をすぐに通信可能な状態 (フォワーディング状態) にする設定 (PortFast など) を行い，Spanning tree protocol による接続直後の待ちが発生しないようにしてください。
設定を行わない場合，Ethernet の IP アドレス重複の検出が正しく行われません。
また，GOT の Ethernet 接続も正しく行えない場合があります。
接続した機器をすぐに通信可能な状態 (フォワーディング状態) にする設定は，使用するスイッチングハブの取扱説明書を参照してください。

2.2　表示に関する設定

2.2.1　表示の設定機能

表示に関する設定ができます。
設定できる項目には下記のものがあり，各項目部をタッチすると，それぞれの設定が可能な状態になります。
（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目	内容	設定範囲	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
メッセージ表示 [*1]	ユーティリティとダイアログボックスで表示される言語について，現在の言語の確認と言語の切換えができます。	日本語（日本語） English（英語） 中文(简体)（中国語（簡体字）） 中文(繁體)（中国語（繁体字）） 한국어（韓国語） Deutsch（ドイツ語） ＜工場出荷時：ユーザ選択による＞	○	○
タイトル表示時間	本体起動時のタイトル表示時間を設定できます。	0 ～ 60 秒 [*2] ＜工場出荷時：5 秒＞	○	○
スクリーンセーブ時間	ユーザがタッチパネルを操作しなくなってからスクリーンセーブ機能起動までの時間を設定できます。	0 ～ 60 分 ＜工場出荷時：0 分＞	○	○
スクリーンセーブバックライト	スクリーンセーブ機能起動時に同時にバックライトを OFF するか ON するかを指定できます。	ON/OFF ＜工場出荷時：OFF＞	○	○
バッテリ低下アラーム出力	GOT 内蔵バッテリの電圧低下時に，システムアラームを表示する / しないを指定できます。	ON/OFF ＜工場出荷時：OFF＞	○	○
輝度・コントラスト調整	輝度の調整ができます。 ☞ 2.2.4 輝度・コントラスト調整	－	○	○
スクリーンセーブ人感センサ	人感センサによるスクリーンセーブ状態解除の有効 / 無効を設定できます。	有効 / 無効 ＜工場出荷時：有効＞	○	○
人感センサ検出感度 [*3]	人感センサ検出感度のレベルを設定できます。	0 ～ 10 ＜工場出荷時：10＞	○	○
人感センサ監視時間 [*3]	[人感センサ検出感度] のレベルに対応した時間を表示します。（設定はできません） [人感センサ検出感度] を変更した場合は，[OK] ボタンをタッチ後，対応した時間に変更します。	0 ～ 4 ＜工場出荷時：0 秒＞	○	○
人感センサ OFF ディレイ	人の動きを検出しなくなってから，人感センサ検出信号（システム信号 2-1.b5）が OFF するまでの時間を設定できます。	0 分 10 秒～ 60 分 0 秒 ＜工場出荷時：0 分 10 秒＞	○	○

*1　選択できる言語のみ表示されます。
選択できる言語は，GOT にインストールされているフォントにより異なります。
フォントの詳細については，下記のマニュアルを参照してください。
☞ ・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル（共通編）2.5 設定できる文字の仕様
・GT Designer2 Version □　画面設計マニュアル 2.3 設定できる文字の仕様

*2　0 秒を設定してもタイトル画面非表示にはなりません。
タイトル画面は必ず 4 秒以上（プロジェクトデータの内容により変化します）表示されます。

*3　人感センサ検出感度のレベル (0 ～ 10) に対応する監視時間は以下のようになります。
検出感度レベルの数値が大きいほど，人感センサの感度は敏感になります。

人感センサ検出感度レベル	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
人感センサ監視時間 [秒]	0	0.1	0.2	0.4	0.8	1	1.5	2	2.5	3	4

POINT

(1)　GT Designer3，GT Designer2 による表示の設定

タイトル表示時間，スクリーンセーブ時間，スクリーンセーブバックライトの設定は，GT Designer3 の環境設定または GT Designer2 のシステム環境の GOT セットアップで行ってください。
プロジェクトデータをダウンロード後に一部の設定を変更する場合には，GOT の表示の設定にて設定を変更してください。

☞ ・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
4.9 GOT の表示や動作を設定する (GOT 環境設定 :GOT セットアップ)
・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル
3.8 GOT の表示や動作を設定する (GOT セットアップ)

(2)　スクリーンセーブ時間

システム情報機能を使用することで，接続機器から強制的にスクリーンセーブ状態 (強制スクリーンセーブ無効信号) にしたり，ユーティリティで設定したスクリーンセーブ時間を無効 (自動スクリーンセーブ無効信号) にしたりできます。

☞ ・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
4.6 システム情報を設定する (GOT 環境設定 : システム情報)
・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル 3.6 システム情報を設定する

(3)　スクリーンセーブバックライト

[スクリーンセーブバックライト] を [ON] に設定時，システム情報機能 (バックライト OFF 出力信号) を使用することで，接続機器からバックライトを OFF できます。
[スクリーンセーブバックライト] が [OFF] の時は，上記信号の影響は受けません。

☞ ・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
4.6 システム情報を設定する (GOT 環境設定 : システム情報)
・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル 3.6 システム情報を設定する

(4)　人感センサによる表示の制御

人感センサは，GOT にタッチしないで，スクリーンセーブを解除する機能です。
オペレータが GOT に近づくことで，スクリーンセーブを解除します。

近づく　離れる　近づく　離れる
オペレータの動作
[人感センサ検出感度]
人感センサ検出信号
[システム信号2-1.b5]
ON
OFF
[人感センサ監視時間]
[人感センサ OFFディレイ]
[人感センサ OFFディレイ]
スクリーンセーブ解除
スクリーンセーブ
スクリーンセーブ状態
[スクリーンセーブ時間]

[人感センサ OFF ディレイ] で設定した時間，オペレータの動作がない場合，[人感センサ検出信号] を OFF します。
[人感センサ検出信号]OFF 後，[スクリーンセーブ時間] で設定した時間経過すると，GOT はスクリーンセーブ状態になります。

人感センサ検出信号 (システム信号 2-1.b5) については，下記のマニュアルを参照してください。

・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
4.6 システム情報を設定する (GOT 環境設定 : システム情報)
・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル 3.6 システム情報を設定する

(5) スクリーンセーブ人感センサを無効に設定する場合について

ユーティリティでスクリーンセーブ人感センサを無効に設定しても，人の動きを検出すると，人感センサ検出信号 (システム信号 2-1.b5) は ON します。
そのため，強制スクリーンセーブ信号 (システム信号 1-1.b1) と人感センサ検出信号をシーケンスプログラム等で関連づけて制御している場合，意図しない動作になることがあります。
スクリーンセーブ人感センサを無効にする場合，関連するシーケンスプログラムなどを見直してください。

2.2.2 表示の設定の表示操作

メインメニュー
(1.3 ユーティリティの表示)

本体機能設定

「本体機能設定」をタッチ

「表示に関する設定」をタッチ

表示に関する設定

本体機能設定:表示に関する設定

メッセージ表示 Japanese
タイトル表示時間 5 秒
スクリーンセーブ時間 0 分(0：無効)
スクリーンセーブバックライト OFF
バッテリ低下アラーム出力 ON
輝度・コントラスト調整 設定...
スクリーンセーブ人感センサ 有効
人感センサ 検出感度 10 (最大10)
人感センサ 監視時間 0.0 秒
人感センサ OFFディレイ 0 分 10 秒
OK Cancel

設定を変更する項目をタッチします。

2.2.3　表示の設定操作

■ メッセージ表示

1. 設定項目をタッチすると Language 画面が表示されます。

2. 表示する言語のボタンをタッチすると，言語が選択され，［表示に関する設定］画面に戻ります。

3. ［OK］ボタンをタッチすると，GOT は再起動し，変更した設定で動作します。
［Cancel］ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，メインメニューに戻ります。

HINT

(1) **選択できる言語**

システムメッセージ切換えボタンは，選択できる言語のみ表示されます。
選択できる言語は，GOT にインストールされているフォントにより異なります。
選択できる言語とフォントの関係については，下記を参照してください。

☞ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編) 2.5 設定できる文字の仕様

GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル 2.3 設定できる文字の仕様

(2) **デバイスを使用したシステム言語切り換え**

GT Designer3 で設定したシステム言語切り換えデバイスを使用して，システム言語を切換えできます。
システム言語切り換えデバイスの設定方法は，下記を参照してください。

☞ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編) 4.3 言語切り換えデバイスを設定する (GOT 環境設定 : 言語切り換え)

■ タイトル表示，スクリーンセーブ時間

1. 設定 (数字) をタッチするとキーボードが表示されます。
キーボードにより数字を入力します。

2. [OK] ボタンをタッチすると，GOT は再起動し，変更した設定で動作します。
[Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，メインメニューに戻ります。

■ スクリーンセーブバックライト

1. 設定項目をタッチすると設定内容が変わります。(ON⇄OFF)

2. [OK] ボタンをタッチすると，GOT は再起動し，変更した設定で動作します。
[Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，メインメニューに戻ります。

■ 輝度・コントラスト調整

輝度・コントラスト調整については，下記を参照してください。

☞ 2.2.4 輝度・コントラスト調整

■ スクリーンセーブ人感センサ

1. 設定項目をタッチすると設定内容が変わります。(有効 ⇄ 無効)
2. [OK] ボタンをタッチすると，GOT は再起動し，変更した設定で動作します。
   [Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，メインメニューに戻ります。

■ 人感センサ検出感度，人感センサ OFF ディレイ

1. 設定 (数字) をタッチするとキーボードが表示されます。
   キーボードにより数字を入力します。
   カーソルを移動させる場合は，◀ または ▶ ボタンをタッチします。
2. [OK] ボタンをタッチすると，GOT は再起動し，変更した設定で動作します。
   [Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，メインメニューに戻ります。

2.2.4　輝度・コントラスト調整

■ 輝度・コントラスト調整の調整機能

輝度の調整ができます。

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

機能	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
輝度調整	表示部の輝度を 8 段階で調整できます。 (GT1675-VN，GT1672-VN，GT1662-VN は 4 段階)	○	○

POINT

GS の輝度設定は，下記を参照してください。

☞ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編) 付 2 GOT 内部デバイス

■ 輝度・コントラスト調整の表示操作

メインメニュー

(☞ 1.3 ユーティリティの表示)

「本体機能設定」をタッチ

本体機能設定

「表示に関する設定」をタッチ

表示に関する設定

「輝度･コントラスト調整」をタッチ

輝度･コントラスト調整

本体機能設定:表示に関する設定:輝度・コントラスト調整

輝度調整 8/8

OK　Cancel

「+」/「-」をタッチして輝度を調整します。

■ 輝度・コントラスト調整の調整操作

1. 輝度調整の〔+〕,〔-〕キーをタッチすることで輝度を調整できます。

2. [OK] ボタンをタッチすると，変更した設定が反映され，［表示に関する設定］画面に戻ります。
[Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，［表示に関する設定］画面に戻ります。

2.3　操作の設定 (操作に関する設定)

2.3.1　操作の設定機能

GOT の操作に関する設定ができます。
設定できる項目には以下のものがあり，各項目部をタッチすると，それぞれの設定が可能な状態になります。

(○：対応，△：一部非対応，×：非対応)

機能	内容	設定範囲	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
ブザー音設定	ブザー音の設定を変更できます。	無 / 短 / 長 ＜工場出荷時 : 短＞	○	○
ウィンドウ移動時ブザー音設定	ウィンドウを移動させる時にブザー音を鳴らすか鳴らさないかを選択できます。	あり / なし ＜工場出荷時：あり＞	○	○
セキュリティ設定画面切換え	セキュリティレベル変更画面を表示できます。 ☞ 2.3.4 セキュリティレベル変更	–	○	○
ユーティリティ呼び出しキー画面切換え	ユーティリティ呼び出しキー設定画面を表示できます。 ☞ 2.3.5 ユーティリティ呼び出しキーの設定	–	○	○
キー感度の設定	GOT の画面をタッチしたときのタッチパネルの感度を設定できます。 例えば，GOT の画面を 1 回タッチしたときに，2 回タッチになってしまう場合に設定を変更します。(チャタリング防止)	1 ～ 8*1	○	○
タッチパネル調整	タッチパネルの読取り誤差を修正できます。 ☞ 2.3.6 タッチパネルの位置補正 (タッチパネル調整の設定)	–	○	○
タッチ検出モード	GOT の画面を 2 点以上同時にタッチした場合の誤入力 (タッチした部分以外が反応する) を低減するか，応答性を優先するか選択できます。	誤入力低減 / ずらし操作許可 ＜デフォルト：誤入力低減＞	○	○
USB マウス / キーボード設定	USB マウス / キーボードに関する設定項目を設定します。 ☞ 2.3.7 USB マウス / キーボード設定	–	×	○
SoftGOT-GOT リンク機能設定	SoftGOT-GOT リンク機能の操作権に関する設定と，操作優先権の取得 / 解放ができます。 ☞ 2.3.8 SoftGOT-GOT リンク機能設定	–	×	○
VNC® サーバ機能設定	VNC® サーバ機能の操作権保証時間を設定できます。	0 ～ 3600 秒 ＜工場出荷時：0 秒＞	×	○

***1 [キー感度] の設定と [キー反応速度] の関係**

[キー感度] の設定値が大きいほど，タッチパネルをタッチしてから GOT が反応するまでの時間が短くなります。
例えば，GOT の画面を 1 回タッチしたときに，2 回タッチになってしまう場合は [キー感度] の設定値を小さくします。(反応速度を遅くします。)
[キー感度] の設定と [キー反応速度] の関係は下記のとおりです。

[キー感度] の設定値	反応が速い ←							→反応が遅い
	8	7	6	5	4	3	2	1
[キー反応速度]	-20ms	-10ms	±0ms (標準)	+ 10ms	+ 20ms	+ 40ms	+ 80ms	+ 120ms

POINT

GT Designer3，GT Designer2 による操作の設定
ブザー音およびウィンドウ移動時ブザー音の設定は，GT Designer3 の環境設定または GT Designer2 のシステム環境の GOT セットアップで行ってください。
プロジェクトデータをダウンロード後に一部の設定を変更する場合には，GOT の表示の設定にて設定を変更してください。

・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
4.9 GOT の表示や動作を設定する (GOT 環境設定 :GOT セットアップ)
・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル
3.8 GOT の表示や動作を設定する (GOT セットアップ)

2.3.2 操作の設定の表示操作

メインメニュー
(1.3 ユーティリティの表示)

「本体機能設定」をタッチ

本体機能設定

「操作に関する設定」をタッチ

操作に関する設定

2.3.3　操作の設定操作

■ ブザー音，ウィンドウ移動時ブザー音，タッチ検出モード

1. 設定項目をタッチすると設定内容が変わります。
2. [OK] ボタンをタッチすると，GOT は再起動し，変更した設定で動作します。
[Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，メインメニューに戻ります。

■ セキュリティ設定

セキュリティ設定の操作は，下記を参照してください。

☞ 2.3.4 セキュリティレベル変更

■ ユーティリティ呼び出しキー

ユーティリティ呼び出しキーの操作は，下記を参照してください。

☞ 2.3.5 ユーティリティ呼び出しキーの設定

■ キー感度の設定

1. 設定項目をタッチするとキーボードが表示されます。
キーボードにより数字を入力します。
2. [キー感度] の設定に応じたキー反応速度が表示されます。
3. [OK] ボタンをタッチすると，GOT は再起動し，変更した設定で動作します。
[Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，メインメニューに戻ります。

■ タッチパネル調整

タッチパネル調整の操作は，下記を参照してください。

☞ 2.3.6 タッチパネルの位置補正 (タッチパネル調整の設定)

■ USB マウス / キーボード設定

USB マウス / キーボード設定の操作は，下記を参照してください。

☞ 2.3.7 USB マウス / キーボード設定

■ SoftGOT-GOT リンク機能設定

SoftGOT-GOT リンク機能設定の操作は，下記を参照してください。

☞ 2.3.8 SoftGOT-GOT リンク機能設定

■ VNC® サーバ機能設定

VNC® サーバ機能設定の操作は，下記を参照してください。

☞ 2.3.9 VNC(R) サーバ機能設定

2.3.4 セキュリティレベル変更

■ セキュリティレベルの変更機能

各オブジェクトや画面切換えで設定したセキュリティレベルに変更します。
セキュリティレベルを変更するには，GT Designer3 または GT Designer2 で設定した変更先セキュリティレベルのパスワードを入力します。

セキュリティレベルの設定 ....☞
・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
4.7 セキュリティを設定する (GOT 環境設定 : セキュリティ)
・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル
5.8 セキュリティ機能

パスワード設定 ....☞
・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
4.7 セキュリティを設定する (GOT 環境設定 : セキュリティ)
・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル
3.5 パスワードを設定する

POINT

画面表示に関する制約事項

GOT にプロジェクトデータが存在しない場合，セキュリティレベル変更画面は表示できません。
プロジェクトデータを GOT にダウンロードしてから，セキュリティレベルを変更してください。

■ セキュリティ変更の表示操作

メインメニュー
(☞ 1.3 ユーティリティの表示)
「本体機能設定」をタッチ

本体機能設定
「操作に関する設定」をタッチ

操作に関する設定
「セキュリティ設定」をタッチ

セキュリティ設定
「セキュリティレベル変更」をタッチ

セキュリティレベル変更
本体機能設定:操作に関する設定:ｾｷｭﾘﾃｨ設定:ｾｷｭﾘﾃｨﾚﾍﾞﾙ変更
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを入力してください。
7 8 9 A B
4 5 6 C D
1 2 3 E F
0 AC Del Enter

GT Designer3または
GT Designer2で設定した
変更先セキュリティレベルの
パスワードを入力します。

■ セキュリティレベルの変更操作

(1) パスワードの入力操作

1. [0] ～ [9]，[A] ～ [F] キーをタッチして変更先セキュリティレベルのパスワードを入力します。
2. 入力した文字を修正する場合には，[Del] キーをタッチして修正する文字を削除し，再入力してください。
3. パスワードを入力後，[Enter] キーをタッチします。
   パスワードが一致した場合には，正常完了メッセージを表示します。
   パスワードが不一致の場合には，エラーメッセージを表示します。
4. [OK] ボタンをタッチすると再度パスワードの入力画面に戻ります。
5. [×] ボタンをタッチすると，セキュリティ設定画面に戻ります。

HINT

セキュリティレベル一時的変更時の戻し忘れについて

セキュリティレベルを一時的に変更して GOT を使用した場合，セキュリティレベルを元のレベルに戻し忘れることのないように，注意してください。

2.3.5 ユーティリティ呼び出しキーの設定

■ ユーティリティ呼び出しキーの設定機能

ユーティリティのメインメニューを呼び出すための，キー位置を指定できます。
キー位置は，画面の 4 隅のうちから 1 点，または指定なしの設定ができます。
(指定なしは，GT Designer3 を使用した場合に設定できます。)
また，画面を押しつづけるとユーティリティに切り換わるように設定することもできます。
これにより，意図しないユーティリティへの切換えを防止できます。

POINT

GT Designer3，GT Designer2 による操作の設定

ユーティリティ呼び出しキーの設定は，GT Designer3 の環境設定または GT Designer2 のシステム環境の GOT セットアップで行ってください。
プロジェクトデータをダウンロード後に一部の設定を変更する場合には，GOT の表示の設定にて設定を変更してください。

・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
4.9 GOT の表示や動作を設定する (GOT 環境設定 :GOT セットアップ)
・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル
3.8 GOT の表示や動作を設定する (GOT セットアップ)

■ ユーティリティ呼び出しキーの表示操作

■ ユーティリティ呼び出しキーの設定操作

1. 設定画面の 4 隅に表示される [●] または [ ] をタッチします。ボタンはタッチするごとに [●] ⇄ [ ] を繰り返します。キー位置に指定する部分を，[●] にします。
キー位置は，1 点まで指定できます。
キー位置を 1 点も指定しない場合，ユーティリティ呼び出しキーによるユーティリティの表示はできません。

2. キー位置を押しつづけたときにユーティリティへ切り換える時間を設定します。
時間の入力エリアをタッチします。

3. 入力エリアをタッチするとキーボードが表示されます。
キーボードにより数字を入力します。

4. [OK] ボタンをタッチすると，変更した設定が反映され，［操作に関する設定］画面に戻ります。
[Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，［操作に関する設定］画面に戻ります。

5. ［操作に関する設定］画面で，[OK]/[Cancel]/[×] ボタンをタッチすると，GOT は再起動し，変更した設定で動作します。

POINT

(1) ユーティリティ呼び出しキーが指定なしの場合

ユーティリティ呼び出しキーを使用しないでユーティリティを表示するには，下記の方法があります。

(a) GT Designer3でプロジェクトデータを変更する

1. GT Designer3 で，プロジェクトデータを読み出してください。

2. GT Designer3 で，下記のいずれかの設定を行ってください。
- ［環境設定］ダイアログボックスの［表示 / 操作］タブで，ユーティリティ呼び出しキーを設定
- ユーザ作成画面に，ユーティリティを表示する拡張機能スイッチを設定

3. 設定を変更したプロジェクトデータを，GOT に書き込んでください。

(b) GOTでユーティリティの強制起動操作を行う

GOT の電源投入後，画面左上に [Booting] が表示されている間に S.MODE スイッチを押すと，ユーティリティが表示されます。
ユーティリティの表示を制限する場合，GT Designer3 でパスワードを設定してください。

☞ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
4.7 セキュリティを設定する (GOT 環境設定 : セキュリティ)

(2) 拡張アラームポップアップ表示使用時の注意事項

拡張アラームポップアップ表示の [表示位置切り換え] を [する] に設定した場合，ユーティリティ呼び出しキーに下記のいずれかの設定をしてください。

- ユーティリティ呼び出しキーの位置を右上または右下に設定
- ユーティリティ呼び出しキーの [押下時間] を 1 秒以上に設定

ユーティリティ呼び出しキーの [押下時間] を 0 秒，位置を左上または左下に設定すると，ユーティリティ呼び出しキーと拡張アラームポップアップ表示の位置が重なった場合，拡張アラームポップアップ表示の表示位置切換え操作をすると，ユーティリティが表示されます。
拡張アラームポップアップ表示については，下記を参照してください。

☞ · GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編)
10.8 拡張アラームポップアップ表示

☞ · GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル 8.5 拡張アラームポップアップ表示

2.3.6 タッチパネルの位置補正 (タッチパネル調整の設定)

■ タッチパネル調整の設定機能

タッチ位置の読取り誤差を修正できます。
通常は調整する必要がありませんが，使用期間の経過とともに，オブジェクト位置とタッチした位置がずれる場合があります。
オブジェクト位置をタッチした位置がずれた場合は，本機能にて位置を補正してください。

補正前

運転 停止

停止ボタンをタッチしたつもりが，運転が動作してしまう

補正後

運転 停止

確実に停止ボタンのタッチが可能になる

■ タッチパネル調整の設定の表示操作

メインメニュー
(1.3 ユーティリティの表示)

「本体機能設定」をタッチ

本体機能設定

「操作に関する設定」をタッチ

操作に関する設定

「タッチパネル調整」をタッチ

タッチパネル調整

タッチパネル座標調整

タッチパネルの座標調整を行います。
×の中心をタッチしてください。

注1：離した位置が設定値となります。
注2：座標調整は，4点で行います。
注3：10秒間 操作がない場合は中止します。

1／4

タッチパネル調整をします。

■ タッチパネル調整操作

画面上に表示される☒を，順番に指で押して，設定します。

1. 左上に表示されている☒の中心を正確にタッチしてください。

2. 右上に表示されている☒をタッチしてください。

3. 左下に表示されている☒をタッチしてください。

タッチパネル座標調整

タッチパネルの座標調整を行います。
×の中心をタッチしてください。

注１：離した位置が設定値となります。
注２：座標調整は、４点で行います。
注３：１０秒間 操作がない場合は中止します。

４／４

4. 右下に表示されている☒をタッチしてください。

タッチパネル座標調整

タッチパネルの座標調整が完了しました。

右上の×ボタンを押して
この画面を閉じてください。

うまく×ボタンが押せない場合は
下のボタンを押して再調整してください。

再調整

5. 右上に表示されている☒をタッチすると，前画面に戻ります。
正確にタッチできなかった場合は，［再調整］ボタンをタッチすると，手順 1 から設定をやり直すことができます。

2.3.7　USB マウス / キーボード設定

■ USB マウス / キーボード設定機能

GOT に USB マウス / キーボードを装着して使用する場合，USB マウス / キーボードの設定を行います。

■ USB マウス / キーボード設定の表示操作

メインメニュー
(1.3 ユーティリティの表示)

本体機能設定

操作に関する設定

「本体機能設定」をタッチ

「操作に関する設定」をタッチ

「USBマウス/キーボード設定」をタッチ

USBマウス/キーボード設定

USBマウス使用	しない
マウスカーソルタッチ連動	しない
USBキーボード使用	しない
USBキーボード種別	日本語106キーボード

USBマウス/キーボードの設定するボタンをタッチします。

■ USB マウス / キーボード設定の設定操作

USBマウス使用	しない
マウスカーソルタッチ連動	しない
USBキーボード使用	しない
USBキーボード種別	日本語106キーボード

1. USB マウスを使用する場合は，［USB マウス使用 ］の設定項目をタッチします。
   タッチすると設定内容が変わります。
   (する ⇔ しない)

(次のページへつづく)

2. タッチした場所にマウスカーソルを移動させる場合は，［マウスカーソルタッチ連動］の設定項目をタッチします。
タッチすると設定内容が変わります。
（する⇄しない）

3. USB キーボードを使用する場合は，[USB キーボード使用］の設定項目をタッチします。
タッチすると設定内容が変わります。
（する⇄しない）

4. USB キーボードを使用する場合は，[USB キーボード種別］の設定項目をタッチします。
タッチすると設定内容が変わります。
（日本語 106 キーボード⇄英語 101 キーボード）

5. [OK] ボタンをタッチすると，変更した設定が反映され，［操作に関する設定］画面に戻ります。
[Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，［操作に関する設定］画面に戻ります。

6. ［操作に関する設定］画面で，[OK]/[Cancel][×] ボタンをタッチすると，GOT は再起動し，変更した設定で動作します。

2.3.8　SoftGOT-GOT リンク機能設定

■ SoftGOT-GOT リンク機能の設定機能

SoftGOT-GOT リンク機能の操作権に関する設定と，操作優先権の取得 / 解放ができます。
操作優先権を取得できるのは GOT 側のみです。
GOT 側が操作優先権を取得している場合，GT SoftGOT1000 側は操作権を取得できなくなります。
SoftGOT-GOT リンク機能設定に関する詳細は，下記を参照してください。

☞ GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル GT Works3 対応

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

機能	内容	設定範囲	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
操作優先権状態	GOT の操作優先権取得状態が表示されます。GOT で操作優先権の取得 / 解放を行えます。	取得 / 解放 <GOT 起動時 : 解放 >	×	○
操作権取得時間	GT SoftGOT1000 で操作権を取得後に操作を行ってから，GOT が自動的に操作権を取得するまでの時間を設定できます。	0 ～ 3600 秒 ＜工場出荷時 : 60 秒＞	×	○
操作権保証時間	GT SoftGOT1000/GOT で操作権を取得して操作を行った後，操作権を取得した状態を保持する時間を設定できます。 (設定した時間が経過するまで，操作権がない側での操作権取得はできません。)	0 ～ 3600 秒 ＜工場出荷時 :0 秒＞	×	○
動作状態 ポップアップ通知	GT SoftGOT1000/GOT で操作権が未取得の場合に，操作権を取得している側の情報をポップアップ表示する / しないを設定できます。	する / しない <GOT 起動時 : しない >	×	○

■ SoftGOT-GOT リンク機能の表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）
「本体機能設定」をタッチ

本体機能設定
「操作に関する設定」をタッチ

操作に関する設定
「SoftGOT-GOTリンク機能設定」をタッチ

SoftGOT-GOTリンク機能設定

本体機能設定:操作に関する設定:SoftGOT-GOTリンク機能設定
操作優先権状態
未取得　取得　解放
SoftGOT-GOTリンク機能設定
操作権取得時間　60 秒 (0：無効)
操作権保証時間　0 秒
動作状態ポップアップ通知　しない
OK　Cancel

■ SoftGOT-GOT リンク機能の設定操作

(1) 操作優先権状態

（a）操作優先権の取得

1. [取得] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスが表示されます。
2. [OK] ボタンをタッチすると操作優先権を取得します。
   [Cancel] ボタンをタッチすると操作優先権の取得を中止します。

（b）操作優先権の解放

1. [解放] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスが表示されます。
2. [OK] ボタンをタッチすると操作優先権を解放します。
   [Cancel] ボタンをタッチすると操作優先権の解放を中止します。

(2) 操作権取得時間

1. 操作権取得時間の選択ボタンをタッチすると，キーボードが表示されます。
   キーボードにより操作権の取得時間を入力します。
   0 秒に設定すると，GT SoftGOT1000 で操作権を取得後，GOT の操作権自動取得は行われません。
2. [OK] ボタンをタッチすると，変更した設定が反映され，[操作に関する設定] 画面に戻ります。
   [Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，[操作に関する設定] 画面に戻ります。
3. [操作に関する設定] 画面で，[OK]/[Cancel]/[×] ボタンをタッチすると，GOT は再起動し，変更した設定で動作します。

(3) 操作権保証時間

1. 操作権保証時間の選択ボタンをタッチすると，キーボードが表示されます。
キーボードにより操作権の保証時間を入力します。
2. [OK] ボタンをタッチすると，変更した設定が反映され，[操作に関する設定] 画面に戻ります。
[Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，[操作に関する設定] 画面に戻ります。
3. [操作に関する設定] 画面で，[OK]/[Cancel]/[×] ボタンをタッチすると，GOT は再起動し，変更した設定で動作します。

POINT

操作権取得時間と操作権保証時間の関係

下記の設定をした場合，操作権取得時間が優先されます。(操作権取得時間が経過すると，GOT が自動的に操作権を取得します。)

- 操作権取得時間を 1 秒以上に設定
- 操作権保証時間を操作権取得時間より長く設定

(4) 動作状態ポップアップ通知

1. 設定項目をタッチすると設定内容が変わります。
(する⇔しない)
2. [OK] ボタンをタッチすると，変更した設定が反映され，[操作に関する設定] 画面に戻ります。
[Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，[操作に関する設定] 画面に戻ります。
3. [操作に関する設定] 画面で，[OK]/[Cancel]/[×] ボタンをタッチすると，GOT は再起動し，変更した設定で動作します。

2.3.9　VNC(R) サーバ機能設定

■ VNC® サーバ機能設定の設定機能

VNC® サーバ機能設定では，VNC® サーバ機能の操作権保証時間を設定できます。
VNC® サーバ機能に関する詳細は，下記を参照してください。

☞ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編)

(○：対応，△：一部非対応，×：非対応)

機能	内容	設定範囲	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
操作権保証時間	操作権を取得した側の機器で操作を行った後，操作権を取得した状態を保持する時間を設定できます。 (設定した時間が経過するまで，操作権がない側での操作権取得はできません。)	0 ～ 3600 秒 ＜工場出荷時 :0 秒＞	×	○

POINT

操作権保証時間解除信号 (GS1792.b8)
操作権保証時間解除信号 (GS1792.b8) を ON した場合，操作権保証時間の設定は無効になります。

■ VNC® サーバ機能設定の表示操作

メインメニュー
(☞ 1.3 ユーティリティの表示)

本体機能設定

操作に関する設定

「本体機能設定」をタッチ

「操作に関する設定」をタッチ

「VNCサーバ機能設定」をタッチ

VNC® サーバ機能設定

本体機能設定:操作に関する設定:VNCサーバ機能設定
操作権保証時間
0 秒
OK　Cancel

■ VNC® サーバ機能の設定操作

(1)　操作権保証時間

本体機能設定:操作に関する設定:VNCサーバ機能設定

操作権保証時間

0　秒

OK　Cancel

1. [操作権保証時間] の入力欄をタッチすると，キーボードが表示されます。
キーボードにより操作権保証時間を入力します。

2. [OK] ボタンをタッチすると，変更した設定が反映され，[操作に関する設定] 画面に戻ります。
[Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，[操作に関する設定] 画面に戻ります。

3. [操作に関する設定] 画面で，[OK]/[Cancel]/[×] ボタンをタッチすると，GOT は再起動し，変更した設定で動作します。

2.4　メンテナンス機能

2.4.1　メンテナンス時期通知

メンテナンス時期の基準となる通電時間やタッチ回数，書込み回数を設定します。
メンテナンス時期通知を使用する場合は，バッテリが必要です。
バッテリに関する詳細は，下記を参照してください。

☞（ハードウェア詳細編）8. オプション機器

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目	内容	設定範囲	単位	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応	メンテナンス要領参照先
バックライトメンテナンス時期通知時間（0 ～ 100000 時間）	メンテナンス通知を出力する通電時間を設定します。0 の場合，メッセージ通知されません。時間のカウントは，バックライト点灯時のみカウントします。カウントは 10 分単位で行われます。	0 ～ 100 <工場出荷時：0>	1000 時間	○	○	（ハードウェア詳細編）9.5 バックライト切れ検知と交換
表示部メンテナンス時期通知時間（0 ～ 100000 時間）	メンテナンス通知を出力する通電時間を設定します。0 の場合，メッセージ通知されません。時間のカウントは，通電時にカウントします。カウントは 10 分単位で行われます。	0 ～ 100 <工場出荷時：0>	1000 時間	○	○	−
タッチキーメンテナンス時期通知回数（0 ～ 2000000 回）	メンテナンス通知を出力するタッチキータッチ回数を設定します。0 の場合，メッセージ通知されません。画面タッチごとにカウントします。	0 ～ 200 <工場出荷時：0>	10000 回	○	○	−
内蔵フラッシュメモリメンテナンス時期通知回数（0 ～ 200000 回）	メンテナンス通知を出力する内蔵フラッシュメモリ書込み回数を設定します。0 の場合，メッセージ通知されません。内蔵フラッシュメモリに書き込むごとにカウントします。	0 ～ 200 <工場出荷時：0>	1000 回	○	○	−

■ メンテナンス時期通知機能

メンテナンス時期通知機能を使用する場合は，バッテリが必要です。
メンテナンス時間を通知する時間，回数の設定としては，「(ハードウェア詳細編)3.2 性能仕様」に記載されている寿命を目安としてください。
メンテナンス時期通知の出力は，以下の 2 通りの方法で出力されます。
・GOT 特殊レジスタ (GS680) へ出力
・システムアラームとして出力
GOT 特殊レジスタ，システムアラームに関する詳細は，下記を参照してください。

☞ ・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編)
・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル

POINT

メンテナンス時期通知出力を OFF するには

1 度出力したメンテナンス時期通知は，メンテナンス時期通知設定を変更しても OFF しません。
メンテナンス時期通知は，以下の方法で OFF してください。
- 積算値リセットを実行する。
- メンテナンス時期通知キャンセル情報 (GS638) の各ビットを OFF にする。

システムアラームを使用することにより，メンテナンス時期が近くなったことやメンテナンス時期になったことを通知するメッセージを表示できます。
システムアラームの表示に関しては，下記を参照してください。

☞ (ハードウェア詳細編) 10. トラブルシューティング

システムアラームの設定に関しては，下記を参照してください。

☞ ・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編)
・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル

■ メンテナンス時期通知の表示操作

メインメニュー
(1.3 ユーティリティの表示)

「本体機能設定」
をタッチ

本体機能設定

「GOTメンテナンス機能」
をタッチ

GOTメンテナンス機能

「メンテナンス時期通知」
をタッチ

メンテナンス時期通知

本体機能設定:GOTメンテナンス機能:メンテナンス時期通知
メンテナンス時期通知時間設定
バックライト 0 x 1000時間
表示部 0 x 1000時間
メンテナンス時期通知回数設定
タッチキー 0 x 10000回
内蔵フラッシュメモリ 0 x 1000回
OK Cancel

実通電時間などの積算値に関しては，下記を参照してください。

2.4.2 積算値リセット

■ メンテナンス時期通知の操作

本体機能設定:GOTメンテナンス機能:メンテナンス時期通知
メンテナンス時期通知時間設定
バックライト 0 x 1000時間
表示部 0 x 1000時間
メンテナンス時期通知回数設定
タッチキー 0 x 10000回
内蔵フラッシュメモリ 0 x 1000回
1.
OK Cancel

1. 各設定項目の選択ボタンをタッチすると，キーボードが表示されます。
   設定する値を入力してください。
   キーボードの操作方法は下記を参照してください。
   1.3.3 ■ キーボードの操作

2. [OK] ボタンをタッチすると，変更した設定が反映され，[GOT メンテナンス機能] 画面に戻ります。
   [Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，[GOT メンテナンス機能] 画面に戻ります。

2.4.2　積算値リセット

メンテナンス時期通知のために積算していたバックライトメンテナンス時期通知時間，表示部メンテナンス時期通知時間，タッチキーメンテナンス時期通知回数，内蔵フラッシュメモリメンテナンス時期通知回数の現在値を表示し，その値をリセットします。
メンテナンス時期の通知設定に関しては，下記を参照してください。

☞ 2.4.1 メンテナンス時期通知

■ 積算値リセット機能

「2.4.1 ■ メンテナンス時期通知機能」により積算される値をゼロにリセットします。

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
バックライト実通電時間積算値リセット	積算されている実通電時間をゼロにリセットする機能。	○	○
表示部実通電時間積算値リセット	積算されている実通電時間をゼロにリセットする機能。	○	○
タッチキー実押下回数積算値リセット	積算されている実押下回数をゼロにリセットする機能。	○	○
内蔵フラッシュメモリ実書込み回数積算値リセット	積算されている実書込み回数をゼロにリセットする機能。	○	○

■ 積算値リセットの表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）

「本体機能設定」をタッチ

本体機能設定

「GOTメンテナンス機能」をタッチ

GOTメンテナンス機能

「積算値リセット」をタッチ

積算値リセット

本体機能設定:GOTﾒﾝﾃﾅﾝｽ機能:積算値ﾘｾｯﾄ
実通電時間
ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ 1666 × 1000時間 ﾘｾｯﾄ
表示部 1666 × 1000時間 ﾘｾｯﾄ
実押下回数
ﾀｯﾁｷｰ 1000 × 10000回 ﾘｾｯﾄ
実書込回数
内蔵ﾌﾗｯｼｭﾒﾓﾘ 10000 × 1000回 ﾘｾｯﾄ
OK　Cancel

積算値

■ 積算値リセットの操作

本体機能設定:GOTメンテナンス機能:積算値リセット
実通電時間
バックライト 1666 x 1000時間 リセット
表示部 1666 x 1000時間 リセット
実押下回数
タッチキー 1000 x 10000回 リセット
実書込回数
内蔵フラッシュメモリ 10000 x 1000回 リセット
1.
OK Cancel

1. 各項目の [リセット] ボタンをタッチすると，積算時間および積算回数が 0 になります。

2. [OK] ボタンをタッチすると，変更した設定が反映され，[GOT メンテナンス機能] 画面に戻ります。
[Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，[GOT メンテナンス機能] 画面に戻ります。

POINT

積算値リセットを行うタイミング

バックライト，表示部，タッチパネル，または内蔵フラッシュメモリの交換を実施したときに積算値リセットすると便利です。

2.4.3　GOT 起動時間

■ GOT 起動時間機能

GOT 起動時間は，下記の日時を表示する機能です。

- GOT の起動時刻
- GOT の現在時刻
- GOT の運転時間

■ GOT 起動時間の表示操作

■ GOT 起動時間の表示

本体機能設定:GOTﾒﾝﾃﾅﾝｽ機能:GOT起動時間

GOT起動時間
起動時刻 2008/06/17 TUE 20:03:55
現在時刻 2008/06/17 TUE 20:04:34
運転時間 0h 00m 38s

項目	内容
起動時刻	GOT の電源 ON，またはリセット再起動 (OS インストール，接続機器設定変更) したときの時刻を表示します。
現在時刻	現在の時刻を表示します。
運転時間	GOT の運転時間を表示します。 表示される運転時間は，GOT の電源 ON，またはリセット再起動 (OS インストール，接続機器設定変更) してから現在までの累計時間です。 GOT の電源 OFF，またはリセット再起動すると，運転時間はクリアされます。

POINT

正しい時刻を表示するためには

GOT の時計を設定してください。(☞ 2.1.1 時間に関する設定)

時計を設定していない場合は，［ 起動時刻 ］，［ 現在時刻 ］に正しい時刻が表示されません。

HINT

[運転時間] に表示される時間

［ 運転時間 ］は，［ 起動時刻 ］と［ 現在時刻 ］に関係なく表示されます。
GOT の時計を変更した場合，［ 運転時間 ］は［ 現在時刻 ］と［ 起動時刻 ］の差と一致しなくなります。(［ 運転時間 ］は［ 現在時刻 ］と［ 起動時刻 ］から算出されたものではありません。)
［ 運転時間 ］に表示される時間は，GOT の電源 ON，またはリセット再起動 (OS インストール，接続機器設定変更) してから現在までの累計時間の目安としてください。

2.4.4 GOT 情報

■ GOT 情報機能

GOT 情報は，下記の GOT の情報を表示する機能です。

- GOT に書き込まれている通信ドライバ
- シリアル番号
- MAC アドレス
- ハードウェアバージョン
- 出荷時のソフトウェアバージョン
- GOT に装着されている通信ユニット
- GOT に装着されているオプションユニット
- A ドライブ /B ドライブに装着されている CF カードの容量

■ GOT 情報の表示操作

メインメニュー
(1.3 ユーティリティの表示)

「本体機能設定」
をタッチ

本体機能設定

「GOTメンテナンス機能」
をタッチ

「GOTメンテナンス機能」

「GOT情報」
をタッチ

GOT情報

本体機能設定:GOTﾒﾝﾃﾅﾝｽ機能:GOT情報

通信ﾄﾞﾗｲﾊﾞ　A/QnA/L/QCPU,L/QJ71C24　Ver.05.16.50
E71接続　Ver.05.16.50

GOTｼｽﾃﾑ構築情報
S/N　GOT08616AA02001A
MACｱﾄﾞﾚｽ　08-00-70-AB-23-84
H/Wﾊﾞｰｼﾞｮﾝ　AA
S/Wﾊﾞｰｼﾞｮﾝ　AA
UNIT

OPTION
CFCard　A:　511664128 byte
B:　0 byte

■ GOT 情報の表示

項目	内容
通信ドライバ	GOT に書き込まれている通信ドライバを表示します。
S/N	シリアル番号を表示します。
MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。
H/W バージョン	ハードウェアバージョンを表示します。
S/W バージョン	出荷時のソフトウェアバージョンを表示します。
UNIT	GOT に装着されている通信ユニットを表示します。
OPTION	GOT に装着されているオプションユニットを表示します。
CFCard	A ドライブ /B ドライブに装着されている CF カードの容量を表示します。

3. 通信インタフェースの設定 (接続機器設定)

接続機器設定では，通信インタフェースの名称と，それに関連付けられている通信チャンネル，通信ドライバ名の表示と，チャンネル番号の設定をします。
また，接続機器詳細設定では，各通信インタフェースの詳細設定 (通信パラメータの設定) をします。

(○ : 対応，△ : 一部非対応，× : 非対応)

機能	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応	参照先
接続機器設定	通信インタフェースの設定内容の確認，設定の変更ができます。	○	○	3.1
Ethernet 設定	Ethernet 設定の設定内容の確認，自局の変更ができます。	×	○	3.3

3.1 接続機器設定

3.1.1 接続機器設定機能

(○ : 対応，△ : 一部非対応，× : 非対応)

機能	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
チャンネルードライバ割当	チャンネル番号と通信ドライバ名称の割付けを変更します。	○	○
Ethernet I/F 割当	Ethernet インタフェースで接続した機器のチャンネル番号と通信ドライバ名称の割付を変更します。	○	○
チャンネル番号 (Ch No.) 設定	通信インタフェース (標準インタフェース / 拡張インタフェース) のチャンネル番号を設定します。	○	○
通信パラメータ設定	接続機器の通信パラメータを設定します。	○	○

3.1.2　接続機器設定の表示操作

メインメニュー

（☞ 1.3 ユーティリティの表示）

「接続機器設定」をタッチ

接続機器設定

「接続機器設定」をタッチ

接続機器設定

3.1.3　接続機器設定の内容

接続機器設定の設定項目や，表示内容について説明します。

(1)　チャンネルードライバ割当

(a)　チャンネルに対する通信ドライバの割り当て
GOT へインストールした通信ドライバに対して，チャンネル番号を割り当てることができます。
GT Designer3 の [接続機器の設定] または GT Designer2 で [接続機器設定] を設定していない場合でも，本機能でチャンネル番号を割り当てることにより接続機器と通信できます。

☞ 3.1.4 ■ チャンネルードライバ割当操作

(b)　チャンネルに対する通信ドライバの割り当てを変更
GT Designer3，GT Designer2 を使用しないで，チャンネルに対する通信ドライバの割り当てを変更できます。
通信ドライバを変更する場合は，あらかじめ通信ドライバが GOT にインストールされている必要があります。

(2)　標準インタフェース表示ボックス

GT16 に標準装備されている通信インタフェースを表示します。
以下の 4 種類があります。

RS-232........... パソコン (GT Designer3，GT Designer2) または接続機器との通信用
RS-422/485.. 接続機器との通信用
USB................. パソコン (GT Designer3，GT Designer2) との通信用
Ethernet......... パソコン (GT Designer3，GT Designer2) または接続機器との通信用

(3)　拡張インタフェース表示ボックス

拡張インタフェースに装着されているユニットの形名を表示します。
(ユニットが装着されていない場合，[未使用] と表示します。)
各ユニットの詳細は，下記を参照してください。

☞ (ハードウェア詳細編)8.1 通信ユニットについて

(4) チャンネル番号指定メニューボックス

標準インタフェースや拡張インタフェースで使用するチャンネル番号を設定します。

各チャンネルに割付け可能なドライバについては，(5) を参照してください。

0：	通信インタフェース未使用時に設定します。
1 ～ 4：	接続機器との接続時に設定します。 (指紋認証ユニット，バーコードリーダ，RFID コントローラ，パソコンを除く)
5 ～ 7：*1 *2	バーコードリーダ，RFID コントローラ，パソコンとの接続時に設定します。 拡張 I/F のみ設定が可能です。
8：*1 *2	指紋認証ユニット，バーコードリーダ，RFID コントローラ，パソコンとの接続時に設定します。 標準 I/F のみ設定が可能です。
9：*1	パソコン (GT Designer3，GT Designer2) との接続時に設定します。(USB，RS-232 インタフェースに対しては，どちらへも同時設定可。ただし一方が交信中の場合，他方は交信不可)
*：	ゲートウェイ機能 (接続機器との接続が Ethernet 接続時以外)，MES インタフェース機能，Ethernet ダウンロード機能時，レポート機能，ハードコピー (プリンタ出力時)，ビデオ表示，RGB 表示，RGB 出力，外部入出力，操作パネル機能，音声出力，マルチメディア，CF カードユニット /CF カード延長ユニットを使用する機能を使用時に設定します。

• USB インタフェースに対しては，自動的に [9] に設定されます。

*1　Ethernet I/F 割当では，割当てることはできません。
*2　ChNo.5 ～ ChNo.8 で同じ機器を同時に使用できません。
外部機器の制約については，下記マニュアルを参照してください。

☞ ・使用する接続機器に対応する GOT1000 シリーズ接続マニュアル GT Works3 対応 1.1 通信インタフェースの設定
・GT Designer2 Version □　画面設計マニュアル 3.7 通信インタフェースの設定 (接続機器設定)

(5) ドライバ表示ボックス

チャンネルに割り付けられている通信ドライバの名称や GT Designer3，GT Designer2 の接続機器の設定で設定したドライバが表示されます。

表示されるドライバの詳細については，下記のマニュアルを参照してください。

☞ ・使用する接続機器に対応する GOT1000 シリーズ接続マニュアル GT Works3 対応
1.1 通信インタフェースの設定
・GT Designer2 Version □　画面設計マニュアル
3.7 通信インタフェースの設定 (接続機器設定)

以下に示すいずれかの場合，ドライバ表示ボックスには [未使用] と表示されます。

• 通信ドライバがインストールされていない場合。(☞ 6.3.1 OS 情報)
• チャンネル番号指定メニューボックスに [0] を設定している場合。
• 拡張インタフェース側において，装着している通信ユニットの種類と通信ドライバが互いに一致していない場合。

標準 I/F-1 にチャンネル番号を [9] に設定した場合，通信ドライバ [ホスト (パソコン)]/[ホスト (モデム)] が選択できます。

また，標準 I/F-2 にチャンネル番号を [9] に設定した場合は，通信ドライバ [ホスト (パソコン)] に自動的に割付されます。

通信ドライバの設定方法については，下記を参照してください。

☞ 3.1.4 ■ ホスト (パソコン)/ ホスト (モデム) の設定

(6) Ethernet I/F 割当

Ethernet 接続時の接続機器設定が設定できます。

Ethernet I/F 割当では 1 つのインタフェースに対し，最大 4 つのチャンネルが割当てることができます。

☞ 3.1.4 ■Ethernet I/F 割当操作

POINT

GOT と接続機器との通信を行うためのご注意

(1) 通信ドライバのインストールと接続機器設定のダウンロード

接続機器との通信を行うために，通信インタフェースに対して，下記を行う必要があります。

① 通信ドライバのインストール (最大 4 つ)
② 通信インタフェースに対するチャンネル番号，通信ドライバの割付け
③ ②で割付けした内容 (プロジェクトデータ) のダウンロード

上記①，②，③は GT Designer3 または GT Designer2 により，行ってください。

I/F(I): 拡張I/F-1(1段目)
ドライバ(D): A/QnA/L/Q CPU, LJ71C24, QJ71C24
詳細設定
バス接続A/QnA
バス接続Q
A/QnA/L/Q CPU, LJ71C24, QJ71C24

詳細は，下記を参照してください。

・使用する接続機器に対応する GOT1000 シリーズ接続マニュアル GT Works3 対応
1.1 通信インタフェースの設定
・GT Designer2 Version□ 画面設計マニュアル
3.7 通信インタフェースの設定 (接続機器設定)
・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
8.3.7 プロジェクトデータを読み出しする
・GT Designer2 Version□ 基本操作・データ転送マニュアル
8.3.1 プロジェクトデータをダウンロードする (パソコン→ GOT)

(2) 接続機器設定がダウンロードされていない場合

GOT は，インストールされている通信ドライバを，下記①～④の順で自動に割り付けます。
(自動で割り付けるのは拡張インタフェースのみです。)

①：ChNo.1，1 番目にインストールされた通信ドライバ
②：ChNo.2，2 番目にインストールされた通信ドライバ
③：ChNo.3，3 番目にインストールされた通信ドライバ
④：ChNo.4，4 番目にインストールされた通信ドライバ

(a) 自動で割付け後について
自動で割付け後に，［OK］ボタンを押して設定を GOT に保存した場合，次回起動時からは自動割付けは行われません。

(b) GT Designer3の［接続機器の設定］またはGT Designer2の［接続機器設定］との優先度
自動で割付け後に，GT Designer3，GT Designer2 で接続機器の設定を GOT にダウンロードすると，GOT は GT Designer3，GT Designer2 の接続機器の設定で動作します。(最後に設定した接続機器の設定で動作します。)

(3) 通信ドライバと GOT に装着しているユニットの組合わせが一致しない場合

[接続機器設定] を表示時，GOT にエラーが表示されます。
エラーが表示された場合は，通信ドライバと通信ユニットの組合わせを確認してください。
組合わせについては，下記マニュアルを参照してください。

☞ ・使用する接続機器に対応する GOT1000 シリーズ接続マニュアル GT Works3 対応
(各章のシステム構成)
・GOT1000 シリーズ 接続マニュアル (各章のシステム構成)

3.1.4 接続機器設定の操作

■ チャンネル－ドライバ割当操作

チャンネル－ドライバ割当の操作方法を説明します。
本項では，計算機リンク接続の GOT(通信ドライバ : [AJ71QC24，MELDAS C6*]) に対して，CPU 直接接続 (通信ドライバ : [A/QnA/L/QCPU，L/QJ71C24]) に変更する場合の例を説明します。

POINT

操作を行う前に

本設定を実行すると，GOT は自動的に再起動します。
また，プロジェクトデータがダウンロードされていると，再起動後に接続機器のモニタを開始します。
安全を十分確認した上で，本設定を実行してください。

1. GOT に通信ドライバ [A/QnA/L/QCPU，L/QJ71C24] をインストールします。
(GT Designer3，GT Designer2 からの [接続機器の設定] のダウンロードは不要です。)
通信ドライバインストール後，[接続機器設定] で [チャンネル - ドライバ割当] ボタンをタッチします。

2. 左記の画面が表示されるので，[割当変更] ボタンをタッチします。

3. GOT にインストールされている通信ドライバ ([A/QnA/L/QCPU，L/QJ71C24]) が表示されるので，タッチします。

(次のページへつづく)

4. [チャンネル - ドライバ割当] 画面に戻るので，[OK] ボタンをタッチすると，変更した設定が反映され，[接続機器設定] 画面に戻ります。
[Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，[接続機器設定] 画面に戻ります。

5. 選択した通信ドライバ ([A/QnA/L/QCPU, L/QJ71C24]) が割り当てられていることを確認してください。

6. 確認後，[OK]/[Cancel]/[×] ボタンをタッチすると，GOT は再起動し，変更した設定で動作します。

■ チャンネル番号設定操作

キーボード

1. 設定するチャンネル番号指定メニューボックスをタッチします。
2. チャンネル番号指定メニューボックスのカーソルが表示されます。
   同時に，数値入力用キーボードが表示されます。
3. キーボードからチャンネル番号を入力し，[Enter] キーをタッチすると値が確定します。
   同時に，GT Designer3，GT Designer2 で割付けしたチャンネル番号に対応した通信ドライバの名称がドライバ表示ボックスに表示されます。

■ 接続機器詳細設定への切換え操作

1. 接続機器設定画面または Ethernet I/F 割当て画面のドライバ表示ボックスをタッチすると関連する接続機器の詳細設定に切り換わります。
   (3.2 接続機器詳細設定)

■ 5V 電源供給の設定操作

RS-232 インタフェースに接続機器を接続する場合，9 ピン経由で接続機器に DC5V 電源を供給する / しないを選択することができます。
このため，外部電源を接続する必要がなくなります。
RS-232 インターフェースを 9(ホスト (パソコン)) に設定したときは，自動的に 5V 電源供給を [しない] に変更します。

1. [5V 電源供給] をタッチします。

2. 5V 電源供給をする / しないを選択します。
[OK] ボタンをタッチすると，変更した設定が反映され，[接続機器設定] 画面に戻ります。
[Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，[接続機器設定] 画面に戻ります。

3. 設定完了後，5V 電源を供給する設定であることを示す [*] が表示されます。

4. [OK]/[Cancel]/[×] ボタンをタッチすると，GOT は再起動し，変更した設定で動作します。

■ ホスト (パソコン)/ ホスト (モデム) の設定

[ホスト (パソコン)]/[ホスト (モデム)] の設定方法を説明します。
[パソコン接続種別] で [ホスト (パソコン)] を選択すると下記の設定は不要です。
[ホスト (モデム)] を選択した場合のみ下記の設定をしてください。

接続機器設定:接続機器詳細設定
ﾊﾟｿｺﾝ接続種別　ﾎｽﾄ(ﾓﾃﾞﾑ)
ﾎﾞｰﾚｰﾄ　115200 BPS
ﾃﾞｰﾀ長　8 BIT
ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ　1 BIT
ﾊﾟﾘﾃｨ　奇数
ﾘﾄﾗｲ回数　1 回
通信ﾀｲﾑｱｳﾄ時間　5 秒
初期化ATｺﾏﾝﾄﾞ　AT&FE0%C0&K0&D0W2S0=1
ﾓﾃﾞﾑ操作　初期化　切断
ﾃﾞﾌｫﾙﾄ　OK　Cancel

項目	内容	設定範囲
パソコン接続種別	パソコンへの接続方法が選択できます。	ホスト (パソコン)/ ホスト (モデム) ＜デフォルト：ホスト (パソコン) ＞
ボーレート (BPS)	通信時のボーレートを設定します。	9600/19200/38400/57600/115200 ＜デフォルト：115200 ＞
データ長	通信時のデータ長を設定します。	7bit/8bit ＜デフォルト：8bit ＞
ストップビット	通信時のストップビット長を設定します。	1bit/2bit ＜デフォルト：1bit ＞
パリティ	通信時のパリティチェックを行うかどうか，行う場合どの形式で行うかを設定します。	奇数 / 偶数 / 無＜デフォルト：奇数＞
通信タイムアウト時間 (秒)	通信時のタイムアウト時間を表示します。	＜デフォルト：5(固定) ＞
リトライ回数 (回)	通信時のリトライ回数を表示します。	＜デフォルト：1(固定) ＞
初期化 AT コマンド	モデムを初期化するための，AT コマンドを設定します。	255 文字以内の半角英数文字 *1 ＜デフォルト：AT ＆ FE0%C0 ＆ K0 ＆ D0W2S0=1 ＞
モデム操作	[初期化] ボタンをタッチすると，モデムが初期化されます。 [切断] ボタンをタッチすると，回線が切断されます。	–

*1　AT コマンドの最大文字数は，モデムの仕様によって異なります。
モデムで使用できる AT コマンドの最大文字数が 255 より少ない場合，初期化コマンドはモデムの仕様に合わせて設定してください。

■ Ethernet I/F 割当操作

Ethernet I/F 割当の操作方法を説明します。
接続機器設定画面の設定操作方法と同じです。

1. ［接続機器設定］で［Ethernet I/F 割当］ボタンをタッチします。

2. 左記の画面が表示されるので，チャンネル番号の変更を行う場合はチャンネル番号指定メニューボックスをタッチします。
（☞ ■ チャンネル番号設定操作）

3. パラメータの設定変更を行う場合はドライバ表示ボックスをタッチします。
（☞ 3.2 接続機器詳細設定）

4. 設定完了後，［OK］ボタンをタッチすると，変更した設定が反映され，［接続機器設定］画面に戻ります。
［Cancel］ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，［接続機器設定］画面に戻ります。

5. ［接続機器設定］画面で［OK]/［Cancel]/［×］ボタンをタッチすると，GOT は再起動し，変更した設定で動作します。

3.2　接続機器詳細設定

3.2.1　接続機器詳細設定機能

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

機能	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
通信パラメータ設定	接続機器の各種通信パラメータを設定できます。 設定できるパラメータは接続機器により異なります。	○	○
キーワード設定	接続機器が FX シリーズシーケンサの場合，シーケンサ内のプログラム保護のためのキーワードを設定できます。	○	○
キーワード削除	接続機器が FX シリーズシーケンサの場合，シーケンサ内のプログラム保護のためのキーワードを削除できます。	○	○
キーワード保護解除	接続機器が FX シリーズシーケンサの場合，シーケンサ内のプログラム保護状態を解除できます。	○	○
キーワード プロテクト	接続機器が FX シリーズシーケンサの場合，シーケンサ内の解除したプログラム保護を再度保護の状態にできます。	○	○

3.2.2　接続機器詳細設定の表示操作

■ 接続機器設定の場合

1. 接続機器設定で，設定を行う通信パラメータのドライバ表示ボックスをタッチします。

2. 接続機器詳細設定へ切り換わります。
この画面から，通信パラメータを設定します。
設定変更の操作は，下記を参照してください。
☞ 1.3.3 設定変更の基本操作

通信パラメータ

POINT

(1) GT Designer3，GT Designer2 による通信パラメータ設定

それぞれの通信ドライバに対する通信パラメータの設定は，GT Designer3 の接続機器の設定または GT Designer2 のシステム環境の接続機器設定で行ってください。
プロジェクトデータをダウンロード後に通信パラメータの設定を変更する場合には，GOT の接続機器詳細設定にて設定を変更してください。

☞ · 使用する接続機器に対応する GOT1000 シリーズ接続マニュアル GT Works3 対応
· GT Designer2 Version □　画面設計マニュアル
3.7 通信インタフェースの設定 (接続機器設定)

(2) Ethernet マルチ接続している場合

Ethrenet 接続のドライバ表示ボックスをタッチすると，チャンネル番号 1 の接続機器詳細設定画面が表示されます。

■ Ethernet I/F 割当の場合

同じ Etherenet インタフェースに複数のドライバが割当てられますが，GOT の IP アドレスは 1 つのインタフェースに対して 1 つとなります。
ひとつのインタフェースに対して設定変更することにより，同じインタフェースに割当てられる他ドライバの GOT IP アドレス，GOT ポート No. ダウンロード，デフォルトゲートウェイ，サブネットマスク設定が連動して変更されます。

1. 接続機器設定で，[Ethernet I/F 割当] ボタンをタッチします。

2. [Ethernet I/F 割当] 画面で，設定する通信パラメータのドライバ表示ボックスをタッチします。

接続機器設定:接続機器詳細設定
E71接続

GOT NET No.	1
GOT PC No.	1
GOT .IPｱﾄﾞﾚｽ	192 . 168 . 3 . 18
GOTﾎﾟｰﾄ No.	機器通信用 5001
	ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ 5014
ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ	0 . 0 . 0 . 0
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ	255 . 255 . 255 . 0
ﾘﾄﾗｲ回数	3 回
立ち上がり時間	3 秒
通信ﾀｲﾑｱｳﾄ時間	3 秒
送信ﾃﾞｨﾚｲ時間	0 ×10ms

通信パラメータ

ﾃﾞﾌｫﾙﾄ　OK　Cancel

3. 接続機器詳細設定へ切り換わります。
この画面から，通信パラメータを設定します。
設定変更の操作は，下記を参照してください。
☞ 1.3.3 設定変更の基本操作

POINT

GT Designer3，GT Designer2 による通信パラメータ設定

それぞれの通信ドライバに対する通信パラメータの設定は，GT Designer3 の接続機器の設定または GT Designer2 のシステム環境の接続機器設定で行ってください。
プロジェクトデータをダウンロード後に通信パラメータの設定を変更する場合には，GOT の接続機器詳細設定にて設定を変更してください。

☞ ・GOT1000 シリーズ接続マニュアル

・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル
3.7 通信インタフェースの設定 (接続機器設定)

3.2.3 接続機器詳細設定の表示内容

接続機器詳細設定の内容は，ドライバの種類により異なります。

本項では，GT Designer3，GT Designer2 の接続機器詳細設定と異なる項目についてのみ説明します。
本項に示す以外の設定項目については，下記のマニュアルを参照してください。

☞ ・使用する接続機器に対応する GOT1000 シリーズ接続マニュアル GT Works3 対応
・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル
3.7 通信インタフェースの設定 (接続機器設定)

接続機器設定:接続機器詳細設定
ﾊﾞｽ接続A/QnA
増設段数 1
ｽﾛｯﾄNo. 0
通信ﾀｲﾑｱｳﾄ時間 3 秒
ﾃﾞﾌｫﾙﾄ OK Cancel

例 :バス接続A/QnAの場合

■ キーワードの登録，削除，保護解除，プロテクト

MELSEC-FX

(1) **登録**

キーワードの登録を行います。

1. ［登録］キーをタッチすると，キーワード入力用キーボードがポップアップ表示されます。
2. キーワードを入力し，[Enter] キーをタッチすると登録が完了します。
キーワードは，A ～ F，0 ～ 9 で，最大 8 桁まで設定できます。

接続シーケンサ	設定	
	キーワードと第 2 キーワードを登録した場合	キーワードのみ登録した場合
第 2 キーワード対応の FX シーケンサ	［登録条件］*1 を選択できます。	［登録条件］*1 は選択できません。
第 2 キーワード未対応の FX シーケンサ	－	

*1 ［登録条件］について
［読出 / 書込禁止］，［書込禁止］，［全てのオンライン操作禁止］からアクセス制限を選択できます。
各設定時のアクセス制限は，下記のマニュアルを参照してください。
☞ 使用する FX シーケンサのマニュアル

POINT

(1) **キーワードの保護レベルの選択方法**
FX シーケンサに対してオンライン操作が可能な機器に対しては，3 段階の保護レベルが設定できます。
オンライン機器によるモニタや設定変更などを必要とする場合は，下記を考慮したキーワードを設定してください。

(a) キーワードのみ登録時
キーワードの先頭文字で保護レベルを選択します。
全操作禁止：　A，D ～ F，0 ～ 9 のいずれかで始まるキーワードを設定します。
誤書込，読出禁止：B で始まるキーワードを設定します。
誤書込禁止：C で始まるキーワードを設定します。

(b) キーワードと第2キーワードを登録時
[登録条件] で保護レベルを選択します。

(2) **キーワードの保護レベルごとのモニタ可否**
保護レベルごとのデバイスのモニタ可否は下記のとおりです。

項　　目		キーワードのみ登録時			キーワードと第 2 キーワードを登録時			キーワード未登録 / 保護解除
		全操作禁止	誤書込，読出禁止	誤書込禁止	全てのオンライン操作禁止	読出 / 書込禁止	書込禁止	
デバイスのモニタ		○	○	○	×	○	○	○
デバイスの変更	T，C 設定値とファイルレジスタ (D1000 ～)	×	×	×	×	○	○	○
	上記以外	○	○	○	×	○	○	○

(3) **全てのオンライン操作禁止と全操作禁止の違い**
全てのオンライン操作禁止を設定時は，プログラミングツール，GOT でのデバイス表示，入力のすべてが禁止されます。
全操作禁止時は，プログラミングツールでの操作はすべて禁止されますが，GOT でのデバイス表示，入力は可能です。

(2) **削除**

登録したキーワードを削除します。

1. ［削除］キーをタッチすると，キーワード入力用キーボードがポップアップ表示されます。
2. キーワードを入力し，［Enter］キーをタッチするとキーワードが削除されます。

接続シーケンサ	設定
第 2 キーワード対応の FX シーケンサ	削除するキーワードを入力してください。
第 2 キーワード未対応の FX シーケンサ	キーワードにのみ，削除するキーワードを入力してください。 第 2 キーワードは無視されます。

(3) **保護解除**

キーワードが登録されている FX シーケンサへアクセスするために，キーワードによる保護を解除します。

1. ［保護解除］キーをタッチすると，キーワード入力用キーボードがポップアップ表示されます。
2. キーワードを入力し，［Enter］キーをタッチすると保護が解除されます。

接続シーケンサ	設定
第 2 キーワード対応の FX シーケンサ	保護を解除するキーワードを入力してください。
第 2 キーワード未対応の FX シーケンサ	キーワードにのみ，保護を解除するキーワードを入力してください。 第 2 キーワードは無視されます。

(4) **プロテクト**

保護を解除したキーワードを，再度保護の状態にします。

1. ［プロテクト］キーをタッチすると，キーワード保護の状態になります。

3.3 Ethernet 設定

3.3.1 Ethernet 設定機能

GT Designer3 で設定した Ethernet 設定の内容を確認できます。
自局の設定は変更できます。
Ethernet 設定については，下記を参照してください。

☞ 使用する接続機器に対応する GOT1000 シリーズ接続マニュアル GT Works3 対応

3.3.2 Ethernet 設定の表示操作

メインメニュー

(☞ 1.3 ユーティリティの表示)

接続機器設定

「接続機器設定」をタッチ

「Ethernet設定」をタッチ

Ethernet設定

接続機器設定:Ethernet設定

1 CH / 2 CH / 3 CH / 4 CH

	自局	NET No.	PC No.	機種	IP ｱﾄﾞﾚｽ	ﾎﾟｰﾄ No.	通信方式
1	*	1	1	QJ71E71	192.168. 3. 1	5001	UDP
2		1	2	QJ71E71	192.168. 3. 2	5001	UDP
3		1	3	QJ71E71	192.168. 3. 3	5001	UDP

初期設定値に戻す

OK　Cancel

3.3.3　Ethernet 設定の表示内容

Ethernet 設定の設定項目や，表示内容について説明します。

接続機器設定:Ethernet設定

(1) 1 CH　2 CH *　3 CH　4 CH

(2)

	自局	NET No.	PC No.	機種	IP ｱﾄﾞﾚｽ	ﾎﾟｰﾄ No.	通信方式
1	*	1	1	QJ71E71	192.168.　3.　1	5001	UDP
2		1	2	QJ71E71	192.168.　3.　2	5001	UDP
3		1	3	QJ71E71	192.168.　3.　3	5001	UDP

(3) 初期設定値に戻す

OK　Cancel

(1)　チャンネル選択タブ

チャンネルを切換えできます。
Ethernet 設定がないチャンネルには切換えできません。
設定を変更したチャンネルのタブには [*] が表示されます。

(2)　Ethernet 設定項目

GT Designer3 で設定した Ethernet 設定の内容を表示します。
自局の設定は変更できます。

☞ ■ 自局の変更

(3)　初期設定値に戻す

変更した設定を取り消して，プロジェクトデータを書き込んだときの状態に戻します。

POINT

(1)　[Ethernet 設定] 画面で変更した設定を取り消す方法

[Ethernet 設定] 画面で変更した設定は，[初期設定値に戻す] ボタンで取り消してください。
[初期設定値に戻す] ボタンで取り消すまで，変更した設定は残ります。
プロジェクトデータや OS を GOT に書き込んでも，変更した設定は取り消されません。
変更した設定を取り消さないで，GOT にプロジェクトデータを書き込んだ場合，書き込んだプロジェクトデータの Ethernet 設定に，変更した設定が反映されます。
(書き込んだプロジェクトデータに，[Ethernet 設定] 画面で設定を変更したチャンネルと同じチャンネルの Ethernet 設定が存在しない場合は反映されません)

(2)　[Ethernet 設定] 画面で変更した設定が反映される範囲

[Ethernet 設定] 画面で変更した設定は GOT で有効になりますが，GOT に書き込まれたプロジェクトデータには上書きされません。
設定を変更後に GOT から読み出したプロジェクトデータには，変更した設定は反映されません。
GOT 一括データ取得で GOT のデータをコピーした場合は，コピーしたデータに [Ethernet 設定] 画面での変更が反映されます。

■ 自局の変更

1. 自局に設定する機器をタッチします。

2. [OK] ボタンをタッチすると，GOT は再起動し，変更した設定で動作します。
[Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，[接続機器設定] 画面に戻ります。

4. 保全機能

本マニュアルでは，保全機能の機能概要と画面を表示するまでの操作のみ記載しています。
各保全機能の表示内容や操作方法については，下記のマニュアルを参照してください。

☞ ・GOT1000 シリーズ 本体取扱説明書 (拡張機能・オプション機能編) GT Works3 対応
・GOT1000 シリーズ拡張機能・オプション機能マニュアル
（GT Designer2/GT Works2 対応 ）

保全機能では下記の機能が使用できます。

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応	参照先
各種モニタ	システムモニタ，回路モニタ，ネットワークモニタ，インテリジェントユニットモニタ，サーボアンプモニタ，モーションモニタ，CNC モニタ，A リスト編集，FX リスト編集，SFC モニタ，ラダー編集，MELSEC-L トラブルシュート，ログビューア，モーション SFC モニタ，モーションプログラム (SV43) 編集，CNC 加工プログラム編集	△*1	○	4.1
保全機能設定	Q/L/QnA 回路モニタの設定，バックアップ / リストア設定	○	○	4.2
メモリ・データ管理	バックアップ / リストア機能，GOT データ一括取得，CNC データ入出力，メモリカードフォーマット，メモリ情報，USB デバイス状態表示，SRAM 管理，モーションプログラム (SV43) 入出力	△*1	○	4.3

*1　下記の機能には対応していません。

項目	非対応の機能
各種モニタ	MELSEC-L トラブルシュート，ログビューア，モーション SFC モニタ，モーションプログラム (SV43) 編集，CNC 加工プログラム編集
メモリ・データ管理	SRAM 管理，モーションプログラム (SV43) 入出力

4.1　各種モニタ

4.1.1　各種モニタの機能

各種モニタでは，シーケンサ CPU のデバイス状態を確認したり，シーケンサシステムトラブル時の対応を効率化したりする機能が用意されています。
各種モニタでできる項目は下記のとおりです。

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
システムモニタ	シーケンサ CPU のデバイス，インテリジェント機能ユニットのバッファメモリをモニタ , テストできます。	○	○
回路モニタ	シーケンサ CPU のプログラムをラダー形式でモニタできます。	○	○
ネットワークモニタ	MELSECNET/H，MELSECNET(II)，CC-Link IE コントローラネットワーク，CC-Link IE フィールドネットワークのネットワーク状態をモニタできます。	○	○
インテリジェントユニットモニタ	インテリジェント機能ユニットのバッファメモリを専用画面でモニタ，データ変更できます。また，入出力ユニットの信号状態をモニタできます。	○	○
サーボアンプモニタ	サーボアンプの各種のモニタ機能，パラメータ変更，テスト運転などができます。	○	○
モーションモニタ	モーションコントローラ CPU(Q シリーズ) のサーボモニタ，パラメータ設定ができます。	○	○
CNC モニタ	MELDAS 専用表示器と同等の位置表示モニタ，アラーム診断モニタ，工具補正パラメータ，プログラムモニタなどができます。	○	○
A リスト編集	ACPU のシーケンスプログラムをリスト編集できます。	○	○
FX リスト編集	FXCPU のシーケンスプログラムをリスト編集できます。	○	○
SFC モニタ	シーケンサ CPU の SFC プログラムを SFC 図形式 (MELSAP3 形式，MELSAP-L 形式) でモニタできます。	○	○
ラダー編集	シーケンサ CPU のシーケンスプログラムを編集できます。	○	○
MELSEC-L トラブルシュート	MELSEC-L CPU の状態表示とトラブルシュートに関連する機能へのボタンを表示します。	×	○
ログビューア	高速データロガーユニット，LCPU で取得したロギングデータの閲覧，GOT 経由でのロギングデータの取り出しができます。	×	○
モーション SFC モニタ	モーションコントローラ CPU(Q シリーズ) 内のモーション SFC プログラム，デバイス値をモニタできます。	×	○
モーションプログラム (SV43) 編集	モーションコントローラの本体 OS(SV43) 特殊品に対応した機能となります。本機能の詳細については，弊社までお問い合わせください。	×	○
CNC 加工プログラム編集	GOT と接続した CNC の加工プログラムの編集が行えます。	×	○

4.1.2　各種モニタ機能の表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）

「保全機能」をタッチ

保全機能

「各種モニタ1」をタッチ

各種モニタ

操作する保全機能をタッチ

保全機能を表示
（システムモニタの場合）

4.2　保全機能設定

4.2.1　Q/L/QnA 回路モニタの設定

回路モニタ機能で使用するデータの保存先などが設定できます。
回路データを保存することで，GOT 次回起動時にシーケンサ CPU から回路データを読み出す必要がなくなるので，回路モニタ実行までの時間が短縮できます。
回路モニタ機能の詳細については，下記のマニュアルを参照してください。

☞ ・GOT1000 シリーズ 本体取扱説明書 (拡張機能・オプション機能編) GT Works3 対応
・GOT1000 シリーズ拡張機能・オプション機能マニュアル
(GT Designer2/GT Works2 対応)

(○：対応，△：一部非対応，×：非対応)

機能	内容	設定範囲	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
データ保存先	Q/L/QnA 回路モニタの回路データ保存先を選択します。	C: 内蔵フラッシュメモリ /B: 拡張メモリカード /A: 標準 CF カード / 保存しない ＜デフォルト：C：内蔵フラッシュメモリ＞	○	○
シーケンスプログラム自動読出し	タッチスイッチ，拡張アラーム表示から回路モニタ起動時，シーケンスプログラムの自動読出しをする / しないを選択します。	する / しない ＜デフォルト：する＞	○	○
優先表示コメント	シーケンスプログラムで，同一のデバイスに対して共通コメント，プログラム別コメントが設定されている場合，どちらのコメントを回路モニタで表示するか選択します。	共通コメント / プログラム別コメント ＜デフォルト：共通コメント＞	○	○
モニタ開始時のローカルデバイスモニタ	回路モニタでデバイスをモニタする際に，ローカルデバイスをモニタする / しないを選択します。 (MELSEC-Q 回路モニタのみ有効)	する / しない ＜デフォルト：しない＞	○	○
コメント読出し元 GOT ドライブ	回路モニタで使用するコメントデータの読出し元を選択します。	A：標準 CF カード /B：拡張メモリカード ＜デフォルト：A：標準 CF カード＞	○	○
コメント表示設定	回路モニタで使用するコメントデータの表示 / 非表示を選択します。	コメント非表示 / コメント表示 / コメント 32 文字表示 ＜デフォルト：コメント非表示＞	×	○
複数回路データ保存設定	回路モニタで使用する回路データの保存設定 [1 回路データ保存] / [複数回路データ保存] を選択します。	複数回路データ保存 / 1 回路データ保存 ＜デフォルト：1 回路データ保存＞	×	○

保存される回路データについて

(a) 保存される回路データは，GOTが回路モニタするためのデータです。
本機能で回路データをCFカードに保存できますが，パソコンにコピーして，GX Developerなどで参照/編集はできません。
保存される回路データの名称は，プロジェクト情報で確認できます。
回路データの名称の確認方法は，下記を参照してください。
☞ 6.3.2 ■ プロジェクト情報の表示操作

(b) 内蔵フラッシュメモリおよびCFカード/USBメモリに保存した回路データ(ファイル名：CIRDAT)は[データ管理]の[OS・プロジェクト情報]の[プロジェクト情報]で削除できます。
☞ 6.3.2 ■ プロジェクト情報の操作

■ Q/L/QnA 回路モニタの設定の表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）

「保全機能」をタッチ

保全機能

「保全機能設定」をタッチ

保全機能設定

「Q/L/QnA回路モニタの設定」をタッチ

「Q/L/QnA回路モニタの設定」

Q/L/QnA回路モニタの回路データ保存先を選択します。

■ Q/L/QnA 回路モニタの設定操作

保全機能:保全機能設定:Q/L/QnA回路ﾓﾆﾀの設定

ﾃﾞｰﾀ保存先	A:標準CFｶｰﾄﾞ
ｼｰｹﾝｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ自動読出し	する
優先表示ｺﾒﾝﾄ	共通ｺﾒﾝﾄ
ﾓﾆﾀ開始時のﾛｰｶﾙﾃﾞﾊﾞｲｽﾓﾆﾀ	しない
ｺﾒﾝﾄ読出し元GOTﾄﾞﾗｲﾌﾞ	A:標準CFｶｰﾄﾞ
ｺﾒﾝﾄ表示設定	ｺﾒﾝﾄ非表示
複数回路ﾃﾞｰﾀ保存設定	1回路ﾃﾞｰﾀ保存

（注）ﾃﾞｰﾀ保存先が「A:標準CFｶｰﾄﾞ」、「B:拡張ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞ」の場合に有効です。

OK　Cancel

1. 設定項目をタッチすると設定内容が変わります。
2. [OK] ボタンをタッチすると，変更した設定が反映され，[保全機能設定] 画面に戻ります。[Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，[保全機能設定] 画面に戻ります。

4.2.2 バックアップ / リストア設定

バックアップデータの保存先を設定できます。
バックアップ / リストア機能の使用方法については，下記のマニュアルを参照してください。

☞ ・GOT1000 シリーズ 本体取扱説明書 (拡張機能・オプション機能編) GT Works3 対応
11. バックアップ / リストア
・GOT1000 シリーズ拡張機能・オプション機能マニュアル
(GT Designer2/GT Works2 対応) 11. バックアップ / リストア

設定できる項目には下記のものがあり，各項目部をタッチして設定します。

(○：対応，△：一部非対応，×：非対応)

項目	内容	設定範囲	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
バックアップ設定保存先	バックアップ設定 (接続機器のパラメータ，接続機器側のパスワードなど) を保存するドライブを選択できます。	A：標準 CF カード B：拡張メモリカード E：USB ドライブ <デフォルト：A：標準 CF カード>	○	○
バックアップデータ保存先	バックアップしたデータを保存するドライブを選択できます。	A：標準 CF カード B：拡張メモリカード E：USB ドライブ <デフォルト：A：標準 CF カード>	○	○
トリガバックアップ設定	バックアップ設定単位に指定した，トリガ (立上り，時刻) が成立した際に，自動的にバックアップを実行します。	なし / 立上り / 時刻 <デフォルト：なし> ☞ 4.2.3 トリガバックアップ設定	○	○
バックアップデータ最大件数	バックアップデータの最大保存件数を設定します。 (0 を指定すると，バックアップデータの保存数チェックを行いません。)	設定範囲：0 ～ 50 <デフォルト：10 >	○	○
号機指定を有効にする	バックアップ時の号機指定を有効にする / しないを設定します。 ([する] を指定すると，GOT とシーケンサが 1：1 の通信となり，複数のシーケンサから一括でバックアップ / リストアするネットワーク一括バックアップ機能が使用できなくなります。)	する / しない <デフォルト：しない>	×	○

■ バックアップ / リストア設定の表示操作

メインメニュー
(☞ 1.3 ユーティリティの表示)

保全機能

保全機能設定

「保全機能」をタッチ

「保全機能設定」をタッチ

「バックアップ/リストア設定」をタッチ

バックアップ/リストア設定

保全機能:保全機能設定:バックアップ/リストア設定	
バックアップ設定保存先	A:標準CFカード
バックアップ保存先	A:標準CFカード
トリガバックアップ設定	設定...
バックアップデータ最大件数(1~50件、0:無制限)	0
号機指定を有効にする	しない

OK　Cancel

設定を変更する項目をタッチします。

■ バックアップ / リストア設定の設定操作

(1) バックアップ設定保存先，バックアップ保存先

1. 設定項目をタッチすると，設定内容が変わります。

2. [OK] ボタンをタッチすると，変更した設定が反映され，[保全機能設定] 画面に戻ります。
[Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，[保全機能設定] 画面に戻ります。

(2) トリガバックアップ設定

トリガバックアップ設定の操作は，下記を参照してください。

☞ 4.2.3 トリガバックアップ設定

(3) バックアップデータ最大件数

1. 設定項目をタッチするとキーボードが表示されます。
キーボードにより数字を入力します。

設定範囲：0 ～ 50，デフォルト：10
(0 を指定すると，バックアップデータの保存数チェックを行いません。)

2. [OK] ボタンをタッチすると，変更した設定が反映され，[保全機能設定] 画面に戻ります。
[Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，[保全機能設定] 画面に戻ります。

(4) 号機指定を有効にする

1. 設定項目をタッチすると，設定内容が変わります。

2. [OK] ボタンをタッチすると，変更した設定が反映され，[保全機能設定] 画面に戻ります。
[Cancel] ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，[保全機能設定] 画面に戻ります。

4.2.3 トリガバックアップ設定

バックアップ設定単位に指定したトリガ (立上り，時刻) が成立した際に，自動的にバックアップを実行します。
トリガバックアップの使用方法については，下記のマニュアルを参照してください。

- GOT1000 シリーズ 本体取扱説明書 (拡張機能・オプション機能編) GT Works3 対応 11. バックアップ / リストア
- GOT1000 シリーズ拡張機能・オプション機能マニュアル (GT Designer2/GT Works2 対応) 11. バックアップ / リストア

■ トリガバックアップ設定の表示操作

メインメニュー
(1.3 ユーティリティの表示)
「保全機能」をタッチ
保全機能
「保全機能設定」をタッチ
保全機能設定
「バックアップ／リストア設定」をタッチ
バックアップ／リストアの設定
「トリガバックアップ設定」をタッチ
トリガバックアップ設定
設定を変更する項目をタッチします

保全機能:保全機能設定:バックアップ/リストア設定:トリガバックアップ設定

No.	バックアップ設定	トリガ種別	詳細	(*)
1	SYS1BKUP	時刻	02:00 月 水 金	
2	SYS2BKUP	なし	--	
3	SYS3BKUP	立上り	X0004	
4	SYS4BKUP	時刻	12:00 火 木 土	
5	--			
6	--			
7	--			
8	--			
9	--			
10	--			

(*)変更チェックしない　変更チェックする(ファイルレジスタ)　含む　含まない
OK　Cancel

■ トリガバックアップ設定の設定操作

1. トリガ種別の設定項目をタッチすると，トリガ種別の設定内容が変わります。

(なし → 立上り → 時刻)

なし　：トリガバックアップを実施しません。
立上り：トリガデバイスの立上り時に，バックアップを実施します。
時刻　：指定時刻にバックアップを実施します。

2. ［変更チェック］の設定項目をタッチすると，設定内容が変わります。

◎ ：バックアップデータの内容の変更の有無に関係なく，バックアップを実施します。

■（赤）：バックアップ実施時に，前回バックアップ時からバックアップデータ，ファイルレジスタの内容に変更があるかチェックし，変更がある場合にバックアップを実施します。

■（黒）：バックアップ実施時に，前回バックアップ時からバックアップデータの内容に変更があるかチェックし，変更がある場合にバックアップを実施します。このとき，ファイルレジスタの変更の有無はチェックしません。

3. トリガ種別を変更した場合，［OK］ボタンをタッチすると，パスワード入力キーウインドウが表示されます。
キーウィンドウ表示後，バックアップ／リストア用パスワードを入力してください。
パスワードが一致すると，設定内容が決定され，［トリガバックアップ設定］画面に戻ります。
トリガ種別を変更せずに［OK］ボタンを タッチした場合，設定内容が決定されます。
また，［Cancel］ボタンをタッチすると，変更した設定は破棄され，［バックアップ／リストア設定］画面に戻ります。

4. トリガバックアップの設定内容を時刻にした場合，［詳細］の設定項目をタッチすると，トリガ時刻設定画面に切り替わります。
トリガ時刻設定画面では，バックアップを実施する曜日，時刻を指定します。

曜日 ：曜日部分をタッチすることで，バックアップを行う曜日を選択することができます。
曜日は複数選択することができます。

時刻 ：時刻の数値部分をタッチすることで，バックアップを行う時刻を設定することができます。

トリガ時刻設定
対象データ： SYS4BKUP
バックアップを実施する曜日、時刻を指定してください。
[曜日]
日 月 火 水 木 金 土
■実施 ■非実施
[時刻]
12:00
OK Cancel

POINT

設定時の注意事項

トリガ種別を［立上り］にした場合，トリガデバイスの設定を GT Designer3，GT Designer2 であらかじめ設定する必要があります。
トリガデバイスの設定を行わない場合，立上りによるバックアップの設定は無効となります。

4.3　メモリ・データ管理

4.3.1　メモリ・データ管理の機能

CF カード /USB メモリを使用し，GOT に書き込まれている OS，特殊データ，プロジェクトデータ (画面データ)，アラームデータのバックアップ / リストアが行えます。
また，CF カード /USB メモリのフォーマットもできます。
メモリ・データ管理では下記の機能が使用できます。

(○：対応，△：一部非対応，×：非対応)

項目	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応	参照先
バックアップ / リストア機能	バックアップの実行，リストアの実行，バックアップデータの削除ができます。	○	○	4.3.2
GOT データ一括取得	GOT 本体にインストールされている OS，特殊データ，プロジェクトデータを CF カード /USB メモリへコピーする機能です。	○	○	4.3.3
CNC データ入出力	GOT と接続した CNC に対して，加工プログラムやパラメータなどのコピー，照合，削除が行えます。	○	○	4.3.4
メモリカードフォーマット	CF カード /USB メモリがフォーマットできます。	○	○	4.3.5
メモリ情報	各ドライブのユーザが使用可能なフラッシュメモリ空き領域量および，Boot 先空き領域量を表示できます。パソコンを接続しないで，メモリ容量を確認できます。	○	○	4.3.6
USB デバイス状態表示	USB デバイスの装着状態を表示する画面です。USB メモリを GOT から取外す場合はこの画面で行います。	○	○	4.3.7
SRAM 管理	SRAM ユーザ領域のバックアップ，リストア，初期化ができます。	×	○	4.3.8
モーションプログラム (SV43) 入出力	モーションコントローラの本体 OS(SV43) 特殊品に対応した機能となります。本機能の詳細については，弊社までお問い合わせください。	×	○	4.3.9

■ メモリ・データ管理の表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）

「保全機能」をタッチ

保全機能

「メモリ·データ管理」をタッチ

メモリ·データ管理

操作するメモリ·データ管理をタッチ

メモリ·データ管理を表示
（メモリカードフォーマットの場合）

保全機能：メモリ・データ管理：メモリカードフォーマット
ドライブ選択
A：標準CFカード
E：USBドライブ
フォーマット

4.3.2 バックアップ / リストア機能

■ バックアップ / リストア機能の表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）

保全機能

メモリ·データ管理

「保全機能」をタッチ

「メモリ·データ管理」をタッチ

「バックアップ/リストア機能」をタッチ

バックアップ/リストア機能

バックアップ/リストア機能:メインメニュー
設定名：SYS1BKUP
チャンネル：01
次チャンネル
バックアップ機能（機器→GOT）
リストア機能（GOT→機器）
GOTデータ一括取得機能（GOT自身）
バックアップデータの削除
終了

設定を変更する項目をタッチします

■ バックアップ / リストア機能の設定操作

バックアップ / リストア機能では接続機器から GOT へバックアップ / リストアまたはバックアップデータの削除ができます。
また，GOT データ一括取得もできます。
バックアップ / リストア機能に関する詳細は，下記のマニュアルを参照してください。

☞ ・GOT1000 シリーズ 本体取扱説明書（拡張機能・オプション機能編）GT Works3 対応 11. バックアップ / リストア
・GOT1000 シリーズ拡張機能・オプション機能マニュアル（GT Designer2/GT Works2 対応）11. バックアップ / リストア

4.3.3 GOT データ一括取得

■ GOT データ一括取得の機能

GOT 本体にインストールされている下記の OS，データを CF カード /USB メモリへコピーする機能です。

- OS（BootOS，基本機能 OS，通信ドライバ，拡張機能 OS，オプション機能 OS）
- 特殊データ
- プロジェクトデータ

コピーしたデータは，バックアップ用として使用したり，他の GOT へインストールして，同一システムの GOT を作成することもできます。
GOT のインストール機能に関しては，下記を参照してください。

☞ 7.3 CF カード /USB メモリを使用した BootOS，基本機能 OS のインストール

■ GOT データ一括取得の表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）

「保全機能」をタッチ

保全機能

「メモリ·データ管理」をタッチ

メモリ·データ管理

GOTデータ一括取得をタッチ

GOTデータ一括取得

保全機能:ﾒﾓﾘ・ﾃﾞｰﾀ管理:GOTﾃﾞｰﾀ一括取得

GOT内のOS､ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ､特殊ﾃﾞｰﾀをCFｶｰﾄﾞにｺﾋﾟｰします。
（このCFｶｰﾄﾞは2点押しｲﾝｽﾄｰﾙ機能 に使用することができます）

ｺﾋﾟｰ先ﾄﾞﾗｲﾌﾞを選択して"ｺﾋﾟｰ"ﾎﾞﾀﾝを押してください。

ﾄﾞﾗｲﾌﾞ選択
A ： 標準CFｶｰﾄﾞ

E ： USBﾄﾞﾗｲﾌﾞ

ｺﾋﾟｰ

■ GOT データ一括取得の表示例

保全機能:メモリ・データ管理:GOTデータ一括取得

GOT内のOS、プロジェクト、特殊データをCFカードにコピーします。
（このCFカードは2点押しインストール機能 に使用することができます）

コピー先ドライブを選択して"コピー"ボタンを押してください。

(1) ドライブ選択
A ： 標準CFカード

E ： USBドライブ

(2) コピー

番号	項目	内容
(1)	ドライブ選択	ユーザが OS，データをコピーできるドライブを表示します。 CF カードが装着されていない場合，[A: 標準 CF カード]/[B: 拡張メモリカード] は表示されません。 USB メモリが装着されていない場合でも，[E:USB ドライブ] の表示はされたままです。
(2)	コピー	タッチすると，コピーを開始します。

■ GOT データ一括取得の操作

(1) GOT データ一括取得の表示操作

GOT 本体にインストールされている下記の OS，データを CF カード /USB メモリへコピーします。
(本説明では，A ドライブを使用した例で説明します。)

1. [ドライブ選択] のドライブをタッチすると，タッチしたドライブの名称の行が反転表示します。
[コピー] ボタンをタッチするとコピーを開始します。

1 ユーティリティ機能
2 表示と操作の設定（本体機能設定）
3 通信インタフェースの設定（接続機器設定）
4 保全機能
5 自己診断
6 データ管理
7 CoreOS，BootOS，基本機能 OS のインストール
付

（例：[コピー] ボタンをタッチした場合のダイアログボックス）

コピ°-先：
A:
コピ°-先ド゛ライブ゛はプ゛ロジ゛ェクトデ゛-タBoot元でセットアップ゛中のため、コピ°-できません。
セットアップ゛解除した後に実行してください。

ＯＫ

2. コピー先の状態やセットアップの状態により，表示される内容が異なります。
表示されたダイアログボックスに従い，操作してください。

コピ°-が完了しました。

ＯＫ

3. OS，データのコピーを実施し，コピーを完了すると完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログを閉じます。

HINT

処理時間の目安

OS，データの容量およびファイル構成等，条件によって処理に必要な時間が異なります。
（参考値）

- 容量が 4M バイト場合　：6 秒前後
- 容量が 12M バイト場合　：18 秒前後

(2) 操作時の注意事項

(a) プロジェクトデータのコピーについて
プロジェクトデータの Boot 元ドライブとコピー先のドライブが同じドライブの場合，プロジェクトデータはコピーできません。
Boot 元ドライブとコピー先のドライブが同じドライブの場合は，セットアップの解除をしてください。

(b) GOT へコピーした場合
データ一括取得で作成した CF カード /USB メモリを使用して，OS やプロジェクトデータを GOT へコピーした場合，ユーティリティの設定もコピーされます。
GOT へコピーした後は，ユーティリティの各設定を確認し，必要に応じて設定を変更してください。

(c) 使用する CF カード /USB メモリついて
GOT データ一括取得をする場合，CF カード /USB メモリには他のデータを格納しないでください。
格納されている他のデータは，使用できなくなります。

4.3.4　CNC データ入出力

GOT と接続した CNC に対して，加工プログラムやパラメータなどのコピー，照合，削除が行えます。
CNC データ入出力に関する詳細は下記のマニュアルを参照してください。

・GOT1000 シリーズ 本体取扱説明書 (拡張機能・オプション機能編)
・GOT1000 シリーズ拡張機能・オプション機能マニュアル

4.3.5　メモリカードフォーマット

■ メモリカードフォーマットの機能

CF カード /USB メモリをフォーマットします。

■ メモリカードフォーマットの表示操作

メインメニュー
(1.3 ユーティリティの表示)
「保全機能」をタッチ

保全機能
「メモリ·データ管理」をタッチ

メモリ·データ管理
「メモリカードフォーマット」をタッチ

メモリカードフォーマット

保全機能:メモリ・データ管理:メモリカードフォーマット
ドライブ選択
A : 標準CFカード
フォーマット

■ メモリカードフォーマットの操作

1. CF カード /USB メモリを GOT に装着します。
   CF カード /USB メモリの着脱方法は，下記を参照してください。
   ☞（ハードウェア詳細編）
   8.3.2 ■CF カード
   （ハードウェア詳細編）
   8.5.2 ■USB 周辺機器

2. ドライブ選択でフォーマットするドライブをタッチして選択します。

3. [フォーマット] ボタンをタッチするとパスワード入力画面が表示されます。

保全機能:メモリ・データ管理:メモリカードフォーマット

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを入力してください。

7	8	9	A	B
4	5	6	C	D
1	2	3	E	F
0	AC	Del	Enter	

4. [1] [1] [1] [1] を入力して [Enter] キーをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。（パスワードは 1111 固定です。）
   ダイアログボックスの内容を確認し，CF カード /USB メモリのフォーマットを実行する場合は，[OK] ボタンをタッチします。
   CF カード /USB メモリのフォーマットを中断する場合は，[Cancel] ボタンをタッチします。

！注意
ﾌｫｰﾏｯﾄを実行すると CFｶｰﾄﾞ の内容は
すべて初期化されます。
ﾌｫｰﾏｯﾄ中は CFｶｰﾄﾞ を抜かないで
ください
実行しますか？

O K　　Cancel

5. 手順 4 で [OK] ボタンをタッチすると，再度確認のため左記のダイアログボックスが表示されます。

6. 再度 CF カード /USB メモリをフォーマットすることの確認をしてください。
   [OK] ボタンをタッチするとフォーマットを開始します。
   [Cancel] ボタンをタッチすると CF カード /USB メモリのフォーマットを中断します。

本当に実行しますか？

O K　　Cancel

フォーマットが完了しました

OK

7. フォーマットが完了すると左記の完了ダイアログボックスが表示されます。

8. [OK] ボタンをタッチするとダイアログボックスを閉じます。

HINT

フォーマットの制約について

- 未フォーマットの CF カード /USB メモリは，パソコンでフォーマットしてから GOT で使用してください。GOT では未フォーマットの CF カード /USB メモリをフォーマットできません。
- GOT のフォーマットは CF カード /USB メモリのファイルシステム（例:FAT16）を変更しません。フォーマット前のファイルシステムを継承します。

4.3.6　メモリ情報

■ メモリ情報の機能

各ドライブのユーザが使用可能なフラッシュメモリ空き領域量および，Boot 先空き領域量を表示できます。パソコンを接続しないで，メモリ容量を確認できます。

■ メモリ情報の表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）

「保全機能」をタッチ

保全機能

「メモリ・データ管理」をタッチ

メモリ・データ管理

「メモリ情報」をタッチ

メモリ情報

保全機能:ﾒﾓﾘ・ﾃﾞｰﾀ管理:ﾒﾓﾘ情報
ﾌﾗｯｼｭﾒﾓﾘ空き領域量
A ： 標準CFｶｰﾄﾞ　499192 K byte
C ： 内蔵ﾌﾗｯｼｭﾒﾓﾘ　14424 K byte
E ： USBﾄﾞﾗｲﾌﾞ　1759104 K byte
Boot先空き領域量　56781 K byte

メモリ情報を確認する。

■ メモリ情報の表示例

保全機能:メモリ・データ管理:メモリ情報
フラッシュメモリ空き領域量
A : 標準CFカード
499192 K byte
C : 内蔵フラッシュメモリ
14424 K byte
E : USBドライブ
1759104 K byte
Boot先空き領域量
56781 K byte
(1)
(2)

番号	項目	内容
(1)	フラッシュメモリ空き領域量	ユーザがファイルやフォルダを格納可能な各ドライブのメモリ空き領域量を示します。 CF カードが装着されていない場合，[A: 標準 CF カード]/[B: 拡張メモリカード] は表示されません。 USB メモリが装着されていない場合，[E:USB ドライブ] は表示されません。
(2)	Boot 先空き領域量	ユーザが指定しているブート先ドライブの空き領域量を示します。

4.3.7　USB デバイス状態表示

■ USB デバイス状態表示の機能

GOT に装着中の USB 周辺機器の接続状態を一覧で表示します。
また，USB 周辺機器を GOT から取外す場合もこの画面で行います。

■ USB デバイス状態表示の表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）

「保全機能」をタッチ

保全機能

「メモリ・データ管理」をタッチ

メモリ・データ管理

「デバイス状態表示」をタッチ

デバイス状態表示

保全機能:ﾒﾓﾘ・ﾃﾞｰﾀ管理:USBﾃﾞﾊﾞｲｽ状態表示

No.	ﾃﾞﾊﾞｲｽ	ﾍﾞﾝﾀﾞ/ﾌﾟﾛﾀﾞｸﾄ	Drive	装着
1	USBﾏｽｽﾄﾚｰｼﾞ	XXXXXXXXXXXX XXXXXXX	E	停止
2	USBｷｰﾎﾞｰﾄﾞ	XXXXXXXXXXXX XXXXXXX		
3	USBﾏｳｽ	XXXXXXXXXXXX XXXXXXX		
4				

■ USB デバイス状態表示の操作

1. USB 周辺機器が GOT に装着されている場合，左記の画面が表示されます。
2. デバイスに USB マスストレージと表示され，装着に［停止］ボタンが表示されます。

USBﾃﾞﾊﾞｲｽを停止してもよろしいですか？

ＯＫ　Cancel

3. 装着の［停止］ボタンをタッチすると左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，USB 周辺機器の取外し準備が行われます。
[Cancel] ボタンをタッチすると，USB 周辺機器の取外し準備が中断されます。

USBﾃﾞﾊﾞｲｽの停止が成功しました。

ＯＫ

4. 取外し準備が完了すると左記の完了ダイアログボックスが表示されます。

5. [OK] ボタンをタッチするとダイアログボックスを閉じます。

POINT

USB マウス / キーボードの認識

USB マウス / キーボードを使用する場合は，拡張機能 OS の [USB マウス / キーボード] を GOT へインストールしてください。

4.3.8　SRAM 管理

■ SRAM 管理の機能

SRAM ユーザ領域の使用状況の確認，バックアップ，リストア，初期化ができます。
SRAM ユーザ領域で使用できる機能については，下記を参照してください。

GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編)

■ SRAM 管理の表示操作

メインメニュー
(1.3 節　ユーティリティの表示)

「保全機能」をタッチ

保全機能

「メモリ・データ管理」をタッチ

メモリ・データ管理

「SRAM管理」をタッチ

SRAM管理

保全機能:メモリ・データ管理:SRAM管理

機能名	設定ID	サイズ	設定名称	作成日	時間
拡張システムアラーム		24.5KB		00-04-30	07:20
拡張ユーザアラーム	1	20.0KB	ユーザアラーム1	00-04-30	07:20
拡張ユーザアラーム	2	0.5KB	ユーザアラーム2	00-04-30	07:20

0個の項目を選択中(合計:　0.0KB)

SRAM空き領域　455.0KB
SRAM容量　500.0KB

全初期化　選択領域初期化

バックアップ/リストア
空き領域　486.1MB
ドライブ容量　487.2MB
ドライブ選択　A
リストア　全領域バックアップ

■ SRAM 管理の表示例

番号	項目	内容
(1)	チェックボックス	タッチすると項目の選択 / 解除ができます。
(2)	機能名	拡張システムアラーム，拡張ユーザアラーム，ロギングの順で使用している機能を表示します。
(3)	設定 ID	設定 ID を表示します。拡張システムアラームの設定 ID は表示されません。
(4)	サイズ	機能名に表示されているデータのサイズを表示します。
(5)	設定名称	設定名称を表示します。設定名称は，表示枠内に収まる範囲で表示します。
(6)	作成日，時間	各データが作成された日時を表示します。
(7)	n 個の項目を選択中	現在選択をしているデータの情報を表示します。
(8)	SRAM 空き領域	SRAM ユーザ領域の，現在の空きサイズ / 全体のサイズを表示します。
(9)	空き領域	ドライブ選択で選択したドライブの，現在の空きサイズ / 全体のサイズを表示します。
(10)	全初期化	SRAM ユーザ領域を一括で初期化します。
(11)	選択領域初期化	SRAM ユーザ領域の複数領域を個別に選択して初期化します。
(12)	ドライブ選択	SRAM ユーザ領域のバックアップ / リストアを行うドライブの切換えができます。 CF カード / USB メモリが装着されている場合のみ，下記ドライブの切換えができます。 ・CF カード　:［A : 標準 CF カード］,［B : 拡張メモリカード］ ・USB メモリ :［E : USB ドライブ］
(13)	リストア	選択したドライブに保存されているデータを SRAM ユーザ領域 に保存します。
(14)	全領域バックアップ	SRAM ユーザ領域のデータを選択したドライブに保存します。

■ SRAM 管理の操作

(1) 全初期化，選択領域初期化の操作

1. 下記のいずれかの操作をしてください。

・SRAM ユーザ領域の全領域を初期化する場合
[全初期化] ボタンをタッチします。

・SRAM ユーザ領域の任意の領域を初期化する場合
初期化する領域のチェックボックスを個別に選択して [選択領域初期化] ボタンをタッチします。

（例：[全初期化] ボタンをタッチした場合のダイアログボックス）

!)注意
SRAMを初期化します。
この処理には数分かかる場合があります。

初期化処理完了後GOTは再起動します。

初期化を実行しますか?

O K　Cancel

2. 上記のボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。
ダイアログボックスの内容を確認し，SRAM ユーザ領域の初期化を実行する場合は，[OK] ボタンをタッチします。
SRAM ユーザ領域の初期化を中断する場合は，[Cancel] ボタンをタッチします。

本当に実行しますか?

O K　Cancel

3. 手順 2 で [OK] ボタンをタッチすると，再度 SRAM ユーザ領域を初期化することの確認のため，左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると初期化を開始します。
[Cancel] ボタンをタッチすると，SRAM ユーザ領域の初期化を中断します。

4. 初期化が完了すると完了ダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチするとダイアログボックスを閉じて再起動します。

(2) リストアの操作

1. ドライブに保存されているデータを SRAM ユーザ領域にリストアする場合
データが保存されているドライブを選択し [リストア] ボタンをタッチします。

A:
作成日 10-02-18 14:08
のデータをリストアします。
リストア完了後GOTは再起動します。

リストアを実行しますか？

OK Cancel

2. 上記のボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。
ダイアログボックスの内容を確認し，リストアを実行する場合は，[OK] ボタンをタッチします。
リストアを中断する場合は，[Cancel] ボタンをタッチします。

本当に実行しますか?

OK Cancel

3. 手順 2 で [OK] ボタンをタッチすると，再度リストアを実行することの確認のため，左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチするとリストアを開始します。
[Cancel] ボタンをタッチすると，リストアの実行を中断します。

4. リストアが完了すると完了ダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチするとダイアログボックスを閉じて再起動します。

(3)　全領域バックアップの操作

1. SRAM ユーザ領域のデータをドライブにバックアップする場合
データを保存するドライブを選択し [全領域バックアップ] ボタンをタッチします。

SRAMのﾃﾞｰﾀを
A:
にﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟします。

この処理には数分かかる場合があります。
処理が完了するまでGOTの電源を
切らないでください。
ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟを実行しますか？

ＯＫ　Cancel

2. 上記のボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。
ダイアログボックスの内容を確認し，全領域バックアップを実行する場合は，[OK] ボタンをタッチします。
全領域バックアップを中断する場合は，[Cancel] ボタンをタッチします。

本当に実行しますか?

ＯＫ　Cancel

3. 手順 2 で [OK] ボタンをタッチすると，再度全領域バックアップを実行することの確認のため，左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると全領域バックアップを開始します。
[Cancel] ボタンをタッチすると，全領域バックアップの実行を中断します。

A:
すでにﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟﾌｧｲﾙが存在します。
作成日 10-02-18 14:08
上書きしますか？

ＯＫ　Cancel

4. 出力先のフォルダに，同一名称のファイルが存在する場合は，全領域バックアップを開始せずに左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると同一名称のファイルに上書き変換します。
[Cancel] ボタンをタッチすると，全領域バックアップの実行を中断します。

5. 全領域バックアップが完了すると完了ダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチするとダイアログボックスを閉じます。

4.3.9　モーションプログラム (SV43) 入出力

モーションコントローラの本体 OS(SV43) 特殊品に対応した機能となります。
本機能の詳細については，弊社までお問い合わせください。

5. 自己診断

自己診断を実行するための画面を表示できます。
自己診断では下記の機能が使用できます。

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応	参照先
各種診断機能	システムアラーム，メモリチェック，描画チェック，フォントチェック，タッチパネルチェック，I/O チェック，ネットワークユニット状態表示，Ethernet 状態チェック	△*1	○	5.1
一括自己診断機能	各種起動情報，システム状態，接続機器設定内容，操作履歴，画面切替履歴，時刻変更履歴，システムアラーム履歴，CPU エラー履歴	○	○	5.2

*1　下記の機能には対応していません。
- Ethernet 状態チェック

5.1 各種診断機能

各種診断機能には下記の機能が使用できます。

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応	参照先
システムアラーム	エラー発生時に，エラーコードとエラーメッセージを表示します。	○	○	5.1.2
メモリチェック	CF カード /USB メモリ，内蔵フラッシュメモリのライト / リードチェックを行います。 パスワード : [5] [9] [2] [0]	○	○	5.1.3
描画チェック	ビット欠け，色チェック，描画チェックを行います。	○	○	5.1.4
フォントチェック	文字データを画面に表示し，目視によるチェックを行います。	○	○	5.1.5
タッチパネルチェック	タッチキー最小単位 (16 ドット ×16 ドット) での不感帯領域がないかのチェックを行います。	○	○	5.1.6
I/O チェック	RS-232 インタフェースの相手先確認 (接続されているシーケンサ CPU との通信チェック) や，自己折り返しチェック (RS-232 インタフェースのハードウェアチェック) を行います。	○	○	5.1.7
ネットワークユニット状態表示	装着している MELSECNET/H 通信ユニット，CC-Link IE コントローラネットワーク通信ユニット (GT15-J71GP23-SX)，CC-Link IE フィールドネットワーク通信ユニット (GT15-J71GF13-T2)，CC-Link 通信ユニット (GT15-J61BT13) の LED 状態，エラー情報等を表示します。	△*1	○	5.1.8
Ethernet 状態チェック	ping を送信して，Ethernet 接続状態のチェックを行います。	×	○	5.1.9

*1　下記の機能には対応していません。
- CC-Link IE フィールドネットワーク通信ユニットの状態表示

5.1.1 自己診断の機能

GOT のエラーメッセージ表示またはハードウェア , メモリなどの自己診断を行います。

5.1.2　システムアラーム

■ システムアラームの機能

システムアラームは，GOT，接続機器，ネットワークのエラーが発生時に，エラーコードとエラーメッセージを表示する機能です。
また，システムアラーム画面では，システムアラームのリセットができます。
システムアラームの詳細については，下記のマニュアルを参照してください。

・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編) 11. アラーム
・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル 8. アラーム

■ システムアラームの表示操作

メインメニュー
(1.3 ユーティリティの表示)
「自己診断」をタッチ

自己診断
「各種診断機能」をタッチ

各種診断機能
「システムアラーム」をタッチ

システムアラーム表示

自己診断:各種診断機能:ｼｽﾃﾑｱﾗｰﾑ
GOTｴﾗｰ:　ChNo./　ﾘｾｯﾄ
480 通信ﾁｬﾝﾈﾙが未設定です ﾕｰﾃｨﾘﾃｨより通信ﾁｬﾝﾈﾙを設定して下さい
16:06:00
CPUｴﾗｰ:
ｴﾗｰなし
ﾈｯﾄﾜｰｸｴﾗｰ:
ｴﾗｰなし

「リセット」をタッチすると
GOTエラーのシステムアラーム
表示をリセットします。

■ システムアラームの表示の操作

(1)　システムアラーム表示のリセット

自己診断:各種診断機能:システムアラーム

GOTエラー:　ChNo./　リセット
480 通信チャンネルが未設定です ユーティリティより通信チャンネルを設定して下さい 16:06:00
CPUエラー:
エラーなし
ネットワークエラー:
エラーなし

1. 発生しているシステムアラームの要因を解消します。
要因は，システムアラーム表示に表示されるエラーコード，エラーメッセージ，チャンネル No. で特定できます。
(☞ (ハードウェア詳細編)10. トラブルシューティング)

自己診断:各種診断機能:システムアラーム

GOTエラー:　ChNo./　リセット
480 通信チャンネルが未設定です ユーティリティより通信チャンネルを設定して下さい 16:06:00
CPUエラー:
エラーなし
ネットワークエラー:
エラーなし

タッチ

2. エラーにより，システムアラームのリセット方法が異なります。
- GOT エラーの場合
  [リセット] ボタンをタッチして，システムアラームをリセットします。
- CPU エラー，ネットワークエラーの場合
  システムアラームの要因を解消すると，システムアラームは自動的にリセットされます。

POINT

(1) GOT エラーのシステムアラーム表示のリセットを行う前に
GOT エラーのシステムアラーム表示のリセットを行う前に，システムアラームの要因を解消してください。
要因が解消されていない場合は，リセット操作を行っても GOT エラーのシステムアラーム表示がリセットされません。

(2) リセット時の処理内容
システム情報の下記のエリアもリセットされます。
- GOT エラーコード (書込みデバイス)
- GOT エラー検出信号 (システム信号 2-1.b13)

5.1.3　メモリチェック

■ メモリチェック機能

メモリチェック機能は，A ドライブ (標準 CF カード)，B ドライブ (拡張メモリカード)，C ドライブ (内蔵フラッシュメモリ)，E ドライブ (USB ドライブ) のライト / リードチェックを行います。

(○：対応，△：一部非対応，×：非対応)

機能	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
A ドライブメモリチェック	A ドライブのメモリ (標準 CF カード) が正常に読み書きできるかチェックします。	○	○
B ドライブメモリチェック	B ドライブのメモリ (拡張メモリカード) が正常に読み書きできるかチェックします。	○	○
C ドライブメモリチェック	C ドライブのメモリ (内蔵フラッシュメモリ) が正常に読み書きできるかチェックします。	○	○
E ドライブメモリチェック	E ドライブのメモリ (USB ドライブ) が正常に読み書きできるかチェックします。	○	○

■ メモリチェックの表示操作

メインメニュー
(1.3 ユーティリティの表示)

「自己診断」
をタッチ

自己診断

「各種診断機能」
をタッチ

各種診断機能

「メモリチェック」
をタッチ

メモリチェック

自己診断:各種診断機能:ﾒﾓﾘﾁｪｯｸ
ﾄﾞﾗｲﾌﾞ選択
A ： 標準CFｶｰﾄﾞ
C ： 内蔵ﾌﾗｯｼｭﾒﾓﾘ
E ： USBﾄﾞﾗｲﾌﾞ
ﾁｪｯｸ

チェック対象となる
メモリを選択し「チェック」
をタッチします

■ メモリチェック操作

メモリのライト / リードチェックを行います。

POINT

ドライブが表示されない場合

チェックするドライブ(メモリ)が表示されない場合は下記を参照し，装着要領やメモリ種類の確認を行ってください。

☞(ハードウェア詳細編)8.3.2 ■CF カード
(ハードウェア詳細編)8.5.2 ■USB 周辺機器
4.3.7 USB デバイス状態表示

装着などに問題がない場合，メモリの故障が考えられます。
CF カード /USB メモリの交換または内蔵フラッシュメモリ (C ドライブ) の交換を実施してください。
内蔵フラッシュメモリは，最寄りの三菱電機システムサービス(株)までお問い合わせください。

内蔵フラッシュメモリ (C ドライブ) の場合を例に説明します。
標準 CF カード (A ドライブ)，拡張メモリカード (B ドライブ) のチェック時は，はじめに CF カードを装着した後，USB ドライブ (E ドライブ) のチェック時は，はじめに USB メモリを装着した後，内蔵フラッシュメモリの場合と同様のキー操作を行ってください。

1. メモリチェックの設定画面にて内蔵フラッシュメモリを選択してください。
[OK] ボタンを選択するとテンキーウィンドウが表示されます。

[Cancel] ボタンを選択すると初期のメニューに戻ります。

2. パスワード ([5] [9] [2] [0]) をタッチし，[Enter] キーをタッチしてください。
[Enter] キーをタッチすると内蔵フラッシュメモリのライト / リードチェックが実行され，約 10 秒で終了します。

HINT

パスワードの変更について

パスワードは変更できません。
パスワード入力でエラーの場合には中断ダイアログボックスを表示します。
[OK] をタッチするとメモリチェックに戻ります。

内蔵ﾌﾗｯｼｭﾒﾓﾘｴﾘｱ ﾗｲﾄ/ﾘｰﾄﾞﾁｪｯｸ
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞﾁｪｯｸｴﾗｰ
OK

内蔵フラッシュメモリエリア ライト/リードチェック
実行中…

内蔵フラッシュメモリエリア ライト/リードチェック
正常終了
OK

POINT

メモリに異常が発見された場合

チェックで異常が発見された場合には異常発生個所を示すダイアログボックスが表示されます。
異常時は，最寄りの三菱電機システムサービス (株) までお問い合わせください。
[OK] をタッチするとメモリチェック画面に戻ります。

内蔵フラッシュメモリエリア ライト/リードチェック
異常
OK

5.1.4　描画チェック

■ 描画チェック機能

描画チェック機能は，ビット欠け，色チェック，基本図形表示チェック，スクリーン間ムーブチェックにより表示に関するチェックを行う機能です。

■ 描画チェックの表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）

「自己診断」をタッチ

自己診断

「各種診断機能」をタッチ

各種診断機能

「描画チェック」をタッチ

描画チェック

中断　　次頁

↑[中断したい場合]　　[次頁へ進みたい場合]↑

描画ﾁｪｯｸ

注１：次頁以降[次頁]、[中断]の表示はされません。

注２：描画ﾁｪｯｸ総頁数：14

描画チェック開始

各種診断機能の「描画チェック」をタッチすると左記に示した描画チェック用の画面が表示されます。

POINT

描画チェックの留意点

以下の場合，ビット欠けが発生しています。

1．塗り込み色と異なる色で描画されている部分がある。
2．基本図形，描画パターンが「☞ 5.1.4 ■描画チェックの表示操作」に記載のレイアウトおよび手順どおりに描画されていない部分がある。

ビット欠けが発生した場合には，最寄りの三菱電機システムサービス（株）にお問い合わせください。

■ 描画チェック操作

表示チェックメニューで，［描画チェック］をタッチすると描写チェック用の画面を表示します。

(1) 描画チェック実行のまえに

描画チェック中は画面右上をタッチすることにより，順次，次のチェックに進むことができます。
また，画面左上をタッチすると表示チェックへ戻ります。

左上タッチ位置　右上タッチ位置

(a) ビット欠け，色チェック

画面右上をタッチするたびに，全画面領域が，青色→黒色→赤色→紫色→緑色→水色→黄色→白色→灰色の順に表示されます。
目視により，ビット欠けチェック，色チェックを行ってください。

青　黒　赤　紫　緑　水色　黄　白　灰色

(b)基本図形
チェック画面へ

最後の色（白画面）で，画面右上をタッチすると，次の②基本図形チェック画面を表示します。

(b) 基本図形チェック

目視により，基本図形の形状変形，表示漏れがないかをチェックしてください。
描画させる基本図形は，1. 塗り込み円，2. 線 ,3. 矩形 ,4. 楕円の 4 種類です。

(c)スクリーン間ムーブチェックの
パターン1へ

(c) スクリーン間ムーブチェック

• パターン1：形状変形，色チェック

描画される図形は，等間隔に規則正しく表示されます。
目視により形状や色が規則正しく表示されれば正常です。

パターン2 へ

パターン1

• パターン2：形状変形，色チェック

描画される図形は等間隔に規則正しく表示されます。
目視により，形状や色が規則正しく表示されれば正常です。

パターン3 へ

パターン2

• パターン３：形状変形，色チェック

パターン１とパターン２の図形が重なって表示されます。
目視により，形状や色が規則正しく表示されれば正常です。

パターン4 へ

• パターン４：形状字形チェック

描画される図形は，等間隔に規則正しく表示されます。
目視により，形状や間隔が正しく表示されれば正常です。
画面右上をタッチすると，表示チェックに戻ります。

「表示チェック」へ

スクリーン情報読出し・書込み実行後のメインスクリーンイメージ

5.1.5 フォントチェック

■ フォントチェック機能

フォントチェック機能は，GOT に搭載されているフォントの文字データを画面左上から順次表示することにより，GOT にインストールされているフォントを確認する機能です。

■ フォントチェックの表示操作

メインメニュー
（1.3 ユーティリティの表示）

自己診断

各種診断機能

「自己診断」
をタッチ

「各種診断機能」
をタッチ

「フォントチェック」
をタッチ

フォントチェック

フォントチェック開始

各種診断機能の「フォントチェック」をタッチすると左記に示したフォントチェック用の画面が表示されます。

POINT

フォントチェックの留意点

以下の文字が正しく表示されていれば正常と判断できます (UNICODE)

アルファベット文字など	：0 x 0000 ～ 0 x 04F9(基本ラテンからキリールまで)
ハングル文字	：0 x AC00 ～ 0 x D7A3(ハングル・ハングル補助)
漢字	：0 x 4E00 ～ 0 x 9FA5(CJK 総合漢字)

正しく表示されない場合はフォントがインストールされていない可能性があります。基本機能 OS を再インストールしてください。

■ フォントチェック操作

表示チェックで [フォントチェック] をタッチするとフォントチェックを開始します。
内蔵フォント (内蔵フラッシュメモリ内) の文字データを画面に順次表示し，目視にてフォントの描画をチェックできます。

(1) フォントチェック実行のまえに

フォントチェック中は画面右上をタッチすることにより，順次，次のチェックに進むことができます。
また，画面左上をタッチすると表示チェックへ戻ります。

左上タッチ位置　右上タッチ位置

画面右上をタッチするごとに，インストールされているフォントデータを表示します。

フォントデータ

POINT

オプションフォントについて

オプションフォントを表示させるためには，
- オプションフォントのインストール

が必要です。
また，オプションフォントは最後に表示されます。

5.1.6　タッチパネルチェック

■ タッチパネルチェック機能

タッチパネルチェック機能は，タッチキー最小単位（16 ドット ×16 ドット）での不感帯領域がないかのチェックを行う機能です。

■ タッチパネルチェックの表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）

「自己診断」をタッチ

自己診断

「各種診断機能」をタッチ

各種診断機能

「タッチパネルチェック」をタッチ

タッチパネルチェック

↑〔中断したい場合〕

タッチパネルチェック開始

各種診断機能の「タッチパネルチェック」をタッチすると左記に示したタッチパネルチェック用の画面が表示されます。

POINT

タッチパネルチェックの留意点

タッチした部分が黄色の塗り込み表示にならなかった場合，以下の２つの原因が考えられます。

1. 表示部分の故障
2. タッチパネルの故障

この場合，最寄りの三菱電機システムサービス (株) にお問い合わせください。

■ タッチパネルチェック操作

自己診断で [タッチパネルチェック] をタッチすると，画面全領域に渡って，黒塗り込み画面が表示されます。

1. 画面の任意領域をタッチしてください。
   タッチされた部分が黄色の塗り込み表示になります。

2. 画面左上の領域をタッチすると，自己診断に戻ります。

HINT

画面左上領域のチェックについて

画面左上の領域のみ，黄色の塗り込み表示ができません。
自己診断へ戻ることができることで左上領域が正常動作すると判断してください。

5.1.7　I/O チェック

■ I/O チェック機能

I/O チェックは，GOT とシーケンサが通信できるかをチェックする機能です。
このチェックが正常終了すれば通信インタフェース，接続ケーブルのハードウェアは正常とみなされます。
I/O チェックを行う場合は，あらかじめ GT Designer3，GT Designer2 から通信ドライバを GOT にインストールしておく必要があります。
本操作を実施すると，GOT が再起動しますので御注意ください。
通信ドライバのインストールに関する詳細は，下記を参照してください。

☞ · GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編) 8. GOT との通信
· GT Designer2 Version □　基本操作·データ転送マニュアル 8. データを転送する

(1)　I/O チェックができない通信ドライバ

以下の通信ドライバを使用する場合，I/O チェックはできません。

接続形態		通信ドライバ名
三菱電機製シーケンサとの接続	MELSECNET/H 接続	MELSECNET/H
	MELSECNET/10 接続	MELSECNET/H
	CC-Link IE コントローラネットワーク接続	CC-Link IE コントローラネットワーク
	CC-Link IE フィールドネットワーク接続	CC-Link IE フィールドネットワーク
	CC-Link 接続 (インテリジェントデバイス局)	CC-Link Ver2(ID)
	Ethernet 接続	Ethernet(MELSEC)，Q17nNC，CRnD-700
富士電機社製シーケンサとの接続		富士電機 PXR/PXG/PXH
安川電機社製シーケンサとの接続		安川電機 GL/CP9200(SH/H)/CP9300MS，Ethernet(安川電機)
横河電機社製シーケンサとの接続		横河電機 FA500/FA-M3/STARDOM，Ethernet(横河電機)
ALLEN-BRADLEY 製シーケンサとの接続		EtherNet/IP(AB)
SIEMENS 社製シーケンサとの接続		SIEMENS S7-200，SIEMENS S7-300/400，Ethernet(SIEMENS S7)
マイコン接続		マイコン接続
インバータ接続		FREQROL 500/700/800, センサレスサーボ
MODBUS(R)/TCP 接続		MODBUS/TCP
アズビル社製制御機器との接続		アズビル SDC/DMC
理化工業社製温度調節器との接続		理化工業 SR Mini HG(MODBUS)

■ I/O チェックの表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）

「自己診断」
をタッチ

自己診断

「各種診断機能」
をタッチ

各種診断機能

「I/Oチェック」
をタッチ

I/Oチェック

自己診断：各種診断機能：I/Oﾁｪｯｸ
ﾁｪｯｸ実行ﾁｬﾝﾈﾙを選択してください。
9:RS232　折返し

■ I/O チェック操作

(1) 相手先確認

［相手先］ボタンをタッチすると，相手先確認通信チェックを行います。

1. CPU 通信が正常に開始された後，相手先確認通信が正常に完了するまでは，チェック中であることを通知する右のダイアログボックスが表示されます。

CPU通信チェック
実行中

2. 相手先確認通信が終了すると，その結果はダイアログボックスにて通知されます。
相手先確認通信が正常終了すれば，正常終了であることを通知する右のダイアログボックスが表示されます。結果内容を確認後，ダイアログボックス内の［OK］ボタンをタッチすると I/O チェックへ戻ります。

CPU 通信ﾁｪｯｸ
正常
ＯＫ

相手先確認選択後および CPU 通信チェックに右のダイアログボックスが表示された場合，下記を確認してください。

- CPU との接続ミスがないか。

(☞ · 使用する接続機器に対応する GOT1000 シリーズ接続マニュアル GT Works3 対応
(1.5 GOT が接続機器を認識しているか確認する)
· GOT1000 シリーズ接続マニュアル
(3.3.6 GOT が接続機器を認識しているか確認する)

- パラメータ設定ミスはないか。
(☞ 3.2 接続機器詳細設定)
- ハードウェアに異常がないか。
(☞ (ハードウェア詳細編) 10. トラブルシューティング)

CPU 通信ﾁｪｯｸ
異常
次の原因が考えられます
接続ﾐｽ、H/W異常、ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定ﾐｽ
ＯＫ

結果内容を確認後，ダイアログボックス内の [OK] ボタンをタッチすると I/O チェックへ戻ります。

(1) 自己折り返し

[折返し] ボタンをタッチすると，RS-232 インタフェースのハードウェアチェックを行います。

1. 自己折り返し通信チェック実施の前準備として，右図に示す自己折り返しチェック用コネクタ (ユーザにて準備) を RS-232 インタフェースに装着してください。
このコネクタでは，2,3 ピン，7,8 ピン，4,6 ピンをそれぞれ短絡してください。

またユーティリティの接続機器設定にて，RS-232 のチャンネル設定を未使用 (ChNo. : 0) に設定してください。

4 32
87 6
表示器本体(背面)
RS-232
インタフェース

2. [折返し] 選択後，自己折り返しコネクタを介して，送信データと受信データのベリファイを行います。データ送信実行時，データを受信できない場合には，右のダイアログボックスが表示され，5 秒後に再起動します。
右のダイアログボックスが表示された場合，下記を確認してください。
- 自己折り返しチェック用コネクタの短絡先を間違えていないか。
- ユーティリティの接続機器設定にて，RS-232 のチャンネル設定を未使用 (ChNo. : 0) に設定しているか。
(☞ 3.1.3 接続機器設定の内容)
- ハードウェアに異常がないか。
(☞ (ハードウェア詳細編) 10. トラブルシューティング)

RS232自己折り返しﾁｪｯｸ
異常
次の原因が考えられます
自己折り返しｺﾈｸﾀ異常、接続ﾐｽ、
H/W異常
再起動します

3. チェック中は，右のダイアログボックスが表示されます。

RS232自己折り返しﾁｪｯｸ
実行中

4. チェックがすべて正常に終了した場合，右のダイアログボックスが表示されます。結果内容を表示後，5 秒後に再起動します。

RS232自己折り返しﾁｪｯｸ
正常
再起動します

5. エラーが発生すると，その時点で異常終了であることおよびエラーが何バイト目で発生したかを通知するダイアログボックスが表示され，5 秒後に再起動します。
右のダイアログボックスが表示された場合，下記を確認してください。
- ハードウェアに異常がないか。
(☞ (ハードウェア詳細編)10. トラブルシューティング)

RS232自己折り返しﾁｪｯｸ
異常
4ﾊﾞｲﾄ目にてﾍﾞﾘﾌｧｲｴﾗｰ発生
再起動します

5.1.8　ネットワークユニット状態表示

■ ネットワークユニット状態表示機能

ネットワークユニット状態表示は，下記の通信ユニットを使用し，ネットワークの状態をモニタする機能です。

- MELSECNET/H 通信ユニット (GT15-J71LP23-25，GT15-J71BR13)
- CC-Link IE コントローラネットワーク通信ユニット (GT15-J71GP23-SX)
- CC-Link IE フィールドネットワーク通信ユニット (GT15-J71GF13-T2)
- CC-Link 通信ユニット (GT15-J61BT13)

ネットワークユニットの LED 状態，エラー状態などを確認できます。
ネットワーク上で発生したエラーの対処方法については，下記のマニュアルを参照してください。

☞ ・使用する MELSECNET/H，MELSECNET/10 ネットワークシステムのリファレンスマニュアル (PC 間ネット編)
・CC-Link IE コントローラネットワークリファレンスマニュアル
・使用する CC-Link IE フィールドネットワークシステムの
マスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル
・使用する CC-Link システムのマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル (詳細編)

■ ネットワークユニット状態表示の表示操作

メインメニュー
(☞ 1.3 ユーティリティの表示)
「自己診断」をタッチ

自己診断
「各種診断機能」をタッチ

各種診断機能
「ネットワークユニット状態表示」をタッチ

ネットワークユニット状態表示

■ ネットワークユニット状態表示の表示例

(1) MELSECNET/H 通信ユニット

GT15-J71LP23-25 の場合

GT15-J71BR13 の場合

(a) LED 状態
MELSECNET/H 通信ユニットの動作状態を表示します。

番号	項目	LED 色 *	点灯	消灯
(1)	RUN	緑	データリンク正常	データリンク異常
	MNG	緑	管理局として動作中	管理局以外で動作中
	S.MNG	緑	サブ管理局として動作中	サブ管理局以外で動作中
	D.LINK	緑	データリンク中	データリンク停止
	T.PASS	緑	バトンパス実行中	バトンパス非実行
	SW.E.	緑	スイッチ設定異常	正常
	M/S.E.	緑	局番，管理局の重複エラー	正常
	PRM.E.	緑	パラメータエラー	正常
	GOT R/W	緑	GOT からのアクセスあり	GOT からのアクセスなし
(2)	CRC	赤	コードチェックエラー	正常
	OVER	赤	データ取り込み遅延エラー	正常
	AB.IF	赤	受信データがすべて 1	正常
	TIME	赤	タイムオーバ	正常
	DATA	赤	受信データエラー	正常
	UNDER	赤	送信データエラー	正常
	LOOP	赤	正 / 副ループ受信エラー	正常
	SD	緑	データ送信中	
	RD	緑	データ受信中	

* モノクロ表示の場合，点灯：■，消灯：□となります。

(b) ループ情報
MELSECNET/H 通信ユニットのループ状態を表示します。

番号	項目	内容
(3)	F ループ *	F ループの状態 (正常 / 異常) を表示します。
	R ループ *	R ループの状態 (正常 / 異常) を表示します。
	F ループバック局 *	F ループバック局の実施状態 (未実施 / 実施した局番号) を表示します。
	R ループバック局 *	R ループバック局の実施状態 (未実施 / 実施した局番号) を表示します。
	ループバック *	ループバックの状態 (未実施 / 実施) を表示します。 未実施 ：ループ正常，正ループ異常，副ループ異常，データリンク不可 実施 ：ループバック時

* GT15-J71BR13 の場合は，[ーーー] と表示されます。

(c) データリンク情報
MELSECNET/H 通信ユニットのデータリンク情報 (交信状態，交信中断原因，交信停止原因) を表示します。

番号	項目	内容		
(4)	交信状態	自局の交信状態を表示します。		
		データリンク中	:	データリンク中
		データリンク停止 (他)	:	他局からサイクリック伝送を停止。
		データリンク停止 (自)	:	自局でサイクリック伝送を停止。
		バトンパス実施中 (エリアなし)	:	自局の B/W 送信の割付けなし。
		バトンパス実施中 (パラメータ異常)	:	自局のパラメータに異常あり。
		バトンパス実施中 (パラメータ未受信)	:	共通パラメータを受信できていません。
		解列中 (バトンパスなし)	:	局番重複，ケーブル未接続
		解列中 (回線異常)	:	ケーブル未接続
		テスト実施中	:	オンライン / オフラインテスト中
		リセット中	:	ハードウェア異常
(5)	交信中断原因	自局の交信 (トランジェント伝送) ができなくなった原因を表示します。		
		正常交信	:	正常交信中
		オフライン	:	オフライン中
		オフラインテスト	:	オフラインテスト中
		イニシャル状態	:	エラー発生 (エラーコード：F101,F102,F105)
		管理局移行	:	エラー発生 (エラーコード：F104,F106)
		オンラインテスト中	:	エラー発生 (エラーコード：F103,F109,F10A)
		バトン消失	:	エラー発生 (エラーコード：F107)
		バトン重複	:	エラー発生 (エラーコード：F108)
		同一局番あり	:	エラー発生 (エラーコード：F10B)
		管理局重複	:	エラー発生 (エラーコード：F10C)
		受信リトライエラー	:	エラー発生 (エラーコード：F10E)
		送信リトライエラー	:	エラー発生 (エラーコード：F10F)
		タイムアウトエラー	:	エラー発生 (エラーコード：F110)
		回線異常	:	エラー発生 (エラーコード：F112)
		解列中	:	エラー発生 (エラーコード：F11B)
		自局宛バトンなし	:	エラー発生 (エラーコード：F11F)
		その他 (エラーコード)	:	エラー発生 (エラーコード：表示)
(6)	データリンク停止原因	自局のデータリンク (サイクリック伝送) ができなくなった原因を表示します。		
		正常	:	正常交信中
		停止指示有	:	自局または他局から全局のサイクリック伝送を停止した
		共通パラメータなし	:	パラメータを受信できません
		共通パラメータ異常	:	設定したパラメータが異常
		自局 CPU 異常	:	自局の CPU ユニットに中度 / 重度エラーが発生した
		交信中断	:	自局にデータリンク異常が発生した

(d) トランジェント状態
トランジェント伝送エラー回数およびエラーコードを表示します。

番号	項目	内容
(7)	トランジェント伝送エラー	トランジェント伝送エラー回数を表示します。
(8)	エラーコード	16 行で最新のエラー履歴を順に 16 個表示します。

(2) CC-Link IE コントローラネットワーク通信ユニット

(a) LED 状態

CC-Link IE コントローラネットワーク通信ユニットの動作状態を表示します。

番号	項目	LED 色 *	点灯	消灯	点滅
(1)	RUN	緑	正常動作中	ハードウェア異常または WDT エラー	
	PC	緑	コントローラネットワーク	ネットワーク未確立	交信異常局あり，または局番号が重複している
	ONLINE	緑	オンラインモード	オンラインモード以外	
	TEST	緑	テストモード	テストモード以外	
	OFFLINE	緑	オフラインモード	オフラインモード以外	
	M/S.ERR	赤	管理局重複または局番重複検出	未検出	
	MANAGER	緑	管理局動作中	管理局以外	
	S.MANAGER	緑	サブ管理局動作中	サブ管理局以外	
	NORMAL	緑	通常局動作中	通常局以外	
(2)	PARAM.ERR	赤	パラメータエラー検出	未検出	
	F LOOP ERR	赤	IN 側エラー検出	未検出	
	SD	緑	データ送信中	データ未送信	
	RD	緑	データ受信中	データ未受信	
	TOKEN PASS	緑	バトンパス実施中	バトンパス未実施	
	DATA LINK	緑	データリンク実施中（サイクリック伝送中）	データリンク未実施	データリンク実施中（サイクリック伝送停止中）
	GOT R/W	緑	ハードウェアテスト中，オフライン中，自己折り返しテスト中，自己折り返し（内部）テスト中，局間テスト中	オンライン中，回線テスト中	
	R LOOP ERR	赤	OUT 側エラー検出	未検出	

* モノクロ表示の場合，点灯：■，消灯：□となります。

(b) ループ情報

CC-Link IE コントローラネットワーク通信ユニットのループ状態を表示します。

番号	項目	内容
(3)	IN 側ループ状態	自局 IN 側の接続状態 (正常 / 逆挿し状態) を表示します。
	IN 側ループバック局	ループバック (IN 側) を実施している局番号 (ループバック実施局なし : ---/ 値 : 1 ～ 120) を表示します。
	IN 側ループバック要因	ループバックの要因 (ループバック局なし : ---/OUT 側ケーブル断 /OUT 側回線確立中 /OUT 側挿し間違い) を表示します。
	OUT 側ループ状態	自局 OUT 側の接続状態 (正常 / 逆挿し状態) を表示します。
	OUT 側ループバック局	ループバック (OUT 側) を実施している局番号 (ループバック実施局なし : ---/ 値 : 1 ～ 120) を表示します。
	OUT 側ループバック要因	ループバックの要因 (ループバック局なし : ---/IN 側ケーブル断 / IN 側回線確立中 /IN 側挿し間違い) を表示します。

(c) データリンク情報

CC-Link IE コントローラネットワーク通信ユニットのデータリンク情報 (交信状態，交信中断原因，交信停止原因) を表示します。

番号	項目	内容
(4)	交信状態	自局の交信状態を表示します。 データリンク中 データリンク停止中 バトンパス実施中 バトンパス停止中 オフラインテスト オフライン
(5)	交信中断原因	自局の交信 (トランジェント伝送) ができなくなった原因を表示します。 正常 ケーブル断 ケーブル挿し間違い ケーブルチェック中 解列 / 復列処理中 オフラインモード オフラインテスト 自己診断モード
(6)	データリンク停止原因	自局のデータリンク (サイクリック伝送) ができなくなった原因を表示します。 正常 停止指示あり データリンクタイムアップ 回線テスト実施中 パラメータ未受信 自局局番範囲外 自局予約局設定 自局局番重複 管理局局番重複 局番未設定 ネットワーク番号不正 パラメータ異常 パラメータ交信中 CPU 停止エラー CPU 電源停止エラー

(d) トランジェント状態
トランジェント伝送エラー回数およびエラーコードを表示します。

番号	項目	内容
(7)	トランジェント伝送エラー	トランジェント伝送エラー回数を表示します。
(8)	エラーコード	16 行で最新のエラー履歴を順に 16 個表示します。

(e) リンクスキャンタイム情報
トランジェント伝送エラー回数およびエラーコードを表示します。

番号	項目	内容
(9)	リンクスキャンタイム情報表示機能	現在のリンクスキャンタイムを表示する。
	最大リンクスキャンタイム	リンクスキャンタイムの最大を表示する。
	最小リンクスキャンタイム	リンクスキャンタイムの最小を表示する。
	コンスタントリンクスキャンタイム	パラメータで設定されたリンクスキャンタイムを表示する。

(f) 自局回線状態
CC-Link IE コントローラネットワーク通信ユニットの接続状態を表示します。

番号	項目	内容
(10)	接続状態	自局の接続状態を表示します。
		正常
		IN 側ループバック (OUT 側ケーブル断)
		IN 側ループバック (OUT 側回線確立中)
		IN 側ループバック (OUT 側挿し間違い)
		OUT 側ループバック (IN 側ケーブル断)
		OUT 側ループバック (IN 側回線確立中)
		OUT 側ループバック (IN 側挿し間違い)
		解列中 (IN 側ケーブル断，OUT 側ケーブル断)
		解列中 (IN 側ケーブル断，OUT 側回線確立中)
		解列中 (IN 側ケーブル断，OUT 側挿し間違い)
		解列中 (IN 側回線確立中，OUT 側ケーブル断)
		解列中 (IN 側回線確立中，OUT 側回線確立中)
		解列中 (IN 側回線確立中，OUT 側挿し間違い)
		解列中 (IN 側挿し間違い，OUT 側ケーブル断)
		解列中 (IN 側挿し間違い，OUT 側回線確立中)
		解列中 (IN 側挿し間違い，OUT 側挿し間違い)
	IN 側ケーブル断検出回数	0：エラーなし，1 以上：エラーを検出した累積回数
	IN 側回線異常検出数	0：エラーなし，1 以上：エラーを検出した累積回数
	OUT 側ケーブル断検出回数	0：エラーなし，1 以上：エラーを検出した累積回数
	OUT 側回線異常検出数	0：エラーなし，1 以上：エラーを検出した累積回数

(3) CC-Link IE フィールドネットワーク通信ユニット

(2)

保全機能・自己診断:自己診断:ﾈｯﾄﾜｰｸﾕﾆｯﾄ
GT15-J71GF13-T2 ﾈｯﾄﾜｰｸNo.[2] 局番[1]

<LED状態>
(1) RUN MST DLINK ERR LERR SD RD MODE LER1 LER2 LNK1 LNK2 GOT R/W

<自局PORT1側ﾘﾝｸ情報>
ﾘﾝｸｱｯﾌﾟ状態: ﾘﾝｸｱｯﾌﾟ中
<自局PORT2側ﾘﾝｸ情報>
ﾘﾝｸｱｯﾌﾟ状態: ﾘﾝｸｱｯﾌﾟ中

<ﾃﾞｰﾀﾘﾝｸ情報>
交信状態: ﾃﾞｰﾀﾘﾝｸ中 (3)
交信中断原因: 正常 (4)
ﾃﾞｰﾀﾘﾝｸ停止原因: 正常 (5)

<ﾘﾝｸｽｷｬﾝﾀｲﾑ情報>
現在ﾘﾝｸｽｷｬﾝﾀｲﾑ: 101ms
最大ﾘﾝｸｽｷｬﾝﾀｲﾑ: 101ms
最小ﾘﾝｸｽｷｬﾝﾀｲﾑ: 100ms
ｺﾝｽﾀﾝﾄﾘﾝｸｽｷｬﾝﾀｲﾑ: 100ms (8)

<ﾕﾆｯﾄｴﾗｰ情報>
ﾕﾆｯﾄｴﾗｰ: 0 (6)
ｴﾗｰｺｰﾄﾞ:(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (7)

<自局回線状態>
接続状態:正常(PORT1側通信中、PORT2側通信中)
PORT1側ｹｰﾌﾞﾙ断検出回数: 0 PORT2側ｹｰﾌﾞﾙ断検出回数: 0
PORT1側回線異常検出数: 0 PORT2側回線異常検出数: 0 (9)

(a) LED 状態

CC-Link IE フィールドネットワーク通信ユニットの動作状態を表示します。

番号	項目	LED 色 *	点灯	消灯	点滅
(1)	RUN	緑	正常動作中	ハードウェア異常または WDT エラー発生, 通信ユニットリセット中	
	MST	緑	マスタ局として動作中	マスタ局以外で動作中	
	DLINK	緑	オンラインモードの場合：データリンク中 テストモードの場合：テスト完了	オンラインモードの場合：データリンク停止 テストモードの場合：テスト実施中	データリンク実施中
	ERR	赤	通信エラー発生	正常，ユニットリセット中	データリンク異常局検出
	LERR	赤	受信データ異常	受信データ正常	
	SD	緑	データ送信中	データ未送信	
	RD	緑	データ受信中	データ未受信	
	MODE	緑	オンラインモード	オフラインモード	テストモード
	LER1	赤	PORT1 側受信フレーム異常	PORT1 側受信フレーム正常	
	LER2	赤	PORT2 側受信フレーム異常	PORT2 側受信フレーム正常	
	LINK1	緑	PORT1 側リンクアップ中	PORT1 側リンクダウン中	
	LINK2	緑	PORT2 側リンクアップ中	PORT2 側リンクダウン中	
	GOT R/W	緑	GOT からのアクセスあり	GOT からのアクセスなし	

＊ モノクロ表示の場合，点灯：■，消灯：□となります。

(b) リンク情報

CC-Link IE フィールドネットワーク通信ユニットのリンク状態を表示します。

番号	項目		内容
(2)	自局 PORT1 側 リンク情報	リンクアップ状態	自局 PORT1 側のリンクアップ状態 (リンクアップ中 / リンクダウン中) を表示します。
	自局 PORT2 側 リンク情報	リンクアップ状態	自局 PORT2 側のリンクアップ状態 (リンクアップ中 / リンクダウン中) を表示します。

(c) データリンク情報

CC-Link IE フィールドネットワーク通信ユニットのデータリンク情報 (交信状態，交信中断原因，交信停止原因) を表示します。

番号	項目	内容
(3)	交信状態	自局の交信 (データリンク) 状態を表示します。 データリンク中 バトンパス実施中 バトンパス停止中 オフラインテスト実施中 オフライン
(4)	交信中断原因	自局の交信 (バトンパス) ができなくなった原因を表示します。 正常 ケーブル断 解列 / 復列処理処理中 オフラインモード オフラインテスト - H/W テスト オフラインテスト - 自己折り返しテスト オフラインテスト - 出荷テスト
(5)	データリンク停止原因	自局のデータリンク (サイクリック伝送) ができなくなった原因を表示します。 正常 停止指示あり データリンク監視タイマタイムアップ スレーブ局不在 パラメータ未受信 自局局番範囲外 自局予約局設定 自局局番重複 マスタ局重複：マスタ局検出 局番未設定 パラメータ異常 パラメータ交信中 シーケンサ CPU 停止エラー 不正なリング構成

(d) ユニットエラー情報

ユニットエラー回数およびエラーコードを表示します。

番号	項目	内容
(6)	ユニットエラー	ユニットエラー回数を表示します。
(7)	エラーコード	16 行で最新のエラー履歴を順に 16 個表示します。

(e) リンクスキャンタイム情報

リンクスキャンタイムの情報を表示します。

番号	項目	内容
(8)	現在リンクスキャンタイム	現在のリンクスキャンタイムを表示する。
	最大リンクスキャンタイム	リンクスキャンタイムの最大を表示する。
	最小リンクスキャンタイム	リンクスキャンタイムの最小を表示する。
	コンスタントリンクスキャンタイム	パラメータで設定されたリンクスキャンタイムを表示する。

(f) 自局回線状態

CC-Link IE フィールドネットワーク通信ユニットの接続状態を表示します。

番号	項目	内容
(9)	接続状態	自局の接続状態を表示します。
		正常 (PORT1 側通信中，PORT2 側通信中)
		正常 (PORT1 側通信中，PORT2 側ケーブル断)
		正常 (PORT1 側ループバック通信中，PORT2 側ケーブル断)
		正常 (PORT1 側ケーブル断，PORT2 側通信中)
		正常 (PORT1 側ケーブル断，PORT2 側ループバック通信中)
		解列中 (PORT1 側ケーブル断，PORT2 側ケーブル断)
		解列中 (PORT1 側ケーブル断，PORT2 側回線確立中)
		解列中 (PORT1 側回線確立中，PORT2 側ケーブル断)
		解列中 (PORT1 側回線確立中，PORT2 側回線確立中)
	PORT1 側ケーブル断検出回数	0：エラーなし，1 以上：エラーを検出した累積回数
	PORT1 側回線異常検出数	0：エラーなし，1 以上：エラーを検出した累積回数
	PORT2 側ケーブル断検出回数	0：エラーなし，1 以上：エラーを検出した累積回数
	PORT2 側回線異常検出数	0：エラーなし，1 以上：エラーを検出した累積回数

(4) CC-Link 通信ユニット

(a) LED 状態

CC-Link 通信ユニット (GT15-J61BT13) の動作状態を表示します。

番号	項目	LED 色	点灯	消灯	点滅
(1)	RUN	緑	正常運転中	WDT エラー発生，または リセット中	
	ERR.	赤	全局交信異常	通信エラー未発生，または リセット中	交信異常局あり，または 局番号が重複している
	TIME	赤	ケーブル断線または 伝送路がノイズの影響を受け，全局からの応答がなくなった	全局からの応答がある	
	MST	緑	マスタ局として動作中	マスタ局以外で動作中	
	SW	赤	スイッチ設定エラー	スイッチ設定エラーなし	
	LINE	赤	ケーブル断線エラー	ケーブル断線エラーなし	
	S MST	緑	待機マスタ局として動作中	待機マスタ局以外で動作中	
	M/S	赤	マスタ局重複エラー	マスタ局重複エラーなし	
	LOCAL	緑	ローカル局として動作中	ローカル局以外で動作中	
	PRM	赤	パラメータエラー	パラメータエラーなし	
	GOT　R/W	緑	GOT からのアクセスあり	GOT からのアクセスなし	

(b) データリンク情報

CC-Link 通信ユニット (GT15-J61BT13) のデータリンク起動状態及びエラー状態を表示します。

番号	項目	内容
(2)	データリンク起動状態	データリンク起動状態を表示します。 データリンク中 : データリンクを実行している データリンク停止中 : データリンクを停止している イニシャル状態 : 初期状態にある パラメータ受信待ち : パラメータを受信していない状態 解列中 (ポーリング要求なし) : マスタ局からの問合せがなく，解列状態にある 解列中 (回線異常) : 回線異常により解列状態にある 解列中 (その他) : その他の要因により解列状態にある 回線テスト実施中 : 回線テストが実施されている パラメータ設定テスト実施中 : マスタ局からのパラメータ設定テストを行なっている 自動復列処理中 : 自動的に復列処理を行なっている リセット中 : CC-Link 通信ユニットのリセットを行なっている (GOT がリセット状態)
(3)	エラー状態	現在発生しているエラーの状態を表示します。 正常 : 正常状態 伝送路異常検出 : 伝送路の異常を検出した パラメータ異常検出 : パラメータの異常を検出した CRC エラー検出 : 受信データの異常を検出した タイムアウトエラー検出 : データ受信で，タイムアウトエラーを検出した アボートエラー検出 : データ交信で異常を検出した 設定異常検出 : 局番・局種別設定，伝送速度設定またはモード設定の異常を検出した その他異常検出 : その他の要因で異常を検出した

5.1.9 Ethernet 状態チェック

■ Ethernet 状態チェック機能

Ethernet 状態チェックは，ping を送信して Ethernet 上の機器との接続状態をチェックする機能です。

■ Ethernet 状態チェックの表示操作

■ Ethernet 状態チェック操作

1. ［相手先 IP アドレス］の選択ボタンをタッチすると，キーボードが表示されます。
   キーボードにより，相手先の IP アドレスを入力します。
   <デフォルト :192.168.3.39 >

2. ［ping 送信］ボタンをタッチすると，［相手先 IP アドレス］に入力した IP アドレスに対して ping 送信を行います。
   結果はダイアログボックスで表示されます。
   タイムアウトまでの時間は約 5 秒です。

5.2　一括自己診断機能

5.2.1　一括自己診断機能の機能

一括自己診断機能では，GOT の通電時間，インストール済み OS 等の情報を収集し，診断結果閲覧メニュー画面に表示できます。
一括自己診断機能の画面でシステム状態ログのエクスポート先を指定すると CF カード /USB メモリに記録できます。

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
システム状態ログ	GOT のシステムの状態を記録した診断データ	○	○

また，診断結果閲覧メニューでは下記に示す項目が表示されます。

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応
各種起動情報	電源投入時情報，システム起動時情報，メンテナンス時期通知関連情報	○	○
システム状態 1	インストール済み OS，インストール履歴	○	○
システム状態 2	通信ドライバ，GOT システム構成情報	○	○
接続機器設定内容	接続機器の状態を表示	○	○
操作履歴	操作履歴と操作を行った時間を表示	○	○
画面切替履歴	画面切替履歴と画面切替を行った時間を表示	○	○
時刻変更履歴	変更前時刻と変更後時刻を表示	○	○
システムアラーム履歴	アラーム表示とアラーム発生時刻を表示	○	○
CPU エラー履歴	ChNo とエラーメッセージとエラー発生時刻を表示	○	○
電源投入時刻履歴	電源投入を行った時刻を表示	×	○

5.2.2　一括自己診断機能の表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）

「自己診断」をタッチ

自己診断

「一括自己診断機能」をタッチ

一括自己診断機能

自己診断：一括自己診断機能

ｼｽﾃﾑ状態ﾛｸﾞのｴｸｽﾎﾟｰﾄ	Aﾄﾞﾗｲﾌﾞ
一括自己診断	開始

5.2.3　一括自己診断機能の操作

■ 一括自己診断機能

1. システム状態のログのエクスポートの項目をタッチすると，A ドライブ→ B ドライブ→ E ドライブ→エクスポートしない→ A ドライブとタッチするごとに切替わります。
   A ドライブ，B ドライブを選択する場合は，CF カードを装着し，E ドライブを選択した場合は USB メモリを装着してください。
   装着しないで一括自己診断を開始すると，システム状態ログは保存されません。
   (システム状態ログデータはメーカ調査用です。お客様は閲覧できません。)

2. [開始] ボタンをタッチすると一括自己診断が開始されます。
   また，[×] ボタンをタッチするとメインメニュー画面に戻ることもできます。

■ 診断結果閲覧メニュー

一括自己診断完了後，下記の画面が表示されます。
各項目をタッチすると，詳細画面が表示されます。
また，[終了] ボタンをタッチすると，一括自己診断機能画面に戻ります。

(1) 詳細画面表示例

項目をタッチすると下記の画面が表示されます。
また，〔×〕ボタンをタッチすると診断結果閲覧メニューに戻ります。

画面左下のボタンをタッチすると，前画面に移行します。
画面右下のボタンをタッチすると，次画面に移行します。

6. データ管理

GOT や CF カード /USB メモリに書き込まれている OS，プロジェクトデータ (画面データ)，アラームデータの表示や GOT と CF カード /USB メモリ間のデータ転送が行えます。
また，CF カード /USB メモリのフォーマットもできます。

6.1 データの保存先

6.1.1 データの種類と格納先

■ システム

データの種類ごとに，データの格納先と転送 (書込み / 読出し) 経路を下記に示します。
また，データの格納先を下表に示します。

■ GOT本体
Cドライブ
（内蔵フラッシュメモリ）
OS BootOS プロジェクトデータ インストール ダウンロード
アップロード OS BootOS プロジェクトデータ
Aドライブ
（標準CFカード），
Bドライブ
（拡張メモリカード）
CFカード
（GOT，CFカードユニット，
CFカード延長ユニットに装着時）
Eドライブ
（USBドライブ）
USBメモリ
（GOTに装着時）
OS BootOS プロジェクトデータ インストール ダウンロード
パソコン
GT Designer3
または
GT Designer2
アップロード プロジェクトデータ
Windows®上で ファイルコピー プロジェクトデータ
書き込み BootOS プロジェクトデータ+OS
着脱
CFカード
（パソコンに
装着時）
USBメモリ
（パソコンに
装着時）

項目	データの種類	格納先
BootOS	BootOS	• 内蔵フラッシュメモリ (C ドライブ)
OS *1	基本機能 OS	• 標準 CF カード (A ドライブ) • 内蔵フラッシュメモリ (C ドライブ) *2
	通信ドライバ	
	拡張機能 OS	
	オプション機能 OS	
プロジェクトデータ *1	プロジェクトデータ (レシピ設定，アラーム条件，タイムアクション，GOT セットアップを含む)	• 標準 CF カード (A ドライブ) • 拡張メモリカード (B ドライブ)*2 • 内蔵フラッシュメモリ (C ドライブ) *2

*1 USB メモリを使用する場合はユーティリティより使用できます。

☞ 7.3.2 データ管理機能 (ユーティリティ) を使用してインストールする方法

*2 標準 CF カード (A ドライブ)，拡張メモリカード (B ドライブ) に格納しているプロジェクトデータを GOT で使用する場合は，CF カードを装着した状態で使用してください。
また USB メモリは，プロジェクトデータを標準 CF カード (A ドライブ)，拡張メモリカード (B ドライブ) または内蔵フラッシュメモリ (C ドライブ) にプロジェクトデータを格納して使用してください。

■ メンテナンス時

■ GOT本体

Cドライブ
（内蔵フラッシュメモリ）

コピー
(アラーム)
(ハードコピー)

コピー
(アラーム)
(ハードコピー)

Aドライブ
（標準CFカード），
Bドライブ
（拡張メモリカード）

Eドライブ
（USBドライブ）

CFカード
（GOT,CFカードユニット，
CFカード延長ユニットに装着時）

USBメモリ
（GOTに装着時）

リソースデータ
アップロード

(アラーム)
(レシピ)
(ロギング)
(操作ログ)
(ハードコピー)

パソコン
GT Designer3
または
GT Designer2

Windows®上で
ファイルコピー

(アラーム)
(レシピ)
(ロギング)
(操作ログ)
(ハードコピー)

着脱

CFカード
（パソコンに
装着時）

USBメモリ
（パソコンに
装着時）

インストール，ダウンロード，書込み：→
アップロード，読み出し ：←

内蔵フラッシュメモリのデータ (プロジェクトデータなど) は，バッテリ電圧が低下した場合でも保持されます。

項目	データの種類	格納先
(アラーム)	アラームデータ (拡張アラームログファイル，アラームログファイル)	• 標準 CF カード (A ドライブ) • USB ドライブ (E ドライブ)*1
(レシピ)	レシピデータ (レシピファイル，レシピファイル)	
(ロギング)	ロギング (ロギングファイル)	
(操作ログ)	操作ログ (操作ログファイル)	
(ハードコピー)	画像ファイル (ハードコピー機能)	

*1 USB メモリを使用する場合はユーティリティより使用できます。

☞ 7.3.2 データ管理機能 (ユーティリティ) を使用してインストールする方法

6.1.2　OS バージョンの確認

BootOS，基本機能 OS のインストール時は，OS のバージョンに注意が必要です。
OS のインストール時，GOT は自動的に OS のバージョンを比較チェックします。

(1) BootOS インストール時

インストール対象 BootOS のメジャーバージョンが古い場合，古いバージョンに書き換えられるのを防ぐためにインストール不可メッセージを表示し，インストールを中止します。
(バージョンが同じ，もしくは新しい場合でも，バージョン情報と，継続する・しないを選択するダイアログボックスが表示されます。)
インストール方法により，表示するダイアログボックスが異なります。

- 標準 CF カードからのインストール時は，本体でダイアログボックスを表示
- GT Designer3，GT Designer2 で USB・RS-232・Ethernet からインストール時は，GT Designer3，GT Designer2 でダイアログボックスを表示

(2) 基本機能 OS，通信ドライバ，オプション機能 OS インストール時

基本機能 OS，通信ドライバ，オプション機能 OS が既にインストールされている場合，インストール済 OS のバージョン情報と，継続する・しないを選択するダイアログボックスが表示されます。
また，OS のインストールによって全 OS(基本機能 OS，通信ドライバ，オプション機能 OS) 間でバージョンの混在が発生する場合には，インストール不可を示すダイアログボックスを表示し，インストール処理を中断します。

(3) プロジェクトデータダウンロード時

GOT はダウンロードするプロジェクトデータと，既にインストール済の OS とのバージョンを自動的に比較します。
バージョンが異なる場合は，OS もあわせてインストールするかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。

CF カード /USB メモリからプロジェクトデータをダウンロードする場合は，あらかじめプロジェクトデータと OS を格納しておくことをお勧めします。

GOT にインストールされている各 OS のバージョンは OS 情報画面のプロパティ表示によって確認できます。

ﾃﾞｰﾀ管理:OS・ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ情報:OS情報:ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ表示

名称 OS名称	ｻｲｽﾞ	種別	ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	作成日	時間
G1OSMONT.OUT 基本OS		基本	04.00.61		
G1F16STG.FON 16ﾄﾞｯﾄ標準ｺﾞｼｯｸﾌｫﾝﾄ(日本語)		基本	04.00.52		
G1F12STG.FON 12ﾄﾞｯﾄ標準ｺﾞｼｯｸﾌｫﾝﾄ(日本語)		基本	04.00.52		
G1OSMONT.G1D 基本OSｼｽﾃﾑ画面情報		基本	04.00.61		
G1OSMONT.G1 基本OSｼｽﾃﾑ画面ﾃﾞｰﾀ		基本	04.00.61		
G1FTTNMG.FON TrueType数字ﾌｫﾝﾄ		基本	04.00.52		
G1F12GBM.FON 12ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄ(中国語[簡体])	121K	ｵﾌﾟｼｮﾝ	04.00.52	08-07-01	20:45
G1F16GBM.FON 16ﾄﾞｯﾄ明朝ﾌｫﾝﾄ(中国語[簡体])	154K	ｵﾌﾟｼｮﾝ	04.00.52	08-07-01	20:45
G1F12BGG.FON 12ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄ(中国語[繁体])	202K	ｵﾌﾟｼｮﾝ	04.00.52	08-07-01	20:45
G1F16BGG.FON 16ﾄﾞｯﾄｺﾞｼｯｸﾌｫﾝﾄ(中国語[繁体])	268K	ｵﾌﾟｼｮﾝ	04.00.52	08-07-01	20:45
G1F12JSG.FON 12ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄ(日本語)	124K	ｵﾌﾟｼｮﾝ	04.00.52	08-07-01	20:45
G1F16JSG.FON 16ﾄﾞｯﾄｺﾞｼｯｸﾌｫﾝﾄ(日本語)	152K	ｵﾌﾟｼｮﾝ	04.00.52	08-07-01	20:45
G1SFRJSG.FON ｽﾄﾛｰｸﾌｫﾝﾄ(日本語)	519K	ｵﾌﾟｼｮﾝ	04.00.52	08-07-01	20:45
G1SFRGBG.FON ｽﾄﾛｰｸﾌｫﾝﾄ(中国語[簡体])	506K	ｵﾌﾟｼｮﾝ	04.00.52	08-07-01	20:45
G1SFRBGG.FON ｽﾄﾛｰｸﾌｫﾝﾄ(中国語[繁体])	915K	ｵﾌﾟｼｮﾝ	04.00.52	08-07-01	20:45
G1OSRECP.OUT ﾚｼﾋﾟ	21K	ｵﾌﾟｼｮﾝ	04.00.53	08-07-01	20:46
G1OSBKUP.OUT ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ/ﾘｽﾄｱ	123K	拡張	04.00.57	08-07-02	08:48

バージョンの見方
01.00.00.A
BootOSバージョン
(BootOSのプロパティ表示の時のみ表示)
マイナーバージョン
メジャーバージョン

画面の表示操作は，下記を参照してください。

☞ 6.3.1 OS 情報

POINT

定格銘板による BootOS のバージョン確認について

製品出荷時に GOT にインストールされている BootOS のバージョンは，GOT 背面の定格銘板で確認してください。

MITSUBISHI
GRAPHIC OPERATION TERMINAL
MODEL GT1675M-VTBA
IN 100-240VAC 50/60Hz
PASSED
POWER MAX 90VA
MAC ADD.
SERIAL 0000009701AA00001-D
MADE IN JAPAN
MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION
BACKLIGHT GT16-70VLTTA
AA
BootOSバージョン
（BootOSが2桁の場合は,1桁目のみを記載）

6.1.3 プロジェクトデータダウンロード先の空き容量確認

プロジェクトデータをダウンロードする場合，事前に転送先ドライブのユーザ領域の空き容量，転送するプロジェクトデータサイズ，オプション機能 OS の転送サイズとバッファリングエリアサイズを確認し，ダウンロードの可否を判定する必要があります。
各容量は，GT Designer3，GT Designer2 で確認できます。
詳細は，下記を参照してください。

☞ · GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
8.5.2 データ転送に必要なドライブ容量
· GT Designer2 Version □ 基本操作・データ転送マニュアル
8.1.2 データ転送に必要なドライブ容量について

6.1.4 表示ファイル

各データの表示画面と格納先を以下に示します。
各データのファイル名と内容は，ユーティリティのプロパティ表示により，表示できます。

項目		表示画面	格納先 (ドライブ名 / フォルダ名)
BootOS		OS 情報画面	A ドライブ /B ドライブ /C ドライブ / E ドライブ :¥G1BOOT¥[*2]
基本機能	基本 OS システム画面データ	OS 情報画面	A ドライブ /B ドライブ /C ドライブ / E ドライブ[*3] :¥G1SYS¥[*2]
基本機能	基本 OS システム画面管理情報ファイル	OS 情報画面	A ドライブ /B ドライブ /C ドライブ / E ドライブ[*3] :¥G1SYS¥[*2]
基本機能	基本 OS(モニタ機能)	OS 情報画面	A ドライブ /B ドライブ /C ドライブ / E ドライブ[*3] :¥G1SYS¥[*2]
基本機能	6×8 ドットフォント (ASCII 文字)	OS 情報画面	A ドライブ /B ドライブ /C ドライブ / E ドライブ[*3] :¥G1SYS¥[*2]
基本機能	24 ドット数字高品位フォント	OS 情報画面	A ドライブ /B ドライブ /C ドライブ / E ドライブ[*3] :¥G1SYS¥[*2]
基本機能	32 ドット数字高品位フォント	OS 情報画面	A ドライブ /B ドライブ /C ドライブ / E ドライブ[*3] :¥G1SYS¥[*2]
基本機能	TrueType 数字フォント	OS 情報画面	A ドライブ /B ドライブ /C ドライブ / E ドライブ[*3] :¥G1SYS¥[*2]
基本機能	12 ドット標準フォント	OS 情報画面	A ドライブ /B ドライブ /C ドライブ / E ドライブ[*3] :¥G1SYS¥[*2]
基本機能	16 ドット標準フォント	OS 情報画面	A ドライブ /B ドライブ /C ドライブ / E ドライブ[*3] :¥G1SYS¥[*2]
拡張機能		OS 情報画面	A ドライブ /B ドライブ /C ドライブ / E ドライブ[*3] :¥G1SYS¥[*2]
オプション機能		OS 情報画面	A ドライブ /B ドライブ /C ドライブ / E ドライブ[*3] :¥G1SYS¥[*2]
通信ドライバ		OS 情報画面	A ドライブ /B ドライブ /C ドライブ / E ドライブ[*3] :¥G1SYS¥[*2]
プロジェクトデータ[*1]		プロジェクト情報画面	A ドライブ /B ドライブ /C ドライブ / E ドライブ[*3] :¥PROJECT1¥[*2*4]
プロジェクトデータ[*1]	ユーザ作成画面データ	プロジェクト情報画面	A ドライブ /B ドライブ /C ドライブ / E ドライブ[*3] :¥PROJECT1¥[*2*4]
プロジェクトデータ[*1]	コメントデータ	プロジェクト情報画面	A ドライブ /B ドライブ /C ドライブ / E ドライブ[*3] :¥PROJECT1¥[*2*4]
プロジェクトデータ[*1]	12 ドット高品位フォント (明朝 / ゴシック)	プロジェクト情報画面	A ドライブ /B ドライブ /C ドライブ / E ドライブ[*3] :¥PROJECT1¥[*2*4]
プロジェクトデータ[*1]	16 ドット高品位フォント (明朝 / ゴシック)	プロジェクト情報画面	A ドライブ /B ドライブ /C ドライブ / E ドライブ[*3] :¥PROJECT1¥[*2*4]
プロジェクトデータ[*1]	TrueType(明朝 / ゴシック)	プロジェクト情報画面	A ドライブ /B ドライブ /C ドライブ / E ドライブ[*3] :¥PROJECT1¥[*2*4]
リソースデータ	拡張アラームログファイル CSV ファイル[*5]	アラーム情報画面	A ドライブ /B ドライブ /E ドライブ[*6] :¥ GT Designer3，GT Designer2 で任意にフォルダ名，ファイル名を指定できます。[*2]
リソースデータ	拡張アラームログファイル TXT ファイル[*5]	アラーム情報画面	A ドライブ /B ドライブ /E ドライブ[*6] :¥ GT Designer3，GT Designer2 で任意にフォルダ名，ファイル名を指定できます。[*2]
リソースデータ	拡張アラームログファイル バイナリファイル[*5]	アラーム情報画面	A ドライブ /B ドライブ /E ドライブ[*6] :¥ GT Designer3，GT Designer2 で任意にフォルダ名，ファイル名を指定できます。[*2]
リソースデータ	アラームログファイル　CSV ファイル[*5]	アラーム情報画面	A ドライブ /B ドライブ /E ドライブ[*6] :¥ GT Designer3，GT Designer2 で任意にフォルダ名，ファイル名を指定できます。[*2]
リソースデータ	ハードコピーファイル　BMP ファイル[*5]	ハードコピー情報画面	A ドライブ /B ドライブ /E ドライブ[*6] :¥ GT Designer3，GT Designer2 で任意にフォルダ名，ファイル名を指定できます。[*2]
リソースデータ	ハードコピーファイル　JPG ファイル[*5]	ハードコピー情報画面	A ドライブ /B ドライブ /E ドライブ[*6] :¥ GT Designer3，GT Designer2 で任意にフォルダ名，ファイル名を指定できます。[*2]
リソースデータ	拡張レシピファイル　CSV ファイル[*5]	拡張レシピ情報画面	A ドライブ /B ドライブ /E ドライブ[*6] :¥ GT Designer3，GT Designer2 で任意にフォルダ名，ファイル名を指定できます。[*2]
リソースデータ	拡張レシピファイル　TXT ファイル[*5]	拡張レシピ情報画面	A ドライブ /B ドライブ /E ドライブ[*6] :¥ GT Designer3，GT Designer2 で任意にフォルダ名，ファイル名を指定できます。[*2]
リソースデータ	拡張レシピファイル　バイナリファイル[*5]	拡張レシピ情報画面	A ドライブ /B ドライブ /E ドライブ[*6] :¥ GT Designer3，GT Designer2 で任意にフォルダ名，ファイル名を指定できます。[*2]
リソースデータ	操作ログファイル　CSV ファイル[*5]	操作ログ情報画面	A ドライブ /B ドライブ /E ドライブ[*6] :¥ GT Designer3，GT Designer2 で任意にフォルダ名，ファイル名を指定できます。[*2]
リソースデータ	操作ログファイル　TXT ファイル[*5]	操作ログ情報画面	A ドライブ /B ドライブ /E ドライブ[*6] :¥ GT Designer3，GT Designer2 で任意にフォルダ名，ファイル名を指定できます。[*2]
リソースデータ	操作ログファイル　バイナリファイル[*5]	操作ログ情報画面	A ドライブ /B ドライブ /E ドライブ[*6] :¥ GT Designer3，GT Designer2 で任意にフォルダ名，ファイル名を指定できます。[*2]
リソースデータ	ロギングファイル　CSV ファイル[*5]	ロギング情報画面	A ドライブ /B ドライブ /E ドライブ[*6] :¥ GT Designer3，GT Designer2 で任意にフォルダ名，ファイル名を指定できます。[*2]
リソースデータ	ロギングファイル　TXT ファイル[*5]	ロギング情報画面	A ドライブ /B ドライブ /E ドライブ[*6] :¥ GT Designer3，GT Designer2 で任意にフォルダ名，ファイル名を指定できます。[*2]
リソースデータ	ロギングファイル　バイナリファイル[*5]	ロギング情報画面	A ドライブ /B ドライブ /E ドライブ[*6] :¥ GT Designer3，GT Designer2 で任意にフォルダ名，ファイル名を指定できます。[*2]

*1　ユーザ画面データ , コメントデータや各フォントデータは , プロジェクトデータとして表示します。
*2　各フォルダは，各ファイルのインストール，ダウンロード，およびアップロード時に自動的に作成されます。
*3　USB メモリを使用する場合 E ドライブより直接起動できません。
USB メモリはデータの格納のみで使用できます。
☞ 6.3.1 OS 情報
*4　フォルダ名およびファイル名は，GT Designer3，GT Designer2 のシステム環境のシステム設定で設定できます。
☞ ・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編) 4.1 GOT タイプを設定する (GOT 機種設定)
・GT Designer2 Version □画面設計マニュアル 3.1 GOT タイプ，接続機器タイプを設定する
*5　ファイル名には連番が自動的に付加されます。
*6　各機能から直接 E ドライブへは保存できません。

6.2　各種データ管理

6.2.1　アラーム情報

■ アラーム情報の機能

各ドライブ (A: 標準 CF カード，B: 拡張メモリカード，C: 内蔵フラッシュメモリ，E:USB ドライブ) が保持している拡張アラームログファイルやアラームログファイルを表示します。
また，ファイルに対して下記項目の処理を行えます。
USB ドライブはログファイルの格納のみで表示はできません。
拡張アラームの詳細については，下記のマニュアルを参照してください。

・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編) 10. アラーム
・GT Designer2 Version □画面設計マニュアル 8. アラーム

(○：対応，△：一部非対応，×：非対応)

機能	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応	参照先
ファイル，フォルダの情報表示	ファイルやフォルダの名称，データサイズ，作成日時を表示します。	○	○	■アラーム情報の表示例，■アラーム情報の操作
G1A → CSV 変換	拡張アラームログファイルの G1A ファイルを CSV ファイルへ変換します。	○	○	(2) G1A → CSV 変換操作，G1A → TXT 変換操作
G1A → TXT 変換	拡張アラームログファイルの G1A ファイルを TXT ファイルへ変換します。	○	○	(2) G1A → CSV 変換操作，G1A → TXT 変換操作
削除	ファイルを削除します。	○	○	(3) 削除操作
コピー	ファイルをコピーします。	○	○	(4) コピー操作
グラフ	拡張アラーム監視の結果をヒストリカルグラフ，集計グラフで表示します。	○	○	(5) グラフ操作

■ アラーム情報の表示操作

メインメニュー

（☞ 1.3 ユーティリティの表示）

「データ管理」をタッチ

データ管理

「各種データ管理」をタッチ

各種データ管理

「アラーム情報」をタッチ

アラーム情報

拡張アラームログファイルや
アラームログファイルを
操作します。

■ アラーム情報の表示例

番号	項目	内容
(1)	ドライブ選択	ファイルやフォルダの表示を行う対象ドライブを選択できます。 CF カード /USB メモリが装着されていない場合，下記ドライブは表示されません。 ・CF カード　：[A: 標準 CF カード]，[B: 拡張メモリカード] ・USB メモリ：[E: USB ドライブ]
(2)	チェックボックス	チェックを入れると最大 512 件まで複数選択できます。
(3)	種別	表示されている名称がファイルなのかフォルダなのかを表示します。 ファイルの場合は拡張子，フォルダの場合は DIR と表示します。
(4)	名称	ファイル名やフォルダ名を表示します。 長いファイル名 / フォルダ名は，すべて表示できない場合があります。 表示されない部分の名称は，[コピー] ボタンなどで確認してください。 ((4) コピー操作) 確認後，[Cancel] ボタンをタッチして処理をキャンセルしてください。
(5)	パス名	現在表示されているドライブ / フォルダのパス名を表示します。
(6)	サイズ	名称に表示されたファイルのサイズを表示します。
(7)	作成日，時間	各ファイルの作成日時を表示します。
(8)	ドライブのサイズ	ドライブ選択で選択したドライブの，使用中のサイズ / ドライブ全体のサイズを表示します。
(9)	ファイル全選択 / 選択解除	複数のファイルをまとめて選択 / 解除ができます。 [ファイル全選択] ボタンをタッチすると，ファイルが全件選択されます。 ただし，ファイル数が 513 件以上表示される場合は，上から 512 件のファイルが選択されます。
(10)	操作スイッチ	各機能の実行スイッチです。
(11)	フォルダ / ファイル数	表示しているフォルダとファイルの合計を表示します。

POINT

作成日，時間欄の表示について

アラーム情報表示画面表示中にファイルが作成または更新されても，作成日，時間欄の表示は更新されません。
現在表示している画面を一旦閉じ (上の階層のフォルダへ移動するなど)，再度該当の画面を表示すると更新した内容が表示されます。

HINT

表示されるフォルダとファイル

表示されるフォルダとファイルについては，下記を参照してください。

6.1.4 表示ファイル

■ アラーム情報の操作

(1) アラーム情報の表示操作

1. [ドライブ選択]のドライブをタッチすると，タッチしたドライブ内の情報が表示されます。
2. フォルダの名称をタッチすると，タッチしたフォルダ内の情報が表示されます。
3. 名称が[..]のフォルダをタッチすると，1 階層上のフォルダ内の情報が表示されます。
4. スクロールバーの ▲ ▼ ボタンをタッチすると，1 行ずつ上下にスクロールします。
   ⏫ ⏬ ボタンをタッチすると 1 画面分上下にスクロールします。
5. チェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。
6. G1A → CSV，G1A → TXT，削除，コピー，グラフの操作については，下記を参照してください。
   G1A → CSV，
   G1A → TXT................ ☞ (2) G1A → CSV 変換操作，G1A → TXT 変換操作
   削除 .... ☞ (3) 削除操作
   コピー .... ☞ (4) コピー操作
   グラフ .... ☞ (5) グラフ操作
7. [×] ボタンをタッチすると，画面を閉じます。

(2) G1A → CSV 変換操作，G1A → TXT 変換操作

選択した G1A ファイルを CSV ファイルまたは TXT ファイルへ変換します。

1. CSV ファイルまたは TXT ファイルに変換する G1A ファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。
2. 変換先ファイルの種類により下記のボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。
   - CSV ファイル：［G1A → CSV］ボタン
   - TXT ファイル：［TXT → CSV］ボタン

（次のページへつづく）

(例：[G1A → CSV] ボタンをタッチした場合のダイアログボックス)

このﾌｫﾙﾀﾞには既にﾌｧｲﾙ
AAM00001.CSV
が存在しています。現在のﾌｧｲﾙ
更新日:09-07-25 10:53
を次のﾌｧｲﾙ
更新日:09-07-29 10:51
で上書きしますか?

O K　　Cancel

3. [OK] ボタンをタッチします。
出力先のフォルダに，同一名称のファイルが存在する場合は，変換を開始せずに左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると同一名称のファイルに上書き変換します。
[Cancel] ボタンをタッチすると変換を中止します。

処理が完了しました。

O K

4. 変換が完了すると，完了のメッセージをダイアログボックスに表示します。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

(3) 削除操作

選択したファイルを削除します。

1. 削除するファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。
2. [削除] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチするとファイルを削除します。
[Cancel] ボタンをタッチすると削除操作を中止します。

ﾌｧｲﾙ:
AAM00001.G1A
を削除します。
よろしいですか？

O K　　Cancel

削除完了しました。

O K

3. 削除が完了すると，完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

(4) コピー操作

選択したファイルをコピーします。

1. コピーするファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。
2. [コピー] ボタンをタッチすると，画面左下に [コピー先ディレクトリを選択してください。] と表示されます。
3. コピー先のフォルダをタッチすると，画面表示がコピー先のフォルダに変更されます。
   このとき，コピー元のファイルと同一のフォルダへはコピーできません。
   異なるフォルダを選択してください。

4. [実行] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

ｺﾋﾟｰ対象ﾌｧｲﾙ
AAM00001.G1A
ｺﾋﾟｰしてよろしいですか？

O K　　Cancel

5. [OK] ボタンをタッチします。
   コピー先のフォルダに同一名称のファイルが存在する場合は，コピーを開始せずに左記の画面が表示されます。
   [OK] ボタンをタッチすると同一名称のファイルに上書きコピーします。
   [Cancel] ボタンをタッチするとコピーを中止します。

このﾌｫﾙﾀﾞには既にﾌｧｲﾙ
AAM00001.G1A
が存在しています。現在のﾌｧｲﾙ
更新日:09-02-27 19:21
を次のﾌｧｲﾙ
更新日:09-07-29 09:21
で上書きしますか?

O K　　Cancel

6. コピーが完了すると完了のダイアログボックスが表示されます。
   [OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

処理が完了しました。
成功 1
失敗 0

O K

(5) グラフ操作

選択した拡張アラームログファイルをグラフで表示します。

拡張アラーム監視（拡張ユーザアラーム，拡張システムアラーム）を履歴モードで設定している場合は，ヒストリカルグラフ（☞ (a) ヒストリカルグラフ表示について）で表示し，累積モードで設定している場合は集計グラフ（☞ (b) 集計グラフ表示について）で表示します。

拡張アラーム監視の設定に関する詳細は，下記を参照してください。

☞ ・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル（作画編）10. アラーム
・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル 8. アラーム

データ管理：各種データ管理：アラーム情報
ドライブ選択　A:¥
A：標準CFカード
E：USBドライブ
空き領域 121.3MB
ドライブ容量 122.3MB
種別 名称 サイズ 作成日 時間
G1A AAM00001 0.7KB 09-07-29 09:21
DIR PROJECT1 09-07-29 09:26
1個のファイルを選択中（合計 0.7KB）
このフォルダにある選択可能なファイル数：1ファイル
ファイル全選択 G1A->CSV G1A->TXT グラフ
選択解除 コピー 削除
1.
2.

1. グラフで表示する G1A ファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。
[グラフ] ボタンをタッチすると，拡張アラーム監視の設定に従ってヒストリカルグラフまたは集計グラフを表示します。

データ管理：各種データ管理：アラーム情報：ヒストリカルグラフ
●：発生 ■：確認 ○：復旧
装置Aの異常です
ラインAが停止しました
タンク1が材料切れです
搬送Gで重大エラー
装置Bの異常です
10:40 11:10 11:40 12:10 12:40 13:10 13

（例：ヒストリカルグラフ）

2. グラフを移動させる場合は，下記の操作を行います。
   - ▲ / ▼ ボタンをタッチすると，グラフを 1 行ずつ上 / 下に移動します。
   - ⏫ / ⏬ ボタンをタッチすると，グラフを 1 画面ずつ上 / 下に移動します。
   - ◀ / ▶ ボタンをタッチすると，グラフを 1 列ずつ左 / 右に移動します。
   - ⏪ / ⏩ ボタンをタッチすると，グラフを 1 画面ずつ左 / 右に移動します。

3. [×] ボタンをタッチすると，グラフを閉じます。

(a) ヒストリカルグラフ表示について

- 各アラームの発生時刻 (●)，確認時刻 (■)，復旧時刻 (○) を表示します。
- グラフ下部には 30 分間隔で時刻の目盛を表示します。
- アラームを登録した順に発生したアラームのみを表示します。
- 各アラームの名称は，GT Designer3，GT Designer2 で汎用アラームのメッセージに設定した内容を全角 12 文字目 (半角 24 文字目) まで表示します。
  全角 13 文字目 (半角 25 文字目) 以降は表示しません。
- グラフは 1 画面内にアラームを最大 26 行まで表示します。

(b) 集計グラフ表示について

- 各アラームの発生回数を横向きの棒グラフで表示します。
- 各アラームの名称は，GT Designer3，GT Designer2 で汎用アラームのメッセージに設定した内容を，全角 12 文字目 (半角 24 文字目) まで表示します。
  全角 13 文字目 (半角 25 文字目) 以降は表示しません。
- グラフは 1 画面内にアラームを最大 26 行まで表示します。

POINT

グラフの表示について

グラフ操作では，複数のファイルをグラフ表示できません。
チェックボックスに複数チェックが入っている場合は，ファイル一覧の一番最後に選択されたファイルがグラフ表示されます。

6.2.2　拡張レシピ情報

POINT

拡張レシピ情報を使用する前に

本機能を使用して接続機器に書込み / 読出しなどをしたり，拡張レシピファイルをパソコンで編集したりする場合は，下記のマニュアルを参照してください。
仕様や操作の流れなど記載しています。

・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編)
24.3 拡張レシピ機能
・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル
12.3 拡張レシピ機能

■ 拡張レシピ情報の機能

拡張レシピ機能で使用する拡張レシピファイルに対し，コピー / 削除 / ファイル出力などができます。
また本機能を使用すれば，拡張レシピを操作するための画面を GT Designer3，GT Designer2 で作成しなくても，接続機器に書込み / 読出しができます。(GT Designer3，GT Designer2 の拡張レシピ設定は必要です。)

(○：対応，△：一部非対応，×：非対応)

機能		内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応	参照先
拡張レシピ情報画面	ファイル，フォルダの情報表示	ファイルやフォルダの名称，データサイズ，作成日時を表示します。	○	○	■拡張レシピ情報の表示例，■拡張レシピ情報の操作
	G1P → CSV 変換	拡張レシピファイルの G1P ファイルを CSV ファイルへ変換します。	○	○	(2) G1P → CSV 変換操作，G1P → TXT 変換操作
	G1P → TXT 変換	拡張レシピファイルの G1P ファイルを Unicode テキストファイルへ変換します。	○	○	(2) G1P → CSV 変換操作，G1P → TXT 変換操作
	CSV，TXT → G1P 変換	CSV，TXT ファイルを拡張レシピファイルの G1P ファイルへ変換します。	×	○	(3) CSV，TXT → G1P 変換操作
	削除	ファイルやフォルダを削除します。	○	○	(4) 削除操作
	コピー	ファイルをコピーします。	○	○	(5) コピー操作
	移動	ファイルを移動します。	○	○	(6) 移動操作
	名称変更	ファイルの名称を変更します。	○	○	(7) 名称変更操作
	新規フォルダ	新規にフォルダを作成します。	○	○	(8) 新規フォルダ作成操作
	新規 G1P	新規に拡張レシピファイルの G1P ファイルを作成します。	○	○	(9) 新規 G1P ファイル作成操作
拡張レシピレコード一覧画面	レコード書込み GOT → PC	指定したレコードの値を接続機器のデバイスに書き込みます。	○	○	(10) レコード書込み操作
	レコード読出し PC → GOT	指定したレコードに接続機器のデバイス値を読み出します。	○	○	(11) レコード読出し操作
	レコード照合 GOT ⇔ PC	指定したレコードと接続機器のデバイス値を照合します。	○	○	(12) レコード照合操作
	デバイス値削除	指定したレコードに含まれるデバイス値を削除します。	○	○	(13) デバイス値削除操作

■ 拡張レシピ情報の表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）

データ管理

各種データ管理

「データ管理」をタッチ

「各種データ管理」をタッチ

「拡張レシピ情報」をタッチ

拡張レシピ情報

拡張レシピファイルを操作します。

■ 拡張レシピ情報の表示例

(1) 拡張レシピ情報画面

番号	項目	内容
(1)	ドライブ選択	対象ドライブを選択できます。(CF カードが装着されていなくても表示されます。)
(2)	チェックボックス	チェックを入れると最大 512 件まで複数選択できます。
(3)	種別	表示されている名称がファイルなのかフォルダなのかを表示します。 ファイルの場合は拡張子，フォルダの場合は [DIR] と表示します。
(4)	名称	ファイル名やフォルダ名を表示します。 長いファイル名 / フォルダ名は，すべて表示できない場合があります。 表示されない部分の名称は，[名称変更] ボタンなどで確認してください。 ((7) 名称変更操作) 確認後，[Cancel] ボタンをタッチして処理をキャンセルしてください。
(5)	パス名	現在表示されているドライブ / フォルダのパス名を表示します。
(6)	サイズ	名称に表示されたファイルのサイズを表示します。
(7)	作成日，時間	各ファイルの作成日時を表示します。
(8)	ドライブのサイズ	ドライブ選択で選択したドライブの，使用中のサイズ / ドライブ全体のサイズを表示します。
(9)	ファイル全選択 / 選択解除	複数のファイルをまとめて選択 / 解除ができます。 [ファイル全選択] ボタンをタッチすると，ファイルが全件選択されます。 ただし，ファイル数が 513 件以上表示される場合は，上から 512 件のファイルが選択されます。
(10)	操作スイッチ	各機能の実行スイッチです。
(11)	フォルダ / ファイル数	表示しているフォルダとファイルの合計を表示します。

POINT

表示されるファイルについて

拡張レシピ情報画面では，拡張レシピ用ファイル以外は表示されません。

HINT

表示されるフォルダとファイル

表示されるフォルダとファイルについては，下記を参照してください。

6.1.4 表示ファイル

(2) 拡張レシピレコード一覧画面

(1) 拡張レシピ情報画面で，拡張レシピファイルを選択後，［実行］ボタンをタッチすると本画面が表示されます。

各拡張レシピファイルで設定しているレコードの表示や，レコード書込み / 読出しなどが行えます。

番号	項目	内容
(1)	No.	拡張レシピファイルのレコード No. を表示します。
(2)	属性	レコードの属性を表示します。 レコードの属性は GT Designer3，GT Designer2 で変更できます。 V　：書込み / 読出しできるレコード （値が設定されているレコード） VP　：書込み専用のレコード （値が設定されていて，値の変更ができないレコード） 空白：読出し専用のレコード （値が未設定または削除されたレコード） P　：使用できない（予約領域）レコード （値が未設定で，値の変更ができないレコード）
(3)	レコードコメント	レコードコメントを表示します。
(4)	ファイル名	レシピファイルのパスと名称を表示します。
	設定 No.	レシピ No. を表示します。
	名称	レシピ名称を表示します。
(5)	更新日，時間	レコードコメントの更新日時を表示します。
(6)	操作スイッチ	各機能の実行スイッチです。

■ 拡張レシピ情報の操作

(1) 拡張レシピ情報の表示操作

1. [ドライブ選択] のドライブをタッチすると，タッチしたドライブ内の情報が表示されます。
2. フォルダの名称をタッチすると，タッチしたフォルダ内の情報が表示されます。
3. 名称が [. .] のフォルダをタッチすると，1 階層上のフォルダ内の情報が表示されます。
4. スクロールバーの ▲ ▼ ボタンをタッチすると，1 行ずつ上下にスクロールします。
   ⏫ ⏬ ボタンをタッチすると 1 画面分上下にスクロールします。
5. チェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。
6. 操作スイッチの操作については，下記を参照してください。
   G1P→CSV，G1P→TXT .... ☞ (2) G1P → CSV 変換操作，G1P → TXT 変換操作
   CSV，TXT→G1P 変換操作 .... ☞ (3) CSV，TXT → G1P 変換操作
   削除 .... ☞ (4) 削除操作
   コピー .... ☞ (5) コピー操作
   移動 .... ☞ (6) 移動操作
   名称変更 .... ☞ (7) 名称変更操作
   新規フォルダ .... ☞ (8) 新規フォルダ作成操作
   新規 G1P............. ☞ (9) 新規 G1P ファイル作成操作
   実行 .... ☞ (10) レコード書込み操作～ (13) デバイス値削除操作
7. [×] ボタンをタッチすると，画面を閉じます。

(2) G1P → CSV 変換操作，G1P → TXT 変換操作

拡張レシピファイル (G1P ファイル) を，パソコンで表示・編集できる CSV ファイルまたは Unicode テキストファイルに変換します。

1. CSV ファイルまたは Unicode テキストファイルに変換する G1P ファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。

2. 変換先ファイルの種類により下記のボタンをタッチします。
   - CSV ファイル：
     [G1P → CSV] ボタン
   - Unicode テキストファイル：
     [G1L → TXT] ボタン

3. 出力先のフォルダを選択します。
   (ドライブ直下に出力する場合は，フォルダの選択は不要です。)

4. [実行] ボタンをタッチすると左記のダイアログボックスが表示されます。
   [OK] ボタンをタッチします。
   (処理実行中は画面に “ 処理中です ” のメッセージが表示されます。)

(例：[G1P → CSV] ボタンをタッチした場合のダイアログボックス)

(次のページへつづく)

このﾌｫﾙﾀﾞには既にﾌｧｲﾙ
ARP00001.CSV
が存在しています。現在のﾌｧｲﾙ
更新日:08-07-04 14:21
を次のﾌｧｲﾙ
更新日:09-07-30 10:36
で上書きしますか?

O K　Cancel

5. 出力先のフォルダに，同一名称のファイルが存在する場合は，変換を開始せずに左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると同一名称のファイルに上書き変換します。
[Cancel] ボタンをタッチすると変換を中止します。

完了しました

O K

6. 変換が完了すると，完了のメッセージをダイアログボックスに表示します。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

(3) CSV，TXT → G1P 変換操作

CSV ファイルまたは UnicodeTXT ファイルを拡張レシピファイル (G1P ファイル) へ変換します。

1. G1P ファイルに変換する CSV ファイルまたは Unicode テキストファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。

2. [CSV,TXT → G1P] ボタンをタッチすると，画面左下に [コピー先ディレクトリを選択してください。] と表示されます。

3. 出力先のフォルダを選択します。
(ドライブ直下に出力する場合は，フォルダの選択は不要です。)

4. [実行] ボタンをタッチすると左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチします。
(処理実行中は画面に “ 処理中です ” のメッセージが表示されます。)

(次のページへつづく)

このﾌｫﾙﾀﾞには既にﾌｧｲﾙ
ARP00001.G1P
が存在しています。現在のﾌｧｲﾙ
更新日:10-02-18 15:17
を次のﾌｧｲﾙ
更新日:10-02-18 15:11
で上書きしますか?

OK　Cancel

5. 出力先のフォルダに，同一名称のファイルが存在する場合は，変換を開始せずに左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると同一名称のファイルに上書き変換します。
[Cancel] ボタンをタッチすると変換を中止します。

6. 変換が完了すると，完了のメッセージをダイアログボックスに表示します。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

(4) **削除操作**

拡張レシピで使用するフォルダやファイルを削除します。

1. 削除するフォルダをタッチまたは，削除するファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。

2. [削除] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチするとフォルダ / ファイルを削除します。
(処理実行中は画面に “ 処理中です ” のメッセージが表示されます。)
[Cancel] ボタンをタッチすると削除操作を中止します。

ファイル：
ARP00001.G1P
を削除します。
よろしいですか？
OK　Cancel

3. 削除が完了すると，完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

削除完了しました。
OK

4. 削除できない場合は，左記のダイアログボックスを表示します。(フォルダ削除実行時のみ)
フォルダ内にファイルが存在しないか確認し，再度削除操作を実行してください。
(6.2.3 ■注意事項)

フォルダ内にファイル/フォルダがあるため削除できませんでした。
GOTで非表示のファイルが存在する可能性があります。
OK

(5) **コピー操作**

拡張レシピで使用するファイルをコピーします。

1. コピーするファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。
2. [コピー] ボタンをタッチします。
3. コピー先のフォルダを選択します。
(ドライブ直下にコピーする場合は，フォルダの選択は不要です。)
このとき，コピー元のファイルと同一のフォルダへはコピーできません。
異なるフォルダを選択してください。
4. [実行] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチします。
(処理実行中は画面に “処理中です” のメッセージが表示されます。)

コピｰ対象ﾌｧｲﾙ
ARP00001.G1P
コピｰしてよろしいですか？

O K　　Cancel

5. コピー先のフォルダに同一名称のファイルが存在する場合は，コピーを開始せずに左記の画面が表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると同一名称のファイルに上書きコピーします。
[Cancel] ボタンをタッチするとコピーを中止します。

このﾌｫﾙﾀﾞには既にﾌｧｲﾙ
ARP00001.G1P
が存在しています。現在のﾌｧｲﾙ
更新日:08-07-04 14:21
を次のﾌｧｲﾙ
更新日:09-07-30 10:36
で上書きしますか?

O K　　Cancel

(次のページへつづく)

処理が完了しました。
成功 1
失敗 0

OK

6. コピーが完了すると完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

(6) 移動操作

拡張レシピで使用するファイルを移動します。

1. 移動するファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。
2. [移動] ボタンをタッチします。

3. 移動先のフォルダを選択します。
（ドライブ直下に移動する場合は，フォルダの選択は不要です。）

（次のページへつづく）

移動対象ﾌｧｲﾙ:
ARP00001.G1P
移動してよろしいですか?

０Ｋ　Cancel

4. [実行] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチします。
(処理実行中は画面に “ 処理中です ” のメッセージが表示されます。)

このﾌｫﾙﾀﾞには既にﾌｧｲﾙ
ARP00001.G1P
が存在しています。現在のﾌｧｲﾙ
更新日:08-07-04 14:21
を次のﾌｧｲﾙ
更新日:08-07-04 14:21
で上書きしますか?

０Ｋ　Cancel

5. 移動先のフォルダに同一名称のファイルが存在する場合は，移動を開始せずに左記の画面が表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると同一名称のファイルに上書きします。
[Cancel] ボタンをタッチすると移動を中止します。

処理が完了しました。
成功 1
失敗 0

０Ｋ

6. 移動が完了すると完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

(7) 名称変更操作

拡張レシピで使用するファイルの名称を変更します。

1. 名称変更するファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。

2. [名称変更] ボタンをタッチすると，左記の画面が表示されるので，変更するファイル名を入力します。
以下のボタンをタッチすると入力する文字の種類が変更できます。
[A-Z] ：英大文字
[0-9] ：数字 / 記号

3. [Enter] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

4. [OK] ボタンをタッチするとファイル名変更を開始します。
(処理実行中は画面に “ 処理中です ” のメッセージが表示されます。)

5. ファイル名変更が完了すると完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

(8) 新規フォルダ作成操作

拡張レシピで使用するフォルダを作成します。

1. ［新規フォルダ］ボタンをタッチします。

2. 入力キーウィンドウが表示されるので，作成するフォルダ名を入力します。
   以下のボタンをタッチすると入力する文字の種類が変更できます。
   [A-Z] ：英大文字
   [0-9] ：数字 / 記号

3. [Enter] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

4. [OK] ボタンをタッチするとフォルダの作成を開始します。

5. 作成が完了すると完了のダイアログボックスが表示されます。
   [OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

(9) 新規 G1P ファイル作成操作

拡張レシピファイル (G1P ファイル) を作成します。
拡張レシピをユーティリティでのみ実行する場合，事前に本機能で拡張レシピファイルを作成しておく必要があります。

1. [新規 G1P] ボタンをタッチします。

2. 拡張レシピ設定を選択する画面が表示されます。
新規ファイルに使用する，拡張レシピ設定を選択します。
選択後，[次へ] ボタンをタッチします。

3. 入力キーウィンドウが表示されるので，新規作成するファイル名を入力します。
以下のボタンをタッチすると入力する文字の種類が変更できます。
[A-Z] ：英大文字
[0-9] ：数字 / 記号

(次のページへつづく)

4. [Enter] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチします。

5. 作成先のフォルダに同一名称のファイルが存在する場合は，作成を開始せずに左記の画面が表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると同一名称のファイルに上書きします。
[Cancel] ボタンをタッチすると作成を中止します。

6. ファイルの作成が完了すると完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

(10) レコード書込み操作

選択したレコードの値を接続機器のデバイスに書き込みます。

1. レシピファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。
[実行] ボタンをタッチします。

2. 拡張レシピレコード一覧画面が表示されるので，デバイス値を書込みたいレコードコメントを選択します。

3. [レコード書込み GOT→PC] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

4. [OK] ボタンをタッチするとレコード書込みを実行します。

レコードNo.1
レコードコメント:工程1設定

レコード書込みを実行しますか？

O K　Cancel

5. 書込みが完了すると完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

完了しました

O K

(11) レコード読出し操作

選択したレコードに接続機器のデバイス値を読み出します。

1. レシピファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。
[実行] ボタンをタッチします。

2. 拡張レシピレコード一覧画面が表示されるので，デバイス値を読出すレコードコメントを選択します。

3. [レコード読出し PC→GOT] ボタンをタッチすると，左記の画面が表示されます。
読出し先のレコードコメントを変更する場合は，レコードコメントを入力します。
以下のボタンをタッチすると入力する文字の種類が変更できます。

[A-Z] ：英大文字

[a-z] ：英小文字

[0-9] ：数字 / 記号

英数字，記号以外は入力できません。
レコードコメントを変更しない場合は入力不要です。

（次のページへつづく）

レコードNo.1
レコードコメント:工程1設定

レコード読出しを実行しますか？

ＯＫ　Cancel

4. [Enter] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

5. [OK] ボタンをタッチするとレコード読出しを開始します。

完了しました

ＯＫ

6. 読出しが完了すると完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

(12) レコード照合操作

選択したレコードと接続機器のデバイス値が一致しているか確認します。
拡張レシピで書込み / 読出しを実行後，その内容が反映されているか確認できます。

1. レシピファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。
［実行］ボタンをタッチします。

2. 拡張レシピレコード一覧画面が表示されるので，デバイス値を照合するレコードコメントを選択します。

3. レコード照合 GOT⇔PC ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

4. [OK] ボタンをタッチするとレコード照合を開始します。

レコードNo.1
レコードコメント:工程1設定

レコード照合を実行しますか？

OK　Cancel

（次のページへつづく）

照合OKです

０Ｋ

照合NGです

０Ｋ

5. 照合が完了すると完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

6. 指定したレコードと接続機器のデバイス値が一致しない場合は，左記のダイアログボックスを表示します。

(13) デバイス値削除操作

選択したレコードのデバイス値を削除（値なし）して，読出し専用のレコードにします。
（レコード名称は削除されません。）

1. レシピファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。
[実行] ボタンをタッチします。

2. 拡張レシピレコード一覧画面が表示されるので，削除するレコードコメントを選択します。
（属性に “P” があるデータは削除できません）

3. デバイス値削除 ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

4. [OK] ボタンをタッチするとデバイス値削除を開始します。
（画面に “ 処理中です ” のメッセージが表示されます）

削除対象レコードNo.1
レコードコメント:工程1設定

削除しますか？

O K　Cancel

5. 削除が完了すると完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

完了しました

O K

■ 注意事項

(1) 作成 / 削除時の注意事項

(a) フォルダ / ファイル作成時のフォルダ名とファイル名の文字数について
GOT は，ファイルの場所を下記に示すパスで認識しています。
フォルダ名，ファイル名の文字数は，パス全体で 78 文字以下になるように設定してください。
ユーザで設定可能な部分は，フォルダ名とファイル名のみです。
(フォルダ名とファイル名以外は自動的に付加されます。)

例)CF カード /USB メモリに保存される CSV ファイルのパス

A :¥ フォルダ名 ¥ ファイル名 .CSV

- A：ドライブ名（1文字）
- :¥：（2文字）
- ¥：（1文字）
- .CSV：拡張子（4文字）
- 全体：最大78文字

HINT

フォルダに階層を付けた場合
フォルダ名とフォルダ名，フォルダ名とファイル名の間には¥マークが入ります。¥マークも 1 文字となります。

(b) フォルダ / ファイルに設定できない文字列について
フォルダ名，ファイル名に，以下の文字列は使用できません。(大文字，小文字に関わらず使用できません。)

・COM1 ～ COM9	・LPT1 ～ LPT9	・AUX	・CON
・NUL	・PRN	・CLOCK$	

また，下記に示すフォルダ名またはファイル名は使用できません。
- ・G1 で始まるフォルダ名
- ・.(ピリオド) で始まるフォルダ名およびファイル名
- ・.(ピリオド) で終わるフォルダ名およびファイル名
- ・.(ピリオド 1 つ) または ..(ピリオド 2 つ) のみのフォルダ名およびファイル名

(c) フォルダ削除時
フォルダ内にファイルがあるとフォルダを削除できません。
ファイルを削除したあとに，フォルダを削除してください。
なお，拡張レシピ情報画面では，拡張レシピ用ファイル以外は GOT に表示されません。
画面上でファイルが表示されていないのにフォルダの削除ができない場合は，CF カード /USB メモリ内に他のファイルが存在しないか，パソコンなどで確認してください。

(2)　操作時の注意事項

(a)　フォルダ / ファイル操作中 (作成 / 削除 / コピー / ファイル出力など) の注意事項
GOT がフォルダやファイルを処理中に，CF カードアクセススイッチを OFF しても，処理は実行されます。(例：GOT がフォルダを作成中に CF カードアクセススイッチを OFF しても，フォルダは作成されます。)
そのため，CF カードアクセススイッチを OFF にしても，画面に “処理に時間のかかる場合があります。しばらくお待ちください。” のメッセージが表示されている間は，CF カードを抜かないでください。

(b)　GOT が他のファイル (アラームデータなど) へアクセス中の場合
他のファイルへアクセス中 (CF カードアクセス LED 点灯中) に拡張レシピのフォルダ / ファイルの処理を実行した場合，他のファイルに対しての処理を待ってから拡張レシピのフォルダ / ファイルの処理を実行します。
そのため，拡張レシピのフォルダ / ファイルの処理を実行した場合，しばらく時間がかかる場合があります。(画面には “処理に時間のかかる場合があります。しばらくお待ちください。” のメッセージが表示されます。)

HINT

処理時間の目安
操作する拡張レシピファイルの設定によっては，処理に時間がかかる場合があります。(ブロック数が多いほど処理に時間がかかります。)

(参考値)
QCPU と CPU 直接接続 (デバイス点数：32767 点設定，伝送速度：115200bps)
- ブロック設定数 1 の場合　：約 17 秒
- ブロック設定数 2048 の場合：約 4 分

(c)　移動または名称変更を行った拡張レシピファイルでデバイス値の読出し / 書込みを行う場合
GT Designer3，GT Designer2 で，拡張レシピ設定 [レシピファイル] の設定を，移動または名称変更したファイルに合わせてください。
設定変更後，拡張レシピ設定を GOT にダウンロードしてください。

6.2.3　ロギング情報

■ ロギング情報の機能

ロギング機能で作成されたロギングファイルに対し，ファイルコピー / ファイル削除 / ファイル名変更などができます。
パソコンを使用しないで，GOT 上でロギングファイルの管理ができます。

ロギング機能の詳細については，下記のマニュアルを参照してください。

・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編) 23. ロギング機能
・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル 11.3 ロギング機能

(○：対応，△：一部非対応，×：非対応)

機能	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応	参照先
ファイル，フォルダの情報表示	ファイルやフォルダの名称，データサイズ，作成日時を表示します。	○	○	■ ロギング情報の表示例，■ ロギング情報の操作
G1L → CSV 変換	ロギングファイルの G1L ファイルを CSV ファイルへ変換します。	○	○	(2) G1L → CSV 変換操作，G1L → TXT 変換操作
G1L → TXT 変換	ロギングファイルの G1L ファイルを Unicode テキストファイルへ変換します。	○	○	(2) G1L → CSV 変換操作，G1L → TXT 変換操作
削除	ファイルやフォルダを削除します。	○	○	(3) 削除操作
コピー	ファイルをコピーします。	○	○	(4) コピー操作
移動	ファイルを移動します。	○	○	(5) 移動操作
名称変更	ファイルの名称を変更します。	○	○	(6) 名称変更操作
新規フォルダ	新規にフォルダを作成します。	○	○	(7) 新規フォルダ作成操作

■ ロギング情報の表示操作

■ ロギング情報の表示例

番号	項目	内容
(1)	ドライブ選択	対象ドライブを選択できます。(CF カードが装着されていなくても表示されます。)
(2)	チェックボックス	チェックを入れると最大 512 件まで複数選択できます。
(3)	種別	表示されている名称がファイルなのかフォルダなのかを表示します。 ファイルの場合は拡張子，フォルダの場合は [DIR] と表示します。
(4)	名称	ファイル名やフォルダ名を表示します。 長いファイル名 / フォルダ名は，すべて表示できない場合があります。 表示されない部分の名称は，[名称変更] ボタンなどで確認してください。 (☞ (6) 名称変更操作) 確認後，[Cancel] ボタンをタッチして処理をキャンセルしてください。
(5)	パス名	現在表示されているドライブ / フォルダのパス名を表示します。
(6)	サイズ	名称に表示されたファイルのサイズを表示します。
(7)	作成日，時間	各ファイルの作成日時を表示します。
(8)	ドライブのサイズ	ドライブ選択で選択したドライブの，使用中のサイズ / ドライブ全体のサイズを表示します。
(9)	ファイル全選択 / 選択解除	複数のファイルをまとめて選択 / 解除ができます。 [ファイル全選択] ボタンをタッチすると，ファイルが全件選択されます。 ただし，ファイル数が 513 件以上表示される場合は，上から 512 件のファイルが選択されます。
(10)	操作スイッチ	各機能の実行スイッチです。
(11)	フォルダ / ファイル数	表示しているフォルダとファイルの合計を表示します。

POINT

表示されるファイルについて

ロギング情報画面では，ロギングファイル以外は表示されません。

HINT

表示されるフォルダとファイル

表示されるフォルダとファイルについては，下記を参照してください。

☞ 6.1.4 表示ファイル

■ ロギング情報の操作

(1)　ロギング情報の表示操作

1. [ドライブ選択] のドライブをタッチすると，タッチしたドライブ内の情報が表示されます。
2. フォルダの名称をタッチすると，タッチしたフォルダ内の情報が表示されます。
3. 名称が [. .] のフォルダをタッチすると，1 階層上のフォルダ内の情報が表示されます。
4. スクロールバーの ▲ ▼ ボタンをタッチすると，1 行ずつ上下にスクロールします。
   ⏶ ⏷ ボタンをタッチすると 1 画面分上下にスクロールします。
5. チェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。
6. 操作スイッチの操作については，下記を参照してください。
   G1L → CSV，G1L → TXT
   .... ☞ (2) G1L → CSV 変換操作，G1L → TXT 変換操作
   削除 .... ☞ (3) 削除操作
   コピー .... ☞ (4) コピー操作
   移動 .... ☞ (5) 移動操作
   名称変更 .... ☞ (6) 名称変更操作
   新規フォルダ .... ☞ (7) 新規フォルダ作成操作
7. [×] ボタンをタッチすると，画面を閉じます。

(2)　G1L → CSV 変換操作，G1L → TXT 変換操作

ロギングファイル (G1L ファイル) を，パソコンで表示・編集できる CSV ファイルまたは Unicode テキストファイルに変換します。

1. CSV ファイルまたは Unicode テキストファイルに変換する G1L ファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。

2. 変換先ファイルの種類により下記のボタンをタッチします。
   - CSV ファイル：
     [G1L → CSV] ボタン
   - Unicode テキストファイル：
     [G1L → TXT] ボタン

3. 出力先のフォルダを選択します。
   (ドライブ直下に出力する場合は，フォルダの選択は不要です。)

4. [実行] ボタンをタッチすると左記のダイアログボックスが表示されます。
   [OK] ボタンをタッチします。
   (処理実行中は画面に “ 処理中です ” のメッセージが表示されます。)

G1L→CSV変換
変換元ファイル:LOG00001_0002.G1L
変換先ファイル:LOG00001_0002.CSV
変換しますか？

O K　　Cancel

(例：[G1L → CSV] ボタンをタッチした場合の
ダイアログボックス)

(次のページへつづく)

このﾌｫﾙﾀﾞには既にﾌｧｲﾙ
LOG00001_0002.CSV
が存在しています。現在のﾌｧｲﾙ
更新日:08-07-14 13:42
を次のﾌｧｲﾙ
更新日:09-07-30 14:18
で上書きしますか?

O K　Cancel

5. 出力先のフォルダに，同一名称のファイルが存在する場合は，変換を開始せずに左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると同一名称のファイルに上書き変換します。
[Cancel] ボタンをタッチすると変換を中止します。

完了しました

O K

6. 変換が完了すると，完了のメッセージをダイアログボックスに表示します。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

(3) 削除操作

ロギングで使用するフォルダやファイルを削除します。

1. 削除するフォルダをタッチまたは，削除するファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。

ファイル：
LOG00001_0002.G1L
を削除します。
よろしいですか？

OK　Cancel

2. [削除] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチするとフォルダ / ファイルを削除します。
(処理実行中は画面に " 処理中です " のメッセージが表示されます。)
[Cancel] ボタンをタッチすると削除操作を中止します。

削除完了しました。

OK

3. 削除が完了すると，完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

フォルダ内にファイル/フォルダがあるため削除できませんでした。
GOTで非表示のファイルが存在する可能性があります。

OK

4. 削除できない場合は，左記のダイアログボックスを表示します。(フォルダ削除実行時のみ)
フォルダ内にファイルが存在しないか確認し，再度削除操作を実行してください。
(☞ 6.2.3 ■注意事項)

(4) コピー操作

ロギングで使用するファイルをコピーします。

1. コピーするファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。
2. [コピー] ボタンをタッチします。
3. コピー先のフォルダを選択します。
(ドライブ直下にコピーする場合は，フォルダの選択は不要です。)
このとき，コピー元のファイルと同一のフォルダへはコピーできません。
異なるフォルダを選択してください。
4. [実行] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチします。
(処理実行中は画面に " 処理中です " のメッセージが表示されます。)
5. コピー先のフォルダに同一名称のファイルが存在する場合は，コピーを開始せずに左記の画面が表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると同一名称のファイルに上書きコピーします。
[Cancel] ボタンをタッチするとコピーを中止します。

コピー対象ﾌｧｲﾙ
LOG00001_0001.G1L
コピーしてよろしいですか？

O K　Cancel

このﾌｫﾙﾀﾞには既にﾌｧｲﾙ
LOG00001_0001.G1L
が存在しています。現在のﾌｧｲﾙ
更新日:09-03-20 13:22
を次のﾌｧｲﾙ
更新日:09-07-30 13:42
で上書きしますか?

O K　Cancel

(次のページへつづく)

処理が完了しました。
成功 1
失敗 0

0 K

6. コピーが完了すると完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

(5) **移動操作**

ロギングで使用するファイルを移動します。

1. 移動するファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。

2. [移動] ボタンをタッチします。

3. 移動先のフォルダを選択します。
(ドライブ直下に移動する場合は，フォルダの選択は不要です。)

(次のページへつづく)

移動対象ﾌｧｲﾙ:
LOG00001_0001.G1L
移動してよろしいですか?

O K　Cancel

4. [実行] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。
OK ボタンをタッチします。
(処理実行中は画面に “ 処理中です ” のメッセージが表示されます。)

このﾌｫﾙﾀﾞには既にﾌｧｲﾙ
LOG00001_0001.G1L
が存在しています。現在のﾌｧｲﾙ
更新日:09-03-20 13:22
を次のﾌｧｲﾙ
更新日:09-07-30 13:42
で上書きしますか?

O K　Cancel

5. 移動先のフォルダに同一名称のファイルが存在する場合は，移動を開始せずに左記の画面が表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると同一名称のファイルに上書きします。
[Cancel] ボタンをタッチすると移動を中止します。

処理が完了しました。
成功 1
失敗 0

O K

6. 移動が完了すると完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

(6) 名称変更操作

ロギングで使用するファイルの名称を変更します。

1. 名称変更するファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。

パス名
A:¥PROJECT1
ファイル名
LINE-A_LOG

2. ［名称変更］ボタンをタッチすると，左記の画面が表示されるので，変更するファイル名を入力します。
以下のボタンをタッチすると入力する文字の種類が変更できます。

〔A-Z〕：英大文字

〔0-9〕：数字 / 記号

ファイル名を変更します。
変更前:
LOG00001_0001.G1L
変更後:
LINE-A_LOG.G1L
よろしいですか？
OK　Cancel

3. [Enter] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

4. [OK] ボタンをタッチするとファイル名変更を開始します。
（処理実行中は画面に“処理中です”のメッセージが表示されます。）

完了しました
OK

5. ファイル名変更が完了すると完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

(7) 新規フォルダ作成操作

ロギングで使用するフォルダを作成します。

1. [新規フォルダ] ボタンをタッチします。

2. 入力キーウィンドウが表示されるので，作成するフォルダ名を入力します。
   以下のボタンをタッチすると入力する文字の種類が変更できます。
   [A-Z] ：英大文字
   [0-9] ：数字 / 記号

3. [Enter] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

4. [OK] ボタンをタッチするとフォルダの作成を開始します。

5. 作成が完了すると完了のダイアログボックスが表示されます。
   [OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

■ 注意事項

(1) 作成 / 削除時の注意事項

(a) フォルダ / ファイル作成時のフォルダ名とファイル名の文字数について
GOT は，ファイルの場所を下記に示すパスで認識しています。
フォルダ名，ファイル名の文字数は，パス全体で 78 文字以下になるように設定してください。
ユーザで設定可能な部分は，フォルダ名とファイル名のみです。
(フォルダ名とファイル名以外は自動的に付加されます。)

例)CF カード /USB メモリに保存される CSV ファイルのパス

HINT

フォルダに階層を付けた場合
フォルダ名とフォルダ名，フォルダ名とファイル名の間には¥マークが入ります。¥マークも 1 文字となります。

(b) フォルダ / ファイルに設定できない文字列について
フォルダ名，ファイル名に，以下の文字列は使用できません。(大文字，小文字に関わらず使用できません。)

・COM1 ～ COM9	・LPT1 ～ LPT9	・AUX	・CON
・NUL	・PRN	・CLOCK$	

また，下記に示すフォルダ名またはファイル名は使用できません。
・G1 で始まるフォルダ名
・.(ピリオド) で始まるフォルダ名およびファイル名
・.(ピリオド) で終わるフォルダ名およびファイル名
・.(ピリオド 1 つ) または ..(ピリオド 2 つ) のみのフォルダ名およびファイル名

(c) フォルダ削除時
フォルダ内にファイルがあるとフォルダを削除できません。
ファイルを削除したあとに，フォルダを削除してください。
なお，ロギング情報画面では，ロギングファイル以外は GOT に表示されません。
画面上でファイルが表示されていないのにフォルダの削除ができない場合は，CF カード /USB メモリ内に他のファイルが存在しないか，パソコンなどで確認してください。

(2) 操作時の注意事項

(a) フォルダ / ファイル操作中 (作成 / 削除 / コピー / ファイル出力など) の注意事項
GOT がフォルダやファイルを処理中に，CF カードアクセススイッチを OFF しても，処理は実行されます。(例：GOT がフォルダを作成中に CF カードアクセススイッチを OFF しても，フォルダは作成されます。)
そのため，CF カードアクセススイッチを OFF にしても，画面に “ 処理に時間のかかる場合があります。しばらくお待ちください。” のメッセージが表示されている間は，CF カードを抜かないでください。

(b) GOT が他のファイル (アラームデータなど) へアクセス中の場合
他のファイルへアクセス中 (CF カードアクセス LED 点灯中) にロギングのフォルダ / ファイルの処理を実行した場合，他のファイルに対しての処理を待ってからロギングのフォルダ / ファイルの処理を実行します。
そのため，ロギングのフォルダ / ファイルの処理を実行した場合，しばらく時間がかかる場合があります。(画面には “ 処理に時間のかかる場合があります。しばらくお待ちください。” のメッセージが表示されます。)

6.2.4　操作ログ情報

■ 操作ログ情報の機能

操作ログ機能で作成された操作ログファイルに対し，ファイルコピー / ファイル削除 / ファイル名変更などができます。
パソコンを使用しないで，GOT 上で操作ログファイルの管理ができます。

操作ログ機能の詳細については，下記のマニュアルを参照してください。

☞ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編) 22. 操作ログ機能
GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル 15.2 操作ログ機能

(○：対応，△：一部非対応，×：非対応)

機能	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応	参照先
ファイル，フォルダの情報表示	ファイルやフォルダの名称，データサイズ，作成日時を表示します。	○	○	■ 操作ログ情報の表示操作
G1O → CSV 変換	操作ログファイルの G1O ファイルを CSV ファイルへ変換します。	○	○	(2) G1O → CSV 変換操作，G1O → TXT 変換操作
G1O → TXT 変換	操作ログファイルの G1O ファイルを Unicode テキストファイルへ変換します。	○	○	(2) G1O → CSV 変換操作，G1O → TXT 変換操作
削除	ファイルやフォルダを削除します。	○	○	(3) 削除操作
コピー	ファイルをコピーします。	○	○	(4) コピー操作
移動	ファイルを移動します。	○	○	(5) 移動操作
名称変更	ファイルの名称を変更します。	○	○	(6) 名称変更操作
新規フォルダ	新規にフォルダを作成します。	○	○	(7) 新規フォルダ作成操作
一覧	操作ログの一覧表示，検索ができます。	○	○	(8) 一覧表示
表示順切換え	操作ログの表示順を切り換えます。	×	○	(8) (a) 表示順切換え操作
画面イメージの表示	選択した行の操作ログの画面イメージを表示します。	×	○	(8) (b) 画面イメージの表示操作
検索	操作ログを検索します。	×	○	(8) (c) 検索操作
最新	最新の操作ログ一覧を表示します。	×	○	(9) 最新表示

■ 操作ログ情報の表示操作

メインメニュー
（ 1.3 ユーティリティの表示）

「データ管理」をタッチ

データ管理

「各種データ管理」をタッチ

各種データ管理

「操作ログ情報」をタッチ

操作ログ情報

操作ログファイルを操作します。

HINT

操作ログ情報画面を表示時のデフォルトの表示ドライブ

GT Designer3 で，環境設定ダイアログボックス (操作ログ) の [保存先] を設定している場合，操作ログ情報画面を表示時のデフォルトの表示ドライブは，GT Designer3 で設定したドライブになります。

GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編) 22. 操作ログ機能

下記の場合，デフォルトの表示ドライブは，A ドライブになります。

- GT Designer3 で [保存先] を設定していない場合
- GT Designer3 で [保存先] に設定したドライブがない場合

■ 操作ログ情報の表示例

番号	項目	内容
(1)	ドライブ選択	対象ドライブを選択できます。(CF カードが装着されていなくても表示されます。)
(2)	チェックボックス	チェックを入れると最大 512 件まで複数選択できます。
(3)	種別	表示されている名称がファイルなのかフォルダなのかを表示します。 ファイルの場合は拡張子，フォルダの場合は [DIR] と表示します。
(4)	名称	ファイル名やフォルダ名を表示します。 長いファイル名 / フォルダ名は，すべて表示できない場合があります。 表示されない部分の名称は，[名称変更] ボタンなどで確認してください。 ((6) 名称変更操作) 確認後，[Cancel] ボタンをタッチして処理をキャンセルしてください。
(5)	パス名	現在表示されているドライブ / フォルダのパス名を表示します。
(6)	サイズ	名称に表示されたファイルのサイズを表示します。
(7)	作成日，時間	各ファイルの作成日時を表示します。
(8)	ドライブのサイズ	ドライブ選択で選択したドライブの，使用中のサイズ / ドライブ全体のサイズを表示します。
(9)	ファイル全選択 / 選択解除	複数のファイルをまとめて選択 / 解除ができます。 [ファイル全選択] ボタンをタッチすると，ファイルが全件選択されます。 ただし，ファイル数が 513 件以上表示される場合は，上から 512 件のファイルが選択されます。
(10)	操作スイッチ	各機能の実行スイッチです。
(11)	フォルダ / ファイル数	表示しているフォルダとファイルの合計を表示します。

POINT

表示されるファイルについて

操作ログ情報画面では，操作ログファイル以外は表示されません。

HINT

表示されるフォルダとファイル

表示されるフォルダとファイルについては，下記を参照してください。

6.1.4 表示ファイル

■ 操作ログ情報の操作

(1) 操作ログ情報の表示操作

1. [ドライブ選択] のドライブをタッチすると，タッチしたドライブ内の情報が表示されます。
2. フォルダの名称をタッチすると，タッチしたフォルダ内の情報が表示されます。
3. 名称が [. .] のフォルダをタッチすると，1 階層上のフォルダ内の情報が表示されます。
4. スクロールバーの ▲ ▼ ボタンをタッチすると，1 行ずつ上下にスクロールします。
   ⏫ ⏬ ボタンをタッチすると 1 画面分上下にスクロールします。
5. チェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。
6. 操作スイッチの操作については，下記を参照してください。
   G10 → CSV，G10 → TXT
   ....☞ (2) G10 → CSV 変換操作，G10 → TXT 変換操作
   削除 ....☞ (3) 削除操作
   コピー ....☞ (4) コピー操作
   移動 ....☞ (5) 移動操作
   名称変更 ....☞ (6) 名称変更操作
   新規フォルダ ....☞ (7) 新規フォルダ作成操作
   一覧 ....☞ (8) 一覧表示
   最新 ....☞ (9) 最新表示
7. [×] ボタンをタッチすると，画面を閉じます。

(2) G10 → CSV 変換操作，G10 → TXT 変換操作

操作ログファイル (G10 ファイル) を，パソコンで表示・編集できる CSV ファイルまたは Unicode テキストファイルに変換します。

1. CSV ファイルまたは Unicode テキストファイルに変換する G10 ファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。

2. 変換先ファイルの種類により下記のボタンをタッチします。
   - CSV ファイル：
     [G10 → CSV] ボタン
   - Unicode テキストファイル：
     [G10 → TXT] ボタン

3. 出力先のフォルダを選択します。
   (ドライブ直下に出力する場合は，フォルダの選択は不要です。)

4. [実行] ボタンをタッチすると左記のダイアログボックスが表示されます。
   [OK] ボタンをタッチします。
   (処理実行中は画面に “ 処理中です ” のメッセージが表示されます。)

(例：[G10 → CSV] ボタンをタッチした場合のダイアログボックス)

(次のページへつづく)

このﾌｫﾙﾀﾞには既にﾌｧｲﾙ
OPELOG_20090730_0002.CSV
が存在しています。現在のﾌｧｲﾙ
更新日:09-07-30 16:20
を次のﾌｧｲﾙ
更新日:09-07-30 16:36
で上書きしますか?

O K　　Cancel

5. 出力先のフォルダに，同一名称のファイルが存在する場合は，変換を開始せずに左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると同一名称のファイルに上書き変換します。
[Cancel] ボタンをタッチすると変換を中止します。

完了しました

O K

6. 変換が完了すると，完了のメッセージをダイアログボックスに表示します。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

(3) 削除操作

操作ログで使用するフォルダやファイルを削除します。

1. 削除するフォルダをタッチまたは，削除するファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。

ファイル：
OPELOG_20090730_0002.G10
を削除します。
よろしいですか？

OK　　Cancel

2. [削除] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチするとフォルダ / ファイルを削除します。
(処理実行中は画面に “ 処理中です ” のメッセージが表示されます。)
[Cancel] ボタンをタッチすると削除操作を中止します。

削除完了しました。

OK

3. 削除が完了すると，完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

ﾌｫﾙﾀﾞ内にﾌｧｲﾙ/ﾌｫﾙﾀﾞがあるため削除できませんでした。
GOTで非表示のﾌｧｲﾙが存在する可能性があります。

OK

4. 削除できない場合は，左記のダイアログボックスを表示します。(フォルダ削除実行時のみ)
フォルダ内にファイルが存在しないか確認し，再度削除操作を実行してください。
(6.2.4 ■注意事項)

(4) コピー操作

操作ログファイルをコピーします。

1. コピーするファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。
2. [コピー] ボタンをタッチします。

3. コピー先のフォルダを選択します。
(ドライブ直下にコピーする場合は，フォルダの選択は不要です。)
このとき，コピー元のファイルと同一のフォルダへはコピーできません。
異なるフォルダを選択してください。

コピ°-対象ﾌｧｲﾙ
OPELOG_20090730_0002.G10
コピ°-してよろしいですか？

0 K　Cancel

4. [実行] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチします。
(処理実行中は画面に “ 処理中です ” のメッセージが表示されます。)

このﾌｫﾙﾀﾞには既にﾌｧｲﾙ
OPELOG_20090730_0002.G10
が存在しています。現在のﾌｧｲﾙ
更新日:09-07-30 16:53
を次のﾌｧｲﾙ
更新日:09-07-30 16:56
で上書きしますか?

0 K　Cancel

5. コピー先のフォルダに同一名称のファイルが存在する場合は，コピーを開始せずに左記の画面が表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると同一名称のファイルに上書きコピーします。
[Cancel] ボタンをタッチするとコピーを中止します。

(次のページへつづく)

6. コピーが完了すると完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

(5) 移動操作

操作ログファイルを移動します。

1. 移動するファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。
2. [移動] ボタンをタッチします。

3. 移動先のフォルダを選択します。
（ドライブ直下に移動する場合は，フォルダの選択は不要です。）

（次のページへつづく）

1 ユーティリティ機能
2 表示と操作の設定（本体機能設定）
3 通信インタフェースの設定（接続機器設定）
4 保全機能
5 自己診断
6 データ管理
7 CoreOS, BootOS, 基本機能 OS のインストール
付

移動対象ﾌｧｲﾙ:
OPELOG_20090730_0002.G10
移動してよろしいですか?

O K　　Cancel

4. [実行] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチします。
(処理実行中は画面に “ 処理中です ” のメッセージが表示されます。)

このﾌｫﾙﾀﾞには既にﾌｧｲﾙ
OPELOG_20090730_0002.G10
が存在しています。現在のﾌｧｲﾙ
更新日:09-07-30 16:56
を次のﾌｧｲﾙ
更新日:09-07-30 17:06
で上書きしますか?

O K　　Cancel

5. 移動先のフォルダに同一名称のファイルが存在する場合は，移動を開始せずに左記の画面が表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると同一名称のファイルに上書きします。
[Cancel] ボタンをタッチすると移動を中止します。

処理が完了しました。
成功 1
失敗 0

O K

6. 移動が完了すると完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

(6) **名称変更操作**

操作ログで使用するファイルの名称を変更します。

1. 名称変更するファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。

2. [名称変更] ボタンをタッチすると，左記の画面が表示されるので，変更するファイル名を入力します。
以下のボタンをタッチすると入力する文字の種類が変更できます。
[A-Z] ：英大文字
[0-9] ：数字 / 記号

3. [Enter] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

4. [OK] ボタンをタッチするとファイル名変更を開始します。
(処理実行中は画面に " 処理中です " のメッセージが表示されます。)

5. ファイル名変更が完了すると完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

(7) 新規フォルダ作成操作

操作ログフォルダを作成します。

1. [新規フォルダ] ボタンをタッチします。

2. 入力キーウィンドウが表示されるので，作成するフォルダ名を入力します。
以下のボタンをタッチすると入力する文字の種類が変更できます。
[A-Z] ：英大文字
[0-9] ：数字 / 記号

3. [Enter] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

4. [OK] ボタンをタッチするとフォルダの作成を開始します。

5. 作成が完了すると完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

(8) 一覧表示

操作ログファイル内の操作ログを一覧で表示します。

1. 一覧を表示するファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。

2. [一覧] ボタンをタッチすると一覧を表示します。
一覧では，下記の内容を確認できます。
表示項目：日付
　　　　　時刻
　　　　　画面 No.
　　　　　操作種別
　　　　　変更値
操作スイッチの操作については，下記を参照してください。
日付昇順 / 降順 ...... ☞ (a) 表示順切換え操作
イメージ .... ☞ (b) 画面イメージの表示操作
検索 .... ☞ (c) 検索操作

3. 各操作ログの詳細を表示するには，詳細を表示する各操作ログの行をタッチして選択し，行の色を反転 (白→黒) させます。

4. 選択した行を再度タッチすると，操作ログの詳細情報が表示されます。
[×] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

（a）表示順切換え操作

1. 一覧にて［日付昇順］/［日付降順］ボタンをタッチすると，操作ログの表示順を切換えできます。
ボタンをタッチするごとに，［日付昇順］と［日付降順］が切り換わります。
ボタンの表示は，現在の表示順を示します。
- ［日付昇順］: 収集した順番が古い順に並べる
- ［日付降順］: 収集した順番が新しい順に並べる

POINT

(1) 表示順切換え後の選択行の位置
行を選択した状態で表示順を切り換えても，行は選択状態のままです。
選択した行の位置によっては，表示順切換え後の画面上に表示されないことがあります。

(2) 時系列に並んでいない操作ログの表示順
操作ログの表示順を切り換えると，収集した日時ではなく，収集した順で並べられます。
表示する操作ログが，GOT の時計の時刻変更により時系列に並んでいない場合，操作ログの表示順を切り換えても，表示上は日時の順に並ばないことがあります。

（b）画面イメージの表示操作

1. 一覧にて［イメージ］ボタンをタッチすると，選択した行の操作ログに対応した画面イメージのウインドウの表示，非表示を切換えできます。
画面イメージのウインドウは，タイトルバーをタッチして移動できます。
一覧の表示を閉じるまで，画面イメージのウインドウは，表示されます。
［×］ボタンをタッチすると，画面イメージのウインドウが閉じます。

POINT

(1) 操作ログの行を選択していないとき，および，データの破損など異常な操作ログの行を選択したとき
画面イメージのウインドウは，灰色のウインドウとなります。

(2) 画面イメージの表示有無
オブジェクトの種類，操作内容により，表示が可能なものは，画面イメージのウインドウを表示します。

(3) 画面イメージの表示の注意事項
画面イメージは，オブジェクトデータを元に，オブジェクトや図形などのイメージを表示します。そのため，画面に数値表示，ランプ表示などがある場合，画面イメージは実際に操作したときの数値，ランプ状態などを表示しません。
操作ログを収集したときのプロジェクトデータと現在動作中のプロジェクトデータが異なっている場合は，画面イメージが正しく表示されない場合があります。

(c) 検索操作

1. 一覧にて [検索] ボタンをタッチすると下記の項目でログの検索ができます。
   項目：日付
   　　　時刻

2. 検索する日付や時刻を入力します。

3. [Enter] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。
   [OK] ボタンをタッチします。
   (処理実行中は画面に " 処理中です " のメッセージが表示されます)

4. 検索した結果を表示し，左記のダイアログボックスを表示します。
   検索を続ける場合は，[OK] ボタンをタッチします。
   検索をやめる場合は，[Cancel] ボタンをタッチしてください。

(次のページへつづく)

5. 検索が完了すると，完了のメッセージをダイアログボックスに表示します。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

(9) 最新表示

最新の操作ログファイルを選択して，操作ログを一覧で表示します。

1. [最新] ボタンをタッチすると操作ログファイル内の最新の操作ログが一覧で表示されます。

2. 一覧では，下記の内容を確認できます。
表示項目：日付
　　　　　時刻
　　　　　画面 No.
　　　　　操作種別
　　　　　変更値
操作スイッチの操作については，下記を参照してください。
日付昇順 / 降順 ......☞ (8) (a) 表示順切換え操作
イメージ ....☞ (8) (b) 画面イメージの表示操作
検索 ....☞ (8) (c) 検索操作

3. 各操作ログの詳細を表示する方法は下記を参照してください。
☞ (8) 一覧表示

■ 注意事項

(1) 作成 / 削除時の注意事項

(a) フォルダ / ファイル作成時のフォルダ名とファイル名の文字数について
GOT は，ファイルの場所を下記に示すパスで認識しています。
フォルダ名，ファイル名の文字数は，パス全体で 78 文字以下になるように設定してください。
ユーザで設定可能な部分は，フォルダ名とファイル名のみです。
(フォルダ名とファイル名以外は自動的に付加されます。)

例)CF カード /USB メモリに保存される CSV ファイルのパス

HINT

フォルダに階層を付けた場合
フォルダ名とフォルダ名，フォルダ名とファイル名の間には￥マークが入ります。￥マークも 1 文字となります。

(b) 設定できない文字列について
フォルダ名，ファイル名に，以下の文字列は使用できません。(大文字，小文字に関わらず使用できません。)
・COM1 ～ COM9　・LPT1 ～ LPT9　・AUX　・CON
・NUL　・PRN　・CLOCK$
また，下記に示すフォルダ名またはファイル名は使用できません。
・G1 で始まるフォルダ名
・.(ピリオド) で始まるフォルダ名およびファイル名
・.(ピリオド) で終わるフォルダ名およびファイル名
・.(ピリオド 1 つ) または ..(ピリオド 2 つ) のみのフォルダ名およびファイル名

(c) フォルダ削除時
フォルダ内にファイルがあるとフォルダを削除できません。
ファイルを削除したあとに，フォルダを削除してください。
なお，操作ログ情報画面では，操作ログファイル以外は GOT に表示されません。
画面上でファイルが表示されていないのにフォルダの削除ができない場合は，CF カード /USB メモリ内に他のファイルが存在しないか，パソコンなどで確認してください。

(2) 操作時の注意事項

(a) フォルダ / ファイル操作中 (作成 / 削除 / コピー / ファイル出力など) の注意事項
GOT がフォルダやファイルを処理中に，CF カードアクセススイッチを OFF しても，処理は実行されます。(例：GOT がフォルダを作成中に CF カードアクセススイッチを OFF しても，フォルダは作成されます。)
そのため，CF カードアクセススイッチを OFF にしても，画面に “ 処理に時間のかかる場合があります。しばらくお待ちください。” のメッセージが表示されている間は，CF カードを抜かないでください。

6.2.5　ハードコピー情報

■ ハードコピー情報の機能

ハードコピー機能で作成されたファイルに対し，削除，コピー，移動を行います。
ハードコピー機能の詳細については，下記のマニュアルを参照してください。

☞ ・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル（作画編）38. ハードコピー機能
・GT Designer2 Version □画面設計マニュアル 13.2 ハードコピー

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

機能	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応	参照先
ファイル，フォルダの情報表示	ファイルやフォルダの種類と名称，データサイズ，作成日時を表示します。	○	○	■ハードコピー情報の表示例 ■ハードコピー情報の操作
削除	ファイルを削除します。	○	○	(2) 削除操作
コピー	ファイルをコピーします。	○	○	(3) コピー操作
名称変更	ファイルの名称を変更します。	○	○	(4) 名称変更操作

■ ハードコピー情報の表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）
「データ管理」をタッチ

データ管理
「各種データ管理」をタッチ

各種データ管理
「ハードコピー情報」をタッチ

ハードコピー情報
ハードコピーファイルを操作します。

■ ハードコピー情報の表示例

番号	項目	内容
(1)	ドライブ選択	ファイルやフォルダの表示を行う対象ドライブを選択できます。 CF カード /USB メモリが装着されていない場合，下記ドライブは表示されません。 ・CF カード : [A: 標準 CF カード]，[B: 拡張メモリカード] ・USB メモリ : [E: USB ドライブ]
(2)	チェックボックス	チェックを入れると最大 512 件まで複数選択できます。
(3)	種別	表示されている名称がファイルなのかフォルダなのかを表示します。 ファイルの場合は拡張子，フォルダの場合は DIR と表示します。
(4)	名称	ファイル名やフォルダ名を表示します。 長いファイル名 / フォルダ名は，すべて表示できない場合があります。 表示されない部分の名称は，[コピー] ボタンなどで確認してください。 (☞ (3) コピー操作) 確認後，[Cancel] ボタンをタッチして処理をキャンセルしてください。
(5)	パス名	現在表示されているドライブ / フォルダのパス名を表示します。
(6)	サイズ	名称に表示されたファイルのサイズを表示します。
(7)	作成日，時間	各ファイルの作成日時を表示します。
(8)	ドライブのサイズ	ドライブ選択で選択したドライブの , 使用中のサイズ / ドライブ全体のサイズを表示します。
(9)	ファイル全選択 / 選択解除	複数のファイルをまとめて選択 / 解除ができます。 [ファイル全選択] ボタンをタッチすると，ファイルが全件選択されます。 ただし，ファイル数が 513 件以上表示される場合は，上から 512 件のファイルが選択されます。
(10)	操作スイッチ	各機能の実行スイッチが表示されます。
(11)	フォルダ / ファイル数	表示しているフォルダとファイルの合計を表示します。

POINT

作成日，時間欄の表示について

ハードコピー情報表示中にファイルが作成または更新されても，作成日，時間の表示は更新されません。正しく再表示させるためには，現在表示している画面を一旦閉じ (上の階層のフォルダへ移動するなど)，再度該当の画面を表示することで更新した内容が表示されます。

HINT

表示されるフォルダとファイル

表示されるフォルダとファイルについては，下記を参照してください。

☞ 6.1.4 表示ファイル

■ ハードコピー情報の操作

(1) ハードコピー情報の表示操作

1. [ドライブ選択] のドライブをタッチすると，タッチしたドライブ内の情報が表示されます。
2. フォルダの名称をタッチすると，タッチしたフォルダ内の情報が表示されます。
3. 名称が [. .] のフォルダをタッチすると，1 階層上のフォルダ内の情報が表示されます。
4. スクロールバーの ▲ ▼ ボタンをタッチすると，1 行ずつ上下にスクロールします。
   ⏶ ⏷ ボタンをタッチすると 1 画面分上下にスクロールします。
5. チェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。
6. 削除，コピー，名称変更の操作については，下記を参照してください。
   削除 .... ☞ (2) 削除操作
   コピー .... ☞ (3) コピー操作
   名称変更 .... ☞ (4) 名称変更操作
7. [×] ボタンをタッチすると，画面を閉じます。

(2) **削除操作**

選択したファイルを削除します。

1. 削除するファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。

ﾌｧｲﾙ：
SNAP0001.BMP
を削除します。
よろしいですか？

ＯＫ　Cancel

2. [削除] ボタンをタッチすると，左記の画面が表示されます。
[OK] ボタンをタッチするとファイルを削除します。
[Cancel] ボタンをタッチすると削除を中止します。

削除完了しました。

ＯＫ

3. 削除が完了すると，完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

1 ユーティリティ機能
2 表示と操作の設定（本体機能設定）
3 通信インタフェースの設定（接続機器設定）
4 保全機能
5 自己診断
6 データ管理
7 CoreOS，BootOS，基本機能 OS のインストール
付

(3) コピー操作

選択したファイルをコピーします。

1. コピーするファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。

2. [コピー] ボタンをタッチすると，画面左下に [コピー先ディレクトリを選択してください。] と表示されます。

3. コピー先のフォルダをタッチすると，画面表示がコピー先のフォルダに変更されます。
このとき，コピー元のファイルと同一のフォルダへはコピーできません。
異なるフォルダを選択してください。

コピ°-対象ﾌｧｲﾙ
SNAP0001.BMP
コピ°-してよろしいですか？

O K　Cancel

4. [実行] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

このﾌｫﾙﾀﾞには既にﾌｧｲﾙ
SNAP0001.BMP
が存在しています。現在のﾌｧｲﾙ
更新日:09-07-18 10:02
を次のﾌｧｲﾙ
更新日:09-07-30 18:12
で上書きしますか?

O K　Cancel

5. [OK] ボタンをタッチします。
コピー先のフォルダに同一名称のファイルが存在する場合は，コピーを開始せずに左記の画面が表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると同一名称のファイルに上書きコピーします。
[Cancel] ボタンをタッチするとコピーを中止します。

処理が完了しました。
成功 1
失敗 0

O K

6. コピーが完了すると完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

(4) 名称変更操作

選択したファイルの名称を変更します。

1. 名称変更するファイルのチェックボックスをタッチするとファイルが選択されます。

2. [名称変更] ボタンをタッチすると，左記の画面が表示されるので，変更するファイル名を入力します。
以下のボタンをタッチすると入力する文字の種類が変更できます。
[A-Z] ：英大文字
[0-9] ：数字 / 記号

3. [Enter] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

4. [OK] ボタンをタッチするとファイル名変更を開始します。

ﾌｧｲﾙ名を変更します。
変更前:
SNAP0001.BMP
変更後:
IMG0001.BMP
よろしいですか？
OK Cancel

5. ファイル名変更が完了すると完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

完了しました。
OK

6.2.6　特殊データ情報

■ 特殊データ情報の機能

インテリジェントユニットモニタ機能などで使用する特殊データに対し，コピー / 削除 / ダウンロード / アップロードができます。
特殊データの詳細については，下記のマニュアルを参照してください．

☞ · GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
8.5 GOT に転送するデータの種類と容量
· GT Designer2 Version □ 基本操作・データ転送マニュアル
8.1 GOT に転送するデータの種類と容量

(○：対応，△：一部非対応，×：非対応)

機能	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応	参照先
ファイル，フォルダの情報表示	ファイルやフォルダの名称，データサイズ，作成日時を表示します。	○	○	■ 特殊データ情報の操作
削除	ファイルやフォルダを削除します。	○	○	(2) 削除操作
プロパティ	特殊データのプロパティを表示します。	○	○	(3) プロパティ表示操作
データチェック	ファイルのデータチェックが行えます。	○	○	(4) データチェック操作
ダウンロード	A ドライブ (標準 CF カード)/B ドライブ (拡張メモリカード)/E ドライブ (USB ドライブ) に書込まれている特殊データを C ドライブ (内蔵フラッシュメモリ) にダウンロードします。	○	○	(5) ダウンロード操作

POINT

特殊データ操作時の注意事項

OS の Boot 元を [A：標準 CF カード] に設定している場合，特殊データの削除，ダウンロード，を行うことができません。

■ 特殊データ情報の表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）

「データ管理」
をタッチ

データ管理

「各種データ管理」
をタッチ

各種データ管理

「特殊データ情報」
をタッチ

特殊データ情報

特殊データのファイルを
操作します。

■ 特殊データ情報の表示例

番号	項目	内容
(1)	ドライブ選択	表示を行う対象ドライブを選択できます。 CF カード /USB メモリが装着されていない場合，下記ドライブは表示されません。 ・CF カード　：[A: 標準 CF カード]，[B: 拡張メモリカード] ・USB メモリ ：[E: USB ドライブ]
(2)	種別	表示されている名称がファイルなのかフォルダなのかを表示します。 ファイルの場合は拡張子，フォルダの場合は [DIR] と表示します。
(3)	名称	選択したドライブ内にある，特殊データの名称を表示します。 名称が 18 文字を超える場合，19 文字目からは表示されません。 GOT でモニタ中の特殊データの前には，“*%” が表示されます。
(4)	パス名	現在表示されているドライブ / フォルダのパス名を表示します。
(5)	サイズ	名称に表示されたファイルのサイズを表示します。
(6)	作成日，時間	各ファイルをインストールした日時を表示します。
(7)	ドライブのサイズ	ドライブ選択で選択したドライブの , 使用中のサイズ / ドライブ全体のサイズを表示します。(ただし，C ドライブ選択時は，使用中のサイズのみ表示します)
(8)	操作スイッチ	特殊データ情報で行える各機能 (ダウンロード，アップロードなど) の実行スイッチを表示します。
(9)	フォルダ / ファイル数	表示しているフォルダとファイルの合計を表示します。

HINT

表示されるフォルダとファイル

表示されるフォルダとファイルについては，下記を参照してください。

☞ 6.1.4 表示ファイル

■ 特殊データ情報の操作

(1) 特殊データ情報の表示操作

1. ［ドライブ選択］のドライブをタッチすると，ドライブ内の特殊データが表示されます。
2. 削除，プロパティ，データチェック，ダウンロードの操作については，下記を参照してください。
   削除 .... ☞ (2) 削除操作
   プロパティ .... ☞ (3) プロパティ表示操作
   データチェック ... ☞ (4) データチェック操作
   ダウンロード .... ☞ (5) ダウンロード操作
3. ［×］ボタンをタッチすると，画面を閉じます。

(2) 削除操作

選択したファイルを削除します。

1. 削除するファイルをタッチして選択します。

削除対象特殊ﾃﾞｰﾀ:
G1SPC
削除しますか?
OK　Cancel

2. ［削除］ボタンをタッチすると，左記の画面が表示されます。
   削除対象ファイルが間違っていないことを確認してください。
   [OK] ボタンをタッチするとファイルを削除します。
   [Cancel] ボタンをタッチすると削除を中止します。

削除が完了しました。
OK

3. 削除が完了すると，左記ダイアログボックスが表示されます。
   [OK] ボタンをタッチするとダイアログボックスを閉じます。

(3) プロパティ表示操作

選択した特殊データのプロパティを表示します。

ﾃﾞｰﾀ管理:各種ﾃﾞｰﾀ管理:特殊ﾃﾞｰﾀ情報:ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ表示
作成:08-07-05　作成者:
作画ｿﾌﾄﾊﾞｰｼﾞｮﾝ:GT Designer2 Version2 84N
B-1 A62DA-S1 動作ﾓﾆﾀ
B-2 A62DA-S1 ｸﾞﾗﾌﾓﾆﾀ
B-3 A68AD 動作ﾓﾆﾀ
B-4 A68AD 入出力ﾓﾆﾀ
B-5 A68AD ｸﾞﾗﾌﾓﾆﾀ
B-6 A68ADN 動作ﾓﾆﾀ
B-7 A68ADN 入出力ﾓﾆﾀ
B-8 A68ADN ｸﾞﾗﾌﾓﾆﾀ
B-9 A68RD 動作ﾓﾆﾀ
B-10 A68RD 入出力ﾓﾆﾀ
B-11 A68RD ｸﾞﾗﾌﾓﾆﾀ
B-12 A84AD 動作ﾓﾆﾀ
B-13 A84AD 設定ﾓﾆﾀ
B-14 A84AD 入出力ﾓﾆﾀ
B-15 A84AD ｸﾞﾗﾌﾓﾆﾀ
B-16 A616AD 動作ﾓﾆﾀ
B-17 A616AD 動作ﾓﾆﾀ CONNECT No.0
B-18 A616AD 動作ﾓﾆﾀ CONNECT No.1
B-19 A616AD 動作ﾓﾆﾀ CONNECT No.2
B-20 A616AD 動作ﾓﾆﾀ CONNECT No.3
B-21 A616AD 動作ﾓﾆﾀ CONNECT No.4
B-22 A616AD 動作ﾓﾆﾀ CONNECT No.5
B-23 A616AD 動作ﾓﾆﾀ CONNECT No.6
B-24 A616AD 動作ﾓﾆﾀ CONNECT No.7
B-25 A616AD 入出力ﾓﾆﾀ
B-26 A616AD ｸﾞﾗﾌﾓﾆﾀ
B-27 A616AD ｸﾞﾗﾌﾓﾆﾀ CONNECT No.0
B-28 A616AD ｸﾞﾗﾌﾓﾆﾀ CONNECT No.1
B-29 A616AD ｸﾞﾗﾌﾓﾆﾀ CONNECT No.2
B-30 A616AD ｸﾞﾗﾌﾓﾆﾀ CONNECT No.3
B-31 A616AD ｸﾞﾗﾌﾓﾆﾀ CONNECT No.4
B-32 A616AD ｸﾞﾗﾌﾓﾆﾀ CONNECT No.5
B-33 A616AD ｸﾞﾗﾌﾓﾆﾀ CONNECT No.6
B-34 A616AD ｸﾞﾗﾌﾓﾆﾀ CONNECT No.7

1. 特殊データを選択状態にして，［プロパティ］ボタンをタッチすると，左記のプロパティが表示されます。
   プロパティ表示では，下記の情報を表示します。

項目	内容
作成	プロジェクトデータの作成日を表示します。
作成者	プロジェクトデータの作成者を表示します。
作画ソフトバージョン	プロジェクトデータを作成した作画ソフト名称とバージョンを表示します。

2. ▲▼ボタンをタッチすると，1 行ずつ上下にスクロールします。
3. ⏶⏷ボタンをタッチすると 1 画面分上下にスクロールします。
4. ［×］ボタンをタッチするとプロパティ表示を閉じ，前の画面に戻ります。

(4) データチェック操作

選択した特殊データのデータチェックを行います。

データ正常時のダイアログ

データは正常です

ＯＫ

データ異常時のダイアログ

データは異常です

ＯＫ

1. データチェック対象ファイルを選択状態にした後，［データチェック］ボタンをタッチしてください。
   データチェックを実行した後，左記のダイアログボックスでデータチェック結果が表示されます。
2. ［OK］ボタンをタッチするとダイアログボックスを閉じます。

(5) **ダウンロード操作**

A ドライブ (標準 CF カード)/B ドライブ (拡張メモリカード)/E ドライブ (USB ドライブ) に格納されている特殊データを，C ドライブ (内蔵フラッシュメモリ) に転送します。
GOT は C ドライブのデータでモニタをします。
(本説明では，A ドライブを使用した例で説明します。)

POINT

CF カードに格納する特殊データについて

特殊データを GT Designer3，GT Designer2 から CF カードに格納する時，[Boot 元] の [プロジェクトデータ] は [C：内蔵フラッシュメモリ] を選択してください。

1. CF カード /USB メモリを GOT に装着します。CF カード /USB メモリの装着方法は，下記を参照してください。
☞ (ハードウェア詳細編)
8.3.2 ■CF カード
(ハードウェア詳細編)
8.5.2 ■USB 周辺機器

2. ドライブ選択で [A: 標準 CF カード] をタッチします。

3. [ダウンロード] ボタンをタッチすると，左記の画面が表示されます。[実行] ボタンをタッチするとダウンロードを実行します。

(次のページへつづく)

既に特殊ﾃﾞｰﾀがﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞされています。
現状　/対象
作画S/Wﾊﾞｰｼﾞｮﾝ:215R　/215R
作成日　:　/
作成時刻　:　/
作成者　:　/

ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞを続行しますか?

O K　Cancel

4. C ドライブに同一名称のプロジェクトデータが存在する場合は，ダウンロードを開始せずに左記の画面が表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，同一名称のプロジェクトデータに上書きダウンロードします。
[Cancel] ボタンをタッチするとダウンロードを中止します。

ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞが完了しました。
再起動します。

O K

5. ダウンロードが完了すると左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，GOT が再起動します。

6.2.7 オペレータ情報管理

■ オペレータ管理

(1) オペレータ管理の機能

オペレータ認証機能で使用するオペレータ情報を一覧表示し，オペレータの追加 / 編集 / 削除などができます。
オペレータ認証時のパスワード有効期限切れにともなう，パスワードの変更ができます。
オペレータ認証時の機能 (自動ログアウト時間，認証方法，パスワード有効期限など) を設定できます。
オペレータ認証機能の詳細については，下記のマニュアルを参照してください。

☞ · GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
4.7 セキュリティを設定する (GOT 環境設定 : セキュリティ)
· GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル 3.5 セキュリティを設定する

(○ : 対応，△ : 一部非対応，× : 非対応)

機能	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応	参照先
オペレータ管理	オペレータ情報の追加 / 編集 / 削除 / インポート / エクスポートができます。	○	○	(2) オペレータ管理の表示操作，(4) オペレータ管理の操作
追加	GOT にオペレータ情報を追加します。	○	○	(a) 追加操作
編集	GOT に保存されているオペレータ情報を編集します。	○	○	(b) 編集操作
削除	GOT に保存されているオペレータ情報を削除します。	○	○	(c) 削除操作
元に戻す	オペレータ情報の状態を前回保存した状態に戻します。	○	○	(d) 元に戻す操作
インポート	あらかじめ CF カードまたは USB メモリにエクスポートされているオペレータ情報を GOT にインポートします。	○	○	(e) インポート操作
エクスポート	GOT に保存されているオペレータ情報を CF カードまたは USB メモリにエクスポートします。	○	○	(f) エクスポート操作
パスワード変更	ログイン / ログアウト時に使用するパスワードの変更ができます。	○	○	■ パスワード変更
機能設定	自動ログアウト時間，パスワード有効期限を設定できます。	○	○	■ 機能設定

(2)　オペレータ管理の表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）

データ管理

各種データ管理

「データ管理」をタッチ

「各種データ管理」をタッチ

「オペレータ情報」をタッチ

オペレータ情報

オペレータ名	ID	レベル	更新日
Administrator	–	–	–
OP0001	1001	10	2009/08/25
OP0002	1002	11	2009/08/25
OP0003	1003	12	2009/08/25

(3)　オペレータ管理の表示例

（a）オペレータ管理画面

(b)
(c)
(d)
オペレータ管理
オペレータ名
ID
レベル
更新日
(a)
Administrator
OP0001
OP0002
OP0003
-
1001
1002
1003
-
10
11
12
-
2009/08/25
2009/08/25
2009/08/25
追加
編集
削除
元に戻す
(e)
(f)
使用ドライブ
A
ｲﾝﾎﾟｰﾄ
ｴｸｽﾎﾟｰﾄ
保存

番号	項目	内容
(a)	オペレータ名	オペレータ名を表示します。
(b)	ID	オペレータ ID を表示します。
(c)	レベル	オペレータのセキュリティレベルを表示します。
(d)	更新日	オペレータ情報の最終更新日を表示します。
(e)	操作キー	各機能の実行キーです。
(f)	使用ドライブ	オペレータ情報のインポート / エクスポート先を表示 / 設定します。 タッチすると表示が切り換わります。（A：標準 CF カード /B：拡張メモリカード /E：USB ドライブ ） B ドライブまたは E ドライブが準備されている場合のみ切り換えできます。

(b) オペレータ編集画面

オペレータ管理画面で，［追加］ボタンをタッチするか，オペレータ情報を選択後，［編集］ボタンをタッチすると本画面が表示されます。
オペレータ情報の編集ができます。

番号	項目	内容
(a)	オペレータ名	オペレータ名を表示 / 入力します。(英数字 16 文字まで)
(b)	オペレータ ID	オペレータ ID を表示 / 入力します。 (設定範囲 :1 ～ 32766，最大登録数 :255)
(c)	レベル	オペレータのセキュリティレベルを表示 / 入力します。(0 ～ 15)
(d)	パスワード	パスワードを入力します。(英数字 16 文字まで)
(e)	パスワードを無期限にする	パスワード有効期限のあり / なしを切り替えます。 (☐ : パスワードの有効期限あり ☑ : パスワードの有効期限なし)
(f)	外部認証を使用する	外部認証を使用する / しないを切り替えます。 (☐ : 外部認証を使用しない ☑ : 外部認証を使用する)
(g)	外部認証用 ID	外部認証用 ID を表示 / 入力します。 (指紋認証設定範囲 : 数字 1 ～ 7 桁，外部認証設定範囲 : 英数字 *1 4 ～ 32 桁) ■ 機能設定

*1　16 進数用キーウィンドウのため，設定範囲は，A-F または 0-9 の範囲で入力できます。

(4) オペレータ管理の操作

1. オペレータ設定メニューで [オペレータ管理] をタッチします。

2. 管理者パスワード認証画面が表示されますので，管理者パスワードを入力してください。
以下のボタンをタッチすると入力する文字の種類を変更できます。
[A-Z]：英大文字
[a-z]：英小文字
[0-9]：数字
入力が完了したら，[Enter] キーをタッチします。

3. 管理者パスワードが正しく入力されると，オペレータ管理画面が表示されます。
操作スイッチの操作については，下記を参照してください。
追加 .... (a) 追加操作
編集 .... (b) 編集操作
削除 .... (c) 削除操作
元に戻す .... (d) 元に戻す操作
インポート .... (e) インポート操作
エクスポート .... (f) エクスポート操作

4. すべての設定が完了した後，[保存] ボタンをタッチすると設定内容が保存されます。

5. [保存] ボタンをタッチせずに [×] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

(a) 追加操作

GOT にオペレータ情報を追加します。

1. [追加] ボタンをタッチします。

2. オペレータ編集画面が表示されますので，編集する項目をタッチします。
(a) オペレータ名
(b) オペレータ ID
(c) レベル
(d) パスワード
(e) パスワードを無期限にする
(f) 外部認証を使用する
(g) 外部認証用 ID

(a) オペレータ名をタッチすると，オペレータ名入力ダイアログボックスが表示されますので，オペレータ名を入力します。
以下のボタンをタッチすると入力する文字の種類を変更できます。
[A-Z]：英大文字
[a-z]：英小文字
[0-9]：数字
入力が完了したら，[Enter] キーをタッチします。

(b) オペレータ ID をタッチすると，オペレータ ID 入力ダイアログボックスが表示されますので，オペレータ ID を入力します。
入力が完了したら，[Enter] キーをタッチします。

(次のページへつづく)

(c) レベルをタッチすると，オペレータレベル入力ダイアログボックスが表示されますので，オペレータレベルを入力します。
入力が完了したら，[Enter] キーをタッチします。
ログイン中のオペレータがレベルを変更した場合，いったんログアウトして再度ログインするまで，新しいレベルは適用されません。

(d) パスワードを変更する場合は，パスワードをタッチします。
新パスワード入力ダイアログボックスが表示されますので，パスワードを入力します。
入力が完了したら，[Enter] キーをタッチします。
パスワードの入力が完了すると，新パスワード入力確認ダイアログボックスが表示されますので，再度同じパスワードを入力します。

(e) パスワードの有効期限をなくす場合は，パスワードを無期限にするチェックボックスをタッチして，設定を切換えます。

☐ : パスワード有効期限あり

☑ : パスワード有効期限なし

(f) 外部認証を使用する場合は，外部認証を使用するのチェックボックスをタッチして，設定を切替えます。

☐ : 外部認証を使用しない

☑ : 外部認証を使用する

(g) 外部認証用 ID をタッチすると，外部認証用 ID 入力ダイアログボックスが表示されますので，外部認証用 ID を入力します。
入力が完了したら，[Enter] キーをタッチします。
認証方式を [指紋認証]，[外部認証 (汎用)] に設定している場合，外部認証機器で外部認証用 ID を入力することもできます。

(次のページへつづく)

オペレータ情報の更新が完了しました。

ＯＫ

3. すべての項目を入力し，［OK］ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示され，入力したオペレータ情報が追加されます。

"確定"を押下せずに画面を閉じると
変更内容は破棄されます。
よろしいですか？

ＯＫ　Cancel

4. ［Cancel］ボタンをタッチまたは［×］ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

(b) 編集操作

GOT に保存されているオペレータ情報を編集します。

オペレータ管理

オペレータ名	ID	レベル	更新日
Administrator	–	–	–
OP0001	1001	10	2009/08/25
OP0002	1002	11	2009/08/25
OP0003	1003	12	2009/08/25
OP0005	1	1	2009/08/25

追加　編集　削除

使用ドライブ　A

1. 編集するオペレータ情報をタッチして選択します。
2. ［編集］ボタンをタッチします。

オペレータ編集

オペレータ名　OP0005
オペレータID　1
レベル　1
パスワード
☑ パスワードを無期限にする
☑ 外部認証を使用する
外部認証用ID　12345670000000

OK　Cancel

3. オペレータ編集画面が表示されますので，編集する項目をタッチします。
(a) レベル
(b) パスワード
(c) パスワードを無期限にする
(d) 外部認証を使用する
(e) 外部認証用 ID
編集方法については，下記を参照してください。
☞ (a) 追加操作

（次のページへつづく）

オペレータ情報の更新が完了しました。

O K

4. すべての項目を入力し，[OK] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示され，入力したオペレータ情報が変更されます。

"確定"を押下せずに画面を閉じると
変更内容は破棄されます。
よろしいですか？

O K　Cancel

5. [Cancel] ボタンをタッチまたは [×] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

(c) 削除操作

GOT に保存されているオペレータ情報を削除します。

1. 削除するオペレータ情報をタッチして，選択します。

削除対象：
OP0005
削除しますか？

O K　Cancel

2. [削除] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，選択したオペレータ情報を削除します。
[Cancel] ボタンをタッチすると削除操作を中止します。

（次のページへつづく）

3. 削除が完了すると，完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチするとダイアログボックスを閉じます。

(d) 元に戻す操作

オペレータ情報の状態を前回保存した状態に戻します。

1. [元に戻す] ボタンをタッチします。

2. 左記のダイアログボックスが表示されますので，[OK] ボタンをタッチします。

3. 管理者パスワード認証画面が表示されますので，管理者パスワードを入力してください。
以下のボタンをタッチすると入力する文字の種類を変更できます。
[A-Z]：英大文字
[a-z]：英小文字
[0-9]：数字
入力が完了したら，[Enter] キーをタッチします。

（次のページへつづく）

4. 管理者パスワードが正しく入力されると，オペレータ情報が前回保存した状態に戻ります。

(e) インポート操作

あらかじめ CF カードにエクスポートされているオペレータ情報を GOT にインポートします。

1. ［インポート］ボタンをタッチします。

インポート処理により元のファイルが
上書きされます。
よろしいですか？
OK　Cancel

2. 左記のダイアログボックスが表示されます。
［OK］ボタンをタッチすると，管理者パスワード認証画面が表示されますので，管理者パスワードを入力してください。
以下のボタンをタッチすると入力する文字の種類を変更できます。

［A-Z］：英大文字

［a-z］：英小文字

［0-9］：数字

入力が完了したら，［Enter］キーをタッチします。

インポート処理が完了しました。
OK

3. 管理者パスワードが正しく入力されると，左記のダイアログボックスが表示され，CF カードに保存されているオペレータ情報が GOT にインポートされます。

(f) エクスポート操作

GOT に保存されているオペレータ情報を CF カードにエクスポートします。

1. ［エクスポート］ボタンをタッチします。

エクスポートするオペレータ情報
ファイルの出力形式を選択して下さい。

バイナリ　CSV　Cancel

2. 左記のダイアログボックスが表示されます。
ファイルの出力形式により，下記のボタンをタッチしてください。
- バイナリファイル：［バイナリ］ボタン
- CSV ファイル　：［CSV］ボタン

エクスポート処理により元のファイルが
上書きされます。
よろしいですか？
（未保存の変更内容は保存されます）

O K　Cancel

3. 左記のダイアログボックスが表示されます。
［OK］をタッチすると，管理者パスワード認証画面が表示されますので，管理者パスワードを入力してください。
以下のボタンをタッチすると入力する文字の種類を変更できます。

［A-Z］：英大文字

［a-z］：英小文字

［0-9］：数字

入力が完了したら，［Enter］キーをタッチします。

エクスポート処理が完了しました。

O K

4. 管理者パスワードが正しく入力されると，左記のダイアログボックスが表示され，GOT に保存されているオペレータ情報が CF カードにエクスポートされます。
（ファイル名：AUTHINF.G1U）

■ パスワード変更

(1) パスワード変更の機能

オペレータ認証で使用するパスワードを変更できます。
パスワード変更の際は，あらかじめパスワードを変更するオペレータ ID で，GOT にログインしておく必要があります。

(2) パスワード変更の表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）
「データ管理」をタッチ

データ管理
「各種データ管理」をタッチ

各種データ管理
「オペレータ情報」をタッチ

「パスワード変更」をタッチ

パスワード変更

(3) パスワード変更の操作

1. メインメニューにて，パスワード変更するオペレータ ID で GOT にログインしてください。

2. オペレータ設定メニューで［パスワード変更］をタッチすると，オペレータ認証：パスワード変更ダイアログボックスが表示されます。

3. オペレータ認証：パスワード変更ダイアログボックスで，現在のパスワードを入力してください。
   以下のボタンをタッチすると入力する文字の種類を変更できます。
   [A-Z]：英大文字
   [a-z]：英小文字
   [0-9]：数字
   入力が完了したら，[Enter] キーをタッチします。

4. 新しいパスワードを入力してください。

5. 入力後，再度，新しいパスワードを入力してください。

6. 新しいパスワードが正しく入力されると，左記のダイアログボックスが表示され，パスワードが変更されます。

■ 機能設定

(1) 機能設定の機能

オペレータ情報の機能設定ができます。
設定できる項目を下記に示します。

（○：対応，△：一部非対応，×：非対応）

項目	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応	参照先
自動ログアウト時間	最後に GOT を操作してから，自動ログアウトするまでの時間を設定できます。(1 ～ 60 分，0 は無効)	○	○	(a) 自動ログアウト時間
認証方法	認証方法の切替えができます。([オペレータ名＋パスワード]，[外部認証 (汎用)]，[指紋認証]) [外部認証 (汎用)] または [指紋認証] を選択した場合は，認証方法の下に [オペレータ名＋パスワード認証も有効にする] のチェックボックスが表示されます。	○	○	(b) 認証方法
パスワード有効期限	オペレータ認証で使用するパスワードを，定期的に変更する場合に設定します。(1 ～ 1000 日，0 は無効) パスワード設定後，有効期限の日数が過ぎると，オペレータにパスワードの変更を要求します。	○	○	(c) パスワード有効期限
外部認証用 ID 先頭位置	外部認証機器から読み出したデータの中から，外部認証用 ID の先頭位置 (バイト数) を設定できます。(0 ～ 1998 バイト)	○	○	(d) 外部認証用 ID 先頭位置
外部認証用 ID 有効バイト数	外部認証 ID の有効バイト数を設定できます。(2 ～ 16 バイト)	○	○	(e) 外部認証 ID 有効バイト数

(2) 機能設定の表示操作

(3)　機能設定の操作

1. オペレータ設定メニューで［機能設定］をタッチすると，管理者パスワード認証ダイアログボックスが表示されます。

2. 管理者パスワードを入力してください。
以下のボタンをタッチすると入力する文字の種類を変更できます。
［A-Z］：英大文字
［a-z］：英小文字
［0-9］：数字
入力が完了したら，［Enter］キーをタッチします。

3. 管理者パスワードが正しく入力されると，機能設定画面が表示されます。
設定する項目をタッチします。
(a) 自動ログアウト時間
(b) 認証方法
(c) パスワード有効期限
(d) 外部認証用 ID 先頭位置
(e) 外部認証用 ID 有効バイト数

(a)　自動ログアウト時間の設定をタッチすると，自動ログアウト時間入力ダイアログボックスが表示されるので，設定時間を入力してください。
入力が完了したら，［Enter］キーをタッチします。

(b)　認証方法
認証方法の切替を行います。
項目をタッチすると，［オペレータ名+パスワード］→［外部認証（汎用）］→［指紋認証］→［オペレータ名+パスワード］とタッチするごとに切替わります。［外部認証（汎用）］または［指紋認証］を選択した場合は，［認証方法］の下に［オペレータ名＋パスワード認証も有効にする］のチェックボックスが表示されます。
チェックを入れると，［外部認証（汎用）］または［指紋認証］でログインする場合に，［オペレータ名＋パスワード］でログインすることも可能です。

（次のページへつづく）

パスワード有効期限入力
パスワード有効期限を入力して下さい。
パスワード有効期限 30
◀ ▶ AC DEL
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
Enter

(c) パスワード有効期限の設定をタッチすると，パスワード有効期限入力ダイアログボックスが表示されるので，設定時間を入力してください。
入力が完了したら，[Enter] キーをタッチします。

(d) 外部認証用 ID 先頭位置
外部認証機器から読み出したデータの中から，外部認証用 ID の先頭位置 (バイト数) を設定できます。

(e) 外部認証用 ID 有効バイト数
外部認証 ID の有効バイト数が設定できます。
(認証方法が [外部認証 (汎用)] の場合のみ有効です。)

機能設定の更新が完了しました。
O K

4. すべての項目を入力し，[OK] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示され , 入力した設定項目が保存されます。

"確定"を押下せずに画面を閉じると
変更内容は破棄されます。
よろしいですか？
O K　Cancel

5. [OK] ボタンをタッチせずに [×] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

6.2.8　指紋認証情報

指紋認証ユニットを使用して，オペレータ管理をする場合は，指紋認証ユニットへ指紋認証情報を登録する必要があります。
本項ではユーティリティ機能の指紋認証情報で，指紋登録 ID の登録方法を示します。
作画に関する設定については，下記マニュアルを参照してください。

・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
　4.7 セキュリティを設定する (GOT 環境設定 : セキュリティ)
・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル 3.5 セキュリティを設定する

■ 管理者パスワード指定

(1)　管理者パスワード指定の機能

指紋登録 ID の登録 / 削除を行う場合，管理者のパスワードを設定する必要があります。

(2)　管理者パスワード指定の表示操作

管理者パスワードが設定されていない状態では，管理者パスワード指定の選択を行う前に，パスワード入力画面が表示され，パスワードの設定を行う必要があります。

メインメニュー
(1.3 ユーティリティの表示)
「データ管理」
をタッチ

データ管理
「各種データ管理」
をタッチ

各種データ管理
「指紋認証情報」
をタッチ

指紋認証情報管理
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ入力
新しいﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを入力して下さい。
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
A-Z　a-z　0-9　AC　DEL
1　2　3　4　5　6　7　8　9　0
Enter

指紋認証情報管理
管理者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ指定
登録内容一覧
「管理者パスワード指定」
をタッチ

(3) 管理者パスワード指定の操作

指紋登録 ID の管理者パスワードを設定します。

1. 指紋認証情報管理で［管理者パスワード指定］をタッチします。

2. 左記のダイアログボックスが表示されます。
あらかじめ登録してある管理者パスワードを入力し，［Enter］キーをタッチします。
（英数字 16 文字まで）
また，［×］キーをタッチすると，［指紋認証情報管理］に戻ります。

3. ［Enter］キーをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。
新しい管理者パスワードを入力し，［Enter］キーをタッチします。
（英数字 16 文字まで）
また，［×］キーをタッチすると，［指紋認証情報管理］に戻ります。

4. ［Enter］キーをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。
新しい管理者パスワードを再度入力し，［Enter］キーをタッチします。
（英数字 16 文字まで）
また，［×］キーをタッチすると，［指紋認証情報管理］に戻ります。

5. 正しいパスワードを入力すると，新しい管理者パスワードに更新され，左記のダイアログボックスが表示されます。
［OK］ボタンをタッチすると，［指紋認証情報管理］に戻ります。

■ 登録内容一覧

(1) 登録内容一覧の機能

指紋認証で使用するオペレータの指紋登録 ID を追加 / 削除ができます。

(2) 登録内容一覧の表示操作

メインメニュー
（ 1.3 ユーティリティの表示 ）

「データ管理」をタッチ

データ管理

「各種データ管理」をタッチ

各種データ管理

「指紋認証情報」をタッチ

指紋認証情報管理

指紋認証情報管理

管理者パスワード指定

登録内容一覧

「登録内容一覧」をタッチ

(3) 登録内容一覧の表示例

(a) 登録内容一覧画面

指紋認証情報管理画面で［登録内容一覧］をタッチすると，管理者パスワード認証画面が表示されます。
［管理者パスワード指定］で設定した，正しいパスワードが入力されると，下記の画面が表示されます。

番号	項目	内容
(a)	指紋登録 ID	指紋登録 ID を表示します。 （最大登録数：100）
(b)	指紋登録数 *1	指紋登録 ID に登録されている指紋の件数を表示します。
(c)	登録	指紋登録 ID を登録するキーです。
(d)	削除	指紋登録 ID を削除するキーです。
(e)	全削除	指紋登録 ID を全削除するキーです。

＊1 指紋登録 ID 1 件につき，2 件の指紋登録が可能です。
オペレータの異なる指紋を 2 件登録しておくと，指が怪我などで使用できない場合にもう 1 件の登録した指紋を使用して，指紋認証を行うことができます。

(b) オペレータ登録画面

登録内容一覧画面で，［登録］ボタンをタッチすると下記の画面が表示されます。

番号	項目	内容
(a)	指紋登録 ID	指紋登録 ID を表示 / 入力します。（数字：1 ～ 7 桁）
(b)	指紋登録数選択	指紋登録 ID に［1 指登録］または［2 指登録］を選択します。

(4) 登録内容一覧の操作

指紋認証ユニットを使用して GOT にログインする場合は，オペレータ情報でオペレータの登録が必要です。
オペレータ情報に関する詳細は，下記を参照してください。

☞6.2.7 オペレータ情報管理

指紋登録を行う際の注意事項は，下記を参照してください。

☞(2) オペレータ登録を行う場合

1. 指紋認証情報管理で [登録内容一覧] をタッチします。

2. 管理者パスワード認証画面が表示されます。

3. 管理者パスワードが正しく入力されると，指紋認証ユニットに登録されている指紋登録 ID の一覧が表示されます。

4. 指紋登録 ID を登録する場合は [登録] ボタンをタッチします。
また，指紋登録 ID を選択して，[削除] ボタンをタッチすると，選択した指紋登録 ID を削除できます。
また，[全削除] ボタンをタッチすると，登録されている全ての指紋登録 ID を削除できます。

5. 登録するオペレータの指紋登録 ID を入力します。
(オペレータ編集画面で登録するオペレータの外部認証用 ID と同じ指紋登録 ID を入力します。)

(次のページへつづく)

6. ［指紋登録数選択］の設定項目をタッチすると，［1指登録］→［2指登録］→［1指登録］とタッチするごとに切り替わります。

7. 全ての項目を入力し，［確定］ボタンをタッチします。

8. ［確定］ボタンをタッチせずに［×］ボタンをタッチすると，登録が行われないで，登録内容一覧の画面に戻ります。

9. ［確定］ボタンをタッチした後，表示されるダイアログの指示に従って，登録するオペレータの指を置き指紋登録を行います。
また，［Cancel］ボタンをタッチすると，［登録内容一覧］に戻ります。
また，［2指登録］を選択して1件の指紋を登録後，2件目登録の場合に，［Cancel］ボタンをタッチしても，［登録内容一覧］に戻ります。

10. 指紋認証ユニットへの登録が完了後，登録完了通知ダイアログボックスが表示されます。
［OK］ボタンをタッチして，［登録内容一覧］に戻ります。

■ 認証操作

本項では指紋認証で GOT へログインする方法を示します。
ユーザ作成画面にてログインボタンを表示する拡張機能スイッチの作成手順の詳細は下記のマニュアルを参照してください。

・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル(作画編)2.7 拡張機能スイッチの設定
・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル 6.2.5 拡張機能スイッチの設定項目

拡張機能スイッチ(ログイン)

1. ユーザ作成画面にて作成された[ログイン]ボタンをタッチします。

2. 左記に示したダイアログボックスが表示されます。
[パスワード]ボタンをタッチすると,[オペレータ名+パスワード認証]のログイン画面が表示されます。
[パスワード]ボタンの表示方法は下記を参照してください。

6.2.7 オペレータ情報管理

[Cancel] ボタンをタッチすると手順 1 の画面に戻ります

3. 指紋認証ユニットに登録されている指を置きます。

4. 指紋が正しく認証されると,左記に示したダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチして,ユーザ作成画面に戻ります。

■ 注意事項

(1) 指紋認証ユニットを使用する場合

- 指紋認証ユニットの保護構造は IP4X です。
  濡れた指または油のついた指での使用はできません。
  また，GOT 本体の保護構造（IP67 f ）とは異なりますので，GOT を操作する際に注意が必要です。
- 指紋認証ユニットは，外光 5000Lx 以下の明るさで使用してください。
- ケーブルを引っ張らないでください。
  ユニットの誤作動，故障の原因になります。
- 指紋認証ユニットは消耗品です。
  定期的に点検して，傷や破損，ひどい汚れなどが発生した場合は交換してください。
- 指紋認証をする際は，以下のイラストのように，指置き部を覆うように指先までしっかりと置いてください。

- 指紋認証ユニットが正常に動作しない場合の対処法を下記に示します。

トラブル	原因	対処
指紋登録時，指を置いても指置き部が明るく点灯しない	指が乾燥している	指に息を吹きかけるなどして，指を少し湿らせてからやり直してください。
	指が汚れている	汚れを取り除いてからやり直してください。
指紋登録時，指置き部が明るく点灯したままになる	指の置き方が弱い	指置き部に指をしっかりと押し付けてください。
	指が細い	登録する指を中指や親指に変更してください。
指紋認証時，指置き部に何度も指を置かないと認証されない	登録されている指紋が不鮮明である	指紋の登録を変更してください。

(2) オペレータ登録を行う場合

- ■登録内容一覧(4) 登録内容一覧の操作で［指紋登録数選択］の設定項目を［２指登録］に選択した場合は，2件続けて指紋登録を行ってください。
  ［２指登録］を行う場合，指紋の登録は同じ指紋を登録しないでください。
  誤作動の原因になります。

(3) オペレータ登録を再登録する場合

- 指紋登録を完了した場合は，指紋の追加登録を行うことができません。
  追加登録を行う場合は，指紋登録 ID を削除して指紋登録 ID の登録から行ってください。

6.3 OS・プロジェクト情報

6.3.1 OS 情報

■ OS 情報の機能

各ドライブ (A: 標準 CF カード，B: 拡張メモリカード，C: 内蔵フラッシュメモリ，E:USB ドライブ) が保持している BootOS および OS(基本機能 OS，通信ドライバ，オプション機能 OS) の各ファイル名 / フォルダ名をリスト表示できます。
また，各ファイルのインストール，アップロードなどができます。

(○：対応，△：一部非対応，×：非対応)

機能	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応	参照先
ファイル，フォルダの情報表示	ファイルやフォルダの種類と名称，データサイズ，作成日時を表示します。	○	○	■OS 情報の表示例，■OS 情報の操作
インストール	A ドライブ (標準 CF カード)/B ドライブ (拡張メモリカード)/E ドライブ (USB ドライブ) に書き込まれているすべての OS ファイルを C ドライブ (内蔵フラッシュメモリ) にインストールできます。	○	○	(2) インストール操作
アップロード	C ドライブ (内蔵フラッシュメモリ) のすべての OS ファイルを A ドライブ (標準 CF カード)/B ドライブ (拡張メモリカード)/E ドライブ (USB ドライブ) にアップロードできます。	○	○	(3) アップロード操作
プロパティ表示	ファイルのプロパティ (ファイル名，データサイズ，種別，バージョン，作成日付) を表示します。	○	○	(4) プロパティ表示操作
データチェック	ファイルのデータチェックが行えます。	○	○	(5) データチェック操作

POINT

(1) OS インストール時の注意事項

BootOS や基本 OS をインストールすると，GOT 内のプロジェクトデータなどが削除されます。
BootOS や基本 OS をインストールした後は，必要なデータを再度インストール / ダウンロードしてください。

(2) OS ファイル操作時の注意事項

OS の Boot 元を [A: 標準 CF カード] に設定している場合，OS ファイルのインストール，アップロードを行うことができません。

■ OS 情報の表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）

「データ管理」
をタッチ

データ管理

「OS・プロジェクト情報」
をタッチ

OS・プロジェクト情報

「OS情報」
をタッチ

OS情報

BootOSおよびOSファイルを
操作します。

■ OS 情報の表示例

番号	項目	内容
(1)	ドライブ選択	ファイルやフォルダの表示を行う対象ドライブを選択できます。 CF カードが装着されていない場合，[A: 標準 CF カード]/[B: 拡張メモリカード)] は表示されません。 USB メモリが装着されていない場合，[E:USB ドライブ] は表示されません。
(2)	種別	表示されている名称がファイルなのかフォルダなのかを表示します。 ファイルの場合は拡張子，フォルダの場合は DIR と表示します。
(3)	名称	選択されたドライブまたはフォルダが保持しているファイル名やフォルダ名を表示します。 ファイル名やフォルダ名が 20 文字を超える場合，21 文字目からは表示しません。
(4)	パス名	現在表示されているドライブ / フォルダのパス名を表示します。
(5)	サイズ	名称に表示されたファイルのサイズを表示します。
(6)	作成日，時間	各ファイルの作成日時を表示します。
(7)	ドライブのサイズ	ドライブ選択で選択したドライブの , 使用中のサイズ / ドライブ全体のサイズを表示します。(ただし，C ドライブ選択時は，使用中のサイズのみ表示します)
(8)	操作スイッチ	各機能の実行スイッチです。
(9)	フォルダ / ファイル数	表示しているフォルダとファイルの合計を表示します。

HINT

表示されるフォルダとファイル

表示されるフォルダとファイルについては，下記を参照してください。

☞6.1.4 表示ファイル

■ OS 情報の操作

(1) OS 情報の表示操作

1. ドライブ選択のドライブをタッチすると，タッチしたドライブの先頭フォルダ内の情報が表示されます。

2. フォルダの名称をタッチすると，タッチしたフォルダ内の情報が表示されます。

3. 名称が [. .] のフォルダをタッチすると，1 階層上のフォルダ内の情報が表示されます。

4. スクロールバーの ▲ ▼ ボタンをタッチすると，1 行ずつ上下にスクロールします。
   ⏫ ⏬ ボタンをタッチすると 1 画面分上下にスクロールします。

5. ファイルの名称をタッチすると，ファイルを選択して反転表示されます。

6. インストール，アップロード，プロパティ，データチェックの操作については，下記を参照してください。
   インストール .... (2) インストール操作
   アップロード .... (3) アップロード操作
   プロパティ .... (4) プロパティ表示操作
   データチェック .... (5) データチェック操作

7. [×] ボタンをタッチすると，画面を閉じます。

(2) **インストール操作**

A ドライブ (標準 CF カード)/B ドライブ (拡張メモリカード)/E ドライブ (USB ドライブ) に書き込まれた BootOS および OS を GOT にインストールできます。
(本説明では，A ドライブを使用した例で説明します。)

1. インストールする BootOS または OS を書き込んだ CF カードを GOT に装着します。
CF カード /USB メモリの着脱方法は，下記を参照してください。
(ハードウェア詳細編)
8.3.1 ■CF カード
(ハードウェア詳細編)
8.5.2 ■USB 周辺機器

2. ドライブ選択で [A: 標準 CF カード] をタッチします。

3. [インストール] ボタンをタッチすると，インストールを開始します。

4. インストールが完了すると，左記ダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，GOT を再起動します。

(3) **アップロード操作**

C ドライブ (内蔵フラッシュメモリ) の BootOS および OS を A ドライブ (標準 CF カード)/B ドライブ (拡張メモリカード)/E ドライブ (USB ドライブ) へアップロードできます。
アップロード後の CF カードは他の GOT への OS インストールに使用できます。

☞7. CoreOS，BootOS，基本機能 OS のインストール

(本説明では，A ドライブを使用した例で説明します。)

1. アップロード先に使用する CF カードを GOT に装着します。
CF カード /USB メモリの着脱方法は，下記を参照してください。
☞ (ハードウェア詳細編)
8.3.1 ■CF カード
(ハードウェア詳細編)
8.5.2 ■USB 周辺機器

2. ドライブ選択で [A: 標準 CF カード] をタッチします。

3. [アップロード] ボタンをタッチすると，アップロードを開始します。

4. アップロードが完了すると，左記ダイアログボックスが表示されます。
[OK] タンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

ｱｯﾌﾟﾛｰﾄﾞが完了しました。

ＯＫ

(4) プロパティ表示操作

選択したフォルダ内に含まれるファイルのプロパティを表示します。

```
ﾃﾞｰﾀ管理:OS・ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ情報:OS情報:ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ表示
名称              ｻｲｽﾞ     種別     ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ    作成日   時間
  OS名称
G1OSMONT.OUT               基本     04.00.61
  基本OS
G1F16STG.FON               基本     04.00.52
  16ﾄﾞｯﾄ標準ｺﾞｼｯｸﾌｫﾝﾄ(日本語)
G1F12STG.FON               基本     04.00.52
  12ﾄﾞｯﾄ標準ｺﾞｼｯｸﾌｫﾝﾄ(日本語)
G1OSMONT.G1D               基本     04.00.61
  基本OSｼｽﾃﾑ画面情報
G1OSMONT.G1                基本     04.00.61
  基本OSｼｽﾃﾑ画面ﾃﾞｰﾀ
G1FTTNMG.FON               基本     04.00.52
  TrueType数字ﾌｫﾝﾄ
G1F12GBM.FON      121K     ｵﾌﾟｼｮﾝ   04.00.52   08-07-05 14:08
  12ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄ(中国語[簡体])
G1F16GBM.FON      154K     ｵﾌﾟｼｮﾝ   04.00.52   08-07-05 14:08
  16ﾄﾞｯﾄ明朝ﾌｫﾝﾄ(中国語[簡体])
G1F12BGG.FON      202K     ｵﾌﾟｼｮﾝ   04.00.52   08-07-05 14:08
  12ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄ(中国語[繁体])
G1F16BGG.FON      268K     ｵﾌﾟｼｮﾝ   04.00.52   08-07-05 14:08
  16ﾄﾞｯﾄｺﾞｼｯｸﾌｫﾝﾄ(中国語[繁体])
G1F12JSG.FON      124K     ｵﾌﾟｼｮﾝ   04.00.52   08-07-05 14:08
  12ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄ(日本語)
G1F16JSG.FON      152K     ｵﾌﾟｼｮﾝ   04.00.52   08-07-05 14:08
  16ﾄﾞｯﾄｺﾞｼｯｸﾌｫﾝﾄ(日本語)
G1SFRJSG.FON      519K     ｵﾌﾟｼｮﾝ   04.00.52   08-07-05 14:08
  ｽﾄﾛｰｸﾌｫﾝﾄ(日本語)
G1SFRGBG.FON      506K     ｵﾌﾟｼｮﾝ   04.00.52   08-07-05 14:08
  ｽﾄﾛｰｸﾌｫﾝﾄ(中国語[簡体])
G1SFRBGG.FON      915K     ｵﾌﾟｼｮﾝ   04.00.52   08-07-05 14:08
  ｽﾄﾛｰｸﾌｫﾝﾄ(中国語[繁体])
G1OSRECP.OUT       21K     ｵﾌﾟｼｮﾝ   04.00.53   08-07-05 14:09
  ﾚｼﾋﾟ
G1OSARCP.OUT       80K     ｵﾌﾟｼｮﾝ   04.00.54   08-07-05 14:09
  拡張ﾚｼﾋﾟ
```

1. プロパティ表示対象フォルダを選択した後，[プロパティ] ボタンをタッチすると，左記のプロパティ表示が表示されます。
プロパティ表示では，手順 1 で選択したフォルダ内のファイルごとに下記の情報を表示します。

項目	内容
名称	ファイル名を表示します。
サイズ	ファイルサイズを表示します。
種別	ファイルの種類に応じて下記を表示します。 Boot: BootOS 基本 : 基本機能 OS 拡張 : 拡張機能 OS オプション : オプション機能 OS 通信 : 通信ドライバ
バージョン	BootOS および OS のバージョンを表示します。
作成日 , 時間	ファイルの作成日時を表示します。

2. スクロールバーの ▲ ▼ ボタンをタッチすると，1 行ずつ上下にスクロールします。
⏶ ⏷ ボタンをタッチすると 1 画面分上下にスクロールします。

3. [×] ボタンをタッチすると 1 つ前の画面表示へ戻ります。

(5) **データチェック操作**

選択したシステムファイルのデータチェックを行います。

データチェック正常時のダイアログ

データは正常です

ＯＫ

データチェック異常時のダイアログ

データは異常です

ＯＫ

1. データチェック対象ファイルを選択状態にした後，［データチェック］ボタンをタッチしてください。データチェックを実行した後，左記のダイアログボックスでデータチェック結果が表示されます。

2. [OK] ボタンをタッチするとダイアログボックスを閉じます。

6.3.2　プロジェクト情報

■ プロジェクト情報の機能

各ドライブ (A: 標準 CF カード，B: 拡張メモリカード，C: 内蔵フラッシュメモリ，E:USB ドライブ) が保持しているプロジェクトデータのファイルをリスト表示できます。
また，各ファイルのダウンロード，アップロード，削除，コピーなどができます。

(○：対応，△：一部非対応，×：非対応)

機能	内容	GT Designer2 対応	GT Designer3 対応	参照先
ファイル，フォルダの情報表示	ファイルやフォルダの種類と名称，データサイズ，作成日時を表示します。	○	○	■プロジェクト情報の表示例 ■ プロジェクト情報の操作
削除	プロジェクトデータを削除します。	○	○	(2) 削除操作
コピー	プロジェクトデータをコピーします。(A ドライブ，B ドライブ，E ドライブのみコピーできます)	○	○	(3) コピー操作
プロパティ表示	プロジェクトデータを作成した日付，作成者名，GT Designer3，GT Designer2 のバージョンを表示します。	○	○	(4) プロパティ表示操作
データチェック	ファイルのデータチェックが行えます。	○	○	(5) データチェック操作
ダウンロード	A ドライブ (標準 CF カード)/B ドライブ (拡張メモリカード)/E ドライブ (USB ドライブ) に書込まれているプロジェクトデータを C ドライブ (内蔵フラッシュメモリ) にダウンロードします。	○	○	(6) ダウンロード / セットアップ操作
セットアップ	表示するプロジェクトデータを選択できます。	○	○	(b) セットアップ操作
アップロード	C ドライブ (内蔵フラッシュメモリ) に書込まれているプロジェクトデータを A ドライブ (標準 CF カード)/B ドライブ (拡張メモリカード)/E ドライブ (USB ドライブ) にアップロードします。	○	○	(7) アップロード / セットアップ解除操作
セットアップ解除	表示するプロジェクトデータとして選択されているものを解除します。	○	○	(b) セットアップ解除操作

POINT

プロジェクトデータ操作時の注意事項

OS の Boot 元を [A：標準 CF カード] に設定している場合，プロジェクトデータの削除，コピー，ダウンロード，セットアップ，アップロードを行うことができません。

■ プロジェクト情報の表示操作

メインメニュー
（☞ 1.3 ユーティリティの表示）

「データ管理」
をタッチ

データ管理

「OS・プロジェクト情報」
をタッチ

OS・プロジェクト情報

「プロジェクト情報」
をタッチ

プロジェクト情報

データ管理:OS・プロジェクト情報:プロジェクト情報

ドライブ選択

A : 標準CFカード

C : 内蔵フラッシュメモリ

E : USBドライブ

種別	名称	サイズ	作成日	時間
G1	%PROJECT1	78K	08-07-05	14:39
DIR	PROJECT2		08-07-05	14:36

128KB/499672KB　17ファイル

削除　コピー　プロパティ　データチェック　ダウンロード　アップロード

プロジェクトデータの
ファイルを操作します。

■ プロジェクト情報の表示例

番号	項目	内容
(1)	ドライブ選択	表示を行う対象ドライブを選択できます。 CF カードが装着されていない場合,[A: 標準 CF カード]/[B: 拡張メモリカード] は表示されません。 USB メモリが装着されていない場合,[E:USB ドライブ] は表示されません。
(2)	名称	選択したドライブ内にある,プロジェクトデータ (プロジェクトフォルダ名) を表示します。 名称が 20 文字を超える場合,21 文字目からは表示されません。 GOT でモニタ中のプロジェクトデータの前には,"*%" が表示されます。
(3)	パス名	現在表示されているドライブ / フォルダのパス名を表示します。
(4)	サイズ	名称に表示されたファイルのサイズを表示します。
(5)	作成日,時間	各ファイルをインストールした日時を表示します。
(6)	ドライブのサイズ	ドライブ選択で選択したドライブの , 使用中のサイズ / ドライブ全体のサイズを表示します。(ただし,C ドライブ選択時は,使用中のサイズのみ表示します)
(7)	操作スイッチ	プロジェクト情報で行える各機能 (ダウンロード , アップロードなど) の実行スイッチを表示します。
(8)	フォルダ / ファイル数	表示しているフォルダとファイルの合計を表示します。

HINT

表示されるフォルダとファイル

表示されるフォルダとファイルについては,下記を参照してください。

6.1.4 表示ファイル

■ プロジェクト情報の操作

(1) プロジェクト情報の表示操作

1. ドライブ選択のドライブをタッチすると，ドライブ内のプロジェクトデータが表示されます。
2. プロジェクトデータをタッチすると，選択して反転表示されます。
3. 削除，コピー，プロパティ，データチェック，ダウンロード，アップロードの操作については，下記を参照してください。
   削除 .... (2) 削除操作
   コピー .... (3) コピー操作
   プロパティ .... (4) プロパティ表示操作
   データチェック .... (5) データチェック操作
   ダウンロード，セットアップ
   .... (6) ダウンロード / セットアップ操作
   アップロード，セットアップ解除
   .... (7) アップロード / セットアップ解除操作
4. [×] ボタンをタッチすると，画面を閉じます。

(2) 削除操作

選択したファイルを削除します。

削除対象ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾃﾞｰﾀ:
PROJECT1
削除しますか?
OK　Cancel

1. 削除するファイルをタッチして選択します。
2. [削除] ボタンをタッチすると，左記の画面が表示されます。
   削除対象ファイルが間違っていないことを確認してください。
   [OK] ボタンをタッチするとファイルを削除します。
   [Cancel] ボタンをタッチすると削除を中止します。

削除が完了しました。
OK

3. 削除が完了すると，左記ダイアログボックスが表示されます。
   [OK] ボタンをタッチするとダイアログボックスを閉じます。

(3) コピー操作

A ドライブ /B ドライブ /E ドライブで以下のコピーができます。

- 同一ドライブで他のディレクトリへのコピー
- A ドライブ，B ドライブまたは E ドライブ間のコピー

C ドライブからコピー，または C ドライブへコピーはできません。
(本説明では，A ドライブを使用した例で説明します。)

1. パソコンに CF カードを装着し，コピー先に指定するフォルダを作成します。
フォルダ名称は，GT Designer3 の環境設定のシステム情報または GT Designer2 のシステム環境のシステム設定と同じ文字を設定してください。
☞ ・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
4.1 GOT タイプを設定する (GOT 機種設定)
・GT Designer2 Version □ 画面設計マニュアル
3.1 GOT タイプ，接続機器タ イプを設定する

2. 上記の CF カードを GOT に装着します。
CF カード /USB メモリの着脱方法は，下記を参照してください。
☞ (ハードウェア詳細編)
8.3.1 ■CF カード
(ハードウェア詳細編)
8.5.2 ■USB 周辺機器

3. プロジェクト情報を開き，コピーするファイルを選択します。

4. [コピー] ボタンをタッチすると，画面左下に [コピー先ディレクトリを選択してください。] と表示されます。

5. コピー先のフォルダをタッチすると，画面表示がコピー先のフォルダに変更されます。
このとき，コピー元のファイルと同一のフォルダへはコピーできません。
異なるフォルダを選択してください。

6. [実行] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。

コピー対象ファイル：
PROJECT1
コピー先：
A:¥PROJECT2
コピーしますか？

OK　Cancel

(次のページへつづく)

同名のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾃﾞｰﾀが既に存在します。
上書きしますか?

ＯＫ　Cancel

7. [OK] ボタンをタッチします。
コピー先のフォルダに同一名称のファイルが存在しなければコピーを開始します。
コピー先のフォルダに同一名称のファイルが存在する場合は，コピーを開始せずに左記のダイアログボックスが表示されます。
この場合，コピーするとコピー先フォルダのプロジェクトデータに上書きします。
[OK] ボタンをタッチするとコピーを開始します。
[Cancel] ボタンをタッチするとコピーを中止します。

ｺﾋﾟｰが完了しました。

ＯＫ

8. コピーが完了すると完了のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，ダイアログボックスを閉じます。

(4) プロパティ表示操作

選択したフォルダ内に含まれるプロジェクトデータのプロパティを表示します。

ﾃﾞｰﾀ管理:OS・ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ情報:ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ情報:ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ表示
作成:08-07-05　作成者:
作画ｿﾌﾄﾊﾞｰｼﾞｮﾝ:GT Designer2 Version2 87R
B-1　ヒストリカルトレンド①ファイル保存
B-2　ヒストリカルトレンド②バッファ履歴
B-3　PROJECT2
W-1　ヒストリカルカーソル位置デバイス(ファイルログ)
W-2　ヒストリカル詳細(ファイルログ)
W-3　ヒストリカルカーソル位置デバイス(バッファ)
W-4　ヒストリカル詳細(バッファ)

1. プロパティ表示対象プロジェクトデータを選択状態にして，[プロパティ] ボタンをタッチすると，左記のプロパティが表示されます。
プロパティ表示では，下記の情報を表示します。

項目	内容
作成	プロジェクトデータの作成日を表示します。
作成者	プロジェクトデータの作成者を表示します。
作画ソフトバージョン	プロジェクトデータを作成した作画ソフト名称とバージョンを表示します。

2. ▲ ▼ ボタンをタッチすると，1 行ずつ上下にスクロールします。

3. ⏫ ⏬ ボタンをタッチすると 1 画面分上下にスクロールします。

4. [×] ボタンをタッチするとプロパティ表示を閉じ，前の画面に戻ります。

(5) データチェック操作

選択したプロジェクトファイルのデータチェックを行います。

データチェック正常時のダイアログ

データは正常です

ＯＫ

データチェック異常時のダイアログ

データは異常です

ＯＫ

1. データチェック対象ファイルを選択状態にした後，[データチェック] ボタンをタッチしてください。
   データチェックを実行した後，左記のダイアログボックスでデータチェック結果が表示されます。
2. [OK] ボタンをタッチするとダイアログボックスを閉じます。

(6) ダウンロード / セットアップ操作

(a) ダウンロード操作

A ドライブ (標準 CF カード)/B ドライブ (拡張メモリカード)/E ドライブ (USB ドライブ) に格納されているプロジェクトデータを，C ドライブ (内蔵フラッシュメモリ) に転送します。(GOT は C ドライブのデータでモニタをします。)

(本説明では，A ドライブを使用した例で説明します。)

POINT

ダウンロード操作をする前に

(1) セットアップ解除について

A ドライブ /B ドライブのプロジェクトデータをセットアップしていると，C ドライブにプロジェクトデータをダウンロードできません。

セットアップ解除 ((7)(b) セットアップ解除操作) をしてから，ダウンロードしてください。

(2) CF カードに格納するプロジェクトデータについて

プロジェクトデータを GT Designer3，GT Designer2 から CF カードに格納する時，[Boot 元] の [プロジェクトデータ] は [C : 内蔵フラッシュメモリ] を選択してください。

1. CF カード /USB メモリを GOT に装着します。
CF カードの装着方法は，下記を参照してください。
（ハードウェア詳細編）
8.3.1 ■CF カード
（ハードウェア詳細編）
8.5.2 ■USB 周辺機器

2. ドライブ選択で [A: 標準 CF カード] をタッチします。

3. [ダウンロード] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。[OK] ボタンをタッチすると，ダウンロードを実行します。

ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞを実行しますか?

O K　Cancel

4. C ドライブに同一名称のプロジェクトデータが存在する場合は，ダウンロードを開始せずに左記の画面が表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，同一名称のプロジェクトデータに上書きダウンロードします。
[Cancel] ボタンをタッチするとダウンロードを中止します。

既に同一名称のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾃﾞｰﾀがﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞされています。

	現状	/対象
作画S/Wﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	:287R	/287R
作成日	:08-07-01	/08-06-02
作成時刻	:11:30:39	/09:12:39
作成者	:	/

ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞを続行しますか?

O K　Cancel

5. ダウンロードが完了すると左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，GOT が再起動します。

ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞが完了しました。
再起動します。

O K

(b) セットアップ操作

A ドライブ (標準 CF カード)/B ドライブ (拡張メモリカード)/E ドライブ (USB ドライブ) に格納されているプロジェクトデータを，GOT で使用するための設定をします。
GOT は A ドライブ /B ドライブモニタデータでモニタをします。
(本説明では，A ドライブを使用した例で説明します。)

POINT

セットアップ操作をする前に

プロジェクトデータを GT Designer3，GT Designer2 から CF カードに格納する時，[Boot 元] の [プロジェクトデータ] は [A: 標準 CF カード]，[B: 拡張メモリカード] を選択してください。

1. CF カード /USB メモリを GOT に装着します。CF カード /USB メモリの装着方法は，下記を参照してください。

(ハードウェア詳細編)
8.3.1 ■CF カード
(ハードウェア詳細編)
8.5.2 ■USB 周辺機器

2. ドライブ選択で [A: 標準 CF カード] をタッチします。

3. [ダウンロード] ボタンをタッチすると，左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，セットアップを実行します。

(次のページへつづく)

ｾｯﾄｱｯﾌﾟが完了しました。
再起動します。

ＯＫ

4. セットアップが完了すると左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，GOT が再起動します。

(7) アップロード / セットアップ解除操作

(a) アップロード操作

C ドライブ (内蔵フラッシュメモリ) に格納されているプロジェクトデータを，A ドライブ (標準 CF カード)/B ドライブ (拡張メモリカード)/E ドライブ (USB ドライブ) に転送します。
アップロード後の CF カード /USB メモリは他の GOT へのプロジェクトデータダウンロードに使用できます。
(本説明では，A ドライブを使用した例で説明します。)

POINT

アップロード操作をする前に

A ドライブ /B ドライブ /E ドライブのプロジェクトデータをセットアップしていると，A ドライブ /B ドライブ /E ドライブにプロジェクトデータをアップロードできません。
セットアップ解除 ((7)(b) セットアップ解除操作) をしてからアップロードしてください。

ｱｯﾌﾟﾛｰﾄﾞを実行しますか?

ＯＫ　Cancel

1. ドライブ選択で [A: 標準 CF カード] をタッチします。
2. [アップロード] ボタンをタッチすると，左記の画面が表示されます。
3. [OK] ボタンをタッチすると，アップロードを実施します。

既にﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾃﾞｰﾀが存在します。
ｱｯﾌﾟﾛｰﾄﾞを実行すると､既に存在しているﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾃﾞｰﾀは､削除されます。
実行しますか?

ＯＫ　Cancel

4. A ドライブに同一名称のプロジェクトデータが存在する場合は，アップロードを開始せずに左記の画面が表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると同一名称のプロジェクトデータに上書きアップロードを開始します。
[Cancel] ボタンをタッチするとアップロードを中止します。

(次のページへつづく)

ｱｯﾌﾟﾛｰﾄﾞが完了しました。

ＯＫ

5. アップロードが完了すると左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，GOT が再起動します。

(b) セットアップ解除操作
セットアップを解除します。
(本説明では，A ドライブを使用した例で説明します。)

ｾｯﾄｱｯﾌﾟ解除を実行しますか?

ＯＫ　Cancel

1. ドライブ選択で [A: 標準 CF カード] をタッチします。
2. [アップロード] ボタンをタッチすると，左記の画面が表示されます。
3. [OK] ボタンをタッチすると，セットアップ解除を実行します。

ｾｯﾄｱｯﾌﾟ解除が完了しました。
再起動します。

ＯＫ

4. セットアップ解除が完了すると左記のダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをタッチすると，GOT が再起動します。
再起動後は，C ドライブのプロジェクトデータをモニタします。

7. CoreOS，BootOS，基本機能 OS のインストール

GOT のユーティリティを実行するためには，GOT の C ドライブ (内蔵フラッシュメモリ) に BootOS，基本機能 OS をインストールする，または OS の Boot 元を [A：標準 CF カード] に設定し，OS ファイルを書き込んだ CF カードを装着する必要があります。
(GOT は , 工場出荷時に BootOS をインストールしています。BootOS のバージョンアップを必要としない場合，BootOS のインストール作業は不要です。)
本章では，GOT を使用したインストールについて説明します。

GT Designer3 または GT Designer2 → CFカード／USBメモリ → GOT
OSファイル書込み
CFカード／USBメモリ
*1
BootOSまたは基本機能OSインストール
CFカードをGOTに装着する
GOT
GOTが離れた場所にある場合，CFカード／USBメモリで手軽にインストール

GT Designer3 または GT Designer2
OSファイル書込み
CFカード
OSでのブート元を「A:標準CFカード」に設定する
CFカードをGOTに装着する
GOT
OSをインストールすることなく起動が可能

GOT → CFカード／USBメモリ → GOT
GOT
OSファイルアップロード
CFカード／USBメモリ
*1
BootOSまたは基本機能OSインストール
CFカード／USBメモリをGOTに装着する
GOT
CFカード／USBメモリを使い，GOTからGOTへインストール

*1 USB メモリを使用してインストールする場合，インストール先の GOT にあらかじめ基本機能 OS がインストールされている必要が有ります。

GT Designer3，GT Designer2 を使用したインストールに関しては，下記を参照してください。

・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編) 8. GOT との通信
・GT Designer2 Version □　基本操作･データ転送マニュアル
8. データを転送する

POINT

CoreOS について

本章の 7.1 ～ 7.4 は，BootOS，基本機能 OS についてのみ記載しています。CoreOS については，下記を参照してください。

7.5 CoreOS について

7.1　インストールが必要な BootOS，基本機能 OS

ユーティリティを実行するためには下記の BootOS，基本機能 OS が必要です。

<table>
<tr><th>OS 名</th><th colspan="2">機能概要</th><th>格納場所</th></tr>
<tr><td>BootOS</td><td colspan="2">GOT の制御やパソコンと GOT 間の通信に必要な OS です。
工場出荷時にインストールされています。
(GT Designer3，GT Designer2，または CF カードからインストールすることもできます。インストールすると GOT が初期化され，工場出荷時の状態になります。なお Boot OS を再インストールする場合，GOT に基本機能 OS がインストールされている必要があります。)</td><td>内蔵フラッシュメモリ
C:￥G1BOOT￥

OS の Boot 元を A ドライブに設定した CF カード
A:￥G1BOOT￥</td></tr>
<tr><td rowspan="7">基本機能
OS</td><td>GOT のモニタ機能，OS ファイルやプロジェクトデータのインストールと削除，タッチキー制御，画面やガイダンスの表示機能など GOT を動作させるための OS です。</td><td rowspan="7">ユーザ作成画面やユーティリティ画面の表示，操作に必要な OS です。
工場出荷時は GOT にインストールされていません。
GT Designer3，GT Designer2，または CF カード /USB メモリからインストールしてください。
また，インストール時，16 ドット標準フォントは，明朝，ゴシックのいずれかを選択します。</td><td rowspan="7">内蔵フラッシュメモリ
C:￥G1SYS￥

OS の Boot 元を A ドライブに設定した CF カード
A:￥G1SYS￥</td></tr>
<tr><td>システム画面データ</td></tr>
<tr><td>システム画面管理情報ファイル</td></tr>
<tr><td>TrueType 数字フォント</td></tr>
<tr><td>12 ドット標準フォント (ゴシック)</td></tr>
<tr><td>16 ドット標準フォント (明朝)</td></tr>
<tr><td>16 ドット標準フォント (ゴシック)</td></tr>
</table>

7.2 BootOS，基本機能 OS のインストール前準備

GOT を使用したインストールでは，あらかじめ BootOS，基本機能 OS が格納済みの CF カード /USB メモリが必要です。
BootOS，基本機能 OS を CF カード /USB メモリへ書き込む方法としては，以下の 3 通りがあります。

(1) GT Designer3，GT Designer2 から「メモリカードへの転送」による方法

☞ · GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
8.2 メモリカードへデータを転送する
· GT Designer2 Version □ 基本操作·データ転送マニュアル
8.9 メモリカードを使用してデータを転送する (パソコン→メモリカード→ GOT)

(2) 他の GOT(BootOS，基本機能 OS インストール済み) からアップロードする方法

☞ 6. データ管理

(3) OS の Boot 元を A ドライブに設定した CF カードを使用する方法

☞ · GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
· GT Designer2 Version □ 基本操作·データ転送マニュアル

POINT

BootOS，基本機能 OS などを CF カード /USB メモリへ書き込む場合のご注意
BootOS，基本機能 OS などを CF カード /USB メモリへ書き込む場合は，必ず他の GOT のユーティリティ，または GT Designer3，GT Designer2 により実行してください。
GOT のユーティリティからのアップロード，または GT Designer3，GT Designer2 以外からのコピーを実行した CF カード /USB メモリでは，GOT に正しくインストールされません。
また，CF カード /USB メモリの空き容量にご注意ください。
BootOS，基本機能 OS の空き容量については，GT Designer3，GT Designer2 の [メモリカードへ転送] で確認できます。

基本機能OS容量

CFカード／ USBメモリ
空き容量

7.3　CF カード /USB メモリを使用した BootOS，基本機能 OS のインストール

CF カード /USB メモリを使用した BootOS，基本機能 OS のインストールには，以下の 2 通りがあります。

(1)　GOT 電源投入時にインストールする方法

(☞ 7.3.1)

GOT 電源投入時に，CF カード /USB メモリに格納した OS やプロジェクトデータをすべて，GOT へ転送します。このインストール方法は，以下に示す場合に有効です。
- GOT のユーティリティが表示できない場合
- 基本機能 OS がインストールされていない場合

(2)　データ管理機能 (ユーティリティ) を使用してインストールする方法

(☞ 7.3.2)

ユーティリティの操作により，CF カード /USB メモリに格納した OS やプロジェクトデータを選択して、GOT へ転送します。

POINT

BootOS，基本機能 OS インストール時のご注意

(1)　BootOS と基本機能 OS の両方をインストールする場合

BootOS のインストール完了後，基本機能 OS をインストールしてください。BootOS をインストールすると，GOT 内の内蔵フラッシュメモリが初期化され，工場出荷時の状態になります。(各 OS やプロジェクトデータは削除されます。)

GOT は工場出荷時に BootOS をインストール済みです。BootOS のバージョンアップを行わない場合，BootOS のインストールは不要です。

(2)　CF カード /USB メモリを使用してプロジェクトデータをコピーする場合

BootOS，基本機能 OS や各 OS をインストールした後にプロジェクトデータをダウンロードしてください。
このとき ,GOT 内の基本 OS とプロジェクトデータを作成した基本 OS のバージョンを一致させてください。

(3)　CF カード /USB メモリ内に OS とプロジェクトデータが存在する場合 (GT Designer3，GT Designer2 使用時)

S.MODE スイッチを押してインストールする場合，OS インストール完了後にプロジェクトデータがダウンロードされます。
ユーティリティでインストールする場合は，OS のインストールとプロジェクトデータのダウンロードをそれぞれの操作画面で行ってください。

(4)　インストールの中断はできません。

BootOS，基本機能 OS をインストール中は下記のことをしないでください。
インストールに失敗し，GOT が動作しなくなる場合があります。
- GOT の電源を OFF にする
- GOT のリセットボタンを押す
- CF カードアクセススイッチを OFF にする
- CF カード /USB メモリを取外す

インストールに失敗して GOT が動作しなくなった場合は，下記の処置を行ってください。
- BootOS のインストールに失敗した場合：
  CoreOS をインストールしてください。

  (☞ 7.5.1 CoreOS のインストール方法)
- 基本 OS のインストールに失敗した場合：
  BootOS をインストールしてください。

  (☞ 7.3.1 GOT 電源投入時にインストールする方法)

7.3.1　GOT 電源投入時にインストールする方法

GOT 内の基本機能 OS のインストール状態により，表示されるメッセージが異なります。操作を要求する画面が表示された場合は，画面の指示に従って操作してください。

POINT

(1) **使用するドライブについて**
GOT 電源投入時に OS をインストールする場合，A または E ドライブを使用してください。
GOT 電源投入時，B ドライブからは OS をインストールできません。

(2) **S.MODE スイッチを押したインストールについて**
OS の Boot 元を A ドライブに設定した CF カードまたは USB メモリを使用している場合，S.MODE スイッチを押してインストールを行うことはできません。

■ 操作手順

S.MODE スイッチは GOT 背面の下記に示した位置にあります。

インストールスイッチ
(S.MODE)

(1) **CF カードでインストールする場合**

1. GOT の電源を OFF，CF カードアクセススイッチを OFF にし，BootOS または基本機能 OS，プロジェクトデータ格納済みの CF カードを GOT の CF カードインタフェースへ装着してください。
2. GOT の CF カードアクセススイッチを ON にしてください。
3. GOT の電源を ON します。
GOT 背面のインストールスイッチ (S.MODE スイッチ) を押しながら，GOT の電源を ON してください。(1 点押しインストール機能)
4. BootOS，基本機能 OS が内蔵フラッシュメモリにインストールされます。
インストール実行中は CF カードアクセス LED が点灯します。
CF カードアクセス LED 点灯中は CF カードを抜いたり，GOT の電源を OFF にしないでください。

BootOSをインストール中です。
Now installing BootOS.

5. インストール完了後，自動的に再起動されます。
(基本機能 OS インストール済みの場合は, OK ボタンをタッチすると再起動します。)

```
GOTを再起動します。
Reboot.
```

6. 正常に再起動ができたことを確認した後，GOT の CF カードアクセススイッチを OFF にしてください。CF カードアクセス LED の消灯を確認し，CF カードを GOT の CF カードインタフェースから取り外してください。

(2) USB メモリでインストールする場合

1. GOT の電源を OFF，BootOS または基本機能 OS，プロジェクトデータ格納済みの USB メモリを GOT の USB インタフェースへ装着してください。
BootOS は基本機能 OS，プロジェクトデータと同じ USB メモリには格納できません。

2. GOT の電源を ON します。
GOT 背面のインストールスイッチ (S.MODE スイッチ) を押しながら，GOT の電源を ON してください。(1 点押しインストール機能)

3. BootOS，基本機能 OS が内蔵フラッシュメモリにインストールされます。
インストール実行中は USB メモリのアクセスランプが点灯します。
USB メモリのアクセスランプ点灯中は USB メモリを抜いたり，GOT の電源を OFF にしないでください。

```
BootOSをインストール中です。
Now installing BootOS.
```

4. インストール完了後，自動的に再起動されます。
(基本機能 OS インストール済みの場合は, OK ボタンをタッチすると再起動します。)

```
GOTを再起動します。
Reboot.
```

5. 正常に再起動ができたことを確認した後，USB メモリのアクセスランプの消灯を確認し，USB メモリを GOT の USB インタフェースから取り外してください。
USB メモリの取り外し方法は下記を参照してください。

☞ 4.3.7 USB デバイス状態表示

7.3.2　データ管理機能 (ユーティリティ) を使用してインストールする方法

データ管理機能に関する詳細は，下記を参照してください。

☞ 6. データ管理

POINT

データ管理機能実行時のご注意

データ管理機能を実行する場合，あらかじめ GOT に基本機能 OS がインストールされている必要があるため，GOT 購入後，初回の BootOS，基本機能 OS のインストールには，本機能は使用できません。
基本機能 OS は，以下の 2 通りの方法により，インストールしてください。

(1)　GT Designer3，GT Designer2 による方法

(2)　GOT 電源投入時にインストールする方法

■ 操作手順

(1)　CF カードでインストールする場合

1. GOT の CF カードアクセススイッチを OFF にし，CF カードアクセス LED の消灯後，BootOS，基本機能 OS，プロジェクトデータ格納済みの CF カードを GOT の CF カードインタフェースへ装着してください。

2. GOT の CF カードアクセススイッチを ON にしてください。

3. GOT でデータ管理機能用画面 (ユーティリティ) を表示し，CF カードから GOT に BootOS，基本機能 OS をインストールしてください。

「インストール」をタッチ

4. インストール実行中は CF カードアクセス LED が点灯します。
CF カードアクセス LED 点灯中は CF カードを抜いたり，GOT の電源を OFF にしないでください。

BootOSをインストール中です。
Now installing BootOS.

5. インストール完了後，自動的に再起動されます。

GOTを再起動します。
Reboot.

6. 正常に再起動ができたことを確認した後，GOT の CF カードアクセススイッチを OFF にしてください。CF カードアクセス LED の消灯を確認し，CF カードを GOT の CF カードインタフェースから取り外してください。

(2) USB メモリでインストールする場合

1. BootOS，基本機能 OS，プロジェクトデータ格納済みの USB メモリを USB インタフェースへ装着してください。

2. GOT でデータ管理機能用画面 (ユーティリティ) を表示し，USB ドライブから GOT に基本機能 OS をインストールしてください。

「インストール」をタッチ

3. インストール実行中は USB メモリのアクセスランプが点灯します。
USB メモリのアクセスランプ点灯中は USB メモリを抜いたり，GOT の電源を OFF にしないでください。

BootOSをインストール中です。
Now installing BootOS.

4. インストール完了後，自動的に再起動されます。

GOTを再起動します。
Reboot.

5. 正常に再起動ができたことを確認した後，USB メモリのアクセスランプの消灯を確認してください。
GOT の USB デバイス状態表示画面を表示し USB メモリを USB インタフェースから取り外してください。

☞ 4.3.7 USB デバイス状態表示

7.4 BootOS，基本機能 OS のバージョンが異なる場合

(1) **BootOS インストール時**

GOT は，BootOS をインストール時に，インストール済み BootOS とインストールする BootOS のバージョンを比較します。
インストールする BootOS のメジャーバージョンが古い場合，書き換えられるのを防ぐために下記の動作を実行します。
(GT Designer3，GT Designer2 からインストール時はパソコンの画面にメッセージが表示されます。表示に従い，操作を行ってください。)

(a) CF カード /USB メモリに BootOS のみを格納している場合
インストール不可メッセージが表示されます。

既にBootOSがｲﾝｽﾄｰﾙされています。
- ｲﾝｽﾄｰﾙ済:Ver.01.01[B]
- ｲﾝｽﾄｰﾙ対象:Ver.01.00[A]
ﾊﾞｰｼﾞｮﾝﾀﾞｳﾝとなる為､ｲﾝｽﾄｰﾙを中止します。

O K

OK ボタンをタッチし，インストールを中止してください。
インストールの中止後，再起動を実行します。

(b) CF カード /USB メモリに BootOS，基本 OS や他の OS を格納している場合
BootOS の インストールをスキップし，基本 OS インストール以降の処理を行います。
既に、GOT に基本 OS がインストールされているときは下記のメッセージが表示されます。

既に基本OSがｲﾝｽﾄｰﾙされています。
- ｲﾝｽﾄｰﾙ済:Ver.03.00.00
- ｲﾝｽﾄｰﾙ対象:Ver.03.00.00
既にｲﾝｽﾄｰﾙされている他OS、特殊ﾃﾞｰﾀとﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾃﾞｰﾀは削除されます。
ｲﾝｽﾄｰﾙを実行しますか?

O K　　Cancel

OK ボタンをタッチすると，インストールを実行します。
Cancel ボタンをタッチすると，インストールを中止します。
インストールの実行，または中止後，再起動を実行します。

(c) CF カード /USB メモリ内の格納データ (前述 (a),(b) の条件) に関係なく，バージョンが同一または，新しい場合
バージョン情報と，継続する・しないを選択するダイアログボックスが表示されます。

既にBootOSがｲﾝｽﾄｰﾙされています。
- ｲﾝｽﾄｰﾙ済:Ver.01.01[B]
- ｲﾝｽﾄｰﾙ対象:Ver.01.01[B]
既にｲﾝｽﾄｰﾙされている基本OS、他OSと
ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾃﾞｰﾀは削除されます。
ｲﾝｽﾄｰﾙを実行しますか?

O K　Cancel

< CF カード /USB メモリから BootOS をインストールした場合の GOT 画面>

OK ボタンをタッチすると，インストールを実行します。
Cancel ボタンをタッチすると，インストールを中止します。

(2) 基本機能 OS インストール時
基本機能 OS のインストール時は，各 OS ファイルのバージョンを合わせるようにしてください。
各 OS ファイルのバージョンが合っていない場合，基本機能 OS はインストールできません。

<インストール処理が中断される場合>
基本機能 OS　：　1. ○. ○
通信ドライバ　：　2. ○. ○
オプション機能 OS：　2. ○. ○
番号を合わせてください

<インストール処理が正常実行される場合>
基本機能 OS　：　2. ○. ○
通信ドライバ　：　2. ○. ○
オプション機能 OS：　2. ○. ○

POINT

BootOS，基本機能 OS のバージョンの確認方法

1．GOT にインストールされている BootOS，
基本機能 OS のバージョンは，ユーティリティ〔OS 情報] で確認してください。
詳細は下記を参照してください。
6.3.1 OS 情報

2．製品出荷時に GOT にインストールされている BootOS のバージョンは，GOT 背面の定格銘板で確認してください。

MITSUBISHI
GRAPHIC OPERATION TERMINAL
MODEL　GT1675M-VTBA
IN　100-240VAC 50/60Hz
PASSED
POWER　MAX 90VA
MAC ADD.
SERIAL　0000009701AA00001-D
MADE IN JAPAN
MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION
BACKLIGHT GT16-70VLTTA
AA
BootOSバージョン
(BootOSが2桁の場合は,1桁目のみ記載)

7.5　CoreOS について

CoreOS は，BootOS をインストールしても GOT が工場出荷時の状態にならない場合のみ，インストールしてください。
通常は，インストールする必要ありません。

POINT

CoreOS をインストール時の注意事項
CoreOS のインストールを実行すると，途中で中断できません。
途中で中断させるために次のことをしないでください。
GOT が動作しなくなる場合があります。
- GOT の電源を OFF にする
- GOT のリセットボタンを押す
  動作しなくなった場合，最寄りの三菱電機システムサービス株式会社，代理店または支社にご相談ください。

CoreOS をインストールしても GOT が復旧しない場合は，ハードウェア異常が考えられます。
最寄りの三菱電機システムサービス株式会社，代理店または支社にご相談ください。

7.5.1　CoreOS のインストール方法

■ CoreOS をインストールする前に

(1)　インストール方法について
CoreOS は，CF カードを使用したインストールのみ可能です。
USB メモリ，USB/RS-232/Ethernet 経由でのインストールはできません。

(2)　使用する CF カードについて
32MB 以上の CF カードが必要です。

(3)　BootOS について
CoreOS をインストールすると，BootOS も自動的に最新にインストールされます。
（ユーザでの作業は発生しません。）

(4)　CoreOS をインストールする場合
CoreOS をインストールする場合は，拡張 I/F に装着した全ての拡張ユニットを取り外してください。
拡張ユニットを装着する方法は，下記を参照してください。

☞（ハードウェア詳細編）8. オプション機器

■ CoreOS のインストール方法

1. GT Designer3，GT Designer2 から CoreOS を CF カードに書き込みます。
GT Designer3，GT Designer2 の操作方法の詳細については，下記のマニュアルを参照してください。

・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル（共通編）
8. GOT との通信
・GT Designer2 Version □ 基本操作・データ転送マニュアル
8. データを転送する

2. GOT の本体の電源が OFF になっていることを確認して，CF カードを GOT に装着します。
装着後，CF カードアクセススイッチを ON にします。

3. GOT の電源を ON すると，下記の画面が表示されます。
中止する場合は，GOT の電源を OFF して CF カードを取り外してください。

CoreOS Install　　　Ver 02.01.00.E
注意
Warning
CoreOSインストールを実施してもよろしいですか？
本体メモリは初期化され、工場出荷状態になります。
実施する場合は、CFカードアクセススイッチをOFFにしてください。OFFにするとインストールを開始します。
実施しない場合は、GOTの電源を切り、CFカードを抜いてください。

Do you execute the CoreOS installation?
The internal memory is initialized, and return to the state before factory shipment. Turn off the CF card access switch before installation.
If you do not install the CoreOS, turn off the GOT and remove a CF card.

4. CF カードアクセススイッチを OFF にすると，CoreOS のインストールが実行されます。

5. インストールが完了したら，下記のメッセージが表示されます。
(インストール完了時には，GOT の POWER LED が点滅 (緑 / オレンジ) します。)
メッセージが表示されたことを確認して，GOT の電源を OFF してください。

6. 電源 OFF 後，CF カードを取り外します。

7. 再度 GOT の電源を ON すると，下記の画面が表示されます。
(GOT が工場出荷時の状態になります。)
必要に応じて，各 OS(基本 OS，通信ドライバなど) のインストールや，プロジェクトデータのダウンロードを行ってください。
各 OS のインストール，プロジェクトデータのダウンロード方法については，下記のマニュアルを参照してください。

☞ · GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)
8. GOT との通信
· GT Designer2 Version □ 基本操作 · データ転送マニュアル
8. データを転送する

7.5.2　CoreOS がインストールできない場合

CoreOS がインストールできない場合，下記の項目を確認してください。
下記の項目を確認しても CoreOS がインストールできない場合は，ハードウェア異常が考えられます。
最寄りの三菱電機システムサービス株式会社，代理店または支社にご相談ください。

<table>
<tr><th colspan="2">内容</th><th>処置</th></tr>
<tr><td colspan="2">CF カードを GOT に装着しても，CoreOS のインストールが実行されない</td><td>(1) GOT の CF カードアクセススイッチが ON になっているか確認してください。
スイッチが OFF になっている場合は，ON にしてください。
(2) GT Designer3 または GT Designer2 からの CF カード書込みが正常に完了しなかった可能性があります。
再度，GT Designer3 または GT Designer2 から CF カード書込みを実行してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">GOT にメッセージが表示される</td><td>GOT が故障しています。
修理を依頼してください。</td><td>GOT 本体が故障しています。
最寄りの三菱電機システムサービス株式会社，代理店または支社にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>CF カードが異常です。
CF カードを確認してください。
インストールを中止します。</td><td>CF カードに異常があります。
(1) CF カードをフォーマットしてから，再度実行してください。
(2) CF カードを交換してください。</td></tr>
<tr><td>拡張 I/F にユニットが装着されています。
ユニットをはずしてから実行してください。
インストールを中止します。</td><td>GOT に装着されている拡張ユニットを取り外してください。</td></tr>
<tr><td>GOT の機種と OS の機種が一致しません。
インストールを中止します。</td><td>GT Designer3 または GT Designer2 の [CoreOS 書き込み] 時に選択した GOT タイプが間違っています。
GOT タイプを確認して，再度 [CoreOS 書き込み] を実施してください。</td></tr>
<tr><td>この GOT 本体に対応できないバージョンの OS です。
インストールを中止します。
OS のバージョンを確認してください。</td><td>最新の GT Designer3 または GT Designer2 から，CoreOS をインストールしてください。</td></tr>
<tr><td>メモリカードアクセススイッチが OFF です。
インストールを中断します。
ON にして GOT を再起動してください。</td><td>CF カードアクセススイッチが OFF になっているので，スイッチを ON にして GOT を再起動してください。</td></tr>
</table>

付録

付 .1　ユーティリティ機能の使用条件

GOT のタイプにより，使用できる機能が異なります。
GT Designer2 や，古いバージョンの GT Designer3 から基本機能 OS を書き込むと，一部の機能が使用できない場合があります。
基本機能 OS は，最新バージョンの GT Designer3 から書き込むことをお勧めします。

（○：使用 / 設定可能　×：使用 / 設定不可　－：不要）

項目			機能概要	GT16	GT15	GT SoftGOT 1000	GT11	作画設定
本体機能設定	GOT 本体機能設定	時間に関する設定	基準時計の選択	○	○	－	○	○
			時計の現在時刻を表示 / 設定	○	○	－	○	×
			バッテリ状態の表示	○	○	－	○	×
		トランスペアレントモードの設定	FA トランスペアレント機能使用時の，通信対象のチャンネル No. の設定	○	○	－	×	○
		画面掃除	表示部を掃除するための画面を表示	○	○	×	○	×
		ビデオ・RGB の設定	ビデオ・RGB 入出力ユニットの設定を行う画面を表示	○ *9	○ *6	－	×	○
		マルチメディアの設定	マルチメディアの設定を行う画面を表示	○ *9	×	－	×	○
		ライセンス管理	ライセンスの表示 / 設定	○	×	×	×	×
		IP 重複時の動作設定	GOT と同じ IP アドレスの機器が，後からネットワークに参加してきた場合の，GOT の動作設定	○	×	×	×	×
	表示に関する設定		メッセージ言語切換え	○	○	○	○ *2	○
			タイトル表示時間 / スクリーンセーブ時間の設定	○	○	○ *1	○	○
			スクリーンセーブ時バックライト ON/OFF の設定	○	○	－	○	○
			バッテリ低下アラーム出力 ON/OFF の設定	○	○	－	○	○
			人感センサの検出感度 / 監視時間の設定	○ *11	○ *3	×	×	×
			輝度・コントラストの調整	○	○	×	○	×
	操作に関する設定		ブザー音 / ウィンドウ移動時のブザー音の設定	○	○	○	○	○
			キー感度 / 反応速度の設定	○	○	－	○	×
			タッチ検出モードの設定	○	○ *4	×	×	×
			セキュリティレベルの変更	○	○	○	○	×
			ユーティリティ呼び出しキーの設定	○	○	○	○	○
			タッチパネルの調整	○	○ *4	－	○	×
			USB マウス / キーボードの設定	○	×	×	×	○
			SoftGOT-GOT リンク機能の設定	○	○	×	×	○
			VNC® サーバ機能の設定	○	×	×	×	×
	GOT メンテナンス機能	メンテナンス時期通知	バックライト / 表示部のメンテナンス通知時間の設定，タッチキー / 内蔵フラッシュメモリのメンテナンス通知回数の設定	○	○	－	×	×
		積算値リセット	メンテナンス時期通知のために積算していた時間 / 回数をリセット	○	○	－	×	×
		GOT 起動時間	GOT を起動した日時，現在時刻，現在までの運転時間の表示	○	○	×	○	×
		GOT 情報	GOT の情報を表示	○	×	×	×	-

（次のページへつづく）

（○：使用 / 設定可能　×：使用 / 設定不可　－：不要）

項目			機能概要	GT16	GT15	GT SoftGOT 1000	GT11	作画設定
本体機能設定	GOT メンテナンス機能	メンテナンス時期通知	バックライト / 表示部のメンテナンス通知時間の設定，タッチキー / 内蔵フラッシュメモリのメンテナンス通知回数の設定	○	○	－	×	×
		積算値リセット	メンテナンス時期通知のために積算していた時間 / 回数をリセット	○	○	－	×	×
		GOT 起動時間	GOT を起動した日時，現在時刻，現在までの運転時間の表示	○	○	×	○	×
		GOT 情報	GOT の情報を表示	○	×	×	×	-
接続機器設定	接続機器設定	接続機器設定	通信インタフェースへのチャンネル番号設定と通信ドライバの割付	○	○	×	○	○
			通信パラメータの設定	○	○	×	○	○
			シーケンスプログラム保護用キーワード設定 / 削除 / 保護状態解除 (FXCPU 接続時)	○	○	×	○	×
		Ethernet 設定	Ethernet 設定の設定内容の表示，自局の変更	○	○	×	×	○
保全機能	各種モニタ 1	システムモニタ	システムモニタの起動	○	○	×	○	×
		回路モニタ	回路モニタの起動	○	○*5	×	×	×
		ネットワークモニタ	ネットワークモニタの起動	○	○	×	×	×
		インテリジェントユニットモニタ	インテリジェントユニットモニタの起動	○	○*5	×	×	×
		サーボアンプモニタ	サーボアンプモニタの起動	○	○	×	×	×
		モーションモニタ	モーションモニタの起動	○	○	×	×	×
		CNC モニタ	CNC モニタの起動	○*9	○*8	×	×	×
		FX リスト編集	FX リスト編集の起動	○	○	×	○	×
		A リスト編集	A リスト編集の起動	○	○	×	○	×
		SFC モニタ	SFC モニタの起動	○	○*5	×	×	×
		ラダー編集	ラダー編集の起動	○*12	○*10	×	×	×
		MELSEC-L トラブルシュート	MELSEC-L トラブルシュートの起動	○	×	×	×	×
		モーション SFC モニタ	モーション SFC モニタの起動	○	×	×	×	×
		ログビューア	ログビューアの起動	○	×	×	×	×
	各種モニタ 2	モーションプログラム (SV43) 編集	モーションプログラム (SV43) 編集の起動	○*9	×	×	×	×
		CNC 加工プログラム編集	CNC 加工プログラム編集の起動	○*9	×	×	×	×
	保全機能設定	Q/L/QnA 回路モニタの設定	MELSEC-Q/L/QnA 回路モニタ機能用のデータ保持先設定	○	○*5	－	×	○
		バックアップ / リストア設定	バックアップやバックアップ設定の保存先の設定，バックアップデータ最大件数の設定，バックアップ号機指定する / しないの設定	○	○	－	×	○
			トリガバックアップの設定					

（次のページへつづく）

（○：使用 / 設定可能　×：使用 / 設定不可　－：不要）

項目			機能概要	GT16	GT15	GT SoftGOT 1000	GT11	作画設定
保全機能	メモリ・データ管理	バックアップ / リストア機能	バックアップ / リストア機能の実行	○	○	－	×	○
		GOT データ一括取得	OS，特殊データ，プロジェクトデータを CF カード / USB メモリ *7 へコピー	○	○	×	×	×
		CNC データ入出力	CNC データ入出力の起動	○*9	○*8	－	×	×
		メモリカードフォーマット	CF カード /USB メモリ *7 のフォーマット	○	○	×	○	×
		メモリ情報	GOT のメモリ空き容量の表示	○	○	×	○	×
		USB デバイス状態表示	USB デバイスの状態表示	○	×	×	×	×
		SRAM 管理	SRAM ユーザ領域の使用状況の確認，バックアップ，リストア，初期化	○	×	×	×	×
		モーションプログラム (SV43) 入出力	モーションプログラム (SV43) 入出力の起動	○*9	×	×	×	×
自己診断	各種診断機能	システムアラーム	システムアラームの表示	○	○	×	○	×
		メモリチェック	CF カード /USB メモリ，内蔵フラッシュメモリのライト / リードチェック	○	○	×	○	×
		描画チェック	描画のチェック	○	○	×	○	×
		フォントチェック	フォントのチェック	○	○	×	○	×
		タッチパネルチェック	タッチパネルのチェック	○	○	×	○	×
		I/O チェック	RS-232 インタフェースの入出力チェック	○	○	×	○	×
		ネットワークユニット状態表示	ネットワークユニットの状態表示	○	○	－	○	×
		Ethernet 状態チェック	Ethernet の接続状態チェック	○	×	×	×	×
	一括自己診断機能		各種診断を一括診断，診断結果を CF カード / USB メモリへコピー	○	×	×	×	×
データ管理	各種データ管理	アラーム情報	アラームログファイルの削除 / コピー	○	○	×	○	×
			アラームログファイルの G1A → CSV/TXT 変換	○	○	×	×	×
			アラームログファイルのグラフ表示	○	○	×	×	×
		拡張レシピ情報	拡張レシピファイルの G1P → CSV/TXT 変換 拡張レシピファイルの削除 / コピー / 移動 / 新規作成 拡張レシピフォルダの削除 / 移動 / 名称変更 / 新規作成 拡張レシピレコード一覧による レコード値の書込み / 読出し / 照合，デバイス値の削除	○	○	×	×	×
		ロギング情報	ロギングファイルの G1L → CSV/TXT 変換	○	○	×	×	×
			ロギングファイルの削除 / コピー / 移動 / 名称変更 ロギングフォルダの削除 / 新規作成	○	○	×	×	×
		操作ログ情報	操作ログファイルの G1O → CSV/TXT 変換	○	○	○	×	○
			操作ログファイルの削除 / コピー / 移動 / 名称変更 操作ログフォルダの削除 / 新規作成	○	○	○	×	×
		ハードコピー情報	ハードコピーファイルの削除 / コピー / 名称変更	○	○	×	×	×

（次のページへつづく）

（○：使用 / 設定可能　×：使用 / 設定不可　－：不要）

項目			機能概要	GT16	GT15	GT SoftGOT 1000	GT11	作画設定
データ管理	各種データ管理	特殊データ情報	特殊データファイルの削除 / チェック 特殊データフォルダを削除 CF カード /USB メモリ *7 の特殊データを，C ドライブ (内蔵フラッシュメモリ) にダウンロード	○	○	×	×	×
		オペレータ情報管理	オペレータ情報の追加 / 編集 / 削除 / インポート / エクスポート，パスワードの変更，自動ログアウト時間， パスワード有効期限，外部認証用 ID の設定	○	○	○	×	×
		指紋認証情報	指紋認証情報の追加 / 削除	○	○	×	×	×
データ管理	OS・プロジェクト情報	OS 情報	OS のインストール / アップロード / プロパティ表示 / データチェック	○	○	×	○	×
		プロジェクト情報	プロジェクトファイルのダウンロード / アップロード / 削除 / コピー / プロパティ表示 / データチェック	○	○	×	○	×

*1　スクリーンセーブ時間の設定はできません。
*2　GT11 は，下記の表示や操作はできません。
　・中国語 (繁体字) で表示できません。
　・日本語と中国語 (簡体字) を GOT の画面上で選択することはできません。
　（日本語と中国語 (簡体字) のフォントを同時にインストールできません）
*3　GT1595-X，GT1585V-S，GT1585-S のみ設定できます。
*4　GT1595-X のみ設定できます。
*5　GT1555-Q，GT1550-Q は設定できません。
*6　GT1585V-S，GT1575V-S のみ設定できます。
*7　GT16 のみ対応です。
*8　GT1595-X，GT1585V-S，GT1585-S，GT1575V-S，GT1575-S のみ設定できます。
*9　GT1695M-X，GT1685M-S，GT1675M-S，GT1665M-S のみ設定できます。
*10　GT1555-V，GT1555-Q，GT1550-Q は設定できません。
*11　GT1695M-X，GT1685M-S のみ設定できます。
*12　GT1655-V は設定できません。

付 .2　ドライブの選定方法

CF カードを使用する場合，使用するドライブ (A ドライブ，B ドライブ) を選択できます。
目的に応じて，使用するドライブを選択してください。

(1)　A ドライブ
GOT に内蔵されている CF カードインタフェースです。

(2)　B ドライブ
B ドライブは，以下の 2 種類があります。
- CF カードユニット
  GOT に内蔵されている CF カードインタフェース (A ドライブ) とは別に，CF カードのインタフェースを準備する場合に使用します。
- CF カード延長ユニット
  GOT に内蔵されている CF カードインタフェース (A ドライブ) とは別に，CF カードのインタフェースを準備する場合に使用します。
  制御盤の盤面に CF カードインタフェースを設置する場合に使用します。

■ CF カードユニットの使用例

プロジェクトデータ等，頻繁に更新しないデータを 1 枚目の CF カードに保存し，アラーム履歴，操作ログ等，頻繁に参照，更新するデータを 2 枚目の CF カードに保存するなど，目的別にファイルの保存先を変えることができます。

CFカード
1枚目：プロジェクトデータ等
2枚目：アラーム履歴，操作ログ等
GOT
CFカードユニット

■ CF カード延長ユニットの使用例

CF カードユニットと同様の使用方法が可能です。
CF カード延長ユニットを使用する場合，CF カードの着脱の際，制御盤の扉を開く必要がなくなります。

盤内
CFカード（1枚目）
プロジェクトデータ等
を保存
GOT
CFカード延長ユニット

盤外
GOT
CFカード延長ユニット
CFカード（2枚目）
アラーム履歴，操作ログ等を保存

付.3　バージョンアップ追加機能 (GOT1000 シリーズ)

GT Designer2 の製品のバージョンアップに伴う追加機能については，下記を参照してください。

☞ GT Designer2 Version2 画面設計マニュアル

GT Works3 の製品のバージョンアップに伴う追加機能については，下記を参照してください。

三菱電機サイト

http://www.mitsubishielectric.co.jp/fa/

索引

改訂履歴

※ 取扱説明書番号は，本説明書の裏表紙の左下に記載してあります。

印刷日付	※ 取扱説明書番号	改訂内容
2010 年 4 月	SH(名)-080924-A	初版印刷：GT Works3 Version1.15R に対応
2010 年 7 月	SH(名)-080924-B	GT Works3 Version1.18U に対応 ・[SoftGOT-GOT リンク機能設定] 画面で，[操作権取得時間] の設定に対応 ・操作ログ情報の一覧画面で，操作ログの表示順切換えに対応
2010 年 11 月	SH(名)-080924-C	GT Works3 Version1.22Y に対応 ・[確定] ボタンを [OK]/[Cancel] ボタンに変更 ・IP 重複時の動作設定に対応 ・ユーティリティ呼び出しキーの設定なしに対応 ・[SoftGOT-GOT リンク機能設定] 画面で，[操作権保証時間]/[動作状態ポップアップ通知] の設定に対応 ・GOT 情報の表示に対応 ・Ethernet 設定の確認，自局の変更に対応 ・[Q/L/QnA 回路モニタ設定] 画面で，[コメント表示設定] の設定に対応 ・ping 送信による Ethernet 接続状態のチェックに対応 ・一括自己診断機能で，電源投入時刻履歴の表示に対応 ・操作ログ情報で，最新表示に対応
2011 年 1 月	SH(名)-080924-D	GT Works3 Version1.26C に対応 ・GT1655-V に対応 ・テンキーの仕様変更に対応
2011 年 4 月	SH(名)-080924-E	GT Works3 Version1.30G に対応 ・CC-Link IE フィールドネットワークに対応 ・モーションプログラム (SV43) 編集に対応 ・Q/L/QnA 回路モニタの複数回路データ保存設定に対応
2011 年 7 月	SH(名)-080924-F	GT Works3 Version1.34L に対応 ・モーションプログラム (SV43) 入出力に対応
2011 年 10 月	SH(名)-080924-G	GT Works3 Version1.38Q に対応 ・マルチメディア機能が長時間録画保存設定に対応 ・VNC® サーバ機能に対応
2012 年 1 月	SH(名)-080924-H	GT Works3 Version1.43V に対応 ・バックアップ / リストアが，バックアップ号機指定に対応
2012 年 4 月	SH(名)-080924-I	GT Works3 Version1.48A に対応 ・マルチメディア機能が動画再生時，ファイル名，撮影時刻の表示に対応 ・マルチメディア機能のファイルメニュー表示画面に，サイズ，作成日，時間の項目を追加 ・株式会社山武をアズビル株式会社に変更 ・描画チェック機能で，ビット欠け，色チェック時に表示される色に灰色を追加
2012 年 11 月	SH(名)-080924-J	GT Works3 Version1.64S に対応 ・安全上のご注意を変更 ・CNC 加工プログラム編集に対応 ・バックアップ / リストアが変更チェックに対応 ・インターネットによる情報サービスを三菱電機 FA サイトに変更
2013 年 4 月	SH(名)-080924-K	GT Works3 Version1.73B に対応 ・安全上のご注意を変更 ・富士電機システムズ株式会社を富士電機株式会社に変更
2013 年 9 月	SH(名)-080924-L	GT Works3 Version1.100E に対応
2014 年 1 月	SH(名)-080924-M	GT Works3 Version1.108N に対応 ・操作ログ一覧表示画面の変更

保証について

ご使用に際しましては，以下の製品保証内容をご確認いただきますよう，よろしくお願いいたします。

1. 無償保証期間と無償保証範囲

無償保証期間中に，製品に当社側の責任による故障や瑕疵（以下併せて「故障」と呼びます）が発生した場合，当社はお買い上げいただきました販売店または当社サービス会社を通じて，無償で製品を修理させていただきます。
ただし，国内および海外における出張修理が必要な場合は，技術者派遣に要する実費を申し受けます。
また，故障ユニットの取替えに伴う現地再調整，試運転は当社責務外とさせていただきます。

【無償保証期間】

製品の無償保証期間は，お客様にてご購入後またはご指定場所に納入後 36ヵ月とさせていただきます。
ただし，当社製造出荷後の流通期間を最長 6ヵ月として，製造から 42ヵ月を無償保証期間の上限とさせていただきます。また修理品の無償保証期間は，修理前の無償保証期間を超えて長くなることはありません。

【無償保証範囲】

（1） 一次故障診断は，原則として貴社にて実施をお願いします。
ただし，貴社要請により当社，または当社サービス網がこの業務を有償にて代行することができます。この場合，故障原因が当社側にある場合は無償とさせていただきます。

（2） 使用状態，使用方法および使用環境などが，取扱説明書，ユーザーズマニュアル，製品本体注意ラベルなどに記載された条件，注意事項などにしたがった正常な状態で使用されている場合に限定させていただきます。

（3） 無償保証期間内であっても，以下の場合には有償修理とさせていただきます。
① お客様における不適切な保管や取扱い，不注意，過失などにより生じた故障およびお客様のハードウェアまたはソフトウェア設計内容に起因した故障。
② お客様にて当社の了解なく製品に改造などの手を加えたことに起因する故障。
③ 当社製品がお客様の機器に組み込まれて使用された場合，お客様の機器が受けている法的規制による安全装置または業界の通念上備えられているべきと判断される機能・構造などを備えていれば回避できたと認められる故障。
④ 取扱説明書などに指定された消耗部品が正常に保守・交換されていれば防げたと認められる故障。
⑤ 消耗部品（バッテリ，バックライト，ヒューズなど）の交換。
⑥ 火災，異常電圧などの不可抗力による外部要因および地震，雷，風水害などの天変地異による故障。
⑦ 当社出荷当時の科学技術の水準では予見できなかった事由による故障。
⑧ その他，当社の責任外の場合またはお客様が当社責任外と認めた故障。

2. 生産中止後の有償修理期間

（1） 当社が有償にて製品修理を受け付けることができる期間は，その製品の生産中止後 7 年間です。
生産中止に関しましては，当社テクニカルニュースなどにて報じさせていただきます。

（2） 生産中止後の製（補用品も含む）はできません。

3. 海外でのサービス

海外においては，当社の各地域 FA センタで修理受付をさせていただきます。ただし，各 FA センタでの修理条件などが異なる場合がありますのでご了承ください。

4. 機会損失，二次損失などへの保証責務の除外

無償保証期間の内外を問わず，当社の責に帰すことができない事由から生じた損害，当社製品の故障に起因するお客様での機会損失，逸失利益，当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害，二次損害，事故補償，当社製品以外への損傷および，お客様による交換作業，現地機械設備の再調整，立上げ試運転その他の業務に対する補償については，当社責務外とさせていただきます。

5. 製品仕様の変更

カタログ，マニュアルもしくは技術資料などに記載の仕様は，お断りなしに変更させていただく場合がありますので，あらかじめご承知おきください。

6. 製品の適用について

（1） 当社グラフィックオペレーションターミナルをご使用いただくにあたりましては，万一グラフィックオペレーションターミナルに故障・不具合などが発生した場合でも重大な事故にいたらない用途であること，および故障・不具合発生時にはバックアップやフェールセーフ機能が機器外部でシステム的に実施されていることを，ご使用の条件とさせていただきます。

（2） 当社グラフィックオペレーションターミナルは，一般工業などへの用途を対象とした汎用品として設計・製作されています。したがいまして，各電力会社殿の原子力発電所およびその他発電所向けなどの公共への影響が大きい用途や，鉄道各社殿および官公庁殿向けの用途などで，特別品質保証体制をご要求になる用途には，グラフィックオペレーションターミナルの適用を除外させていただきます。また，航空，医療，鉄道，燃焼・燃料装置，有人搬送装置，娯楽機械，安全機械など人命や財産に大きな影響が予測される用途へのご使用についても，当社グラフィックオペレーションターミナルの適用を除外させていただきます。
ただし，これらの用途であっても，使途を限定して特別な品質をご要求されないことをお客様にご了承いただく場合には，適用可否について検討致しますので当社窓口へご相談ください。

以　上

サービスネットワーク(三菱電機システムサービス(株))

北海道支店
☎(011)890－7515
新潟機器サービスステーション
☎(025)241－7261
北陸支店
☎(076)252－9519
京滋機器サービスステーション
☎(075)611－6211
関西機電支社
☎(06)6458－9728
姫路機器サービスステーション
☎(079)281－1141
中四国支社
☎(082)285－2111

北日本支社
☎(022)353－7814
東京機電支社
☎(03)3454－5521
神奈川機器サービスステーション
☎(045)938－5420
関越機器サービスステーション
☎(048)859－7521
静岡機器サービスステーション
☎(054)287－8866
中部支社
☎(052)722－7601
四国支店
☎(087)831－3186
岡山機器サービスステーション
☎(086)242－1900
九州支社
☎(092)483－8208
長崎機器サービスステーション
☎(095)818－0700

SH(名)-080924-M

GRAPHIC OPERATION TERMINAL

GOT1000

GT16本体取扱説明書(基本ユーティリティ編)

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

本社機器営業部 ‥‥‥‥〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)‥‥‥‥(03)3218-6760
北海道支社 ‥‥‥‥〒060-8693 札幌市中央区北二条西4-1(北海道ビル)‥‥‥‥(011)212-3794
東北支社 ‥‥‥‥〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-17-7(仙台上杉ビル)‥‥‥‥(022)216-4546
関越支社 ‥‥‥‥〒330-6034 さいたま市中央区新都心11-2(明治安田生命さいたま新都心ビル ランド・アクシス・タワー)‥‥‥‥(048)600-5835
新潟支店 ‥‥‥‥〒950-8504 新潟市中央区東大通2-4-10(日本生命ビル)‥‥‥‥(025)241-7227
神奈川支社 ‥‥‥‥〒220-8118 横浜市西区みなとみらい2-2-1(横浜ランドマークタワー)‥‥‥‥(045)224-2624
北陸支社 ‥‥‥‥〒920-0031 金沢市広岡3-1-1(金沢パークビル)‥‥‥‥(076)233-5502
中部支社 ‥‥‥‥〒451-8522 名古屋市西区牛島町6番1号(名古屋ルーセントタワー)‥‥‥‥(052)565-3314
豊田支店 ‥‥‥‥〒471-0034 豊田市小坂本町1-5-10(矢作豊田ビル)‥‥‥‥(0565)34-4112
関西支社 ‥‥‥‥〒530-8206 大阪市北区堂島2-2-2(近鉄堂島ビル)‥‥‥‥(06)6347-2771
中国支社 ‥‥‥‥〒730-8657 広島市中区中町7-32(ニッセイ広島ビル)‥‥‥‥(082)248-5348
四国支社 ‥‥‥‥〒760-8654 高松市寿町1-1-8(日本生命高松駅前ビル)‥‥‥‥(087)825-0055
九州支社 ‥‥‥‥〒810-8686 福岡市中央区天神2-12-1(天神ビル)‥‥‥‥(092)721-2247

三菱 FA 検索

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa/

メンバー登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

電話技術相談窓口 受付時間(※1)　月曜～金曜　9:00～19:00、 土曜・日曜・祝日　9:00～17:00

対象機種			電話番号
シーケンサ	MELSEC-Q/L/QnA/Aシーケンサ一般 (下記以外)		052-711-5111
	MELSEC-F FX/Fシーケンサ全般		052-725-2271 (※2)
	ネットワークユニット/シリアルコミュニケーションユニット		052-712-2578
	アナログユニット/温調ユニット/温度入力ユニット/高速カウンタユニット		052-712-2579
	MELSOFTシーケンサプログラミングツール	MELSOFT GXシリーズ	052-711-0037
		SW□IVD-GPPA/GPPQなど	
	MELSOFT統合エンジニアリング環境	MELSOFT iQ Works (Navigator)	052-712-2370
	MELSOFT通信支援ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ	
		SW□D5F-CSKP/OLEX/XMOPなど	
	MELSECパソコンボード	Q80BDシリーズなど	
	C言語コントローラ/MESインタフェースユニット/高速データロガーユニット		
	iQ Sensor Solution		
	MELSEC計装/Q二重化	プロセスCPU	052-712-2830 (※2)
		二重化CPU	
		MELSOFT PXシリーズ	
	MELSEC Safety	安全シーケンサ (MELSEC-QSシリーズ)	052-712-3079 (※2)
		安全コントローラ (MELSEC-WSシリーズ)	
	電力計測ユニット/絶縁監視ユニット	QE8□シリーズ	052-719-4557 (※2/※3)
表示器		GOT-F900/DUシリーズ	052-725-2271 (※2)
		GOT2000/GOT1000/A900シリーズなど	052-712-2417
		MELSOFT GTシリーズ	
サーボ/位置決めユニット/モーションコントローラ		MELSERVOシリーズ	052-712-6607
		位置決めユニット/シンプルモーションユニット	
		モーションCPU (Q/Aシリーズ)	
		C言語コントローラインタフェースユニット (Q173SCCF)/ポジションボード	
		MELSOFT MTシリーズ/MRシリーズ	
センサレスサーボ		FR-E700EX/MM-GKR	052-722-2182
インバータ		FREQROLシリーズ	052-722-2182
三相モータ		三相モータ225フレーム以下	0536-25-0900 (※5/※3)
ロボット		MELFAシリーズ	052-721-0100
低圧開閉器		MS-Tシリーズ/MS-Nシリーズ	052-719-4170
		US-Nシリーズ	
低圧遮断器		ノーヒューズ遮断器/漏電遮断器 MDUブレーカ/気中遮断器 (ACB) など	052-719-4559
電力管理用計器		電力量計/計器用変成器/指示電気計器 管理用計器/タイムスイッチ	052-719-4556
省エネ支援機器		EcoServer/E-Energy/検針システム エネルギー計測ユニット/ B/NETなど	052-719-4557 (※2/※3)
小容量UPS (5kVA以下)		FW-Sシリーズ/FW-Vシリーズ/FW-Aシリーズ FW-Fシリーズ	084-926-8300 (※4/※3)

※1:春季・夏季・年末年始の休日を除く　※2:金曜は17:00まで　※3:土曜・日曜・祝日を除く
※4:月曜～金曜の9:00～16:30　※5:月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30

FAX技術相談窓口 受付時間(※6)　9:00～16:00 (受信は常時(※7))

対象機種	FAX番号
上記電話技術相談対象機種 (下記以外)	052-719-6762
電力計測ユニット/絶縁監視ユニット (QE8□シリーズ)	084-926-8340
三相モータ225フレーム以下	0536-25-1258 (※8)
低圧開閉器	0574-61-1955
低圧遮断器	084-926-8280
電力管理用計器/省エネ支援機器/小容量UPS (5kVA以下)	084-926-8340

三菱電機FAサイトの「仕様・機能に関するお問い合わせ」もご利用ください。
※6:土曜・日曜・祝日、春季・夏季・年末年始の休日を除く　※7:春季・夏季・年末年始の休日を除く
※8:月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30 (受信は常時 (春季・夏季・年末年始の休日を除く))

形名	GT16-U(UTILITY)
形名コード	1D7MD2
SH(名)-080924-M(1401)MEE	

本マニュアルは、輸出する場合、経済産業省への役務取引許可申請は不要です。

この印刷物は2014年1月の発行です。なお、お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。

この標準価格には消費税は含まれておりません。ご購入の際には消費税が付加されますのでご承知おき願います。

2014年1月作成

標準価格　3,000円